

昭和六十年三月

史料館所藏史料目録 第四十一集

信濃国埴科郡松代伊勢町八田家文書目録（その二）

史
料
館

史料館所蔵史料目録 第四十一集

信濃国埴科郡松代伊勢町八田家文書目録（その二）

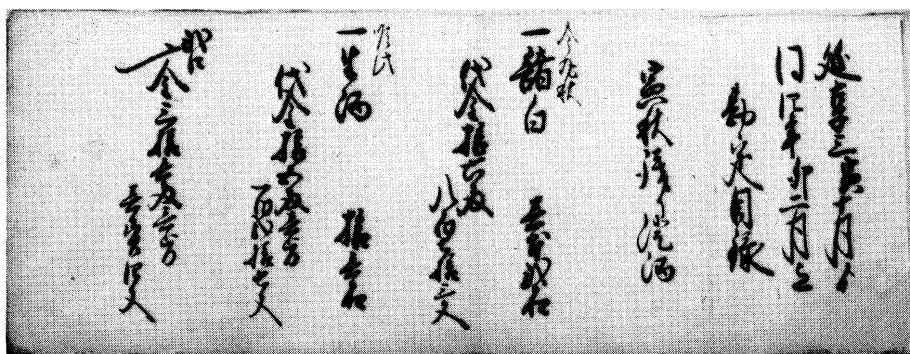
田代同進未彦奏
 之儀之由之思
 任之當否之思
 以度所之思
 列後任之思
 若方之思
 勤向之思
 一年中言方之思
 其外他儀家未給分
 親類中謝之思
 宜之思
 其外他儀家未給分
 親類中謝之思
 宜之思

御勝手向取締方書取 文政9年2月〔あ124-2〕

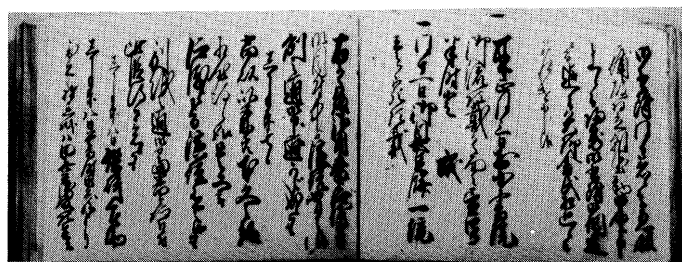
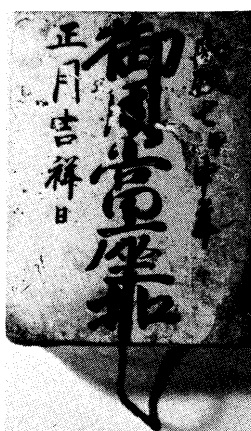
文政十年正月
 知案詞帳
 知案詞帳

録本序
 沙家元
 沙家代
 沙家元
 沙家代
 沙家元
 沙家代
 沙家元
 沙家代

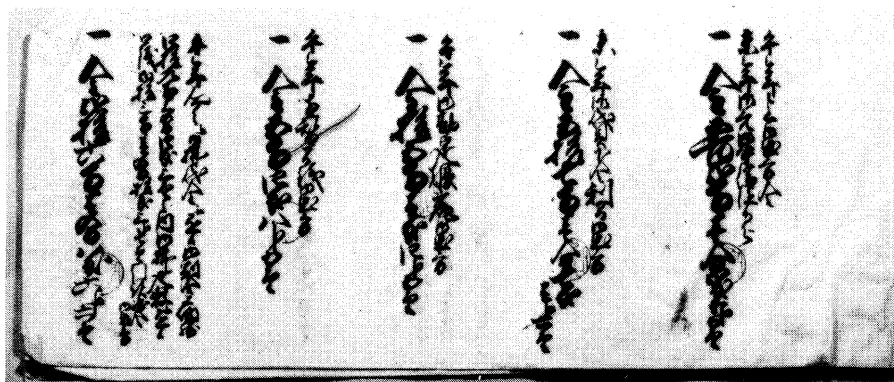
為知案詞帳 文化10年11月〔あ1226〕



延享4年〔あ4〕
酒勘定目録
世見
本出
卯春



文政7年〔あ3272〕
御勝手御用当座扣帳



天保7年3月〔あ2213〕
産物会所御出方金調帳

凡 例

一 本目録は、『史料館所蔵史料目録』第四十一集「信濃国埴科郡松代伊勢町八田家文書目録（その一）」として、同文書のうち冊子型史料の大半と関連の書付若干を収めた。

一 史料は、史料群全体の構造を表現し得るよう、文書を作成ないし管理していた組織、文書の作成動機と機能、伝存の契機、内容等に応じ、大・中・小の項目を立てて分類配列した。大項目は一二ポイント活字、中項目は一〇ポイント活字、小項目は九ポイント・ゴチック活字で示した。また、必要に応じて〇印で細項目を示した。なお、内容が多岐にわたり、他の項目中にも掲げることを妥当と考えた史料は※を付して重出した。さらに、関連史料が収められている項目を（↓「……」）と表示した。分類配列の基準について詳しくは巻末の解題を参照されたい。

一 史料目録の記載欄はほぼ、(一)表題、(二)作成者または差出人、(三)宛名、(四)作成年月日または記載期間、(五)形態、(六)数量、(七)整理番号の順である。

一 表題（史料名称）は原則として原表題を採り、適宜加工した。原表題の無いものには仮に命名して（ ）を付した。なお、適宜（ ）を付して内容を摘記した。

一 作成年次は年月日もしくは干支を採り、推定年次の場合は（ ）を付した。なお、勘定帳や取調帳の類で、作成年月日の他に勘定・取調の期間を示す要を認めた場合は、（ ）を付して併記した。

一 史料の形態は、冊子型史料では、半（半紙堅折判）、半切（半紙堅半截判）、美（美濃堅折判）、横長半（美）（半紙（美濃）横折判）、横半（美）半（半紙（美濃）横折紙半截判）、横半（美）半折（半紙（美濃）横折紙半折判）、横切半（美）半折（半紙（美濃）横切紙半折判）、横半（美）列（半紙（美濃）横折紙列帖装）、横切半（美）列（半紙（美濃）横切紙列帖装）、堅半（美）半（半紙（美濃）堅折紙半截判）などによって表記した。これらの用語は判形に料紙の使用法も加味して概念化したものであり、従来の『史料館所蔵史料目録』での表記用語を改めてあるので、解題において説明を加えた。なお、「半」「美」は半紙判・美濃判に代表させて料紙の大きさを示したもので、料紙の種類を示すものではない。特に大型のものは美の下に大を加えた。また、特に小型のものについては、いちいち何分の一に截断したかを記すのは煩雑

なので、小を冠し、縦横の寸法をセンチメートル単位で示した。書付型史料は通をもつて数量を記し、紙型の大小・寸法は省略した。ただし、図面類は縦横の大きさをセンチメートル単位で示した。

一 史料の利用にあたっては巻末の解題を参照されたい。

一 本目録の作成は大藤 修が担当した。

目次

口紙	
凡例	頁
信濃国埴科郡松代伊勢町八田家文書目録（その一）	一
目次	三
目録	五
解題	一四三

信濃国

松埴科
代郡

伊勢町八田家文書目録（その一）

信濃国 埴科郡 松代 伊勢町八田家文書目録（その一） 目次

内方（御茶之間）	頁	出張	無尽
系図・親類書	五	金錢・穀物請払	三
相續	五	店方江下ケ金・上納金、金錢請取、暮方見積、入用、買物方日記、金錢出入帳（金錢請払帳）、金錢差引帳、穀物・諸品請払、金錢穀物請払取調勘定	三
家訓・規定	五	賭	三
条目・遺言、勝手向取締（家政立て直し）、役代調印規定、帳簿口立規定、店人別規定（奉公人規定）	五	賄穀物請払、入用、勝手方日記・控帳、御膳日記	三
人別改	六	棚卸	三
奉公人・別家・日傭	七	日記・控留	三
土地経営	八	被仰付書・願書控留、状留、茶之間日記・元方日記・役代日記他、万書留帳、手控儀	三
持地、持地・抱屋敷絵図、抱屋敷肝煎用留、買取・質取、売渡、田畑見廻、家賃・小作年貢取立、小作年貢滞納出入、小作方日記、年貢諸役上納、米・桑売渡	八	為知帳、赤飯配、献上・進物、来訪人名面帳、到来物、贈答覚帳、婚姻・離縁、葬儀・法事、大福帳（諸儀礼覚帳）、年中行事帳、宴会	三
材木方	一六	旅	三
通船方	一七		三
金融	一七		三
借入金・預り金、貸付金、他家借財片付	一七		三
		社寺參詣、入湯	四
		寺社奉加	四
		家財	四
		武器、衣類・諸道具・書画他	四
		蔵書	四
		見聞・風説書	五
		諸芸	五
		文芸、茶の湯	五
		学校	五
		証書	五
		生糸改会社証記簿、横浜正金銀行創立証書	五
		その他	五
		店方	五
		酒造方（酒蔵・酒店）	五
		酒株・酒造高書上、酒造鑑札、内方〆拝借米金・上納金、酒造入用、酒蔵〆酒店出酒、売渡、金銀出入帳、取替（立替）、棚卸、酒蔵・酒道具貸付、諸控留、蔵書	五
		呉服店	五

売買、御会符荷物、棚卸、控留 油店..... 六 内方と拝借金・上納金、金錢請払、棚卸 醬油店(松井店)..... 七 内方と拝借金・上納金、仕入、売渡、売 買差引勘定、入用、取替(立替)、棚卸、 道具調、越後赤倉松井店 質店..... 七 内方と拝借金・上納金、入用、取替(立 替)、棚卸、控留 その他..... 七 町方..... 七 控留..... 七 高札・条目写控、町年寄用留 諸役・貢税..... 七 家数・町役書上、伝馬役、巡見本陣役、 明治期貢税取調 殿様御用..... 七 殿様帰城出迎、殿様御入接待 救災..... 七 飢饉、火災・水害 講..... 八 町内無尽講、恵比須講 松代藩御用..... 八 年貢諸役取立請負・御用米金調達..... 八	御勝手御用役..... 二 月番表、用留・日記、融通金 産物御用掛..... 三 用留、産物取立無尽、国産方入用 手控..... 四 会所・商社..... 四 糸会所..... 四 藩と拝借金品、諸方と預り金・借入金、 会所貸下金、藏中買人仲間・糸元師仲間、 袖中買人仲間、糸売買、買物帳、取替(立 替)、金銀請払、日記・用留、御内用荷 産物会所..... 六 触順、藩と拝借金・上納金、会所江献上 金、会所貸下金、産物改、出役、鑑札渡、 冥加金取立、絹紬類買入、絹紬類売捌、 絹紬類貸下、甘草・杏仁大坂取引、駄送、 麻・木綿売買、蚕種・生糸売買、入用、 金錢請払、金錢請払取調勘定、棚卸、日 記・用留、褒賞、過料、産物助成講、道 具帳、蔵書 松代商法社..... 一四 商法社貸出金、蚕種・生糸売買、商社手 形・太政官札引換、入用、棚卸、商社引 払
--	--

信濃国

埴科郡
松代

伊勢町八田家文書目録(その一)

(文書記号 28B)

内方(御茶之間)

系図・親類書

(八田家系譜調書)

美 飯一冊 あ三七二

大瀬家系譜(真田家家臣大瀬家系譜、文化三年没の大瀬誠政の妻は八田嘉助女)

小半 一冊 あ一七

親類書控

横長半 飯一冊 あ三九七

相統

諸品讓物調帳并書付(袋入)

あ四三

①諸品讓物調帳 文政二年二月

横長美 一冊

②家名相統関係書付(心得方申渡書付等)(包紙入) 嘉右衛門 競・喜兵衛・辰五郎宛 文政四
〜七年

五通

③(金百兩利潤取計方へ申渡書)(包紙入) 嘉右衛門 競・喜兵衛宛 申(文政七年) 正月二
三日

一通

④(讓渡居宅・抱屋敷目録并心得方覚)(包紙入) 嘉右衛門 競宛

二通

辰三郎江讓諸道具調帳 (文政)

横長半 一冊 あ二四一

(家屋敷田山并諸道具讓帖)

横長半 一冊 あ二四〇

○

八田孫左衛門書狀下書(同名喜右衛門死去致候所、名跡無之未養子等も不相極致迷惑候ニ付) 信濃屋儀右衛門宛 (寛政)享和)

横長半 飯一冊 あ三九六

家訓・規定

条目・遺言

御条目

横長美 一冊 あ六五

嘉右衛門遺言書下書(袋添) 競・母上・おなか・鉄之助・喜兵衛・辰三郎宛 文政三年

横長美大 二冊 あ七三六

嘉右衛門遺言書下書(袋添) 母上・お仲・鉄之助宛 文政六年正月

横長美 二冊 あ七三三

勝手向取締(家政立て直し)

(存意申上書下案)(家政改革ニ付) 明和六年三月

横長美 一冊 あ三三四

御内々御尋ニ付口上書下書〔家事仕法替之儀ニ付〕(文政九年) 横長美 一冊 あ二七三

御内々御尋ニ付書取申上書 戊(文政九年)八月 横長美 一冊 あ二七六

勝手向取締方書取〔家政向逼迫ニ付、幕方倂約の規則を定める〕(封紙入) 四冊 あ二四

①勝手向取締方下案 文政九年二月 横長美大 一冊

②勝手向取締方書取 文政九年二月 横長美大 一冊

③幕方取極帳 忠七、和七、六右衛門 文政一一年八月 美 一冊

④幕方取極帳 忠七、和七、六右衛門 文政一一年八月 美 一冊

御幕方取調下案〔取調の項目を記す〕 文政一二年正月 横美半折 一冊 あ三三

幕方取極帳〔勝手向幕方規定と諸入用見積もり〕 忠七、和七、六右衛門 文政一二年八月 美 一冊 あ三四六

御手縮御手段一条書留日記〔家政逼迫ニ付、立て直し手段〕 天保九年一〇月七日〜二月二二日 半 一冊 あ二四七

嘉右衛門口上書〔家事改革始末方之儀ニ付〕 惣之進・孝助宛 (天保一〇年) 四月 横長半 二冊 あ三七七

嘉右衛門口上書写〔家内飲酒禁止ニ付〕 孫兵衛宛 四月二〇日 横長美 一冊 あ三七〇

内々申渡書〔取調の項目〕 横長半 一冊 あ三七四

身上向取調ニ付箇條書調下案 横長美 四冊 あ三七元

勝手向取締方書取下案 横長美大 一冊 あ五七

取締方手段見込下案帳〔家内取締方、茶之間番勤方、作大將勤方、取次小供勤方、食事之事、御土蔵取締方〕 横長半 一冊 あ二六三

役代調印規定

※調印規定帳〔御役代印形の調印に関する規定および調印した書付の書留〕 天保九年一〇月〔天保九年一〇月二六日〕同一〇年八月一日 半 あ五七

帳簿口立規定

口立覚〔帳簿記入の項目立〕 横長半 一冊 あ二七三

店人別規定〔奉公人規定〕

店人別規定帳 美大 一冊 あ一三五

人別改

切支丹宗門御改帳〔外田町孫左衛門長屋小兵衛家〕 享保一九年九月 美 一冊 あ七四

宗門御改五人組差出帳控〔八田鉄次郎家、久左衛門役代儀左衛門家、八田鉄次郎役代伝兵衛家、嘉右衛門役代清七家、八田鉄次郎役代又左衛門家、広田大夫他家守新右衛門家、嘉右衛門家〕 宝暦六年七月 半 一冊 あ七五

宗門御改五人組差出帳〔久左衛門役代儀左衛門家、八田鉄次郎役代伝兵衛家、宇右衛門家、八田鉄治郎家〕 宝暦六年七月 半 一冊 あ七六

宗門御改五人組差出帳〔嘉右衛門役代清七家、八田鉄治郎役代又左衛門家、広田大夫他家守新右衛門家〕 宝暦六年七月 半 一冊 あ七七

宗門御改人別差出帳（久左衛門役代儀左衛門家、八田鉄次郎役代伝兵衛家、八田鉄次郎家） 宝曆六年七月 美大 一冊 あ七六

（宗門御改人別差出帳控）（嘉右衛門役代清七家、八田鉄次郎役代又左衛門家、広田大夫他家守新右衛門家 嘉右衛門家） 宝曆六年七月 半 一冊 あ七五

（八田鉄次郎・木町嘉右衛門家人別書上控）（家族の他役代・手代・下人の名前も記す） 名主清十郎・中沢半次郎・増田宗右衛門 町奉行宛 宝曆六年九月 半 一冊 あ三〇

（宗門御改人別差出帳控）（久左衛門役代儀左衛門家、八田鉄次郎役代伝兵衛家、宇右衛門家、八田鉄次郎家） 宝曆六年七月 半 一冊 あ七〇

人詰帳并家業書差出帳控（八田家の家族および奉公人の人詰帳） 宇右衛門役代庄八、八田孫左衛門役代伝兵衛、久左衛門役代嘉七 宝曆一〇年二月 横長半 一冊 あ二七七

人詰御改指出帳下書（八田孫左衛門家） 八田孫左衛門 宝曆一三年二月 美 一冊 あ七一

宗門御改差出帳控（八田孫左衛門家） 八田孫左衛門 宝曆一三年八月 美 一冊 あ七二

切支丹宗門御改帳下書（外田町孫左衛門役代幸七家） 幸七（浄真寺奥書） 鹿野茂手喜・鈴木弥惣左衛門宛 明和元年九月 美 一冊 あ七三

（宗門御改差出帳下書）（外田町八田孫左衛門長屋藤七家） 藤七（浄真寺奥書） 大日方佐五右衛門・鹿野茂手木宛 明和元年九月 美 一冊 あ七四

人詰御差出帳控（八田孫左衛門家人人数書上） 八田孫左衛門 安永三年七月 半 一冊 あ二九

奉公人・別家・日傭

○奉公人

人抱帳 八田孫左衛門 天明四年二月〜天保七年 美大 一冊 あ七一

年季奉公人抱帳 天保七年二月改 美 一冊 あ五八

亥年取計調下帳（奉公人の数について） 横長半 一冊 あ四六

食事方引訳手段（御茶の間での食事の際の奉公人席順規定）〈表紙欠〉（天保七年）一二月 横長美 一冊 あ二九

天保八酉年奉公人御給金取斗渡帳 天保九年三月 横長半 一冊 あ二七〇

去戌年奉公人男女御給金渡元帳 天保一〇年正月 横長半 一冊 あ七三

（酒店奉公人多七・和作不正ニ付宿下ヶ跡始末取調帳） 天保一〇年正月調 横長美 一冊 あ二〇

励商録（奉公人ごとの売上金額と褒賞金を記す） 明治五年 横長美 一冊 あ二四六

励商録 明治九年 横長美 一冊 あ二四九

商褒調帳（励商録と同） 明治一〇年 横長美 一冊 あ二四六

○別家

別家堀内半右衛門口上願書（暮向逼迫・商売掛損出来ニ付、取統方御内談願上） 本家八田嘉右衛門宛 文化一二年一〇月 横長美 一冊 あ五

八田家奉公人亡数右衛門息子親類一同託証文
写（良性院よりの助成金をめぐって、主家八田嘉右衛
門役代伝兵衛を相手どり訴訟沙汰に及んだことを託
びる） 良性院宛 （天保以降）

半 一冊 あ 三三

※数右衛門奉公中勤方之儀御尋ニ付答書之写并
材木一條ニ為遣置候節不始末之託書之写 源
吾・数右衛門 天保二年一月

半 一冊 あ 三六

○日 備

諸職人日備之覚（職人ごとに備い月日と仕事内容
を記す） 明治二年

横美半折 一冊 あ三七

（日雇人日数并賃銀覚帳）

横長半 一冊 あ三九

土地経営

持 地

東条
荒町田畑名所付書記帳 明和六年三月改

横美半折 一冊 あ三八

名所御高付田畑山小作入元帳 文化十一年三月
改

横長美大 一冊 あ五九

名所高付小作帳 文政四年九月改

横長美 一冊 あ三九

荒町田御屋敷田畑坪数改元帳 六右衛門
文政四年一〇月改

横長半 一冊 あ二九

御持地御高小作入元帳 役代伝兵衛 文政四年
一〇月改

横長美 一冊 あ五八

田畑町外并屋敷取調帳（家賃・小作入上廻取調）
天保二年一二月改

横長半 一冊 あ六九

東寺尾村御高辻之内田畑明細帳 伊勢町伝兵
衛改 天保七年三月改

半 一冊 あ四三

町外抱屋敷家賃并屋敷添田畑小作入上明細帳

横長美 一冊 あ六一

持地田畑山林高名所付并小作入上明細帳

横長美大 一冊 あ六二

（田畑・屋敷名所付并高・小作入上廻取調帳）

横長半 一冊 あ六八

（田畑名所付并小作入上廻取調帳）

横長半 一冊 あ六五

（田地・山高取調覚）

横長半 一冊 あ六七

○

東寺尾村御水帳成写（安兵衛・四郎兵衛・新古・
伝之助・八田名請分書抜） 東寺尾村名主喜左衛門写
寛政一〇年三月写

半 一冊 あ六八

申之改水帳（関屋川古川鋪柴町方四つ屋江通下八
田孫左衛門役代伝兵衛持地改） 高橋伝治・中村辰右
衛門・大嶋条助 明和元年七月改

美 一冊 あ六九

荒町村明和六丑年御地改御水帳写（孫左衛門名
請分書抜） 荒町村名主新七・組頭金七写 安永七年
正月写

美 一冊 あ七〇

御持地村々御水帳書抜 役代伝兵衛 文政四年
一〇月改

一一冊 綴 あ六三

①清野村御高辻之内畑高調帳（八田名請分書
抜） 文政四年一〇月写

美 一冊

②西条村辰地押御改御水帳写（いせ町孫左衛
門名請分書抜） 西条村名主亦左衛門写 明和
九年一〇月改写

美 一冊

③荒町村明和六丑年御地改本新田写御水帳
（三七名請分書抜）

美 一冊

④平林村山高寛(伊三郎・清三郎・龍三院・忠助・万五郎名請分書抜) 平林村名主弥右衛門、組頭甚三郎、長百姓忠助 文政四年一〇改	半	一冊
⑤東條村明和六丑年地改本新田無役本田山高水帳(伊太夫・三右衛門・伝兵衛名請分書抜) 東條村南組名主文治郎写 文政四年一〇月写	半	一冊
⑥(東條村北組水帳書抜) (孫左衛門他名請分書抜)	半	一冊
⑦田中村丑地押改御本田御水帳控(代々持来り之分書抜) 田中村名主健左衛門写 文政元年一二月写	美	一冊
⑧田中村丑地押改御本田御水帳控(淨福寺に引請分書抜) 田中村名主健佐衛門写 文政元年一二月写	美	一冊
⑨東寺尾村御水帳写(五郎左衛門・安兵衛他名請分書抜) 文政四年一〇月写	半	一冊
⑩牧内村御高辻之内御持所之山畑御年貢合地相改書上寛 牧内村名主久左衛門 伊勢町伝兵衛宛 文政四年一〇月改	半	一冊
⑪東福寺村御高辻之内 無役本田御用地 御水帳写	半	一冊
○古川敷新田御用地ニ引揚		
古川敷新田御引揚地畑方半毛上納人別帳 和 横長半	一冊	あ一五三
古川敷新田御引揚地畑方半毛上納人別帳 和 横長半	一冊	あ一五三
古川式小作入人別帳 川船会所 文政五年一一月	横長半	一冊 あ一五二

古川式小作入人別調帳 川船会所 文政五年一二月	横長半	二冊 綴 あ一五〇
古川敷小作人別書抜帳	横長半	一冊 あ一五七
古川敷御年貢去未年と酉年追調帳 文政六年	横長半	一冊 あ一五四
古川式新田御用地斗指出之分内訳調帳 (堰式之分坪数改帳)	横長半	一冊 あ一五五
○		
喜助・忠七・数右衛門・和七連署判願書(上下屋敷を貸蔵にせぬよう願う) 伝兵衛宛 文政一一年七月	横長美	一冊 あ一六
(日記) (寺町一条長屋之件ニ付) (明治) 二月二五・二六日	横長美	一冊 あ一五五
持地・抱屋敷絵図		
新御安口御持地絵図面 役代伝兵衛 文政七年九月	55×85	一鋪 あ一五八
田町御抱屋敷絵図面 役代伝兵衛 文政八年五月	95×230	一鋪 あ一五四
抱屋敷肝煎用留		
(御用向書留) (表紙欠) 八田嘉右衛門抱屋敷肝煎 寛政二二年正月と天保八年三月	半	仮一冊 あ一五五
御用向書留 外田町八田嘉右衛門抱屋敷肝煎平作 天保八年三月と同一五年一〇月	半	一冊 あ一五六
御触写 の組八田慎蔵抱屋敷肝煎勝三郎 嘉永五年二月 安政六年五月	半	一冊 あ一五七

買取・質取

矢代村喜左衛門・田島坪之石高之帳 矢代村地主喜左衛門・肝煎一名・組頭四名 塩入三郎左衛門・塩入安兵衛宛 寛文六年二月	美大	一冊 あ一五五
東条村喜左衛門・田島坪之石高ノ帳 東条村地主喜左衛門・肝煎兵右衛門・組頭孫兵衛 宇野三兵衛・岡川佐太夫宛 寛文六年二月一九日	美	一冊 あ二八
田畑小作人覚帳（金子借用引当に指出） 淨福寺 宇佐美清右衛門・米倉新五右衛門宛 延享四年三月	美	一冊 あ一五六
田畑山買入覚帳 八田競 延享二年ノ宝曆九年	横長美	一冊 あ六〇
宝曆十二年清野村検地本田御水町写（「新馬喰町専助分」のみの書拔）	美	一冊 あ二七
土口村新右衛門御田地指引水入帳（田畑売渡のため作成提出） 土口村讓主新右衛門・世話人九名 八田嘉右衛門内中村金七宛 享和三年四月	横長半	一冊 あ六四
（新右衛門・勇八地所改覚） 伝兵衛代又次郎 立合嶺村吉兵衛、同有屋覚左衛門、新右衛門 文化七年四月改	横長半	一冊 あ六七
（新右衛門分地所取調覚）	横長半	一冊 あ六七
佐久郡小懸郡實地差引向并証文之留 伝兵衛 文化八年ノ文政九年	半	一冊 あ一四
（質流地証文并小作引請証文・反別明細帳書留帳） 文政二年ノ天保一〇年	横長大列	一冊 あ一五八
岩村田口入金証文留（内藤豊後守領分佐久郡野沢村・岩村田町の農民より松代町伝兵衛に宛てた質地証文・小作証文の書留） 文政九年二月	美	一冊 あ一三七

岩村田口入金差引留（質置人・小作人の名前と質代金・作徳入上初高を記す） 文政五年ノ同九年

流地証文並小作請証文写（岩村田領分の村々の農民より松代町伝兵衛に宛てた質流地証文・小作証文の写） 天保三年三月

佐久郡岩村田御領質流地引請以来小作入上初貸金請取調帳

流地引請届書写（「承届」の裏書あり） 松代町伝兵衛代和七・半兵衛 内藤豊後守岩村田役所宛 天保三年三月

岩村田法華堂持参田畑高付書拔帳（金子貸付引当のため）

※丑年分山買入并山木立売払調覚 弘化元年二月調（天保一二年ノ同一五年）

売 渡

田地讓渡二付取調帳 天保一二年正月改

田畑見廻

屋敷田畑見廻帳 文化五年三月

田畑見廻帳 伝兵衛

（田畑見廻帳）

所々田畑見分帳 源吾・宗弥・民右衛門 天保七年九月一九日

家賃・小作年貢取立

宝曆十二年壬午小作年貢帳（小作年貢取集帳） 八田孫左衛門

美 一冊 あ一四

半 一冊 あ一八

半 一冊 あ三四

美 一冊 あ一四

横長美 一冊 あ三五

横長半 一冊 あ六三

横長美 一冊 あ六八

美 一冊 あ七三

半 一冊 あ七三

美 一冊 あ六三

横長半 一冊 あ七五

横長半 一冊 あ六六

寶曆十三庚辰歲小作年貢帳	松城伊勢町八田孫左衛門	橫長美	一冊	あ六三	作德米代金請取通帳	松代町伝兵衛	岩村田町	橫美半折	一冊	あ一五〇
寶曆十三癸未小作年貢帳	八田孫左衛門	橫長半	一冊	あ六七	作德米代金請取通帳	松代町伝兵衛	上丸子村	橫美半折	一冊	あ一五二
(入上取立寛帳)	寛政四年〜文化三年	橫美列	一冊	あ二四	忠左衛門・同右衛門宛	天保二年二月				
小作年貢并店賃請取寛帳	〔表紙欠〕 八田茶之間 文化六年	橫長美大	一冊	あ三〇六	作德米代金請取通帳	松代町伝兵衛	野沢村甚	橫美半折	一冊	あ一五三
小作年貢請取帳	文化二二年九月	橫長美大	一冊	あ六四	作德米代金請取通帳	松代町伝兵衛	野沢村常	橫美半折	一冊	あ一五三
(小作年貢取集帳)	〔表紙欠〕 文化二二年	橫長美大	一冊	あ五四	兵衛宛	天保二年二月	野沢村永	橫美半折	一冊	あ一五四
小作年貢請取帳	文化二四年九月	橫長美	一冊	あ五五	作德米代金請取通帳	松代町伝兵衛	飯沼村喜	橫美半折	一冊	あ一五五
小作年貢請取帳	文政二年九月	橫長美	一冊	あ五六	太郎宛	天保二年二月				
小作年貢請取帳	文政三年九月	橫長美	一冊	あ五七	作德米代金請取通帳	松代町伝兵衛	中小田切	橫美半折	一冊	あ一五六
田中村御持地役代淨福寺様御内伝右衛門差引帳	(入上取請取差引勘定) 御役代伝兵衛 文政五年二月改(文政二年〜同四年)	橫長美	一冊	あ一六〇	村新田富右衛門外二四人衆中宛	天保二年二月				
小作年貢請取帳	文政五年九月	橫長美大	一冊	あ五九	作德米代金請取通帳	松代町伝兵衛	御嶽堂村	橫美半折	一冊	あ一五七
土口村御持地小作年貢請取元帳	役代伝兵衛 文政五、六年	橫半半折	一冊	あ一五七	作德米代金請取通帳	松代町伝兵衛	岩村田町	半	一冊	あ一五九
小作年貢請取帳	菊屋伝兵衛	橫長美大	一冊	あ六六	小作年貢取集帳	菊屋伝兵衛	天保三年一月	橫長美	一冊	あ五九三
御持地小作年貢調帳	与三郎	文政六年二月	一冊	あ五〇	小作年貢取集帳	天保四年一月		橫長美大	一冊	あ五九三
小作年貢請取帳	伊勢町伝兵衛	文政七年二月	一冊	あ六〇	家賃小作年貢取集帳	菊屋伝兵衛	天保五年二月	橫長美	一冊	あ六〇三
小作年貢請取帳	伊勢町伝兵衛	文政九年一〇月	一冊	あ五九	未年家賃小作年貢調帳	天保六年二月		橫長半	一冊	あ七六
(小作年貢取集辻取調帳)	文政九年二月	橫長半	一冊	あ一五七	家賃小作年貢取集帳	伊勢町伝兵衛	天保六年一月	橫長美	一冊	あ六〇一
小作年貢取集帳	菊屋伝兵衛	天保二年一〇月	一冊	あ五九						

古川鋪永小作人出金并滯人別取集帳	天保七年三月	橫長半	一冊 あ二五七	作徳取米調帳	伊勢町伝兵衛	天保一一年正月	美	一冊 あ一三六	
家賃小作年貢取集元帳	伊勢町伝兵衛	天保七年二月	橫長美	一冊 あ六四	子家賃田畑山年貢取立元帳	伊勢町伝兵衛	天保一一年二月	半	一冊 あ六二
家賃小作年貢取集帳	伊勢町伝兵衛	天保七年一月	橫長美	一冊 あ六三	家賃小作年貢取集帳	伊勢町伝兵衛	天保一二年二月	半	一冊 あ六三
家賃地代年貢取集上納帳	天保八年正月晦日	橫長半	一冊 あ七四	家賃小作年貢取集帳	伊勢町伝兵衛	天保一三年二月	半	一冊 あ六九	
家賃小作年貢取集帳	天保八年十一月	橫長美	一冊 あ六五	家賃小作年貢取集帳	伊勢町伝兵衛	天保一四年二月	半	一冊 あ六三	
町方町外村々御持地西家賃小作年貢滞之分人別帳	天保九年三月	橫長半	一冊 あ七七	家賃小作年貢取集帳	天保一五年二月	橫長美	一冊 あ七三		
町方町外村々御持地申家賃小作年貢滞取集請 弘人別帳	天保九年三月	橫長半	一冊 あ七八	弘化二巳年家賃小作方取集帳	橫長半	一冊 あ七〇			
町方町外村々御持地西家賃小作年貢取集并上納金請勘定帳	地方懸り源吾・良右衛門・宗弥 天保九年三月	橫長半	一冊 あ六五	家賃小作年貢請取帳	伊勢町伝兵衛	弘化三年一〇月	橫長美	一冊 あ七二	
町方町外御抱屋敷地年貢家賃金并村々御持地小作粗代其外品々請一紙帳	天保九年三月	橫長半	一冊 あ六七	家賃小作年貢請取帳	弘化四年二月	橫長美	一冊 あ七四		
戌家賃田畑山年貢取立元帳	伊勢町伝兵衛	天保九年二月	半	一冊 あ七五	家賃田山小作年貢取立并諸上納懸り入用差引取調帳	嘉永元年二月	橫長美	一冊 あ七五	
小作年貢取集帳	伊勢町伝兵衛	天保九年二月	半	一冊 あ六七	家賃田山小作年貢取立并諸上納懸り入用差引取調帳	嘉永二年正月	橫長半	一冊 あ七三	
家賃小作滞取調帳	菊屋伝兵衛	天保九年二月	橫長半	一冊 あ六八	子年中家賃小作年貢請取書上帳	嘉永六月正月	橫長半	一冊 あ六〇	
西條村御高辻之内新御安口地賃年貢滯人別帳	天保一〇年正月	橫長半	一冊 あ七二	家賃小作年貢請取帳	嘉永六年二月	橫長美	一冊 あ七六		
町方町外村々御持地申西家賃小作年貢滞取集帳	天保一〇年三月	橫長半	一冊 あ七九	寅年中家賃小作年貢取揚金之内地方上納并諸掛り物諸払御書上帳	(嘉永七年)	橫長半	一冊 あ三八		
亥家賃田畑山年貢取立元帳	天保一〇年十二月	半	一冊 あ六〇	家賃小作年貢帳	安政五年二月	橫長美	一冊 あ七八		
				家賃小作年貢帳	天久元年二月	橫長美	一冊 あ七七		

家賃小作年貢帳 明治三年正月 (米入高寛)(小作米の入高カ) 明治三十八年度〜同四一年度	横長美	一冊 あ 七九
丑年家賃小作方品々取集調書帳 寅三月	横長半	一綴 あ 四九
(小作年貢并店賃請取寛帳) <前欠> 菊屋伝兵衛	横長美	一冊 あ 三〇四
(家賃・小作年貢取立寛)	横長半 横長美	四冊 四通 一綴 あ 六九
寅年小作家賃滞書寛	横長半	仮一冊 あ 六四
小作年貢米滞納出入		
○岩村田一件		
岩村田出帳ニ付小遣寛 文政五年四月	横長大 半折	一冊 あ 一五
岩村田出張取計控 文政五年四月	横長半折	一冊 あ 一五
岩村田出張万掛合留 学道 文政五年二月	横長半折	一冊 あ 一六
小遣寛日記 笠井和七 文政五年二月	横長半折	一冊 あ 一六
岩村田出張ニ付諸向差引調元帳 文政七年一月	横長半	一冊 あ 一三
岩村田出張関係帳簿		六冊 あ 三三 一綴
①岩村田江出張之節入用帳 寅(文政一三年)四月一四日〜八月二三日	横長半	仮一冊
②飯山行入用帳 八月五日〜極月一九日	横長半	仮一冊
③御預り寛(岩村田取立金、飯山無尽金、飯山より受取金、岩村田作徳金)	横長美	仮一冊
④(飯山入用寛)	横長半	仮一冊
⑤岩村田取極ニ付入用寛并飯山入用寛	横長半	仮一冊
⑥(飯山一件雜入用帳) 平兵衛 文政一三年一〇月	横長美	仮一冊
寅五月十日從岩村田太井氏出ニ付書取 (文政一三年)五月二二日	美	仮一冊 あ 六九
岩村田掛合入用取調帳 天保三年	横長半	仮一冊 あ 三七五
岩村田御出張ニ付認取 午(天保五年)四月	横長美	一冊 あ 二四九
飯山出入一件入用并岩村田作徳滞取立入用調帳 天保六年二月	横長美大	一冊 あ 三七六
飯山江罷越候節雜用帳 出向源吾 天保六年二月二日〜二六日	横長半	一冊 あ 一六五
佐久郡田野口村出訴諸雜用寛帳 出張人宗弥・平兵衛・良右衛門 天保七年四月一五日〜五月五日	横長半	一通 あ 二七〇
田野口一件再訴御願之節諸払寛帳 八田嘉右衛門内成野宗弥・有賀平兵衛・高井良右衛門 天保七年七月四日〜八月朔日	横長半	一通 あ 二六八
岩村田称津 飯山町柳沢善光寺出向諸雜用帳 八田嘉右衛門内高井良右衛門 天保七年二月、二月	横長半	一冊 あ 二六七
佐久郡称津出向雜用遣払張 八田嘉右衛門内平兵衛・良右衛門 天保八年二月一九日〜三月四日	横長半	一冊 あ 二六五
称津村出向之節雜用払方帳 平兵衛・良右衛門 天保八年六月一七日〜二六日	横長半	一冊 あ 二六四

岩村田町祢津村出向之節諸雜用帳 門・良右衛門 天保九年正月九日～二二日	權左衛門 横長半	一冊 あ 三三
岩村田祢津出向之節雜用覚帳 良右衛門 天保九年五月二九日～六月二二日	横長半	一冊 あ 三六
飯山表并善光寺出向之節雜用覚帳 八田嘉右衛門内平兵衛・良右衛門 天保八年三月一日～一五日	横長半	一冊 あ 三六
飯山表江出向諸雜用遣払覚帳 天保八年十一月二四日～二九日	横長半	一冊 あ 三七
懸合日記(貸金返済・小作糶納入懸合、他諸訴願) 高布控 天保七年六月一九日～二二日 二〇日	美大	一冊 あ 四九
平兵衛・良衛門差上書写(岩村田領分懸り合村々作德滞納一件ニ付) 旦那様宛 天保九年正月二五日	横長半	一綴 あ 三六
岩村田作德米滞出入一件関係文書	四冊他 一綴 あ 三八	
① 岩村田作德一條日記 代沖八・栄八・平兵衛 天保一〇年一〇月一四日～二二日 二五日	半	一冊
② 訴状下書		一通
③ 佐久郡塚原村取計人差出一札写 沖八・栄八宛 天保一一年二月一八日		一通
④ 沖八・栄八申上書下書 留主居役所宛 天保一二年二月一八日		一通
⑤ (日記) <断簡> 天保一二年二月一、二二日		二丁
⑥ 佐久郡岩村田作德滞懸合第式番日記 天保一〇年一二月五日～二〇日	半	一冊

⑦ 松代町伝兵衛代沖八・栄八訴状下案 寺社奉行所宛	半	一冊
⑧ 松代町百姓伝兵衛代同人弟沖八訴状控 寺社奉行所宛 天保一二年二月	半	一冊
岩村田一件ニ付出張諸入用取調帳	五冊一綴 あ 三六	
① 岩村田江初度懸合候出張并出府雜用取調帳 老番 天保一〇年一〇月一四日～二二日 二六日	横長半	一冊
② 江府江罷越御判物頂戴并源助江懸合等諸入用取調帳 式番 天保一一年正月六日 ～四月三日	横長半	一冊
③ 天保十一年五月出府より七月帰国并七月再出府より十二月帰着諸雜用取調帳 三番	横長半	一冊
④ 天保十二年中之條村与惣左衛門立入噺ニ付懸合并四度出府諸入用事濟口御届之雜用取調帳 四番	横長半	一冊
⑤ 亥十一月岩村田初度懸合より丑十月濟口込請取金之内仕松惣指引勘定帳 五番 天保一〇年一二月一四日～同二二年一〇月一四日	横長半	一冊
道中日記帳并出府ニ付出向之面々心得内々書取之覚 八田嘉右衛門内花井沖八 天保一二年正月二二日～二九日	横長半	二冊 一綴 あ 三五
佐久郡岩村田町外六カ村江相掛り候一件出府中日記 松代町伝兵衛代沖八 (天保一一年二月朔日～二〇日)	横長半	一冊 あ 三五
岩村田一件在府中日記 花井沖八 天保一一年二月二二日～三〇日	横長半	二冊 一綴 あ 三五

青山様御月番二月廿九日御差出御訴訟日記
天保二年二月二十九日〜三月一九日 横長半 一冊 あ 二五

御尊判順村拝見請取渡掛合控 天保二年三月二一日〜四月二日 横長半 一冊 あ 二五

佐久郡小縣衆中出張懸合日記 天保二年四月二二日〜二〇日 横長半 一冊 あ 二五

佐久郡岩村田一件日記 天保二年六月一〇日〜二九日 横長半 一冊 あ 二五

在府中日記 天保二年八月一日〜九月一五日 横長半 一冊 あ 二五

佐久郡岩村田一件在府中日記 花井 (天保一年九月一六日〜一〇月一〇日) 横長半 一冊 あ 二五

佐久郡岩村田一件日記并作徳米取調帳 花井 沖八 天保一年一〇月一日〜一二月朔日、子(天保一年)一〇月 横長半 二冊 あ 二五

(岩村田作徳出入一件諸願書・届書書留帳)
松代町百姓伝兵衛代同人弟沖八 留守居役所・寺社奉行所宛 天保一年八月二三日〜一月一六日 横長半 一冊 あ 二五

松代町伝兵衛召仕平兵衛願書写(岩村田領分村々作徳米代金滞り二付、残らず相済ますよう仰せ付けられたき旨を願う) 寺社奉行所宛 天保二年正月 横長半 一冊 あ 二五

岩村田一件日記留(作徳米代金上納滞り出入一件の諸書類書留) 伝兵衛 天保二年 横長半 一冊 あ 二五

(岩村田一件記録断簡) 横長半 一綴 あ 二五

(岩村田一件記録断簡) 横長半 六丁 あ 二五

福嶋村御払買入元方懸り合惣代浦野甚左衛門願書写(村方米不納にて迷惑二付) 横長半 一冊 あ 二五

小作方日記

小作方万控日記 角喜茶之間 天保二年〜同五年 横長美 一冊 あ 二五

年貢諸役上納

(年貢役金上納覚帳) 文政七年〜天保三年 横美列 一冊 あ 二五

(御年貢上納覚帳)(各村・町名主より役代伝兵衛宛(諸役上納覚帳) 伊勢町伝兵衛 天保九年〜嘉永二年 横美列 一冊 あ 二五

手作年貢調元帳 天保八年二月 横長半 一冊 あ 二五

(年貢諸役上納覚帳) 前後欠、虫損甚だし 横美大列 一冊 あ 二五

米・桑売渡

桑代金上納書上帳 桑方 文政二年一〇月二七日 横長半 一冊 あ 二五

桑切出諸色御書上帳(桑代金から諸入用を差し引き) 文政四年一〇月三日 横長半 一通 あ 二五

御家中融通米代金請取元帳 八田嘉右衛門 天保七年一〇月 横長半 一綴 あ 二五

材 木 方

材木方諸帳面仕立方覚(御借入金通帳・返上金通帳・金銭出入帳・材木方金銭請払元帳・材木請払元帳の仕立方雛形)	横長半	一冊 あ 三〇六
御材木御通帳 日野屋吉右衛門 菊屋伝兵衛宛 文化二年七月〜九月	横美半折	一冊 あ 一五五
諸木通帳 木屋佐七 菊屋伝兵衛宛 文化二年九月	横長半	一冊 あ 一五三
屋ね板請取通帳 菊屋伝兵衛 新田丁佐吉宛 文化二年四月〜八月	横美大半折	一冊 あ 一五六
材木月々金銀払方日記 文政一三年正月〜天保三年四月	横長半	一冊 あ 三二五
材木方貸渡金指引手元取調帳 文政二年二月〜天保三年四月晦日	横長美	一冊 あ 三二
材木方貸出金元利調帳(茶之間より拝借) 文政一三年二月改(文政二年一〇月〜同一年一月)	横長半	一冊 あ 三〇九
材木方貸出金元利取調元帳 天保元年二月改(文政二年一〇月〜天保元年二月)	横長半	一冊 あ 三〇二
材木方貸出金元利調帳 天保元年二月改(文政二年一〇月〜天保元年二月)	横長半	一冊 あ 三〇六
材木方貸出金元利取調元帳 天保二年二月改(天保二年正月〜二月)	横長半	一冊 あ 三〇三
材木方当卯貸出金元利調帳 天保二年二月改(天保二年正月〜二月)	横長半	一冊 あ 三〇九

材木方去寅貸出金之内入金調帳 天保二年二月改(天保元年二月〜同一年二月)	横長半	一冊 あ 三〇
材木方貸出金元利取調元帳 天保三年四月改(天保三年一月〜四月)	横長半	一冊 あ 三〇三
金銭請払差引覚(借入金・材木売捌代金から諸入料支払を差引勘定) 辰(天保三年)七月改(丑(文政一二年)一〇月〜辰(天保三年)四月)	横長半	仮一冊 あ 三〇五
材木方貸出金并返納金差引一紙 天保三年七月改(文政二年二月〜天保三年四月)	横長半	一冊 あ 三〇四
材木諸勘定目録御書上調帳(拝借金元利から返納分を差引勘定) 天保元年〜同三年四月	横長半	一冊 あ 三〇四
材木方金銀指引元帳(貸金元利より返済請取分指引) 八田知則 天保三年五月改	横長半	一通 あ 二九五
諏方宮御蔵表御材木入用帳 申(天保七年)四月	横長美	一冊 あ 三〇七
材木買入切払差引調元帳(材木買入金とその支払分の差引勘定) 天保七年	横長美	一冊 あ 三二三
材木品と切払調元帳(諸々抱屋敷・住居手入普請入料 諏訪宮御救粥普請入料) 天保七年	横長美	一冊 あ 三二三
材木御通帳 菊屋音吉 菊屋伝兵衛宛 天保九年四月〜五月	横美半折	一冊 あ 一五六七
※数右衛門奉公中勤方之儀御尋ニ付御答書之写并材木一條ニ為遣置候節不始末之詫書之写 源吾・数右衛門 天保一一年一月	半	一冊 あ 三〇六
※丑年〆山買入并山木立売払調覚 弘化元年二月改(天保一二年〜同一年)	横長半	一冊 あ 六三
午二月廿日下土場材木調帳	横長半	一冊 あ 二九七
御茶之間材木売上覚 横町店 未七月	横長半	一冊 あ 二九八

寅材木売捌方御書上并材木諸入用懸耆棚代金
積御書上下案

横長半

一冊 あ 二九六

丑十月辰四月迄御借用金之内寅年材木入用
ニ相掛り候金高ノ出并利盛帳 丑一〇月辰三
月

横長半

一冊 あ 二九六

材木代滞調帳

横長半

一冊 あ 三〇〇

通 船 方

天保七申年諸雜用取調帳 船方宗弥 天保八年
二月改

横長美

一冊 あ 三三三

申年通船方御勘定帳 天保八年二月改

横長美

一冊 あ 一四七

戌年中船方雜用取調帳 船方 天保一〇年二月
改

横長美

一冊 あ 一四七

戌年中川船運送取調御勘定帳 通船方和七・宗
弥 天保一〇年二月改

横長美

一冊 あ 一四七

金 融

借入金・預り金

(預金調元帳) 寛政二二年ノ文政一〇年

横美大

一冊 あ 三五六

預金調元帳(前後欠) 寛政ノ文化一四年

横美半折

一冊 あ 三五六

(預金調元帳) 文政元年ノ同六月

横美大

一冊 あ 三五六

金銀差引帳(前後欠) 文政三年

横美列

一冊 あ 三五四

金銭改書立控帳(諸方ノ預り金覚) 知義 文政七
年五月一七日

横長半

一冊 あ 六四七

御操廻預金当座控帳(御勘定所より八百両「御預
操廻」を仰せ付けた件についての願書・中借証文等の
写控) 八田嘉右衛門 文政一一年一二月

美

一冊 あ 一三五

※拝借金通帳 八田鉄之助 (糸会所)宛 文政一三
年二月一二月

横美半折

一冊 あ 二五〇四

※従糸会社拝借金通帳・拝借金通帳 八田喜助
文政一三年一二月ノ天保二年七月

横美半折

二冊 あ 二五〇六

※拝借金通帳 八田喜助 (糸会社)宛 天保三年二
月

横美半折

一冊 あ 二五〇七

※糸方ノ借用之分調覚

横長美

一冊 綴 あ 二四八七

(借入金取調覚帳) 天保二年正月改

横半半折

一冊 あ 六五五

諸向預金調元帳 天保七年正月改

横長美大

一冊 あ 一四三八

(拝借金返上差引覚帳) 天保一一年

横長美大

一冊 あ 一四五五

天保一四年卯元預り金借入金調帳

横長半

一冊 あ 六四九

拝借并他借元帳 嘉永五年春改

横長美

一冊 あ 六六一

御礼金上納并利足払差引帳 申ノ酉(嘉永元年
ノ同一年カ)

横長半

一冊 あ 二六六八

(借用金取調覚)

横長半

一冊 あ 六七一

(借用金取調覚)

横長美

一冊 あ 六六二

諸方借金并差引残り預り調帳

横長半

一冊 あ 九二〇

(預り金・借入金返済差引覚帳)

横長半

一冊 あ 六七〇

借り金片付方覚

貸付金

金銭請取通帳(木町の本家八田家が分家の伊勢町八田家より金子借用) 木町内方 伊勢町内方宛 安永八年二月、天明四年二月	横長美	一冊	あ三六八
伊勢町名主并御祭礼世話人衆江取替金証文切手類(八田宛金子借用証文等の写) 寛政八年六月、文化六年七月、同九年二月、文政六年六月	横長半	一冊	あ四四
御預金調一紙 小林小助 嘉右衛門宛 文化六年二月	横長半	一冊	あ九
御中借請取通帳 世話人 八田嘉右衛門内宛 文化九年五月、一〇月	横長大半	一冊	あ二四
(長岡銀右衛門世話取斗貸金取立勘定帳) 長岡銀右衛門 八田嘉右衛門宛 文化元年	横長半	一冊	あ二四
(口合金当丑之利足小作入上糶代金并年賦丑割合指出一紙) 長岡銀右衛門 文化二年十一月	横長半	一冊	あ三三
御口合金村付一紙 長岡銀右衛門 文化四年二月	横長半	一冊	あ三三
貸出金卯元一紙(元利金調) 長岡銀右衛門(文化四年)	横長半	一冊	あ三三
八田嘉右衛門殿分御口合金卯差出一紙 長岡助右衛門 八田嘉右衛門宛 文化四年二月	横長半	一冊	あ三三
御口合金差出一紙 長岡助右衛門 八田嘉右衛門宛 文化五年二月	横長半	一冊	あ三三
八田嘉右衛門殿分御口合金并小作取立請一紙 長岡助右衛門 八田嘉右衛門宛 文化一四年二月	横長半	一冊	あ三三

(借入金請取証文) 関田庄助、加判関田利左衛門 八田嘉右衛門宛 文化一二年二月	横長美	一冊	あ三六八
(無尽私加入分御引請ニ付差出明細帳) 関田庄助 八田嘉右衛門宛 文化一二年二月	横長半	一冊	あ三六八
御口入金御借入金子元金調帳 関田庄助 八田嘉右衛門宛 子(文化一三年)四月	横長半	一冊	あ三三
(御口入金并去年中御引請分元利金高取調帳) 関田庄助 八田嘉右衛門宛 文化一三年一月	横長半	一冊	あ三六六
御借用金片付方御差引帳 関田庄助、加判関田利左衛門 八田嘉右衛門宛 文化一三年一月	横長半	一冊	あ三五一
(御借入金返済差引帳) 関田庄助 八田嘉右衛門宛 文化一三年一月	横長半	一冊	あ三五七
御口入金御引渡申候分丑元金并滞金調帳 関田庄助 文化一四年二月	横長半	一冊	あ三五三
御預ケ申証文元帳(無尽金御渡被下ニ付為引当証文御預ケ置) 関田庄助、親類窪田小右衛門 八田嘉右衛門宛 文化一四年三月	横長半	一冊	あ三五五
御預ケ金請取方仕訳通帳 関田庄助 八田嘉右衛門宛 文化一四年三月	横長半	一冊	あ三五四
(関田庄助御家中無尽等不差引ニ付諸元帳取調覽) 八田嘉右衛門	横長半	一冊	あ三六七
文政元寅暮貸付之分辰暮元利取立元帳 文政三年二月	横長美	一冊	あ三七〇
文政元寅暮貸付之分巳元利取立元帳 文政四年二月	横長半	一冊	あ三七二
文政元寅暮貸付之分午元利取立元帳 文政五年二月	横長美	一冊	あ三七三

<p>(金錢貸出控帳)〈前後欠〉 文政八年〜同九年 横美大半折</p> <p>別証文御貸付覚 文政一三年正月改 横長美</p> <p>金銀利分請取覚帳 文政一三年正月四日〜二月二日 横半半折</p> <p>八田嘉右衛門殿分文政十一子御口合金取立差出一紙 長岡助右衛門 八田嘉右衛門宛 文政一一年十二月 横長美</p> <p>文政十二丑御口合金取立差出一紙 長岡助右衛門 八田嘉右衛門宛 文政一二年二月 横長半</p> <p>天保二卯御口合金取立差出一紙 長岡助右衛門 八田嘉右衛門宛 天保二年二月 横長半</p> <p>天保三辰御口合金取立差出一紙 長岡助右衛門 八田嘉右衛門宛 天保四年正月 横長半</p> <p>天保四巳御口合金取立差出一紙 長岡助右衛門 八田嘉助宛 天保五年正月 横長半</p> <p>八田慶助口入之分貸出金覚帳 八田知則 天保三年改 横美半折</p> <p>貸出金元帳 天保三年改 横美半折</p> <p>天保三辰年正月より七月迄貸出金調下帳へ表紙欠 横長半</p> <p>貸出金元利取立帳 八田嘉助 天保三年一二月 横長美</p> <p>貸出金并年賦金取調帳 天保四年二月改(享和元年〜天保三年) 横長半</p> <p>御通帳(金子拝借) 信州松代増田店 伊勢町茶之間 天保四年二月〜三月 横美大半折</p>	<p>一冊 あ三七〇</p> <p>一冊 あ六六</p> <p>一冊 あ六六</p> <p>一冊 あ三五六</p> <p>一冊 あ三五九</p> <p>一冊 あ三五〇</p> <p>一冊 あ二五六</p> <p>一冊 あ二五六</p> <p>一冊 あ二五六</p> <p>一冊 あ二五七</p> <p>一冊 あ二五八</p> <p>一冊 あ二〇九</p> <p>一冊 あ九二〇</p> <p>一冊 あ九二</p> <p>一冊 あ二〇八</p>
<p>末年迄諸口貸出金調元帳 天保七年正月改(享和元年〜天保六年) 横長美</p> <p>貸出金口訳調帳 (文化八年〜天保七年) 横長半</p> <p>貸出金年賦金調元帳 (文化八年〜天保九年) 横長美大</p> <p>貸出金指引口訳帳 天保九年 横長美</p> <p>御貸出金年賦金利足金取立帳 天保九年正月 横長半</p> <p>從申歳貸出金元帳 天保七年〜同一〇年 横長美</p> <p>村々所々江貸出金調元帳 天保一〇年二月改 横長半</p> <p>貸出金調帳 天保一二年正月改 横長美</p> <p>御借用金証文 借用人増田徳左衛門、同孫兵衛、加判小八、弥吉 八田嘉右衛門役人衆中宛 天保一三年正月 美</p> <p>年賦金請取調帳 嘉永二年正月 横長半</p> <p>御預り金通帳 水井忠藏 八田嘉助宛 天保一五年〜嘉永二年 横美半折</p> <p>御預金通帳(八田が口入か、八田知道宛中俣の書状添付) 水井忠藏 中俣一平宛 安政六年〜明治八年 横美半折</p> <p>應寶恵帳(沼田屋九兵衛拝借金通帳) 横美列</p> <p>(金子貸渡覚帳) 四月〜一二月 横長半</p> <p>已年改惣貸方御書上帳 横長半</p> <p>銭かし高覚帳 横長半</p> <p>(銀貸付覚)〈折紙〉 飯一通</p> <p>(貸出金年賦金取調帳) 横長半</p>	<p>一冊 あ九二四</p> <p>一冊 あ九二九</p> <p>一冊 あ九二一</p> <p>一冊 あ九二六</p> <p>一冊 あ二五九</p> <p>一冊 あ九二三</p> <p>一冊 あ六五四</p> <p>一冊 あ九二七</p> <p>飯一冊 あ四四四</p> <p>一冊 あ二五九</p> <p>一冊 あ二五三</p> <p>一冊 あ一五三</p> <p>一冊 あ一五三</p> <p>一冊 あ三四六</p> <p>一冊 あ四九</p> <p>一冊 あ九二一</p> <p>飯一冊 あ二六三</p> <p>一通 あ三九九</p> <p>一冊 あ九二四</p>

已貸出金預金調帳

横長半 一冊 あ 九三

(貸金年賦返済請取覚帳)〈断簡〉

横美列 一帖 あ三六八

(貸出金取立覚帳)

横長半 一冊 あ 九三

(貸金取立覚帳) 寅二月一日改

横長半 一冊 あ二四三

貸方之内金損金ニ罷成候分御書上帳

横長半 一冊 あ 九八

○

金銀差引帳(貸金元利返済差引) 安永五年〜天明四年

横美大列 一冊 あ三五三

金銀出入帳(貸付・返済)(前欠) 八田孫左衛門 寛政六年〜同七年

横美大列 一冊 あ三四七

金銀出入帳〈断簡〉 寛政六年

横美列 一帖 あ三九四

金銀出入帳 八田孫左衛門 寛政一〇年〜同一三年

横美大列 一冊 あ三五〇

御差引当座控 寛政一一年二月

横半半折 一冊 あ 二九

金銀差引帳 文化六年

横美大列 一冊 あ三五五

金銀差引帳〈表紙欠〉 文化八年

横美列 一冊 あ三五五

金銀差引帳 文化九年

横美列 一冊 あ三三三

金銀差引帳 文化一〇年

横美大列 一冊 あ三六四

金銀差引帳〈前後欠、虫損甚だし〉 文化一二年

横美大列 一冊 あ三三三

金銀差引帳 文化一二年

横美大列 一冊 あ三六一

金銀差引帳 文化一三年

横美列 一冊 あ三三六

金銀出入帳 八田嘉右衛門内栄治 文化

横美大列 一冊 あ三九一

(金銭差引帳) 文化・文政

横美列 一冊 あ三七三

金銭差引帳〈前後欠〉 文化・文政

横美列 一冊 あ三四四

(金銀出入帳)〈断簡〉 文政

横美列 三帖 あ三六九

金銀貸出差引帳 八田知則 天保二月

横半半折 一冊 あ二五六

貸出金差引帳 八田知則 天保三年

横美半 一冊 あ 六七

金銀入出指引帳 八田知則 弘化二年一〇月

横長美 一冊 あ二九六

(金銭差引帳)〈断簡〉

横半半 数丁 あ三八三

(金銭出入帳)〈断簡〉

横切半列 数丁 あ三四五

子暮請払覚帳(庄助口入分差引) 庄助 嘉右衛門 宛 丑正月

横長半 一冊 あ二八七

○岩村田・飯山江口入金

岩村田江口入金証文并御仕送規定書等之写
(内藤豊後守が領内村々よりの物成初を引当に金子借用) 内藤豊後守内後閑寛吉以下六名 真田弾正大弼様御内八田嘉右衛門宛 文化一三年二月

美 一冊 あ二〇八

岩村田御仕送一件書類写(内藤豊後守金子借用一件ニ付、借子証文および返済規定書等を写し控えたもの) 内藤豊後守家中、領分村々各名主・組頭・百姓代 真田弾正大弼様御内八田嘉右衛門宛 文化一三年二月、同年五月

美 一冊 あ二二

規定紙面写(諸金子借用証文および返済規定書写) 佐久郡野沢宿並木晋右衛門・同郡岩村田宿渡辺民部、岩村田家中後閑彦三・望月左太夫 八田嘉左衛門、和合院、笠井和七宛 文政元年二月、同二年正月

半 一冊 あ二〇九

当巳四年幕方引取大積〔物成を引当に借用したため、岩村田家中田中小十郎が八田に持参した物成米収支の明細帳〕 文政四年正月

美 一冊 あ二三

岩村田其外上郷筋差引控帳〔貸金元利・返済分差引勘定〕〔関連文書一通挿入〕 知義 文政二年正月

横長美 一冊 あ三七九

佐久郡岩村田懸り合差引留帳 文政六年十一月

横長美 一冊 あ三六〇

岩村田指引覚 子一寅

横長美 一冊 あ三六一

飯山表江口入金証文写〔本多豊後守が領内村々より物成穀を引当に金子借用・豊後守家来差出の証文一通、郷証文三通の写し控〕本多豊後守家中、水内郡石村・浅野村・芋川村各役人、水内郡倉井村・永江村各役人、水内郡蓮村・静間村各役人 信州松代八田嘉右衛門宛 文政三年十二月

美 一冊 あ二〇七

飯山口入金差引留〔飯山御領分静間村・蓮村百姓への質地貸金額と作徳入上米高を記す〕 文政七年十一月

美 一冊 あ二七三

上納金并御下金差引其外飯山岩村田江拘請払金諸入用留 天保三年閏三月〔文政九年〕天保二年

美 一冊 あ一三九

○貸金引当年貢

小諸御年貢名寄帳 安永七年一〇月

横長半 一冊 あ二五八

小諸御年貢名寄帳 寛政元年一〇月

横長半 一冊 あ二五九

小諸御年貢名寄帳 文化三年一〇月

横長半 一冊 あ二六〇

小諸御年貢名寄帳 文化四年十一月

横長半 一冊 あ二六一

山越市之丞様卯御年貢御小役御目錄覚帳 三輪村御藏本弥惣治 山越市之丞宛 文化四年二月

横長半 一冊 あ二六三

○貸金出入

松代町伝兵衛代沖八訴状下書〔内藤右近領分佐久郡上塚原村政五郎貸金返済滞り二付、皆済を仰せ付けられるよう訴う〕 寺社奉行宛 天保一二年正月

半 仮一冊 あ三八三

○貸借

〔金子貸借覚帳〕〔貸金から借入金を差引〕

横長半 仮二冊 あ三四〇

他家借財片付

広田筑後借金相調候一紙帳〔広田筑後奉加家作二付岩出六右衛門江八田孫左衛門殿御口入金〕 広田筑後他四名 八田孫左衛門宛 明和八年一〇月

横長美大 一冊 あ四四六

広田筑後借り金調覚 明和八年一〇月

横長美 一冊 あ四四八

広田筑後殿手代岩出六右衛門中野町小町善右衛門相手取東武訴出候一件手控〔筑後家作普請奉加金取り集めをめぐる出入へ袋入〕 八田知義誌之 明和九年九月一二月

横長半 一冊 あ四五六

中野在奉加中野入覚・六右衛門受取覚・村々滞覚〔広田筑後家作普請奉加金取集めの勘定帳〕

美 一冊 あ四五五

文化七歳午小遣品々金通帳 山越 文化七年二月

横長半折 一冊 あ二四四

文化九申歳借用方片付万端覚 山越市之丞 文 化九年二月二〇日

横長美 一冊 あ四四

寅年御暮方御積帳〔内藤豊後守勝手向諸入用見積もりと幕方規定〕 御名内望月輔・富田九郎兵衛・高橋渡人・倉持寛左衛門・田能村孫三 名内八田嘉右衛門宛 文化一四年十二月

美 一冊 あ二四四

御借財調帳〔松代へ借用、公金拝借、用達へ借用等一万七千両余〕 文化一五年二月

横長半 一冊 あ四四五

当已暮方引取大積帳与〔内藤筑後守勝手向収支見積もり〕 文政四年正月 美 一冊 あ二四三

松代借財取調帳〔町方町用金借用仕候所、相滞候二付〕 小懸郡瀬津西町落合作左衛門、同所内済人名主二名、山之湯稼人一名 松代町八田辰三郎宛 天保四年一〇月二十四日 横長美 一冊 あ一六三

馬場町御借財方片付手段取計帳 天保八年九月 横長半 一冊 あ二

八田慶助殿勝手向取調帳 八田嘉助 天保九年二月 半 一冊 あ三三

相沢貞藏借財分散割合調帳 弘化三年三月改 横長半 一冊 あ三八〇

〔紺屋町松屋惣左衛門借財片付方取調差上帳控〕〔包紙入〕 寺内多宮・岡崎莊藏宛 横長半 一冊 あ三六五

日記〔嘉右衛門親類手塚村山極八郎右衛門欠落二付、借財返済方談合記録〕 笠井和七・山崎佐惣治 子九月八日〜二月四日 半 一冊 あ二二

○

駒井大庵口上書控覚〔親春伯が信州松代領の百姓の上納金を立て替えたが、親死後家政困窮二付、藩より御合力をしてもらえるよう取りなしを願う〕 京都油小路下ル長者町上ル町駒井文庵 八田孫左衛門・増田宗右衛門・柿崎源左衛門宛 宝暦一〇年七月一七日 横長美 一冊 あ四七

無 尽

御無尽分ヶ取割合帳 八田鉄次郎 宝暦六年五月 美大 一冊 あ二六四

〔無尽帳〕 明和元年〜安永二年 美大 一冊 あ二六五

頼母鋪無尽帳 明和九年〜安永七年 美 一冊 あ七五

頼母鋪無尽帳〔七六五と袋入〕 明和九年〜天明二年 美大 一冊 あ七四

無尽差引帳〔後欠、虫損甚だし〕 明和六年〜天明 横長大 一冊 あ三三〇

無尽差引帳〔前後欠〕 安永九年〜天明七年 横長大列 一冊 あ七五

〔八田孫左衛門発起無尽懸戻滞出入一件書留帳〕 天明二年 美大 一冊 あ二六四

無尽金取入覚 八田以親 天明六年 横切美半 一冊 あ七〇

〔無尽金請渡覚〕 天明六年〜寛政九年 横長半 一冊 あ二九五

〔無尽当座控帳〕〔断簡〕 安永〜寛政 横美半折 一冊 あ三八一

無尽差引帳〔表紙欠〕 寛政二年〜文化七年 横美大列 一冊 あ七五

町内頼母鋪立会約定帳下案 文化三年二月 半 一冊 あ七六

頼母子講取立帳 文化四年一〇月 美 一冊 あ七三

頼母鋪立会約定帳〔七六八と袋入〕 文化二年〜同五年 美大 一冊 あ七六

頼母鋪無尽帳 杭金平左衛門 享和四年〜文化一〇年 美大 一冊 あ七五

頼母數無尽帳 片岡俊藏 文化一二年一二月〜同三年一二月 美 一冊 あ七四

無尽御連衆帳 文化一三年八月 美 一冊 あ二六六

頼母數無尽帳〔袋入〕 発当淨福寺、世話方関田庄助 引請加判八田嘉右衛門 文化一三年一二月 美大 一冊 あ二六三

頼母數無尽帳 八田競 文政一三年一二月 美 一冊 あ七五

無尽当座控帳〔後欠〕 文化一三年 横美半折 一冊 あ三八〇

（家中無尽帳改寛帳）	八田知義	文化一四年正	横美半折	一冊	あ二六九
無尽当座控帳	知義	文化一四年	横美大半折	一冊	あ七四六
無尽取入懸出差引帳	知義	文化一四年	横美大半折	一冊	あ七四七
無尽差引帳	八田嘉右衛門	文化五年〜同一四年	横美大半	一冊	あ二六六
頼母鋪講御寄合帳	会主八田嘉右衛門	文化六年一月〜同一四年二月	横美大半	一冊	あ二六七
（無尽差引帳）〈表紙欠〉	（文化一二年〜同一四年）		横美半折	一冊	あ二六四〇
無尽懸出取入控帳	知義	文化一五年	横美大半折	一冊	あ七六
無尽差引帳	文化五年〜文政元年		横美大半	一冊	あ七五
頼母敷無尽帳〈袋入〉	発当淨福寺	文化一二年〜文政元年	横美大半	一冊	あ七六
無尽御寄合帳	鏡屋町大次郎	文化六年一二月〜文政三年一二月	横美大半	一冊	あ二六二
無尽調書	文政二年正月改		横美大半	一綴	あ七三
無尽方取調帳	知義	文政二年三月改	横美大半	一冊	あ七五
無尽懸出取入控帳	八田知義	文政三年二月	横美大半	一冊	あ七四
岩村田定会頼母敷無尽帳	会主法華堂・渡辺武左衛門・並木甚右衛門	文政六年三月	横美大半	一冊	あ一四〇
岩村田定会頼母敷無尽帳	会主法華堂・渡辺武左衛門・並木甚右衛門	文政六年三月	横美大半	一冊	あ一四三
定会頼母敷無尽帳	会主法華堂・渡辺武左衛門・並木甚右衛門	文政六年三月	横美大半	一冊	あ二六三
（無尽差引帳）〈前欠、虫損甚だし〉	八田知喜	文政八年	横美大半	一冊	あ三六三
融通金規定帳	会主三四郎（和七手控）	文政八年二月	横美大半	一冊	あ三七六
大和屋頼母鋪融通金元帳	笠井和七	文政八年二月	横美大半	一冊	あ三七五
頼母鋪講帳	柏屋兵藏	文化二年一月〜文政九年二月	横美大半	一冊	あ七三
文政二卯年と無尽掛戻割合帳〈袋入〉	文政二年		横美大半	一冊	あ七三
無尽取入掛戻出金覚	文政一一年		横美大半	一冊	あ七六
座間百人殿無尽江御掛金受取帳	堀内与一右衛門	文政一二年四月	横美大半	一冊	あ七五
無尽取入懸戻金当座控	文政一三年		横美大半	一冊	あ七四
（無尽差引帳）	文政		横美大半	一冊	あ七三
無尽入用書類〈袋入〉	文政		横美大半	一綴	あ二六七
無尽掛出懸戻元帳	文政一二年〜天保一四年		横美大半	一冊	あ七五
（無尽指引帳）〈表紙欠〉	文政・天保		横美大半	一冊	あ七三
無尽掛金覚帳	雄司	天保元年一二月	横美大半	一冊	あ七三
（無尽差引帳）〈断簡〉	天保元年、二年		横美大半	四丁	あ三三
天保二卯年無尽取調帳			横美大半	一冊	あ七六

発起無尽懸捨引請都合差引帳 関田守之丞 八田嘉助宛 天保九年五月	横長半	一冊 あ 七〇
発起無尽差引割合元帳 佐久間修理 天保九年一二月改(天保七年〜同九年)	横長半	一冊 あ 七九
(無尽差引帳) 〈前欠〉 天保二年〜同二二年	横長美	一冊 あ 三二〇
無尽指引帳 弘化二年一二月改(天保元年〜弘化二年)	横美大列	一冊 あ 七二
寅年中無尽掛戻并利金払御書上帳 (嘉永七年カ)	横長半	一冊 あ 三九
日掛無尽入出覚手控 安政三年	横長半	一冊 あ 二九〇
頼母數無尽帳 慶応三年〜明治四年	横長美大	一冊 あ 七三
願書〔無尽加入勧誘〕	横長美	仮一冊 あ 四三七
松本御城下近藤九兵衛・安西安兵衛・大和五兵衛発当頼母數無尽関係書類(懸金賞、差引賞書状)	横長美	仮一冊、 四通一綴 あ 七三
頼母鋪請割合帳 酉一二月	半	一冊 あ 七二
建立無尽割合帳	美	一冊 あ 七三
無尽割合帳	横長美	一冊 あ 七〇
申年無尽取入掛出差引帳・万吉持無尽年々懸出シ金覚帳	横長半 横長美	一冊 あ 二六四 一冊 あ 二六五
無尽差引帳 〈虫損甚だし〉	横美半折	一冊 あ 三九三
(無尽差引帳)	横長美大	仮一冊 あ 三二八
(無尽差引帳) 〈前後欠〉	横長美	仮一冊 あ 三四〇
無尽差引帳 松井	横長美	一冊 あ 七二

無尽取入并懸出差引調帳	横長半	一冊 あ 七四二
(無尽差引書)		一一通 あ 七九
(無尽差引覚)	横長半	仮一冊 あ 二四六
無尽取替書拔	横長半折	一冊 あ 一三二
無尽帳入袋		一袋 あ 七三

出張

道中日記帳(道中入用帳) 中嶋金三郎 文政七年五月一八日〜二二日	横長半	一冊 あ 二七五
用向書留控帳(商用出張日記) 山長舎 文政七年九月九日〜一六日	小美 9×19	一冊 あ 二四〇
道中諸用留日記(用向出張日記) 松木 天保一〇年正月一五日〜五月八日	小半 7×18	一冊 あ 二四一
懷中録(道中入用) 秋山 弘化二年九月	横半半折	一冊 あ 一五五
眼病ニ而村山村旅宿ニ而諸色日下恵(薬、見舞品、諸入用) 富吉 嘉永三年六月五日〜七月六日	横長半	一冊 あ 二四三
道中控帳(江戸へ商用出張、道中入用その他覚書) 菊屋伝兵衛 嘉永四年九月一五日〜一〇月一五日	横美半折	一冊 あ 二七六
高井三九郎殿丑年上坂ニ付雜用割書出し調 嘉永七年四月調	横長半	一冊 あ 九二
江府出向入料覚帳 寅二月七日〜晦日	横長半	一冊 あ 一六六
道中往返并滞留中雜費覚帳(高崎行) 七月二八日〜九月六日	横長半	仮一冊 あ 二九四

(道中諸入用覚) みうらや軍蔵 松代平兵衛宛 横長半 一冊 あ 六

金銭・穀物請払

店方江下ヶ金・上納金(↓『店方』各店の「内方」に拝借金・上納金)

(上納金覚帳) (酒店、呉服店より上納) (前欠、虫損甚だし) 八田 (安永五年〜弘化元年) 横長美大 一冊 あ三二五

酒方金銀元帳(内方と酒蔵・酒店との間の金銭請渡) (前後欠、虫損甚だし) (内方) 寛政六年〜同九年 横美大列 一冊 あ三三九

酒方金銀元帳(内方と酒蔵・酒店・質店との間の金銭請渡) 御茶之間 寛政九年〜同十二年 横美大列 一冊 あ三四五

酒方金銀元帳 寛政十二年〜文化十二年 横美大列 一冊 あ三六〇

(金銭請払帳) (酒店・酒蔵および土蔵・質店と内方との間の金銭請払) (表紙欠) 寛政十一年〜文政七年 横美列 一冊 あ二四六

(酒造方上納金覚帳) (断簡) 文政九年〜同一年 横美列 一冊 あ三七三

(酒店・質店勘定調帳) 文政・天保 横長美 一冊 あ二七六

金銭請取通帳 天保四年二月〜八月 横美半折 一冊 あ二五五

日勘定指曳元帳(各店への貸下ヶ金と店よりの上納金の差引勘定) 八田金場 天保一〇年 横美列 一冊 あ二四四

御貸下金上納受取通帳(中味白紙) 天保一〇年 横美半折 一冊 あ二五二

丑年中諸店下ヶ金上納金取調帳 横美半折 一冊 あ二四四

(御手元・元方へ上納金覚帳) 寅三月〜巳六月 横長半 一冊 あ一六〇四

(上納金覚帳) (酒店より) 亥〜巳 横美大列 一冊 あ三三九

算用帳(各店收支算用) 寅三月〜七月 横美大半 一冊 あ一四八〇

算用帳 貳番(各店收支算用) 寅閏七月〜卯正月 横美大半 一冊 あ一四八一

金銭請取

金銭請取通帳(田畑売代金・無尽金等預り) 伊勢町内方 本町内方宛 安永九年二月〜天明四年三月 横美大半 一冊 あ一五九

金銀入日記表紙 天明 横美大半 一枚 あ三八五

金銀入日記(各年度の大晦日に各店と内方よりの上納金高・上入極高・有金高を記す) 天明七年〜文化六年 横美大列 一冊 あ三三七

金銀請取覚帳(酒蔵取集金受取、質利分上納受取、家賃蔵式金受取、小作方家賃取集金受取等) 文政一三年正月 横長半 一冊 あ二四九三

金銭上納請取通帳(年賦返済金、家賃、無尽等) 元方 天保七年七月〜同八年三月 横美半折 一冊 あ一五二三

御手元江上納金目録 折紙 一通 あ二九五五

暮方見積

文化六巳年中暮方万端割合積書(諸入用見積もり) 文化六年正月 横長半 一冊 あ一四四一

暮方積立覚 天保二年七月 横長半 一冊 あ一四四一

暮方入料積り覚 横長半 一冊 あ六六八

暮方入料積り覚 横長美 一冊 あ二二四

入用（「金銭穀物請払取調勘定」
「儀礼」「家財」「茶の湯」各店より
の買入通帳は「店方」の該当小項目に
入れている）

調物覚帳	文化一二年二月〜同四年九月	横美大半折	一冊 あ二六七
飯山米金千両買入帳	御役代伝兵衛 文政五年正月	横長美	一冊 あ二七四
当来歳仕切写覚帳	文政六年二月	横長美	一冊 あ二六六
金銀諸向払当座帳（貸出金、中貸金、払方、当用）	文政一三年正月	半	一冊 あ二五〇
諸向留日記（祝儀遣シ金、諸入用払の留書）	文政一三年正月〜六月	横長美大半	一冊 あ二六六
諸色御通帳（わらし、爪かけ、きり等々売り渡し）	菊屋伊七 伊勢町御茶之間宛 文政一二年正月〜二月	横美半折	一冊 あ二四八
諸色御通帳（箸・茶・木綿・手拭等々売り渡し）	松代木町美濃屋喜兵衛 八田嘉右衛門内浦野忠七宛 文政一三年正月〜二月	横美大半折	一冊 あ二四七
飯米通帳	松木内市川友八 伊勢町湯野忠七宛 文政一三年正月〜二月	横美半折	一冊 あ二〇六
（出金覚帳）（諸入用、貸付）（断簡）	文政	横美列	一帖 あ三七一
年内定用控日記	天保二年正月〜二月	横長半	一冊 あ二五九
（諸入料払覚）（断簡）	天保三年正月	横長半	一通 あ五八
臨時入用小払帳（臨時雇人給金、大工賃、商用臨時入用、薪・炭代金等）	天保三年正月	横長半	一冊 あ二〇〇

現金呉服御通帳（茶之間への売り渡し）	角店 御茶之間役人中宛 天保三年正月〜六月	横美半折	一冊 あ三二三
諸色御通帳（塩・諸味・醤油・真木等売り渡し）（御立替分算）（一冊丁間挿入）	松町店 伊勢町御茶之間宛 天保四年三月〜同六年正月	横美半折	一冊 あ二七五
大豆御買入代金御払勘定帳	天保四年十一月	横長半	一冊 あ二〇九
判取帳（諸証判取）	八田氏 天保五年七月〜同六年七月	横美半折	一冊 あ二五九
御菓子通帳	府野屋作吉 伊勢町御茶之間宛 天保七年正月〜二月	横美半折	一冊 あ二四六
豆腐御通帳	松代木町松屋藤兵衛 八田嘉右衛門内役人中宛 天保七年正月〜二月	横美半折	一冊 あ二四三
御豆腐御通帳	松代中町藤屋豆平 八田嘉右衛門内役人中宛 天保七年正月〜二月	横美半折	一冊 あ二四三
諸色御通帳（諸色売り渡し）	松代木町菊屋徳三郎 八田嘉助内宛 天保七年正月〜二月	横美半折	一冊 あ三三〇
（諸色御通帳）（諸色売り渡し）	松代木町あら物や友吉 八田嘉輔内宛 天保七年正月〜二月	横美半折	一冊 あ三三七
御色御通帳	松代伊勢町鍵屋伴之助 八田嘉右衛門内長崎源吾宛 天保七年二月〜三月	横美大半折	一冊 あ三三一
諸色御通帳	菊屋伊七 伊勢町御茶之間宛 天保七年正月〜二月	横美半折	一冊 あ三三五
現金御通帳（海産物売り渡し）	江戸屋金作 八田嘉右衛門内役人中宛 天保七年正月〜二月	横美半折	一冊 あ三三四
現金御通帳（諸色売り渡し）	松代木町坂屋賀助 八田嘉右衛門内宛 天保七年四月〜五月	横美半折	一冊 あ三三八

現金御通帳(海産物売り渡し) 松代木町現金屋祖吉 八田嘉右衛門内役人中宛 天保七年七月〜十二月	横美半折	一冊 あ二三三
そめもの御通帳(木綿、白紬等の染代金請取) 沼田屋大蔵 八田嘉助内長崎源吾宛 天保七年二月〜二月	横美半折	一冊 あ三〇元
呉服物御通帳 近江屋作右衛門 八田嘉右衛門内宛 天保七年一〇月	横美大半折	一冊 あ二三元
天保七申年中御買物調元帳 買物方数右衛門・勝之輔	横美大半	一冊 あ二四〇
買物方諸向買物口訳調元帳 八田茶之間数右衛門・勝之助 天保七年正月〜七月	横美大半	一冊 あ三〇三
諸向買物口訳元帳 買物方数右衛門・勝之輔 天保七年	横美大半	一冊 あ二六
金銭請払帳 買物方 天保八年正月〜二月	横美大半	一冊 あ二四三
御服薬控帳(薬買入れ) 八田茶之間買物方 天保八年正月〜同九年四月	横美大半	一冊 あ二四〇
諸買物代金御調帳(虫損基だし) 八田茶之間 天保八年	横美大半	一冊 あ三九〇
金銭請払帳 買物方数右衛門 天保九年正月〜二月	横美大半	一冊 あ三九
金子御預り覚帳(種油・胡麻油代金請取) 信州川中嶋猪嶋村油屋佐治多 菊屋和作宛 天保九年二月〜二月	横美大半	一冊 あ二四七
諸色買物判取帳 菊屋伝兵衛 天保九年三月	横美大半	一冊 あ七
万付込帳(買物) 八田 天保九年一〇月一四日〜一二月七日	横美大半	一冊 あ二四四
御中借金覚帳(質店・酒蔵等より中借) 買物方数右衛門 天保九年一二月	横美大半	一冊 あ二五〇
諸向渡金判取帳 天保七年七月〜同九年二月	横美大半	一冊 あ二四
(諸入料払口訳帳) (天保九年〜同二〇年)	横美大半	一冊 あ三八一
諸向買物帳 八田氏 天保一二年七月〜三月	横美大半	一冊 あ四二
諸色御通帳(呉服物売り渡し) 角店 角屋舗役人中宛 天保一二年正月〜同二二年六月	横美大半折	一冊 あ三〇
呉服太物御通帳(御茶之間への売り渡し) 角店 御茶之間役人中宛 天保一二年七月〜二月	横美大半折	一冊 あ三〇〇
諸品糶元帳 天保一二年一二月	横美大半	一冊 あ四五
御買入糶勘定一紙 懸り栄八 天保一三年二三月	横美大半	一冊 あ〇九三
寅年中御暮方懸入料口訳帳 天保一二年	横美大半	一冊 あ二〇六
半取帳 東木町菊屋(八田家) 天保九年四月〜弘化三年三月	横美大半	一冊 あ二五
判取帳 天保九年一二月〜弘化三年正月	横美大半	一冊 あ三〇三
御払金日々申立帳 弘化三年四月〜閏五月	横美大半	一冊 あ四八
(御払金日々申立帳) 弘化三年六月〜八月	横美大半	一冊 あ二五三
御払金日々申立帳 弘化三年九月〜同四年正月	横美大半	一冊 あ二四七
御払金日々申立帳 弘化四年二月〜七月	横美大半	一冊 あ二四二
御払金日々申立帳 弘化四年八月〜同五年二月	横美大半	一冊 あ二四九
御払金日々申立帳 弘化五年三月〜九月	横美大半	一冊 あ二四〇
呉服物御通帳(御茶之間への売り渡し) 角店 御茶之間宛 弘化五年正月〜二月	横美大半折	一冊 あ二四一

未暮買物代料払方帳 八田下屋敷 申（嘉永元年）七月	横長半	一冊 あ三六二
御払金日々申立帳 嘉永元年一〇月～二月	横長半	一冊 あ四三三
戌歳入料帳 嘉永三年	横長美	一冊 あ二七三
寅七月迄御当用諸払方御書上帳 （嘉永七年）	横長半	一冊 あ三七九
從寅七月東御住居江御引移後諸払方御書上帳 （嘉永七年）	横長半	一冊 あ三七六
品々請取通帳 嘉永七年四月～安政四年九月	横美半折	一冊 あ三六六
安政元年寅年分真木買入調帳・安政二卯年分真木買入調帳	横長半	二冊 綴 あ二五四
御当用払方判取帳 安政元年二月～同二年正月	横美半	一冊 あ二六〇
種々付込控帳（米穀遣、肴野菜代、給金、小遣、家内衣服料、普請、町内入用、薬買入等） 安政七年正月～元治元年四月	横長美	一冊 あ三七七
種々付込控帳 元治二年正月～慶応三年二月	横長美	一冊 あ三三八
売上御通帳（茶之間への売り渡し） 角店 御茶之間宛 元治元年三月～慶応三年三月	横美半	一冊 あ二三三
買物帳 伊勢町八田 明治二年六月～同五年二月	横長美大	一冊 あ四三三
盆御払取調帳（買物） 明治三年正月～七月	横長半	一冊 あ四三九
染物御通帳 異国屋弥作 角店中宛 明治三年正月～九月	横美大半折	一冊 あ二三五
現金御通帳（海産物・乾物売り渡し） 松代魚店かね石田中卯三郎 八田宛 明治三年二月～一〇月	横美半折	一冊 あ二三七
御菓子砂御通帳 松代東木町大坂屋才助 八田慎蔵様御内御役人衆中宛 明治五年正月～二月	横美大列	一冊 あ三七五
売上御通帳（海産物・野菜等々売り渡し） 松代西木町現金屋祖吉・八田慎蔵御内宛 明治八年一月～同九年二月	横美半折	一冊 あ四七八
御注文御通帳（海産物・野菜等々） 松代西木町現金屋祖吉 八田御内宛 明治八年四月二八日～五月四日	横長美	一冊 あ四五六
現金御通帳（海産物売り渡し） 能登屋昌作 八田知道内宛 明治八年五月	横美大半折	一冊 あ二三三
判取帳 明治三年三月～同八年五月	横美列	一冊 あ二六三
豆腐御通帳（中味白紙） 松代能登屋弥兵衛 豊田伝兵衛宛 明治九年一月	横美半折	一冊 あ三四四
万上絵御通帳 菱屋愛之介 菊屋伝兵衛・御店衆中宛 明治一〇年正月～二月	横半半折	一冊 あ三七四
臨時買物帳 伊勢町八田 明治一三年二月二〇日	横長半	一冊 あ七〇
買物帳 伊勢町八田 明治一四年二月	横長半	三冊 あ二九四
榎当座帳（榎買入） 明治二三年三月～同二四年四月	横美半折	一冊 あ四七九
榎帳（榎買入） 御茶之間 明治二三年二月～同二四年三月	横美半折	二冊 綴 あ四八二
現金御通帳（海産物売り渡し） 松代鍛冶町現金屋山上平作 伊勢町八田知道宛 明治二五年一月～一〇月	横美半折	一冊 あ三三六
判取帳 伊勢街八田知道 明治二五年五月～同二六年五月	横長半	一冊 あ二九八

尿荷之控帳 東條村小林雅治 松代町八田宛 明治二六年一月一日〜同二七年二月一四日	横半半折	一冊 あ二五六
現金酒御通帳 松代町増田酒舗 八田宛 明治二七年一月	横美半折	一冊 あ二六三
豆腐御通帳 宮下儀平 八田知道宛 明治二七年六月〜同二八年九月	横半半折	一冊 あ二四六
現生肉御通帳(中味白紙) 松代坂屋牛店支店 八田知道宛 明治二八年一月	横美半折	一冊 あ二三四
現金御通帳(とうふ売り渡し) 松代鏡屋町勉強店 八田知道宛 明治二八年三月〜五月	横美半折	一冊 あ二三三
判取帳 伊勢街八田知道 明治二七年五月〜同二八年五月	横長半	一冊 あ二九七
豆腐御通帳 宮下儀重 八田宛 明治二八年九月〜同二九年五月	横半半折	一冊 あ二三五
臨買物帳 伊勢町八田 明治二九年二月	横長美	三冊 綴 あ二四四
御通帳(割麦売り渡し) 袖山善治郎 八田宛 明治二九年一月〜同三一年四月	横半半折	一冊 あ二三六
判取帳 伊勢街八田彦次郎 明治二九年六月〜同三〇年五月	横長半	一冊 あ二九六
現金御通帳(白米・餅米・塩売り渡し) 松代御安町中屋巳八 八田彦治郎宛 明治三〇年一月〜一二月	横美半折	一冊 あ二三九
現金御通帳(海産物等売り渡し) 現金屋唐沢政吉 八田知道宛 明治三〇年一月〜二月	横美半折	一冊 あ二三〇
魚類乾物御通帳 松代能登屋商店 八田彦次郎宛 明治三〇年二月〜五月	横美半折	一冊 あ二三六

類現金御通帳 松代木町東角現金屋商店 八田知道宛 明治四〇年七月〜一二月	横美半折	一冊 あ二三五
醤油御通帳 松代紺屋町轟溜店 伊勢町八田内宛 明治三〇年一月〜一二月	横半半折	一冊 あ二三三
豆腐御通帳 松代木町中村屋 八田彦次郎宛 明治三〇年八月〜同三一年八月	横美半折	一冊 あ二六三
臨時買物帳 伊勢町八田 明治三〇年一月	横長半	三冊 綴 あ二四五
現金御通帳(白米・餅米・塩売り渡し) 松代御安町中屋巳八 明治三一年一月	横美半折	一冊 あ二三三
酒御通帳 松代木町幾久屋 岸田佐助 八田宛 明治三〇年一月〜同三一年一月	横美半折	一冊 あ二三九
酒御通帳 松代木町幾久屋佐助 八田宛 明治三一年一月〜二月	横美半折	一冊 あ二三〇
現金御通帳 木町東角現金屋支店 八田知道宛 明治三一年一月〜二月	横美半折	二冊 あ二三六
惣通帳(海産物・野菜売り渡し) 松代魚店かね石田中卯三郎 八田彦次郎宛 明治三一年二月〜三一年一月	横美半折	一冊 あ二三七
醤油通帳 松代紺屋町轟溜店 八田内宛 明治三一年一月〜二月	横半半折	一冊 あ二三四
醤油通帳 松代中町能登屋溜店 八田宛 明治三一年二月〜三月	横美半折	一冊 あ二三五
現金御通帳(海産物等売り渡し) 現金屋唐沢政吉 八田知道宛 明治三一年一月〜二月	横美半折	一冊 あ二三三
判取帳 伊勢町八田彦次郎 明治三〇年六月〜同三一年五月	横長半	一冊 あ二〇〇

(諸色通帳) (呉服・たばこ・唐紙等売り渡し) 茶之間宛 正月〜五月	御 横美半折	一冊 あ二五六	未年諸買物調帳	横長美大	一冊 あ一四二
(諸入料払帳) 亥五月	横長半	一冊 あ六〇三	亥極月払金調帳 (買物)	横長美大	一冊 あ一四六
(諸入用払帳) (前欠)	横美列	一冊 あ三六六	(諸入料口訳帳) 一月〜二月	横長美	一冊 あ三九三
(諸入料払帳)	横長半	仮一冊 あ四六	判取帳 八田氏 戌一〇月〜亥正月	様長美	一冊 あ二〇三
(諸入料払覚) 三月		一通 あ四七	未七月諸向勘定払方判取帳 八田氏	横長美	一冊 あ二〇四
(諸入料払覚) (断簡) 四月		一通 あ五七	未十二月諸向払方判取帳 八田氏	横長半	一冊 あ二〇一
(諸入料取調覚) 一二月	横長半	仮一冊 あ四四	申七月払方判取帳 八田氏	横長半	一冊 あ二〇三
(諸品買物帳)	横長半	仮一冊 あ五五	寅七月払方判取帳 八田勝手方	横美半折	一冊 あ二六二
(諸品買入代金付込帳)	横長半	一冊 あ三六	〇取 替 (立替払)		
(金子払渡覚)	横長半	仮一冊 あ四九	増金錢取替帳 八田氏 天明六年〜文化九年	横美大	一冊 あ一五七
御有注文覚帳 左太夫 和七宛 二〇日	横長美	仮一冊 あ三三	丑年御取替物帳	横長美	一冊 あ六一
(諸代金覚帳)	横長半	一冊 あ二五〇	〇普請入用		
(諸代金覚帳) 巳一〇月〜午二月	横長半	一冊 あ二五二	西木町屋敷普請方御拝借通帳 伝兵衛・六右衛門 文政元年四月〜三月	横美半折	一冊 あ一五四
(米・大豆代金覚) 巳二月〜一〇月	横長美	仮一冊 あ三三	他家普請勘定帳 文政八年二月	横長半	一冊 あ一五四
(刀・さや并諸金物代金覚)	横長美	仮一冊 あ三三	松井室御普請御入料調帳 喜左衛門 天保八年九月	横長半	一冊 あ一〇一
(籾代金覚)	横長美	一冊 あ三八〇	天保九戌春中帳場普請一卷諸入用御書上帳 酒造方懸り 和七・喜左衛門 天保九年正月改	横長美	一冊 あ三三
(米代金差引覚)	横長美	仮一冊 あ二九五	諸向普請箇所控 天保九年二月〜同一四年正月	横長美	一冊 あ三三五
(買物帳) (表紙欠、虫損甚だし)	横長美	一冊 あ三四四	瀬戸物場所普請品々入料帳 天保一五年六月	横長半	一冊 あ一五五
(炭俵買入覚) (断簡)	横長半	一枚 あ二〇六			
江府調物注文品請取之控并当所買物付込帳	横長美	一冊 あ六〇			

諸請方諸入料払方覚〈関連文書数通丁間に糊付〉
伊勢町八田 弘化四年 横長半 一冊 あ 三

諸普請御入用取調帳〈勝手普請入用、東御住居普請入用、新酒店普請入用、酒藏請入用、長屋向修覆入用〉 横丁店 嘉永七年 横美半折 一冊 あ 一五六

寅年中東住居向并店方賄所酒店新規酒蔵修覆等普請入料調御書上帳 〈嘉永七年〉 横長半 一冊 あ 三七

御普請品々覚帳 左官松五郎 戊五月 横長半 一冊 あ 一五九

御繕普請材木御積ミ帳 伝兵衛控 横長半 一冊 あ 一〇三

(作料覚) 横長半 一冊 あ 一〇四

普請方諸入用払方帳 八田氏 横長半 一冊 あ 二四〇

買物方日記

買物方日記 天保八年二月二〇日〜同九年正月二一日 半 四冊 あ 五〇

買物方日記 天保九年正月二二日〜四月一九日 半 一冊 あ 五二

金銭出入帳 (金銭請払帳)

当座帳 (金銭出入帳) 〈前後欠、虫損甚だし〉 安永六年三月〜同九年正月 横美列 一冊 あ 三三五

当座帳 (金銭出入帳) 〈表紙欠〉 安永九年正月〜天明三年正月 横美列 一冊 あ 三三六

当座帳 (金銭出入帳) 〈後欠、虫損甚だし〉 天明三年正月〜寛政二年正月 横美列 一冊 あ 三三七

当座帳 (金銭出入帳) 〈前後欠、虫損甚だし〉 寛政二年正月〜同八年正月 横美列 一冊 あ 三三八

当座帳 (金銭出入帳) 〈前後欠〉 寛政八年〜同一一年 横美大列 一冊 あ 三三四

当座帳 (金銭出入帳) 〈表紙欠〉 寛政一二年七月〜享和元年二月 横美大列 一冊 あ 三三五

当座帳 (金銭出入帳) 〈前後欠〉 (八田茶之間) 享和二年正月〜文化四年一月 横美列 一冊 あ 三三一

当座帳 (金銭出入帳) 八田茶之間 文化四年一二月〜同二年一二月 横美大列 一冊 あ 三三二

金銭出入帳 〈前後欠、虫損甚だし〉 安永五年〜天明二年 横美大列 一冊 あ 三三六

金銀出入帳 〈前後欠、虫損甚だし〉 天明二年〜同五年 横美大列 一冊 あ 三四六

金銀出入帳 〈前欠〉 天明五年〜寛政四年 横美列 一冊 あ 三三七

金銀出入帳 〈前欠〉 寛政四年〜同六年九月 横美大列 一冊 あ 三三九

金銀出入帳 寛政六年一〇月〜同八年正月 横美大列 一冊 あ 三六〇

金銀出入帳 〈虫損甚だし〉 寛政八年〜同九年 (金銭出入帳) 〈断簡〉 寛政六年〜同九年 横美列 一帖 あ 三六〇

金銀万控帳 (金銀出入控) 〈前後欠、虫損甚だし〉 文化七年 横美大列 一冊 あ 三三六

金銀出入控帳 文化一〇年一二月〜同二年九月 横美大半折 一冊 あ 三六九

金銀出入帳 文化八年正月〜文化一二年四月 横美大列 一冊 あ 三三九

金銀出入帳 文化一二年五月〜文政二年七月 横美大列 一冊 あ 三四九

金銀出入日記 文化一三年一〇月〜同五年二月 横半半 一冊 あ 三四九

金銀出入帳	八田嘉右衛門	文化二四年〜文政元年	横美列	一冊	あ三四四
(金銭出入帳)〈前欠、虫損甚だし〉	文化・文政		横美列	一冊	あ三六七
当座金銀出入控帳	文政元年二月〜同二年三月		横美半	一冊	あ二四六
金銀出入帳	文政二年八月〜二月		横美列	一冊	あ二三八
金銀出入帳	文政二年二月〜同八年正月		横美列	一冊	あ二八九
当座控日記(金銭出入帳)	知義 文政四年七月〜同七年二月		横美半	一冊	あ二四七
当座控日記(金銭出入帳)	文政七年二月〜同九年二月		横美列	一冊	あ二四九
口々穿鑿物書抜覧(入金と諸払金の書抜)	文政七年三月		横美半	一冊	あ二四九
(金銭出入帳)	文政九年〜同一年		横美列	一冊	あ三六九
(金銭出入帳)	文政二年二月〜天保四年二月		横美列	一冊	あ三六五
諸向請払帳	文政二年二月〜同三年正月		横美列	一冊	あ二八二
諸向請払当座帳	文政二年正月〜二月		横美列	一冊	あ二八〇
当座金銀出入帳	田氏知則控 文政二年二月		横美半	一冊	あ二四九
金銀請払当座帳	取斗人藤知 文政二年三月		横美半折	一冊	あ二四九
諸向請払当座帳	八田茶之間 文政二年四月〜五月		横美半	一冊	あ二四七
金銀請払当座帳	八田茶之間 文政二年六月		横美半	一冊	あ二四六

金銀請払当座帳	文政一三年八月		横美半	一冊	あ二四九
金銀出入帳	八田茶之間 文政一三年一〇月		横美半	一冊	あ二六三
金銀出入当座帳	八田茶之間 文政一三年一月		横美半	一冊	あ二五三
金銀請払出入当座帳	八田知則 天保三年正月〜五月		横美半折	一綴	あ二五五
諸向請払帳	八田知則 天保三年正月〜同四年八月		横美列	一冊	あ二五三
金銀出入帳	八田知則 天保二年正月〜一〇月		横美半	九冊	あ二六四
金銀請払帳	八田知則 天保三年六月〜一〇月		横美半折	四冊	あ二六五
金銀請払振	八田知則 天保三年二月		横美半	一冊	あ二六七
金銀受払帳	八田知則 天保三年閏一月〜同四年二月		横美列	一冊	あ二六六
御金請払立合帳	天保四年正月〜五月		横美列	一冊	あ二六三
金銀請払元帳	天保四年三月〜七月		横美半	一冊	あ二六六
金銀請払帳	天保四年三月〜同五年正月		横美列	一冊	あ二六四
金銀請払帳	天保四年三月〜二月		横美列	一冊	あ二六五
金銀出入帳	八田茶之間 天保五年二月〜同六年正月		横美列	一冊	あ二六三
(金銭出入帳)〈表紙欠〉	天保五年		横美列	一冊	あ二七〇
金銭出入当座帳	酉辰(天保七年九) 一一月〜(同八年)正月		横美半折	一冊	あ二四三

申年金銭入出調帳 御手元控 天保七年正月〜五月	横長美	一冊	あ二三六	金銭請払帳 菊政 弘化四年一月〜同五年正月	横長大列	一冊	あ二九四
金銀入出帳 天保七年正月〜同八年正月	横長美	一冊	あ二九四	金銭出入控元帳 弘化四年三月〜嘉永元年六月	横長大列	一冊	あ二七一
金銀出入帳 天保八年正月〜同九年五月	横長美	一冊	あ二九五	金銭出入申立帳 弘化四年三月〜嘉永元年六月	横長大列	一冊	あ二七三
金銀出入帳 天保九年正月〜二月	横長美	一冊	あ二六六	金銀入出帳 嘉永元年七月〜二月	横長大列	一冊	あ二六六
品々出入帳 (金銭出入) 戊 (天保九年)	横長半	一冊	あ二五七	金銀出入控元帳 嘉永元年六月〜九月	横長半	一冊	あ二七六
金銀出入帳 天保一〇年正月〜八月	横長美	一冊	あ二六七	金銀出入申立帳 嘉永元年六月〜九月	横長半	一冊	あ二七五
寅年中御幕方金銭請払帳 (中味白紙) 天保一三年	横長美	一冊	あ二〇七	金銀出入帳 八田知道 嘉永二年正月〜五月	横長半折	一冊	あ二八七
金銭受払帳 八田知則 天保一四年正月〜六月	横長半折	一冊	あ二五六	金銀出入当座帳 嘉永三年一月〜同四年八月	横長半折	一冊	あ二六一
卯年中金銭請払控帳 (師岡敬治郎殿御知行所差出物受払帳) 丁間挿入 八田知則 天保一四年正月〜二月	横長半折	一冊	あ二五七	金銭出入帳 嘉永四年一月〜同五年正月	横長半折	一冊	あ二六三
金銀請払控帳 八田知則 天保一五年正月〜二月	横長半折	一冊	あ二九三	金銭請払元帳 嘉永四年一月〜同五年七月	横長半	一冊	あ二六九
諸向差引并金銭当座留記 天保一四年一月〜二月	横長半	一冊	あ二九四	子金銭請払元帳 八田知道 嘉永五年二月	横長半折	一冊	あ二七〇
金銀出入帳 八田知則 弘化二年正月〜五月	横長半	一冊	あ二五〇	金銭請払帳 嘉永五年三、四年	横長半折	一冊	あ二七六
金銀請払帳 八田知則 弘化二年一〇月〜二月	横長半折	一冊	あ二五六	子暮金銭受払元帳 八田知道 嘉永五年一〇月〜同六年正月	横長半折	一冊	あ二七一
金銭出入当座帳 八田氏 弘化三年二月〜同四年三月	横長美大	一冊	あ二六九	丑歳金銭受払帳 八田知衛 嘉永六年正月〜同七年三月	横長半折	一冊	あ二七三
金銀出入帳 八田知則 弘化三年正月〜二月	横長美	一冊	あ二九六	別手段金受払元帳 嘉永六年三月〜六月	横長半折	一冊	あ二七三
金銀入出帳 八田知則 弘化四年正月〜三月	横長半	一冊	あ二五二	金銀請払帳 元方帳場 嘉永七年三月〜安政二年正月	横長大列	一冊	あ二九三
金銭受払帳 弘化四年七月	横長半折	一冊	あ二六〇	寅歳金銭請払帳 八田知道 嘉永七年七月〜安政二年二月	横長半折	一冊	あ二七四

金銭出入帳	嘉永七年八月〜安政二年正月	横半半折	一冊	あ三七五	(金銭請払当座帳)	卯二月	横長美	仮一冊	あ二四四
雜日記(金銭請払記録)	元方帳場 甲寅(安政元年カ)	横美列	一冊	あ三八五	(金銭請払帳)	七月二日〜二月四日	横半半折	一冊	あ二九七
金銀出入留日記	寅(安政元年カ) 一二月	横長美	一冊	あ三七九	(金銭請払覚)		横長半	仮一冊	あ二七四
金銭請払元帳	八田知衛 安政二年二月〜同三年九月	横美半折	一冊	あ三七六	金銭請払下案	元方役場 申正月〜六月	横長美	一冊	あ二九〇
日用金銭受払帳	当用方 安政四年二月〜一〇月	横美半折	一冊	あ三七七	(金銭請払帳)	〈断簡二枚〉 亥年	横長半	一綴	あ二三
金銭出入覚控帳	義井堂 安政四年閏五年〜同五年正月	横美半折	一冊	あ二五九	金銭出入控帳	己五月〜午正月	横長美	一冊	あ二七六
金銭請払帳	安政五年七月〜同六年二月	横長半	一冊	あ二八〇	(金銭出入帳)	〈前後欠、虫損甚だし〉	横長美大	一冊	あ三三四
金銭請払帳	安政元年二月〜二月	横美半折	一冊	あ二七九	(金銭出入帳)	〈表紙欠、虫損甚だし〉	横長美大	一冊	あ三三三
金銭請払帳	安政七年正月〜文久元年三月	横美半折	一冊	あ二九五	(金銭出入帳)	〈断簡〉	横美列	一冊	あ三三六
金銭請払帳	文久元年三月〜同三年二月	横美大半折	一冊	あ二九六	(金銀出入帳)		横半半折	一冊	あ五七
金銭請払帳	文久三年正月〜慶応元年六月	横美半折	一冊	あ二九七	(金銭出入帳)	〈断簡〉	横美半折	数丁	あ三六三
金銭請払帳	慶応元年七月〜同三年八月	横美半折	一冊	あ二九八	(金銭出入帳)	〈断簡〉	横美列	一帖	あ三六七
金銭請払帳	慶応三年八月〜明治三年七月	横美列	一冊	あ二九九	(金銀出入帳)	〈列帖のうちの一帖はずれ〉	横美大列	一帖	あ三八八
金銭請払帳	明治三年八月〜同五年九月	横美列	一冊	あ三〇〇	金銭差引帳				
金銭請払帳	明治五年九月〜同九年五月	横美列	一冊	あ三〇二	金銭差引帳	〈前後欠、虫損甚だし〉	横美大列	一冊	あ三六二
金銭受払控帳	明治一三年六月〜同一六年九月	横長美	一冊	あ三九一	金銭差引帳	〈文化三年			
入払覚帳	申一二月	横長半	一綴	あ七三	万差引帳	〈虫損甚だし〉	茶之間	寛政六年〜享和元年	
金銭割合取立渡方控帳	未正月〜二月	横長半	一冊	あ二六三	金銭差引帳	文化四年〜同一一年二月	横美大列	一冊	あ三六三

文化十四年文政七申年、辻木町差引帳(家賃収入より呉服小間物代・諸品取替物代・祭礼人足代・屋根板代・諸役等の支出を差引勘定) 横長美 一冊 あ 六

諸差引帳 文政二年正月〜九月 横長美大 一冊 あ 三九三

金銀差引帳 八田鉄之助 文政一三年七月 横長半 一冊 あ 三〇三

金銀出入差引帳 八田知則 文政一三年一、一二月 横長半 一冊 あ 三九二

金銭差引付込下帳 (文政) 横長半 一冊 あ 四三〇

金銭指引下書 八田氏 天保三年一月 横長半 一冊 あ 三九三

文政九年戌二月、天保三年辰、辻下屋敷金銀差引覚帳 天保三年一月 横長半 一冊 あ 六六七

諸向指引帳 天保八年正月〜同九年正月 横長美 一冊 あ 三六六

諸向指引帳 天保八年正月〜同一年正月 横長美 一冊 あ 三六八

諸向指曳帳 天保一〇年正月〜二二月 横長美 一冊 あ 三六九

金銀入出差引帳 八田知則 天保一五年一二月 横長美 一冊 あ 三三三

弘化三末年中金銀差引帳 八田知則 弘化四年二月 横長半 一冊 あ 三六七

申年中金銀差引帳 八田知則 弘化五年 横長半 一冊 あ 三七四

諸向指引口訳帳 八田氏 嘉永二年四月 横長半 一冊 あ 三六八

嘉永二酉年中金銀差引帳 八田知則 横長美 一冊 あ 三七七

調下帳(中味白紙) 己(明治二年カ) 三月 横美大半 二冊 あ 一五〇三

諸差引元控帳 壹番 明治三年一二月〜同四年五月 横美半折 一冊 あ 一五〇三

(諸差引下控元帳) (明治四年)九月〜(同五年)七月 横美半折 一冊 あ 一五〇四

諸差引下控え帳 明治五年八月 横美半折 一冊 あ 一五〇五

亥師走差引帳 横長美 一冊 あ 一三五

品々差引留帳 知則控 申正月〜四月 横美半折 一冊 あ 一四四

穀物・諸品請払

(粃請取并貸付覚帳(御用粃、御城米、酒代粃)〈前後欠、虫損甚だし〉 享保・元文 横長美大 一冊 あ 三三七

御飯米請取御通帳(村々から請取) 八田嘉助 宝曆二年一二月 横美大半 一冊 あ 一四八四

御飯米請取御通帳 菊屋庄助 寛延二年正月〜四月 横美大半 一冊 あ 一四八三

御飯米請取御通帳 菊屋庄助 寛延三年正月〜四月 横美大半 一冊 あ 一四八五

玄米相渡帳 八田店 寛政一二年九月二六日〜一二月一九日 横長美 一冊 あ 一〇三

去年年中御扶持方并手作取入品々覚帳 源 横長半 一冊 あ 七五

作方品取入物調元帳 天保七年 横長半 一冊 あ 七三

去年年中御扶持方并手作取入品々覚帳 源 横長半 一冊 あ 七四六

麦請払元帳 天保七年七月〜同八年正月 横美半折 一冊 あ 一二七

諸品遣払帳(諸品を買い入れて諸人へ渡した記録) 八田茶之間買物方 天保八年正月〜一二月 横長半 一冊 あ 一四〇一

蠟燭遣払帳(蠟燭を買い入れて諸方へ渡した記録) 八田茶之間買物方 天保八年正月〜十二月	横長半	一冊 あ二四三
下屋敷江飯米其外品々相渡元帳 嘉永七年四月〜安政二年正月	横長美	一冊 あ二六八
日用諸品請払帳(米穀、焚炭、薪等) 安政六年四月〜同七年正月	横長美	一冊 あ二三六
飯米覚(飯米受け渡し) (慶応二年)一〇月〜(同三年)六月	横美半折	一冊 あ二四六
(米金請取覚帳)(扶持請取、利足・米粕代請取) (前後欠)	横長美大	一冊 あ三〇七
(半知本口粃・切米・扶持・役料代金覚)	横長美	一冊 あ五二
諸品請払帳(米穀、燈油、焚炭、薪、雇人等) 明治二年正月〜同三年八月	横長美	一冊 あ二八一
諸品請払帳 明治五年〜同八年	横長美	一冊 あ三〇八
金銭・穀物請払取調勘定		
寛政十二庚申勘定目録(収支勘定)	横長美	一冊 あ六五
文化九壬申年暮方入料調	横長半	一冊 あ六四六
文政二卯年中穀物出入御書上帳 文政二年二月改	横長半	一冊 あ二〇三
文政三辰年中穀物出入御書上帳 文政四年二月改	横長半	一冊 あ二〇四
文政七申年暮方調帳	横長半	一冊 あ二二三
文政九年丙戌年と天保三壬辰年迄暮方調帳	横長半	一冊 あ六三
從文政九戌年到天保三辰年十二月迄仕送り金渡方取調帳	横長半	一冊 あ六四
文政九戌年中穀物出入御書上帳 文政一〇年二月改	横長半	一冊 あ三二〇
文政十亥年中穀物出入御書上帳 文政一一年二月改	横長半	一冊 あ二五
文政十三寅二月と天保二卯正月迄穀物出入御書上帳 天保二年二月改	横長半	一冊 あ二六
天保二卯二月と同三辰正月迄穀物出入御書上帳 天保三年二月改	横長半	一冊 あ二七
天保三辰二月と同四巳正月迄穀物出入御書上帳 天保四年二月改	横長半	一冊 あ二八
御飯米御入用調書 天保五年二月改(天保四年二月〜同五年正月)	横長半	一冊 あ二二
天保五午年暮方調帳	横長半	一冊 あ六五
諸向金銭指引張 天保七年正月〜八年二月	横長美	一冊 あ二八七
諸方払高書上覚帳 天保一〇年一月改(天保九年一月〜十二月)	横長美	一冊 あ五
品々御入料調帳 天保一一年正月〜六月	横長半	一冊 あ二四四
寅年中御暮方日々御入料取調帳(中味白紙) 天保一三年	横長美	一冊 あ二〇八
弘化三年正月中御入料調帳	横長美大	一冊 あ二四六
諸用出入改元帳 八田茶之間 弘化二年〜嘉永元年	横長美大	一冊 あ二七〇
諸用出入取調帳 嘉永元年三月改(弘化二年〜嘉永元年)	横長美	一冊 あ二七三
嘉永元年申年勘定殘金銭請払調帳 嘉永二年正月改	横長半	一冊 あ三六

嘉永二酉年薪并焚炭御入料取調帳 正月改	嘉永三年 横長半	一冊 あ 壹
嘉永二酉年中米穀請払并味噌仕入漬物御入料取調帳 嘉永三年正月改	横長半	一冊 あ 〇九
嘉永二酉年中請払金銭仕訳帳 嘉永三年正月改	横長半	一冊 あ 三九二
嘉永二酉年御下ケ金并諸向入金請払御勘定帳 嘉永三年正月改	横長半	一冊 あ 三七七
嘉永三戌年中米穀并炭薪請払御入料調帳（付味噌漬物御入料共） 嘉永四年正月改	横長半	一冊 あ 叁毫
嘉永三戌年中諸向払金并差上金取調帳 嘉永四年正月改	横長半	一冊 あ 六六
嘉永三戌年中御下ケ金并諸口入金取調帳（家賃・小作料の取立と諸入料払の差引勘定、産物方会所より上納預りと諸払差引勘定）	横長半	一冊 あ 六五
嘉永三戌年中金銭請払御勘定一紙（No 六五六～六五九一綴） 御茶間藤五郎 嘉永四年正月	横長半	一冊 あ 六五
嘉永四年亥年中米穀并炭薪請払御入料調帳 嘉永五年正月改	横長半	一冊 あ 六二
嘉永四亥年中御下ケ金并諸口入金取調帳 嘉永五年正月改	横長半	一冊 あ 〇
嘉永四亥年中諸口御定式并臨時御付届御当用払金取調帳 嘉永五年一月改	横長半	一冊 あ 五
嘉永四亥年中金銭請払御勘定一紙 御茶間藤五郎 嘉永五年正月改	横長半	一冊 あ 一
嘉永五子年中米穀請払并諸払方調御書上帳 嘉永六年正月改	横長半	一冊 あ 六三

嘉永五子年中金銭請払明細御書上帳 嘉永六年正月改	藤五郎 横長半	一冊 あ 八三
丑年中御入料取調帳下案 寅（嘉永七年カ）二月改	横長半	一冊 あ 一四七
嘉永六丑年中米穀金銭請払明細御書上帳 藤五郎 嘉永七年正月改	横長半	一冊 あ 一〇九七
寅正月より六月迄御入料取調帳下案 （嘉永七年カ）	横長美大	一冊 あ 一四九
寅年中諸勘定金銭惣目録 卯（安政二年カ）二月改	横長半	一冊 あ 三八四
亥正月中入料勘定調下帳	横長美	一冊 あ 一六六
亥二月中惣入料勘定調下帳	横長美	一冊 あ 一六七
三月中入料取調下帳 八田氏	横長美	一冊 あ 一六五
年中暮方取調帳	横長半	一冊 あ 六六
丑二月より寅正月迄穀物出入御書上帳 寅二月	横長半	一冊 あ 一〇九八
賄		
賄穀物請払		
穀物預ケ通帳 天保四年一〇月一六日～二月二日	横長美大半 折	一冊 あ 二二三
米穀請払元帳（賄用の米穀） 賄方 天保七年一〇月～天保一一年正月	横長美	一冊 あ 一〇九
天保八酉年中穀物請払御勘定帳 賄方 天保九年正月改	横長半	一冊 あ 一〇八一

天保九戌年中穀物請払勘定帳 賄方源吾・宗弥 天保一〇年正月改	横長半	一冊 あ二〇九〇
賄方出入日記帳(米請払) 天保九年正月〜同一〇年七月	横長半	一冊 あ一四三三
正月中米穀請払帳 賄方 天保一〇年正月	横長半	一冊 あ二〇八九
米穀請払帳 賄方 天保一〇年二月	横長半	一冊 あ二〇八二
米穀請払帳 賄方 天保一〇年三月	横長半	一冊 あ二〇八三
米穀請払帳 賄方 天保一〇年四月	横長半	一冊 あ二〇八四
米穀請払帳 賄方 天保一〇年五月	横長半	一冊 あ二〇八五
米穀請払帳 賄方 天保一〇年六月	横長半	一冊 あ二〇八六
米穀請払帳 賄方 天保一〇年七月	横長半	一冊 あ二〇八七
米穀請払帳 賄方 天保一〇年八月	横長半	一冊 あ二〇八八
米穀請払元帳 賄方 天保一二年正月〜同一三年十二月	横長半	一冊 あ二〇八〇
寅年中御募方穀物日々請払帳 賄方 天保一三年	横長半	一冊 あ二〇九一
穀物其外受払帳 八田茶之間 天保一四年正月〜同一五年五月	横長美	一冊 あ二〇九四
年中穀物受払帳(朝夕穀物の使用量を日々付け込む) 八田茶之間 天保一五年六月〜弘化三年二月	横長美	一冊 あ二〇九三
歳内穀物請払帳 八田茶之間 弘化三年正月〜嘉永元年二月	横長美大	一冊 あ二〇九五
歳内穀物請払日記(後欠) 八田茶之間 嘉永元年三月〜二月	横長美大	一冊 あ二〇九六
玄米請取 御通帳 関屋村水車清五郎代赤井・白米御取定 伊勢町八田御内宛 明治二年三月(四月)	横半半折	一冊 あ三七六
請取物御通帳(中味白紙) 部屋 寅正月より	横美半折	一冊 あ一四八九
入 用		
御膳部新規御仕入取調払帳 文政四年三月二十五日	美	一冊 あ二五五
店方賄諸払御書上帳(諸入用払) 寅七月〜卯正月	横長半	一冊 あ二二〇
勝手方日記・控帳		
日記 勝手方 慶応四年四月	横美半折	一冊 あ一四九九
勝手方方控帳(日雇寛、薪請取寛、料理寛、穀物・塩・炭請取寛等) 御茶之間 明治五年正月〜同六年一〇月	横長半	一冊 あ一五三八
勝手方方控帳(酒店上りの白米の請取記録) 御茶之間 明治六年四月〜十一月	横長美	一冊 あ二〇九
御膳日記		
御膳日記(日々の献立を記す) 御膳所 寛政一二年一月中旬	半	一冊 あ五六三
御膳日記 御膳所 寛政一三年正月	半	一冊 あ五六三
御膳日記 御膳所 寛政一三年二月中	半	一冊 あ五六四
御膳日記 御膳所(享和元) 三月中	半	一冊 あ五六五
(御膳日記) (表紙欠) (享和元年) 四月中	半張	一冊 あ五六六
(御膳日記) (表紙欠) (享和元年) 五月中	半	一冊 あ五六七

御膳日記 御膳所 享和元年七月中

半 一冊 あ五六

棚卸、(↓「万書留帳」No.一二六二)

(内方棚卸覚帳) (泰金様遺言条々付) 八田茶之間 寛政四年〜文化一一年

横美大列 一冊 あ三六〇

文政三庚辰年調下帳 (棚卸勘定のための下調)

横長半 一冊 あ六五

残り米穀調元帳 天保四年二月改

横長美 一冊 あ二〇

天保七申年中米穀取調帳 勝之助 天保八年正月改

横美半折 一冊 あ二六

戌年穀物請払残物覚帳 天保一〇年正月改

横長半 一冊 あ七

貸方取調帳并有物代積書上下案 天保一二年六月

横長半 一冊 あ六五

嘉永五子春貸出金之調帳

横長美 一冊 あ二〇八

嘉永五子春改貸出金之調帳

横長半 一冊 あ二〇七

(有品取調覚)

横長半 一冊 あ六六

(中春棚卸勘定目録)

横長美大 一冊 あ四九

日記・控留

被仰付書・願書控留

旧書留帳 (役儀・格式被仰付書、扶持被下御書付等、木町八田本家の分)

横長美 一冊 あ三三

御書付品々扣帳 (八田家関係の願書や仰渡書の写扣) 八田孫左衛門 享保一二年〜二月〜寛政四年七月 横長美大 一冊 あ三六〇

御書付写 (役儀・格式被仰付書、扶持被下御書付 八田町奉行宛口上書等) 宝永六年〜天保一二年 横長半 一冊 あ三六八

諸願書・口上書書留帳 (八田嘉右衛門抱屋敷役代之儀ニ付町年寄・検断宛願書、名替ニ付名主宛口上書、印判相改願書等、八田関係) 文化五年 横長半 一冊 あ三七〇

諸用下案 (八田嘉右衛門が作成した書付の下案) 八田知義 文化一二年三月〜同一五年正月 美大 一冊 あ五七

※不調印規定帳 (御役代印形を重役が調印する際は書面の趣旨を写し控えるよう規定、この規定に基づいて調印した書状の書留) 天保九年一〇月 (天保九年一〇月二六日〜同一〇年八月一日) 半 一冊 あ五六

願書向日記 (諸願書および関連書類の写控) 菊屋伝兵衛 享和三年〜天保七年 横美列 一冊 あ一三

願書向日記 菊屋伝兵衛 天保一一年九月〜弘化二年七月 横美列 一冊 あ二八二

状 留

諸国文通留 (やりとりした書状の本文書留) 菊屋伝兵衛 嘉永三年〜嘉永六年 横長美 一冊 あ三六

状留帳 (状・為替・証文のやりとりの記録) 角喜産物 慶応三年〜明治三年 横長美 一冊 あ三九

文通留記 八田子静 (慎蔵) 慶応三年〜明治二年 美 一冊 あ五二

(書状控帳) 八田嘉右衛門 美小 9×20.5 一冊 あ三七九

茶之間日記・元方日記・役代日記他

茶之間諸用記 一番	天保四年三月一四日～五月四日	横長半	一冊 あ 六四
茶之間諸用記 二番	天保四年五月五日～六月六日	横長半	一冊 あ 六五
茶之間諸用記 三番	天保四年六月七日～二九日	横長半	一冊 あ 六六
茶之間雜記 四番	天保四年七月朔日～八月六日	横長半	一冊 あ 六七
茶之間雜記 五番	天保四年八月七日～二二日	横長半	一冊 あ 六八
茶之間雜記 六番	天保四年八月二三日～九月二〇日	横長半	一冊 あ 六九
茶之間諸用日記 七番	天保四年九月二一日～十一月一三日	横長半	一冊 あ 七〇
茶之間雜記 八番	天保四年十一月一五日～二月晦日	横長美	一冊 あ 七三
雜記 壹番	八田氏 天保五年正月元日～四月七日	横長半	一冊 あ 七三
雜記 貳番	八田知則 天保五年四月八日～七月七日	横長半	一冊 あ 七三
雜記	天保六年七月朔日～閏七月二九日	横長半	一冊 あ 七四
雜記	天保六年八月朔日～十一月一五日	横長半	一冊 あ 七五
茶之間日記	天保六年十一月一六日～二月晦日	横長美	一冊 あ 七三
○			
元方取計日記	天保七年二月二三日～八月晦日	半	一冊 あ 五九

元方取計日記	天保七年九月朔日～二月二九日	半	一冊 あ 七〇
元方取計日記	天保八年正月元日～五月晦日	半	一冊 あ 七一
元方取計日記	天保八年六月朔日～二月晦日	半	一冊 あ 七二
元方取計日記	天保九年正月元日且～閏四月二七日	半	一冊 あ 七三
元方取計日記 (天保九年)	八月朔日～二月朔日	半	一冊 あ 七四
日記 角喜元方	天保一一年～同三年	横美大列	一冊 あ 一七
○			
諸用覚日記 菊屋伝兵衛	文政八年	横長美	一冊 あ 一四三
諸用日記 (諸書留) 幾久屋伝兵衛	文久元年～明治九年	美大	一冊 あ 六三
嘉助出府留主中扣帳 (留主中諸事日記)	天保一一年二月一日～同二年正月二九日	美	一冊 あ 一六八
○			
(日記) 八田嘉右衛門知義	文化二二年四月四日～二月二三日	横半列	一冊 あ 三八四
日記	天保七年正月元日～二九日	半	一冊 あ 五五
(日記) 安政三年二月朔日～一八日		美	一冊 あ 一六八
(日記) 元治二年正月二〇日～慶応二年二月六日		横長半	一冊 あ 七五
万書留帳			
万覚帳 (預り金、預け金、無尽、金銭内方江受取覚等々)	八田嘉助 享保	小横切美列 9.5×11	一冊 あ 一〇八
(万覚帳) (贈答、買物、貸金返済覚等々) (前後欠、虫損甚だし)	延享三年～同四年	横長半	一冊 あ 一四〇七

大福帳(無尽、御用金、貸付、請取等の諸記録)	八	横美大列	一冊 あ二九六
田鉄次郎 宝曆、明和			
万覚帳 菊屋儀兵衛 宝曆四年		横美半折	一冊 あ二三六
万覚帳 宝曆六、七年		横美列	一冊 あ二三六
万覚帳 宝曆八、明和四年		横美列	一冊 あ二二九
万覚帳(表紙欠) 安永二年、天明元年		横美列	一冊 あ二四〇
万覚帳(法会執行、贈答等) 前欠 明和、寛政五年		横美大	一冊 あ三三三
当座覚日記(節季買物、贈答、普請、参府御供等、諸事書留) 虫損甚だし 明和二年、享和元年		横美大	一冊 あ三三四
諸用留日記(無尽取入調、金子入用、内方棚卸調等の書留) 文化一四年		横美半折	一冊 あ二六三
(万書留帳) (婚姻・法会執行・贈答・節季買物) 前欠		横美大	一冊 あ三三二
諸色扣帳 文化六年、文政五年		横美列	一冊 あ三三九
(諸事扣帳) (諸道具扣、穀物有高扣、小作方并手作扣) 前後欠 虫損甚だし 文化、文政		横美大	一冊 あ三三八
(万書留帳) 文政八年		横美大	一冊 あ三三〇
雑用録(金銭中借、小作年貢・山年貢・家賃請取、貸出金請取、払物、無尽等々) 八田茶之間 天保五年正月、同六年正月		横美大	一冊 あ一三六五
万書留帳 八田 天保一〇年七月朔日、一二月一、九日		横美大	一冊 あ一〇七三
万書留覚帳(買物・諸入料・贈物・献立・願書・証文等の書留、買物記録が多い) 八田氏 天保一一年三月朔日、四月二九日		横美大	一冊 あ一〇六二

万書留覚帳 八田氏 天保一一年五月朔日、七月一三日		横美大	一冊 あ二六三
万書留覚帳 八田氏 天保一二年正月元日、三月一六日		横美大	一冊 あ二六四
万書留覚帳 八田氏 天保一二年三月一七日、六月晦日		横美大	一冊 あ二六五
万書留覚帳 八田氏 天保一三年正月元日、三月二九日		横美大	一冊 あ二六七
万書留覚帳 八田氏 天保一三年四月朔日、六月二九日		横美大	一冊 あ二六八
万書留覚帳 八田氏 天保一三年七月朔日、九月晦日		横美大	一冊 あ二六六
諸用留日記 八田茶之間 天保一五年正月、弘化二年七月		横美列	一冊 あ二三三
万扣帳 茶之間 弘化二年正月、同三年二月		横美列	一冊 あ二三五
(万控帳) (弘化四年「店人別規定帳」・嘉永二年「畑地譲渡証文」の写、その他営業上の覚書) 弘化・嘉永		横美半折	一冊 あ一三二
(万覚帳) 明治一二年二月六日、四月一三日		横美大	一冊 あ二九八
万覚付帳(買物、借金、その他) 戊一一年八月、亥正月元日		横美半	一冊 あ二九二
万覚帳(買物記録) 戊一〇・一一月		横美	一冊 あ二九四
(諸事取調覚帳) (小作地代家賃取、年貢諸役上納、内方江上納、塩肴仕入・払方、普請入用、入用穀高、手作取入覚) 寅、丑		横美	一冊 あ三三一

手 控

(諸事心扣書立寛)	文化六年	横美大半折	一冊 あ 三六
懷宝恵録(残糸調、買物調、金銭差引等々)	(文)	小横美列 9.5×19	一冊 あ 五〇七
雑記(金銀出入扣、貸出金寛)	八田知則 天保五年	小横美列 9.5×18.5	一冊 あ 二三
雑記 知則扣	天保五年一二月朔日〜五日	横長半	一冊 あ 六九
雑記	正月一四日〜二月晦日	横長半	一冊 あ 四八九
日用録	玉江包桔 天保九年十一月〜同一年十二月	小横美列 11×19	一冊 あ 四九八
天保十三寅年手扣(金銭請払)		横半半折 横美半折	二冊 あ 一五〇〇
手元内扣牒(諸払金)	嘉永六年三月〜五月	横美半折	一冊 あ 一五〇一
服忌令写	元禄六年、元文元年	小堅半半 10.5×17.5	一冊 あ 一五三
儉約之御定(武家に対する儉約令)〈筆写〉		半	一冊 あ 五七五
真田家御親族御法名書		折本 15×7.5	一冊 あ 一五七
御法名書(將軍家、御三家、真田家他)	八田以親	堅美半	一冊 あ 一五六

儀 礼

為 知 帳

家督被 仰付候ニ付為知寛帳〈破損大〉	(八田嘉助) 卯(延享四年) 七月二二日	横長半	一冊 あ 二八五
於江府 御加扶持廿人扶持拝領 御目見首尾好申上 御紋付御上下拝領	為知帳 寛延三年一月朔日	横長美	一冊 あ 二七二
家督被 仰付候為知之寛帳(御目見江も此以帳面為知申候)と註記	八田鉄次郎 (宝曆六年)	横長半	一冊 あ 二八九
為知之帳面	八田孫左衛門 酉一二月二七日	横長半	一冊 あ 二八九
泰金様御差重御知寛	(享和三年)	横長半	一冊 あ 二八四
孫左衛門様御死去被遊候節口上為知扣帳	(享和三年)	横長半	一冊 あ 二八五
為知案詞帳・輕出入名前帳	文化一〇年一二月	横長美	二冊 あ 二三八
為知案詞帳(役職・寺院別書式)	為知状 文政元年	横長半	一冊 あ 二九
(為知名面帳) (通知先の名面)	文政元年八月	横長半	一冊 あ 二五
為知帳(名面帳)	文政四年四月	横長美	一冊 あ 七〇八
為知帳・案詞帳・輕出入名面帳	文政七年一二月	横美列	一冊 あ 七〇七
靈明院様初七日法要御案内申上候方々名面帳		横長半	一冊 あ 二九七
為知帳(名面帳)	嘉永二年正月	横長美	二冊 あ 七〇三

(為知名面帳)	横長美大	仮一冊	あ二九四
(為知名面帳)	横長半	一冊	あ二八五
(為知名面帳)	横長半	仮一冊	あ二九六
(為知名面帳)	横長美	仮一冊	あ二九六
(為知名面帳)	横長半	仮一冊	あ二九二
為知帳 (名面帳)	横長半	一冊	あ二八六
半元服願書差出候節知セ名面帳	横長美	仮一冊	あ二九五
家督御目見ニ付為知覚帳	横長半	一冊	あ二九〇
(町年寄役就任為知狀下書)	折紙	一通	あ三九八
御役御訴訟申上候ニ付御内分之覚(病氣ニ而町年寄役御免願ニ付諸方江為知帳)	横長美	仮一冊	あ二九六
不幸為知覚帳	横長半	一冊	あ二八六
伯母様死去為知狀扣帳	横長半	仮一冊	あ二九一
赤飯配			
おてふ様御宮参リニ付赤飯配覚帳	横長半	仮一冊	あ二七五
鉄治郎宮参リニ付赤飯配覚帳	横長美	一冊	あ二五一
文政六癸未四月鉄之助様初而之御目見之節赤飯配覚帳	横長美	一冊	あ二四六
嘉太郎参宮ニ付御被并土産物配覚帳	横長美	仮一冊	あ二〇五
おとよとの引越ニ付赤飯配覚帳	横長美	仮一冊	あ二九七
於豊との引越候付赤飯配覚帳	横長美	仮一冊	あ二九六

新規被 召出御擬作頂載之御礼申上候節赤飯配扣帳	横長半	一冊	あ二八〇
祝儀強飯配覚帳	横長半	仮一冊	あ二九三
強飯配覚帳	横長半	一冊	あ二四六
御礼濟ニ付品留帳(御同道名面、赤飯配先名面等)	横長半	一冊	あ二八二
八田氏 戊二月			
献上・進物			
当座覚日記(祝儀・香燭・見舞等の遣し覚)	横切美列	一冊	あ二五二
六年九月(文化二年九月)	横長美大	一冊	あ二八八
(贈物目録)	横長美	一冊	あ二九六
本田豊後守様御婚禮被成御調候付献上物一卷	横長美	一冊	あ二九六
文化二二年	横長半	二冊	あ二〇五
暮取調帳(付届進物取調)	横長美大	一冊	あ二四七
歲暮取調帳	横長美	一冊	あ二四八
申御年暮物配取計帳	横長美	一冊	あ二三七
天保十亥年暮并子年配物取計帳	横長半	一冊	あ二四三
戊申歲暮配物帳 (嘉永元年カ)	横長美大	一冊	あ二九二
配物取調帳	横長美大	一冊	あ二二三
配物取調帳	横長美大	一冊	あ二二三
歲暮配物取調帳	折 横長半	九綴	あ二四六
安政二年(文久三年)			

歳暮配物取調帳 慶応元年〜明治四年

歳暮物配留控帳 明治五年二月

未之御歳暮配取計帳

申歳御年暮物配帳

子御歳暮物配取計帳

卯之臘月歳暮配物扣帳

辰之臘月歳暮配扣帳

辰之臘月歳暮配物扣帳

巳之臘月歳暮配物扣帳

青銅進上請取証文 小崎孝右衛門 八田嘉助宛

献上物調帳 巳三月

江戸御用ニ付罷出付届ヶ扣帳 午十一月

(贈物覚帳) 村田兵助 二月二九日

臨時御進物覚帳 三月二三日〜九月四日

(贈物覚帳)

(向様江儀兵衛被參候節持參贈物目録)

〇月一四日

納屋甚兵衛へ初面会并御酒被下帰国ニ付被下
もの御入料調覚

横長半折 二冊 あ一四八

横長半折 一冊 あ一四〇

横長半 一冊 あ一四三

横長半 一冊 あ一四四

横長美 一冊 あ一四五

横長美 一冊 あ一三〇

横長美 一冊 あ一三一

横長美 一冊 あ一三三

横長美 一冊 あ一三三

一通 あ一三六

横長美大 一冊 あ一八九

横長美大 一冊 あ一八三

横長半 一冊 あ一八五

横長半 一冊 あ一九五

横長美 一冊 あ一七三

横長美大 一冊 あ一八四

横長半 一冊 あ一九七

来訪人名面帳

常七郎七夜祝儀帳 当日御祝儀御客付帳(袋入)
亥五月

御町年寄役見習被 仰付候御出之覚(御祝に來
た者、使者をよこした者の名面帳)へ虫損甚し 戌二
月九日

御玄関帳(年賀來客名面帳) 天保八年正月、同一
〇年正月

年始廻礼帳(檀家廻礼) 尼巖山執事 天保七年正
月

(御出并音物差出人名面帳)

(名面帳)〈前後欠〉

到 来 物

泰全様 諸方御音物御到來扣帳 酉九月、亥正月
義孝様

享和二年二月廿六日泰全様給人格被蒙 仰
候付為御吹聴御問柄之進物下々迄被下候御祝
賀品扣并享和三癸亥正月忠崇泰全様御遺物配
分扣 (八田知義)

御町年寄役被 仰付候ニ付御祝儀覚帳 亥三
月二日

騷擾ニ付御見舞覚帳 明治三年一月二七〜一
二月二五日

鏡屋町長屋類焼之節見舞到來物控帳 明治五
年五月一五日

横長半 二冊 あ一七二

横長半 一冊 あ一九八

横長半 二冊 あ一四五

横長半 一冊 あ一三七

横長半 一綴 あ一九六

横長半 一綴 あ一四三

横長半 二冊 あ一三四

横長半 二冊 あ 〇

横長半 一冊 あ一七五

横長半 一冊 あ一三八

横長半 一冊 あ 〇

長岡寺失火之節御見舞到来覚控帳 五月	明治五年	横長美	一冊	あ四四九
御見舞到来覚帳		横長美	一冊	あ三九三
御家中御重方町在音信之覚帳 所々々賞候物覚帳	子七月	横長美	一冊	あ三八五
(祝儀到来物覚帳)		横長半	一冊	あ三八〇
(到来物覚帳)		横長美大	一冊	あ三〇七
(到来物覚帳)		横長美	一冊	あ三九五
(到来物覚帳)		横長美大	一冊	あ三九〇
(坂原嘉太郎と贈物目録)	三月一日	横長美	一冊	あ二八七
贈答覚帳				
年中定式寺院社家其外臨時音信贈答書状案之 扣帳		美	一冊	あ三四七
(贈答覚帳) (前後欠)	文化二年〜同四年	横美列	一冊	あ三三九
音信贈答控帳	八田氏 文化五年正月〜同九年八月	横美列	一冊	あ三四六
音信贈答覚帳 (前欠、虫損甚だし)	八田氏 文化二年〜文政元年	横美大列	一冊	あ三六九
文政三辰年歳暮到来扣帳		横長半	一冊	あ三三六
※大坂表江御贈答物買上調帳	嘉永二年正月〜五月	横長半	一冊	あ三六〇
年中音信贈答覚帳	安政二年五月〜十二月	横美半折	一冊	あ三七六
年中音信贈答覚帳	安政三年二月〜同五年六月	横長半	一冊	あ二六五
音信贈答覚帳	安政五年七月〜同六年十二月	横長半	一冊	あ二六六
音信贈答覚帳				
音信贈答覚帳	安政七年正月〜万延二年正月	横長半	一冊	あ二六七
音信贈答覚帳	万延二年正月〜文久二年正月	横長美	一冊	あ二六八
音信贈答覚帳	文久二年正月〜同三年二月	横長美	一冊	あ二六九
餽遺贈答記	文久三年正月〜同四年正月	横長美大	一冊	あ二四六
餽遺贈答記	文久四年正月〜元治元年四月	横長美大	一冊	あ二四七
音信贈答(答)記	元治二年四月〜慶応二年九月	横長美	一冊	あ二七〇
音信贈答記	慶応二年九月〜同四年正月	横長美	一冊	あ二七一
音信贈答記	慶応四年正月〜明治三年七月	横長美	一冊	あ二二九
音信贈答記	明治三年七月〜同六年十二月	横長美	一冊	あ三三〇
(贈答覚帳) (前後欠、虫損甚だし)		横長美大	一冊	あ三三六
婚姻・離縁				
(婚礼御祝之次第覚) (二代嘉助の代)		横長美大	一冊	あ三三六
お浪殿御引越付品々控帳	享和二年八月二五日	横長半	一冊	あ三六二
嘉右衛門婚姻ニ付御賄并御祝儀到来帳	丑正月	横長半	一冊	あ二八八
(小山田六郎嫡子藤四郎江八田嘉右衛門次女 縁組取斗書)	片山弥友 亥二月	横長美大	一冊	あ二七五
増田徳左衛門二女於房致養女大瀬登殿	江差遣候ニ付一卷控 文政六年	横長半	一冊	あ二四五
おなを殿御引越ニ付入用覚帳 (袋入)		横長半	一冊	あ二六九
時縁組手続控帳并丈助と角店佐助宛書状 (袋入)	慶応元年	横美半折	一通	あ二四七

（持参道具目録） 八田嘉右衛門使藤嶋幸助 六月十五日 横長美大 一冊 あ二九三

（婚礼祝儀進物并持参物目録） 八月二十四日 横長美大 一冊 あ二九三

衣類入之記 横長美 一冊 あ二九七

御膳御道具之入記 横長美大 一冊 あ二九〇

○

伝兵衛願書写（おふさ殿離縁之件ニ付） 八田嘉右衛門宛 一二月一〇日 横長美 一冊 あ二九〇

鉄治郎様御儀離縁ニ相成候ニ付取斗方存意申上書下案 横長半 一冊 あ二九〇

某書状下書（同苗鉄次郎不行跡一条ニ付） 横長半 一冊 あ二九六

葬儀・法事

諸向覚日記（葬儀、法事の執行記録） 文政八年五月〜嘉永四年五月 横長美大 一冊 あ六九七

献光院様御不幸ニ付御葬式一卷並御法事中惣御入料取調書上帳 天保一四年四月朔日 横長半 一冊 あ六六

買物帳（葬式之節買物判取帳） 四ツ屋宗助 天保一四年九月 横半半折 一冊 あ一三二

法事案内覚帳并備物到来覚帳（袋添） 安政五年、文久元年、同二年 横長美 一綴 あ二〇三

野帳（葬儀列席名面帳）〈折目上〉 横長半 三冊 あ二九四

（葬儀行列帳） 横長半 一冊 あ二八四

御行列帳（葬儀行列） 横長半 一冊 あ二八三

大福帳（諸儀礼覚帳）

大福帳（婚礼、法事、贈答の記録） 宝曆〜明治初年 横長美大 一冊 あ六九四

（諸儀礼覚帳）〈前後欠〉 寛政五年〜文化五年 横長美大 一冊 あ三〇三

年中行事帳

年中行事覚（武家の儀礼）〈筆写〉 明和九年正月 小半 一冊 あ二四九三

年中行事帳 嘉永六年一〇月〜安政二年五月 横長半 一冊 あ二四三

年中行事書留帳 万延元年正月〜慶応元年三月 横長美大 一冊 あ二〇六

総中行事書留帳（明治一一年以降の記事は簡略） 慶応三年七月〜（明治二二年二月） 横長美 一冊 あ二〇〇

総中行事書留帳 明治一二年三月〜同一七年正月 横長美大 一冊 あ二〇一

宴会

表奥御盃順覚（男性の盃順） 横長半 一冊 あ二九三〇

奥御盃順覚（女性の盃順） 横長半 一冊 あ二九三

（金錢請払覚）（八田一族の女性の集りの際のコツ請払） 八月二十九日 横長半 一冊 あ二九五〇

献立控（三郎此方へ為対面被越候ニ付） 享和三年二月二十五日 小半 一冊 あ二〇四

（献立目録） 横長美 一冊 あ二九三七

（献立目録） 横長美大 一冊 あ二九三九

（献立目録） 五月 横長半 一冊 あ二九六五

（献立目録） 八月一五日 横長半 一冊 あ二九五三

<p>(献立目録) 卯一〇月二四日</p> <p>献立目録 一一月二六日</p> <p>(献立目録)</p> <p>僧尼除夜接待覚帳</p> <p>除夜接待覚帳 子二二</p> <p>御歎帳 (干瓢・菓子・鯉ふし等の品名と差出人の名前を記す) 嘉永四年一一月五日</p>	折紙	一通	あ二六三
	横長美大	一冊	あ二九二
	横長半	一冊	あ二九七
	横長美大	一冊	あ二九六
	横長美大	一冊	あ二九三
	横長半	一冊	あ二七
<p>旅</p> <p>社寺参詣</p> <p>(勢州参宮洛陽八幡社参道中記) (八田競・太瀬弥門・八田孫左衛門同道) 宝曆一〇年二月一四日 四月八日</p> <p>紀行 (信州・甲州・紀州寺社参詣) 寛政四年八月五日 日一〇月一六日</p> <p>調物覚控帳 (道中記、信州・甲州・江州寺社参詣) 寛政七年八月四日一〇月九日</p> <p>紀行 (京都寺社参詣) 文化六年三月一三日一〇月一七日</p> <p>紀行 (野州・武州へ旅行) 堀内五十治・宮沢英左衛門・八田嘉右衛門 九月五日一〇月六日</p> <p>善光寺御仏参之節諸品弘方元帳 良右衛門 天保九年八月</p> <p>別所観音へ参詣往返入費調帳 甲寅(嘉永七年)五月</p>	堅美半	一冊	あ一八九
	横半半折	一冊	あ二七二
	横半半折	一冊	あ二六六
	横美大半折	一冊	あ二七三
	横半半	一冊	あ二七四
	横長半	一冊	あ二六
	横美大半折	一冊	あ二五九
<p>入 湯</p> <p>赤倉御入湯日記 (文政元年) 一一月五日一三日</p> <p>赤倉御湯治諸色控帳 (賄品物道具) 石川虎藏 戊寅(文政元年) 一一月</p> <p>赤久良御湯治金銭入払帳 石川虎藏 戊寅(文政元年) 一一月</p> <p>赤倉温泉御入湯中御賄覚帳 (旦那様一行入湯) 松代八田嘉右衛門内高井良右衛門 天保七年五月二日一六月二日</p> <p>松本御出諸雑入用帳 大旦那様御供宗弥 天保七年五月八日一四日</p> <p>越後御見物諸雑用弘方書上帳 宗弥 天保七年五月一五日一二五日</p> <p>赤倉湯中諸品弘方覚帳 松代八田嘉右衛門内高井良右衛門 天保七年五月二三日一六月四日</p> <p>赤倉御入湯御入料調帳 和七・宗弥・良右衛門 天保七年六月</p>	横長半	一冊	あ二六三
	小美	一冊	あ二四五
	9×19	一冊	あ二四五
	小半	一冊	あ二四
	10×18	一冊	あ二四
	折本	一冊	あ二六
	12.5×7.5	一冊	あ二六
	横半半折	一冊	あ二八三
	横美半折	一冊	あ二八三
	横美半折	一冊	あ二八二
<p>四七</p>	横長半	一冊	あ二八二
	横長半	一冊	あ二八二
	横長半	一冊	あ二八二
	横長半	一冊	あ二八二
	横長半	一冊	あ二八二
	横長半	一冊	あ二八二
	横長半	一冊	あ二八二
	横長半	一冊	あ二八二
	横長半	一冊	あ二八二
	横長半	一冊	あ二八二

家財			武 器 (↓『質店』『取替』)		
赤倉御入湯御入料覚帳 和七 天保七年五月二三日〜六月四日	横長半	一冊 あ二八四	武器手控帳 文化五年正月	横美大列	一冊 あ一三三
御湯治ニ付御買上物取調帳 買物方 申(天保七年) 六月	横長半	一冊 あ二八六	武器所記 文政六年九月改	横長美	一冊 あ 五六
赤倉御入湯御入料帳 天保一五年七月二五日〜八月六日	横長半	一冊 あ二八〇九	大小并白鞘鎗長刀改帳 文化一〇年八月	横長美大	一冊 あ二六三
赤倉御湯治ニ付御入料覚帳	横長半	一冊 あ二八〇五	大小并白鞘鎗長刀改帳 文化一〇年八月	横長美大	一冊 あ二六三
赤倉御湯治諸弘方調帳	横長美	一冊 あ二八〇〇	大小拵付并白鞘鎗長刀改下帳 八田知則 天保二年正月	横長美	一冊 あ二六四
赤倉御湯治ニ付御懸物覚帳	横長半	一冊 あ二八〇六	(大小并白鞘改帳)	横長美	一冊 あ二六五
赤倉御湯治ニ付到来物覚帳	横長半	一冊 あ二八〇四	下見札相添帳(刀身鑑定)	横長美	一冊 あ二八六
野沢御湯治賄御入用取調帳 子五月二日〜二五日	横長美	一冊 あ二八九	大小拵注文書(斷簡) 天保二年正月	横長美	一冊 あ二八九
寺社奉加			大小刀拵注文書下案	横長美	一冊 あ二九〇三
鑄鐘奉加帳 松城群神山和合院 享保七年	美大	一冊 あ二五八	鉄砲改帳 文化一二年八月	横長美大	一冊 あ六九
諏訪宮勸化請取普請入料并御遷宮入用覚帳 宝暦四年一二月	横長美大	一冊 あ二四	鉄砲改控 天保三年一〇月	横長半	一冊 あ七四
諏訪宮御再建ニ付控帳 文化六年七月	横半半折	一冊 あ二五〇	具足調控帳 八田知義 文政四年八月改	横半半折	一冊 あ一八
諏訪宮御再建当座日記 八田知義 文化八年三月〜同年九月	美	一冊 あ二五二	(具足代金見積積覧) 高田孝七 二月一〇日	折紙	一通 あ二七六
(浄福寺本堂再建仕法積り立差上帳) 栄八 天保一五年十一月	横長美	一冊 あ二二三	花色糸織甲冑皆具注文目録	様長半	一冊 あ二五二
(奉加帳)	横長美	一冊 あ二三	衣類・諸道具・書画他 (↓「茶の湯」)	横長美	一冊 あ二三五
			諸道具改覚帳 宝暦六年八月		

道具調下案	八田知義	文化五年七月	小横美列 10×15	一冊	あ二五三	(衣類・夜具・手道具目録)	横長美	仮一冊	あ二九〇
諸道具覚帳	文政四年一〇月	横美列	一冊	あ二五四	御膳御道具入日記	横長半	一冊	あ二八九	
諸道具調帳	天保四年一〇月	横長半	一冊	あ二八四	御次向道具調控帳(膳、盆、皿等)	横長半	一冊	あ二八九	
中蔵道具調控帳	八田茶之間	横長美	一冊	あ二九二	(食器目録)	様長美	仮一冊	あ二九四	
中蔵納置道具覚帳(表紙なし)	天保五年七月	横長美	仮一冊	あ二八一	(盆・椀目録)	横長美大	仮一冊	あ二九八	
諸道具直打付元帳	天保一二年一月	横長美大	一冊	あ二七三	諸道具買覚控帳(掛物)	横長半	仮一冊	あ二九三	
(諸道具調帳)		横長美	一冊	あ二七九	月				
調道付込帳(表紙なし)		横長美	仮一冊	あ二八〇	角御屋敷御用品控帳(巻絵、茶器等)	横長半	一冊	あ二五〇	
品々覚帳		横長美	一冊	あ二八三	住人	横長美	一冊	あ二五〇	
(有品改覚帳)(扇子類、煙筒類、木引、鏡類、糸類、仏具等々)		横美大列	一冊	あ三六二	天保十四卯年閏九月望月様を御預り分御掛物入記控	横長美	一冊	あ二五〇	
諸道具手入帳	小長舎	横長半	一冊	あ二八三	(預り物目録)(書画・香路・具足等の預り)	横長半	仮一冊	あ二五	
道具目入帳	亥一一月	横長半	一冊	あ二九〇	貸ものの帳(屏風・絵画・書籍等の貸出付込帳)	横長美	四冊 綴	あ八九七	
書籍・武器・懸物・茶器目録		横長美大	一冊	あ三七六	政四年(慶応三年)	横長半	仮一冊	あ二九四	
(書籍并諸道具目録項目立覚)(大小刀、武器、茶道具、家具等)		横長半	仮一冊	あ二九四	手鑑軸物類目録	横長半	一冊	あ二九六	
(諸道具并書籍目録)		横長美	一冊	あ三九五	(拝領御掛物目録)	横長半	一冊	あ二九六	
(書籍・武器・懸物・茶器目録)		横長美	一冊	あ三七七	(陶器目録)	横長半	仮一冊	あ二九四	
家具之類覚帳(表紙なし)		横半半折		あ二八八	残品取調帳(茶器・刀剣・懸物等)	横長美大	一冊	あ二四六	
(衣類并諸道具目録)		横長美	仮一冊	あ三四八	焼失之品々目録	横長半	仮一冊	あ二九三	
(衣類并諸道具目録)(前後欠)		横長半	仮一冊	あ三四六					

蔵 書(↓「衣類・諸道具・書画他」)

書籍目録	八田姓	文化一〇年七月一六日改	半	一冊	あ二五三
書籍目録			横長美	一冊	あ二三三
古書籍目録			横長美	一冊	あ二三四
新書籍目録	八田知則		横長美	一冊	あ二七六
(書籍目録)			横長美	仮一冊	あ二〇六
武具要説・武道心鑑	〈筆写〉		横美半折	一冊	あ五三
兵法記	松	〈筆写〉	小半	一冊	あ一九
			9×18		
(未守書兵法論写)	壬戌一〇月八日		横長美	仮一冊	あ二五九
生兵令詞			小半	一冊	あ一三
			10×14		
散兵令詞	〈筆写〉		小半	一冊	あ二一
			10×14		
練身術令詞	〈筆写〉		小半	一冊	あ一八〇
			10×14		
陰陽筮秘口伝	乾	〈筆写〉	小半	一冊	あ一七
			17×13		
陰陽筮秘口伝	坤	〈筆写〉	小半	一冊	あ一六
			16×13		
古易口決秘卷・古易占言則	口訣	〈筆写〉	小半	二冊	あ一七三
			16×13		
易聖元	口訣地	〈筆写〉	小半	一冊	あ一五
			16×13		

易聖元	秘卷天	〈筆写〉	小半	一冊	あ一九	
			16×13			
易伝筮則	全	〈筆写〉	小半	一冊	あ二〇〇	
			16×13			
易冊	全	〈筆写〉	小半	一冊	あ一九三	
			16×13			
易術	〈筆写〉		小半	一冊	あ一九二	
			16×13			
易学示蒙伝	乾	〈筆写〉	小半	一冊	あ一九一	
			16×13			
易術精緋	生卦伝	父之巻	〈筆写〉	小半	一冊	あ一九六
			16×13			
易術精緋	生卦伝	母之巻	〈筆写〉	小半	一冊	あ一九五
			16×13			
五行之伝	〈筆写〉		小半	一冊	あ一九一	
			16×13			
運氣極密呂律秘伝	坤	〈筆写〉	小半	一冊	あ一九三	
			16×13			
氣秘術言川合並門内之塊集	〈筆写〉		小半	一冊	あ一九四	
			16×13			
筮筮法	〈筆写〉		小半	一冊	あ一九〇	
			16×13			
象徴古周易復古堂中洲先生述	〈筆写〉		小半	一冊	あ一九四	
			16×13			
薫物秘方〔秘伝焚物之法〕	〈筆写〉		横半半折	一冊	あ二六	
近代玩器名物志	全	〈筆写〉	半	一冊	あ二五	
	無為生人写	宝曆一〇年三月写				
胸中曆	〈筆写〉	北水先生口授	文化	一冊	あ二〇五	
			横美半折			

雑話 全〈筆写〉 化路里観山人撰 寛政二年

白隠和尚荒年記〈筆写〉

(初伝・奥伝・別伝目録)

四大寄書〈版本〉

(謡曲)〈版本〉

(陶器焼物図解)〈筆写〉

茶之湯伝事之書〈筆写〉 八田知則蔵

如雪乱芳斬〔狩野家系図〕〈筆写〉

見聞・風説書

(江戸御城碁棋譜写)〔道策と知哲対局〕 寛文一〇年八月九日

(江戸御城碁棋譜写)〔春知と道知対局〕 貞享元年十二月

浅野侯御家来吉良氏を討取候節之聞書写 元禄一五年十二月

大石蔵助良雄自筆書状写 恵光・良霊・神護寺宛 二月一三日

南部信濃守様御城着御使者一件書留 徳寛宝暦七年

堅美半 一冊 あ二〇一

小半 18×11 一冊 あ三九五

小半 16×13 一冊 あ三〇七

小半 17×11 一冊 あ一七〇

小半 18×12 一冊 あ一八六

小半 9×16 一冊 あ一八三

半 一冊 あ二五〇

折本 17×9 一帖 あ一六九

堅美半 一冊 あ二〇三

堅美半 一冊 あ二〇三

横長美 一冊 あ二七四

横長美 一冊 あ二五九

堅美半 一冊 あ二五二

桃園院様御葬送御行列 宝暦一二年八月二二日

(風説書留)〔文政十年江戸谷中瑞輪寺墓所より古金掘り出し、および一朱金吹立に關する〕

(大御所様御新葬并御法事諸掛り名前書留覚)〔天保二二年〕

(先鋒隊・前衛隊・中軍・後衛隊配置絵図)〔凡例等関連書類三枚添、袋入〕 弘化三年三月

御軍制御人数組覚并御本陣御人数調覚〔断簡二通添〕

御先手備布列之図

御前備布列之図

(軍隊配置図)

五御備御人数調書〈筆写〉

一之御先手御備行列帳

二之御先手御備行列帳

松平政千代勢被仰渡書写〔蝦夷地警固〕

(蝦夷地警固関係諸写留帳)

応接警衛之記式〔垂墨利加船来航時の応接・横濱警衛の様子を記す〕

(江戸大地震関係用状・書状・触書写)〔安政二年一〇月〕

和宮御参向御用掛御役人附〈版本〉 誠養堂刊 文久元年初冬

小半 7×28 一冊 あ一五五

半 一冊 あ二〇〇

横長半 一冊 あ二九六

54×78 四鋪 あ五五二

横長美 一冊 あ七〇九

73×54 一鋪 あ五五六

73×54 一鋪 あ五五五

65×40 一鋪 あ五五七

半 一冊 あ五三三

横長半 一冊 あ二八三

横長半 一冊 あ二九五

横長半 一冊 あ二九五

横長半 一冊 あ一七七

美 一冊 あ三五七

横長半 一冊 あ二五九

<p>(和宮様関東江御縁組ニ付御下向道中、見聞記写) (文久二年)</p>	<p>美 仮一冊 あ三六七</p>	<p>御上洛御行列帳 (文久三年三月カ)</p>	<p>横長半 一冊 あ 八</p>	<p>朝鮮人御馳走場写</p>	<p>一通 あ三六三</p>	<p>(御行列帳) (殿様行列)</p>	<p>横長半 一冊 あ二六九</p>	<p>諸 芸 (↓『蔵書』)</p>	<p>文 芸</p>	<p>詠草 薫嵐</p>	<p>横長美大 一冊 あ二六九</p>	<p>詠草 (美波留先生添削)</p>	<p>美 一冊 あ三五三</p>	<p>(詠草下書) 藤原董安</p>	<p>横長美大 一冊 あ三五五</p>	<p>(詠草)</p>	<p>折 一通 あ三四四</p>	<p>詠草 (断簡)</p>	<p>折紙 四枚 あ二九八</p>	<p>(句集) (筆写) (去來・柳居・其角等)</p>	<p>横長美半折 仮一冊 あ二〇八</p>	<p>(連歌) (筆写)</p>	<p>横長半 一綴 あ二〇九</p>	<p>(前中納言齊昭并梅田源治郎詩句写)</p>	<p>一通 あ二六八</p>	<p>(頼三樹詩句写)</p>	<p>一通 あ二六〇</p>	<p>(手習書) (断簡)</p>	<p>五枚 あ三四三</p>	<p>茶の湯 (↓『家財』『衣類・諸道具・書画他』)</p>	<p>(千利休百五十年忌茶会諸記録帳) 己巳(寛延二年) 十一月一七日 横長美半折 一冊 あ二六七</p>	<p>茶之湯留日記 八田知則 文化・文政</p>	<p>横美列 一冊 あ三六七</p>	<p>(森村慈心院より預り置候掛物・巻物并茶器目録) 嘉右衛門 六月三日</p>	<p>横長半 仮一冊 あ二九〇九</p>	<p>御預り諸道具調下帳 (茶会用諸道具) 辰九月 八田知則</p>	<p>横長半 一冊 あ二八六</p>	<p>茶会之節入用具調帳 西九月</p>	<p>横長美半折 一冊 あ二六六</p>	<p>(書院飾并茶亭掛物目録)</p>	<p>横長美 一冊 あ二六</p>	<p>座敷飾留書 文政四年三月二五日</p>	<p>横長美大 一冊 あ二五</p>	<p>懸物軸控</p>	<p>折 一冊 あ二五</p>	<p>会席道具并広座敷用具目録</p>	<p>横長美 一冊 あ二六八</p>	<p>(茶道具類并会席道具目録)</p>	<p>横長美大 仮一冊 あ二九一</p>	<p>御道具拝見之分目録 (茶会用諸道具) 六日~一八</p>	<p>横長半 一冊 あ二八七</p>	<p>(茶会席御客付并茶器・献立目録)</p>	<p>横長美 仮一冊 あ二九八</p>	<p>(茶会席目録) (道具、会席献立)</p>	<p>横長美 一冊 あ二五</p>	<p>(茶会席献立目録)</p>	<p>横長美 一通 あ二九〇</p>	<p>一円庵開公駕之節道具及懷石付</p>	<p>横長半 仮一冊 あ二九四</p>	<p>茶器買入直段付覚帳</p>	<p>横長美半折 一冊 あ二六九</p>	<p>(掛物并茶道具代金覚帳)</p>	<p>横長美大 一冊 あ二八一</p>	<p>(茶道具代金覚帳)</p>	<p>横長半 一冊 あ二八〇</p>	<p>(茶道具代金覚帳)</p>	<p>横長半 一冊 あ二八三</p>
---	-------------------	--------------------------	-------------------	-----------------	----------------	----------------------	--------------------	--------------------	------------	--------------	---------------------	---------------------	------------------	--------------------	---------------------	-------------	------------------	----------------	-------------------	------------------------------	-----------------------	------------------	--------------------	--------------------------	----------------	-----------------	----------------	-------------------	----------------	--------------------------------	---	--------------------------	--------------------	--	----------------------	------------------------------------	--------------------	----------------------	----------------------	---------------------	-------------------	------------------------	--------------------	-------------	-----------------	---------------------	--------------------	----------------------	----------------------	---------------------------------	--------------------	-------------------------	---------------------	--------------------------	-------------------	------------------	--------------------	-----------------------	---------------------	------------------	----------------------	---------------------	---------------------	------------------	--------------------	------------------	--------------------

茶器留記	横長美	一冊 あ二七四	授業生申合心得 (明治)	美	仮一冊 あ三〇三
茶器留記	横長美	一冊 あ二七五	小学書目録価表 (活字)	小半	仮一冊 あ一八四
茶器調帳	横長半	一冊 あ二七六	学校書籍取扱規則 (野紙) (明治)	美	仮一冊 あ三〇七
茶具荒々調帳	横長美	一冊 あ二七七	教寛学校月未試験仮規則写 明治一〇年三月	小半	仮一冊 あ一六六
茶具改帖	横長美	一冊 あ二七八	月末試験規則 (野紙) (明治)	美	仮一冊 あ三〇八
学 校	美	一綴 あ二〇三	日本地誌略抄書 (筆記問答問題)	半	一冊 あ三九〇
		仮一冊 あ二〇〇	日本地誌略抄字	半	一冊 あ一〇〇
		一冊 あ一八三	万国地誌略卷之一抄書	美	三枚 あ二六一
		一通 あ二〇六	(万国地誌略抄書)	半	一冊 あ三九一
		一冊 あ一九六	日本略史抄書	半	仮一冊 あ三〇〇
		一冊 あ一九七	(日本略史抄書)	半	一冊 あ三九二
		一冊 あ一九八	日本略史抄字	半	一冊 あ三六三
		一冊 あ一九九	(某抄書) (野紙)	半	四枚 あ三六七
		一冊 あ二〇〇	(某抄書) (野紙)	半	仮一冊 あ三六四
		一冊 あ二〇一	(某書抄字)	美	八枚 あ三六三
長野師範学校諸規則写	小半	一冊 あ一九六	色図釈 甲 (野紙)	美	仮一冊 あ三六六
長野師範学校授業心得写	小半	一冊 あ一九七	(外国語単語ノート) (ペンで筆記)	美	仮一冊 あ三六九
教場諸規則 (野紙) (明治)	美	一冊 あ二九六			
教場罰則 (明治)	美	仮一冊 あ二〇九			
教場進退坐作 (野紙) (明治)	美	仮一冊 あ二〇五			
児童遊歩場心得 (野紙) (明治)	美	一通 あ二〇四			
授業生生徒受持上心得 (野紙) (明治)	美	仮一冊 あ二二五			

証書

生糸改会社証記簿

証記簿 生糸改会社豊田伝兵衛他二名 明治八年一月

半 一冊 あ三四一

横浜正金銀行創立証書

横浜正金銀行創立証書 明治十三年二月九日

小半 18×12.5 一冊 あ一八五

その他

武田家朱印感状之写 弘治二年〜天正一七年

堅美半 一冊 あ三五八

御見立覚帳

横長半 一冊 あ三八四

天保八酉年間銭請取控

横長半 一冊 あ三九二

(午残金覚) 正月

横長半 一冊 あ三六七

店方

酒造方 (酒蔵・酒店)

酒株・酒造高書上

御町中酒屋之覚 (酒造人ごとに酒株数・古来酒造米高・元禄十年酒造米高を調べる。)

美 一冊 あ二五

酒造米高書上 (正徳五未年酒造高書上、付古来造高并元禄十五年書上高帳面三帳其外書類)の註記あり)

四冊 一通 あ二六

① 元禄十丑ノ年八町酒屋造米高

半 一冊

② 丑年造米高之覚

美 一通

③ 御町古来酒造米覚

美 一冊

④ 松代町元禄十丑年酒造米高之帳

美 一冊

⑤ 酒造米高之覚 (酒造米高書上雖形)

美 一通

⑥ 古来方造来候酒造米高覚 野代六郎兵衛・増田徳衛門・沓同九兵衛・八田嘉右衛門・小代五兵衛 正徳五年一二月

美 一冊

去成年寒造石数明細御書上帳控 (城下・郡中の酒造人の正造米高取調書上) 城下町酒造人惣代伝兵衛・郡中酒造人惣代彦右衛門 関田壮助・田中井右衛門・柿崎幾太宛 享和三年一〇月

美 一冊 あ二四

酒造鑑札

(酒造鑑札改ニ付岩鼻泉触・達井上野国吾妻郡大戸村組合酒造人願書等写) 辰年 (明治元年) 七・八月

美 一冊 あ二三

清酒・濁酒・醬油鑑札収与并収税方法規則写 民部省・大蔵省 辛未 (明治四年) 七月

美 一冊 あ二三

酒造人惣代願書按 (酒・味淋醸造鑑札書替に付、新規開業差止を願う) 酒造人惣代一名 松代県庁宛 明治四年一二月

半 一冊 あ二六

内方と拝借米金・上納金 (「棚卸」)

金銀上納帳 森村酒蔵 菊屋伝兵衛宛 文政六年九月〜同八年七月

横美半折 一冊 あ二五三

御米拝借通帳	酒店	御茶之間宛	天保八年正月 三月	横半半折	一冊	あ二三四
金銭拝借通帳	酒造方	御茶之間宛	天保一〇年 八月同一年一月	横美半折	一冊	あ二二五
雑用拝借通帳	(手間賣・諸品代金の拝借)	酒造方	天保一〇年八月同一年一〇月	横美半折	一冊	あ二二六
御茶之間宛	天保一〇年八月同一年一〇月					
雑用拝借帳	酒造方	御茶之間宛	天保一一年一 月同一年二月	横美半折	一冊	あ二二七
寅冬造金銀請取通帳	酒造方	内方宛	天保一 三年九月同一年二月	横美半折	一冊	あ二二八
金銭請取上納帳	(内方よりの下げ金請取と上納記 録)	酒店	嘉永二年同五年	横美半折	一冊	あ二二三
金銀上納通帳	喜助	御元方宛	慶応三年九月 明治三年四月	横美列	一冊	あ二五五
上納金御通帳	(酒店)	佐助	卯一〇月同辰二月	横美半折	一冊	あ二五四
○						
酒造拝借金御勘定帳	天保三年一二月改			横長美	一冊	あ三九五
天保四巳年中酒造拝借金御勘定帳	天保五年 正月改			横長美	一冊	あ三三九
酒造方指引下帳	(拝借金・上納金差引勘定)	天保 五年同七年		横長半	一冊	あ三八三
戊二月同八月迄酒店勘定帳	(天保九年)			横長美	一冊	あ三六二
嘉永五子年中御上納金并酒蔵取替御書上帳	酒店	丑(嘉永六年)正月改		横長半	一冊	あ三四一
丑冬拝借金并上納金指引御勘定御書上帳						
寅(嘉永七年)正月改				横長半	一冊	あ三八七
(申年酒造勘定目録)(拝借金額から返済分を差 引き利潤を算出)						
酒造入用(「棚卸」)				横長半	一冊	あ四〇四
文政五午年酒米仕入帳	文政六年正月改			横長半	一冊	あ三〇九
酒造仕入帳	(玄米・粃・添等の仕入)	菊屋伝兵衛		横長美	一冊	あ三六三
酒蔵	天保一一年一月			横長美	一冊	あ三六二
酒造米買入元帳	菊屋伝兵衛	天保一三年		横長半	一冊	あ三九一
(酒店諸方支払帳)(真木買入代金払)(書付一通挿 入)				横長半	一冊	あ三九一
造酒覚帳	(酒造入用見積もり勘定帳)			横長美	一冊	あ二七三五
溜りしほり方手段差引覚帳	(入料と売方の見積も り)			横長半	一冊	あ二七四三
寅年酒造米買入調帳				横長半	一冊	あ三三四
酒蔵と酒店出酒						
酒請取元帳	(酒蔵よりの酒の請取、売上調、利潤調 等を記す)	酒店	天保一二年(二月同弘化二年一二 月)	横長半	一冊	あ二二三
(店方江出酒升高并残酒升高調帳)(表紙破損)				横長半	一冊	あ二四三
店方・蔵懸り	天保一二年同弘化元年			横長半	一冊	あ二四三
月勘定調帳	(酒蔵より請け取った酒類の売捌勘定)			横長半	一冊	あ二二三
角喜酒美勢	弘化三年正月同嘉永六年三月			横長半	一冊	あ二二三
売 渡						
(酒代残掛金取調覚帳)(断簡)	宝曆			横長半	一冊	あ二二三

御通帳(酒・油を茶之間に売り渡し) 酒店 御茶之間宛 文政一三年二月〜同一年正月	横美半折	一冊 あ三六三
御酒通帳(内方への売り渡し) 酒蔵 内方宛 天保六年二月〜二月	横美大半折	一冊 あ二五五
(酒売仕訳帳) 天保一二年	横美列	一冊 あ三三七
未年中御買上物御書上帳(茶之間買上代金調) 酒店 申(嘉永元年カ) 三月改	横長半	一冊 あ三六九
未年御買上物代金取調覚帳(茶之間買上代金調) 酒店 申(嘉永元年カ) 三月改	横長半	一冊 あ三八八
酒御通帳 酒店 御茶之間宛 明治二年五月〜同三年正月	横美半折	一冊 あ二五八
酒御通帳 (酒店) 御茶之間宛 明治五年正月〜同六年二月	横美大半折	一冊 あ二五七
酒御通帳 酒店 御茶之間宛 明治八年一月〜二月	横美大半折	一冊 あ二五八
醬油御通帳 酒店 御茶之間宛 明治八年一月〜同九年一月	横美大半折	一冊 あ二四七
書付帳 第一号(貸札納返付込) 八田酒舗 明治二年	小美 17.5×23.5	一冊 あ二二三
大福帳(人別に酒売りの月日・額・代金を記し、代金の請取月日を後筆で加える) 八田酒店	横長美大	一冊 あ六九三
酒札番号帳 明治二年一月一日〜二月三〇日	小美 17.5×23.5	一冊 あ二四〇
酒札番号帳(酒札を貸した日と返った日を付け込む) 明治二年一月一日〜四月二二日	小美 17.5×23.5	一冊 あ二二三
現金溜御通帳 八田知通 池田森太郎宛 明治二年一〇月〜二月	横美半折	一冊 あ二四九
溜売上扣帳 (酒店) 池田森太郎宛 明治二四年一月〜四月	横美半折	一冊 あ二五〇
現金金御通帳 松代町八田酒舗 柴村富岡みね宛 明治二年八月二日〜同二四年三月二日	横美半折	一冊 あ二五五
現金帳(酒売) 明治二四年四月一日〜二四日	横長美	一冊 あ二四九
醬油御通帳 (酒店) 御茶之間宛 明治二四年二月〜三月	横美半折	一冊 あ二四八
溜売上控帳 (酒店) 山倉弥助宛 明治二四年二月〜四月	横美半折	一冊 あ二五二
現金御通帳 八田酒店 北村市治宛 明治二四年四月三日〜二六日	横美半折	あ二四四
当座帳 明治二四年四月一日〜二四日	横長美大	一冊 あ二五三
酒覚帳 明治二九年一月	横半半折	一冊 あ二六一
(酒売通帳) 酒店 御内方宛	横美半折	一冊 あ二二七
焚炭御通帳(焚炭を御茶之間へ売り渡し) 酒店 御茶之間宛 申一二月	横半半折	一冊 あ二四四
売捌明細帳 酒店 寅八月〜十一月	横長半	一冊 あ二二二
酒書出帳(売渡代金、受取分、残掛金書出) 入金帳(酒売帳、現金売、掛売、貸方受取) 辰八月〜巳九月	横長美大	一冊 あ二四五
戌冬仕入と丑年迄幾之助酒造売捌改帳 立会 改幾之助・権三郎・三四郎・伝右衛門	横長美	一冊 あ二二三
金銭出入帳 酒造方金銭請払御書上帳 寅(嘉永七年)三月〜卯(安政三年)正月	横長半	一冊 あ二八三

(酒店金銭出入帳)

(酒店金銭出入帳) (断簡)

取替 (立替) (一「棚卸」)

小遣取替書出シ帳 酒見勢 安永一〇年改 (安永九年三月〜同二〇年七月)

店方と酒蔵江年々取替指引調帳 (造米代・諸雜用立て替え) 寅之申 (天保一三年〜嘉永元年)

酒蔵取替扣帳 店方 嘉永五年八月〜同六年正月

棚卸

酒棚卸勘定目録 (表紙欠) 元文四年秋改 (元文四年二月〜一〇月)

丑之秋本店酒勘定目録 延享二年秋改 (延享二年二月〜一二月)

丑之秋出店酒勘定目録 延享二年秋改 (延享二年三月〜一〇月)

卯春^{本見世}酒勘定目録 延享四年春改 (延享三年一〇月〜同四年二月)

辰春^{本店出見世}酒勘定目録 延享五年春改 (延享四年十一月〜同五年二月)

寛延三年午二月同十月迄本店酒棚卸勘定目録 寛延三年秋改

寛延三年午四月同十月廿四日迄出見世酒棚卸勘定目録 寛延三年秋改

横長半 一冊 あ二六二
横長半 二枚 あ一〇五

横長半 一冊 あ一五八

横長半 一冊 あ三三九

横長半 一冊 あ三四三

横長美大 一冊 あ一

横長美大 一冊 あ二

横長美大 一冊 あ三

横長美大 一冊 あ四

横長美大 一冊 あ五

横長美大 一冊 あ六

横長美大 一冊 あ七

寛延四年未秋^{本店}酒棚卸勘定目録 寛延四年秋改 (寛延四年二月〜九月)^{増田} 横長美大 一冊 あ八

宝曆二年申秋^{本店}酒棚卸勘定目録 宝曆二年秋改 (宝曆二年二〜一〇月)^{増田} 横長美大 一冊 あ九

戌之春本店・出店酒勘定目録 宝曆四年春改 (宝曆三年一〇月〜同四年二月) 横長美大 一冊 あ一〇

亥之秋^{本店}酒棚卸勘定目録 宝曆五年秋改 (宝曆五年二月〜一〇月) 横長美大 一冊 あ一一

亥之春^{本店}酒棚卸勘定目録 宝曆五年春改 (宝曆四年一〇月〜同五年二月) 横長美大 一冊 あ一二

子之春^{本店}酒棚卸勘定目録 宝曆六年春改 (宝曆五年一〇月〜同六年二月) 横長美大 一冊 あ一三

丑之春酒棚卸勘定目録 宝曆七年春改 (宝曆六年十一月〜同七年二月) 横長美大 一冊 あ一四

丑之春酒棚卸勘定目録 宝曆七年秋改 (宝曆七年二月〜一〇月) 横長美大 一冊 あ一五

寅春酒棚卸勘定目録 宝曆八年春改 (宝曆七年一〇月〜同八年二月七日) 横長美大 一冊 あ一六

寅春酒棚卸勘定目録 宝曆八年秋改 (宝曆八年二月八日〜一〇月一三日) 横長美大 一冊 あ一七

卯之春酒棚卸勘定目録 宝曆九年春改 (宝曆八年一〇月〜同九年二月一七日) 横長美大 一冊 あ一八

卯之春酒棚卸勘定目録 宝曆九年秋改 (宝曆九年二月八日〜九月二九日) 横長美大 一冊 あ一九

辰春棚卸勘定目録 宝曆一〇年春改(宝曆九年九月二九日〜同一年二月八日)	横長美大	一冊 あ 三〇
辰之秋酒棚卸勘定目録 宝曆一〇年秋改(宝曆一〇年二月九日〜一〇月七日)	横長美大	一冊 あ 三〇
巳之春酒棚卸勘定目録 宝曆一一年春改(宝曆一〇年一〇月八日〜同一年二月二五日)	横長美大	一冊 あ 三〇
巳秋酒棚卸勘定目録 宝曆一一年秋改(宝曆一一年二月二五日〜一〇月一四日)	横長美大	一冊 あ 三〇
午春酒棚卸勘定目録 宝曆一二年春改(宝曆一一年一〇月二四日〜同一年二月二五日)	横長美大	一冊 あ 三〇
午之秋酒棚卸勘定目録 宝曆一二年秋改(宝曆一二年二月二六日〜一〇月六日)	横長美大	一冊 あ 三〇
未春酒棚卸勘定目録 宝曆一三年春改(宝曆一二年一〇月〜同一年二月二日)	横長美大	一冊 あ 三〇
申之春酒棚卸勘定目録 宝曆一四年春改(宝曆一三年一〇月〜同一年四月二二日)	横長美大	一冊 あ 三〇
酉秋酒棚卸勘定目録 明和二年秋改(明和二年二月〜一〇月一六日)	横長美大	一冊 あ 三〇
戌秋酒棚卸勘定目録 明和三年秋改(明和三年二月〜一〇月一四日)	横長美大	一冊 あ 三〇
酒棚卸勘定目録 明和四年秋改(明和三年九月一五日〜同四年九月二六日)	横長美大 仮一冊 あ三三	
子春酒棚卸勘定目録 明和五年春改(明和四年九月〜同五年二月五日)	横長美大	一冊 あ 三〇
子秋酒棚卸勘定目録 明和五年秋改(明和五年二月五日〜一〇月一四日)	横長美大	一冊 あ 三〇
明和四年亥九月と同五子十月迄酒勘定帳 明和五年秋改	横長美	一冊 あ三三〇
丑春酒棚卸勘定目録 明和六年春改(明和五年一〇月〜同六年二月)	横長美大	一冊 あ 三〇
寅春酒棚卸勘定目録 明和七年春改(明和六年一〇月〜同七年二月)	横長美	一冊 あ 三〇
寅秋酒棚卸勘定目録 明和七年秋改(明和七年二月一三日〜九月六日)	横長美大	一冊 あ 三〇
辰秋酒棚卸勘定目録 明和九年秋改(明和九年二月九日〜九月二七日)	横長美大	一冊 あ 三〇
(酒棚卸勘定下帳) 安永三年改(安永二年九月五日〜同三年二月二日)	横長半	仮一冊 あ三三〇
安永六酉十月と同七戌二月迄酒棚卸勘定目録(後欠) 杜師甚兵衛 安永七年春改	横長美大	一冊 あ三〇六
安永八年亥春と天明三卯秋迄酒棚卸勘定目録(各年次の春秋ごとの棚卸勘定目録を合冊) (安永七年一〇月〜天明三年一二月七日)	横長美大	合一冊 あ 三〇
天明四辰春と同八申秋迄酒棚卸勘定目録(同前)(天明三年一二月八日〜同八年秋)	横長美大	合一冊 あ 三七
天明九酉春と寛政五丑秋迄酒棚卸勘定目録	横長美大	一冊 あ 三六
寅春酒棚卸勘定目録(包紙入) 寅(寛政六年)春改(丑秋〜寅春)	横長美大	一冊 あ 三六
寅秋酒棚卸勘定目録(包紙入) 寅(寛政六年)秋改(寅春〜寅秋)	横長美	一冊 あ 三六
卯春棚卸勘定目録(包紙入) 卯(寛政七年)春改(寅秋〜卯春)	横長美	一冊 あ 三六
卯秋酒棚卸勘定目録(包紙入) 卯(寛政七年)秋改(卯春〜卯秋)	横長美	一冊 あ 三六

辰春酒棚卸勘定目録・辰秋酒棚卸勘定目録（包紙入） 紙入）辰（寛政八年）春改（卯秋）辰春）辰（寛政八年）秋改（辰春）辰秋）	横長美	二冊 あ 九五	子春酒棚卸勘定目録（包紙入） 春改（亥秋）子春）	子（文化元年）	横長美	一冊 あ 九七
巳春酒棚卸勘定目録・巳秋酒棚卸勘定目録（包紙入） 紙入）巳（寛政九年）春改（辰秋）巳春）巳（寛政九年）秋改（辰春）辰秋）	横長美	二冊 あ 九六	子秋酒棚卸勘定目録（包紙入） 秋改（子春）子秋）	子（文化元年）	横長美	一冊 あ 九七
午春酒棚卸勘定目録・午秋酒棚卸勘定目録（包紙入） 紙入）午（寛政一〇年）春改（巳秋）午春）午（寛政一〇）秋改（午春）午秋）	横長美	二冊 あ 九六	丑春酒棚卸勘定目録（包紙入） 春改（子秋）丑春）	丑（文化二年）	横長美	一冊 あ 九七
未春酒棚卸勘定目録・未秋酒棚卸勘定目録（包紙入） 紙入）未（寛政一一年）春改（午秋）未春）未（寛政一一年）秋改（未春）未秋）	横長美	二冊 あ 九六	丑秋酒棚卸勘定目録（包紙入） 秋改（丑春）丑秋）	丑（文化二年）	横長美	一冊 あ 九七
申春酒棚卸勘定目録・申秋酒棚卸勘定目録（包紙入） 紙入）申（寛政一二年）春改（未秋）申春）申（寛政一二年）秋改（申春）申秋）	横長美	二冊 あ 九六	寅酒棚卸勘定目録（包紙入） 寅（文化三年）春改（丑秋）寅春）	寅（文化三年）	横長美	一冊 あ 九七
酉春酒棚卸勘定目録・酉秋酒棚卸勘定目録（包紙入） 紙入）酉（享和元年）春改（申秋）酉春）酉（享和元年）秋改（酉春）酉秋）	横長美	二冊 あ 九六	寅秋酒棚卸勘定目録（包紙入） 秋改（寅春）寅秋）	寅（文化三年）	横長美	一冊 あ 九七
戌春酒棚卸勘定目録（包紙入） 春改（酉秋）戌春）	横長美	一冊 あ 九六	卯春酒棚卸勘定目録 文化四年春改（文化三年秋）同四年春）	卯（文化四年）	横長美	一冊 あ 九七
戌秋酒棚卸勘定目録（包紙入） 秋改（戌春）戌秋）	横長美	一冊 あ 九六	卯秋酒棚卸勘定目録 （文化四年秋改（文化四年春）同年秋）	卯（文化四年）	横長美	一冊 あ 九七
亥春酒棚卸勘定目録（包紙入） 春改（戌秋）亥春）	横長美	一冊 あ 九六	辰春酒棚卸勘定目録（包紙入） 辰（文化五年）春改（文化四年秋）文化五年春）	辰（文化五年）	横長美	一冊 あ 九七
亥秋酒棚卸勘定目録（包紙入） 秋改（亥春）亥秋）	横長美	一冊 あ 九六	辰秋酒棚卸勘定目録（包紙入） 辰（文化五年）春改（文化四年秋）文化五年春）	辰（文化五年）	横長美	一冊 あ 九七

未春酒棚卸勘定目録(包紙入) 春改(千秋、未春)	未(文化八年)	横長美	一冊 あ 六四	寅春酒棚卸勘定目録(包紙入) 八日改(文化一四年秋、文政元年五月)	文政元年五月二	横長美	一冊 あ 九八
未秋酒棚卸勘定目録(包紙入) 文化八年春、同年秋	文化八年秋改(文)	横長美	一冊 あ 六五	寅秋酒棚卸勘定目録(包紙入) 政元年五月、同年秋	文政元年秋改(文)	横長美	一冊 あ 九九
申春酒棚卸勘定目録(包紙入) 文化八年秋、同年春	文化九年春改(文)	横長美	一冊 あ 六六	卯春酒棚卸勘定目録(包紙入) 政元年秋、同年春	文政二年春改(文)	横長美	一冊 あ 一〇〇
申秋酒棚卸勘定目録(包紙入) 文化九年春、同年秋	文化九年秋改(文)	横長美	一冊 あ 六七	卯秋酒棚卸勘定目録(包紙入) 改(文政二年春、同年二月)	文政二年一二月	横長美	一冊 あ 一〇一
酉春酒棚卸勘定目録(包紙入) 改(文化九秋、同一〇年五月)	文化一〇年五月	横長美	一冊 あ 六八	辰春酒棚卸勘定目録(包紙入) 〇日改(文政二年二月、同三年五月)	文政三年五月二	横長美	一冊 あ 一〇三
酉秋酒棚卸勘定目録(包紙入) (文化一〇年五月、同年秋)	文化一〇年秋改	横長美	一冊 あ 六五	辰秋酒棚卸勘定目録 (文政三年五月、同年二月)	文政三年一二月二七日改	横長美	一冊 あ 一〇三
戌春酒棚卸勘定目録(包紙入) (文化一〇年秋、同一一年春)	文化一一年春改	横長美	一冊 あ 六九	午春酒棚卸勘定目録(包紙入) (文政四年秋、同五年五月)	文政五年五月改	横長美	一冊 あ 一〇四
戌秋酒棚卸勘定目録(包紙入) (文化一一年春、同年秋)	文化一一年秋改	横長美	一冊 あ 九〇	未春酒棚卸勘定目録(包紙入) (文政五年秋、同六年五月)	文政六年五月改	横長美	一冊 あ 一〇五
亥春酒棚卸勘定目録(包紙入) 春改(戌秋、亥春)	亥(文化一二年)	横長美	一冊 あ 九一	申春酒棚卸勘定目録(包紙入) (文政六年秋、同七年四月)	文政七年四月改	横長美	一冊 あ 一〇六
亥秋酒棚卸勘定目録(包紙入) 月改(文化一二年春、同年一二月)	文化一二年一二月	横長美	一冊 あ 九二	申秋酒棚卸勘定目録 政七年四月、同年一二月	文政七年一二月八日改(文)	横長美	一冊 あ 一〇七
子春酒棚卸勘定目録(包紙入) (文化一二年一二月、同一三年春)	文化一三年春改	横長美	一冊 あ 九三	文政八酉春酒棚卸勘定目録	文政八年秋改(文)	横長美	一冊 あ 一〇八
子秋酒棚卸勘定目録(包紙入) 秋改(子春、子秋)	子(文化一三年)	横長美	一冊 あ 九四	酉秋酒棚卸勘定目録(包紙入) 政八年春、同年秋	文政八年秋改(文)	横長美	一冊 あ 一〇八
丑春酒棚卸勘定目録(包紙入) 春改(子秋、丑春)	丑(文化一四年)	横長美	一冊 あ 九六	文政一二丑秋酒造仕入方調帳 兵衛宛 文政一二年一二月改	忠七・和七 伝	横長美	一冊 あ 一〇三〇
丑秋酒棚卸勘定目録(包紙入) (文化一四年春、同年秋)	文化一四年秋改	横長美	一冊 あ 九七	丑春酒店酒勘定書上帳 (文政一二年) 春改		横長美	一冊 あ 一〇三六

去丑秋 ^ら 寅秋迄酒造一色御勘定目録 忠七・和七 文政一三年八月改	横長美	一冊 あ三二七	子秋酒造方雑用調帳 子(天保一二年)秋改	横長半	一冊 あ三三三
天保元寅秋酒造仕入方調帳 忠七・和七 伝兵衛宛 天保元年一二月改	横長美	一冊 あ三三三	子秋酒造方賄取調帳 子(天保一二年)一〇月改 (天保九年八月〜同一年一〇月)	横長美	一冊 あ三六二
天保二卯秋酒造仕入方調帳 忠七・和七 天保二年一二月改	横長半	一冊 あ三三三	子秋改諸方貸方調帳(売掛金残高調) (天保一一年)秋改	横長美	一冊 あ二九一
去寅秋 ^ら 卯秋迄酒造一色御勘定目録 天保二年一三月改	横長半	一冊 あ三二八	子秋御蔵穀拜借酒造方調帳 子(天保一一年)秋改	横長美	一冊 あ三六三
去卯秋 ^ら 辰秋迄酒造一色御勘定目録・辰秋酒蔵懸方調帳・卯秋造入 ^ら 雑用調帳 (天保三年)秋改	横長美	三冊 綴 あ三一九	子秋酒造方上納金調帳 子(天保一一年)一二月改 (天保一〇年九月〜同一年一二月)	横長美	一冊 あ三八六
天保四巳年雑用寛帳 酒蔵	横長半	一冊 あ三〇七	子秋酒造方棚卸勘定目録 子(天保一一年)一二月改 (天保一〇年九月〜同一年一二月)	横長美	一冊 あ三八五
天保五午秋酒造米仕入調帳 天保六年正月改	横長美	一冊 あ三三八	寅正月棚卸有酒調帳 酒蔵方 五(天保一二年)一二月改 一二月二九日改	横長美	一冊 あ三六五
御取替物覚 酒蔵 天保六年一〇月	横長美	一冊 あ一四六	寅正月棚卸雑用書上帳 酒蔵方 寅(天保一三年)正月改 (天保一二年一二月〜同一年九月)	横長美	一冊 あ三六六
未秋酒造一色御勘定目録 (天保六年九)秋改(午秋〜未秋)	横長美大	一冊 あ三二三	寅正月棚卸貸方調帳 酒蔵方 (天保一三年)正月改	横長美	一冊 あ二九二
酒造売上勘定調帳 喜左衛門 天保八年八月改	横長美	一冊 あ三三七	寅正月棚卸御勘定一紙 酒店喜左衛門 天保一三年正月改	横長美	一冊 あ三〇八
酒造売上勘定調帳控 喜左衛門 天保八年八月二三日改	横長半	一冊 あ四三	酒造方升高取調書上帳(造酒高および入用拝借金高前年残酒高、売捌酒高および代金) 喜左衛門 寅(天保一三年九)七月改	横長美	一冊 あ三九二
天保九戌年春造人 ^ら 売捌年中諸雑用御書上帳 酒造方懸 ^り 和七・喜左衛門 天保一〇年正月改	横長美	一冊 あ三三六	丑秋造入 ^ら 寅秋迄酒蔵雑用帳 和七・忠七 寅(天保一三年九)八月改	横長半	一冊 あ三〇六
酒造方從成造入諸雑用調帳 (天保一〇年九)改	横長美	一冊 あ三三六	寅秋残り代呂物改帳 忠七・和七 寅(天保一三年九)八月改	横長半	一冊 あ三〇四
酒造方從天保九戌十一月同十亥年中売捌御勘定一紙 天保一〇年一〇月改	横長美	一冊 あ三七三	丑秋 ^ら 寅秋迄御上納并御取替物覚 寅(天保一三年九)八月改	横長半	一冊 あ三〇五
子秋酒造方残り酒調帳 酒蔵方 子(天保一一年)秋改	横長美	一冊 あ三六四			

寅秋酒造棚卸目録（酒蔵） 天保一三年一〇月改	横長美	一冊	あ三三四	辰年品々差引取調一紙 月改	栄八 天保一五年一二月改	横長半	一冊	あ三九五
寅年中店方雑用書上帳 酒店 卯（天保一四年）正月改	横長美	一冊	あ三三〇	辰年中雑用御書上帳 酒店 巳（弘化二年）正月改	巳（弘化二年）正月改	横長美	一冊	あ三三六
卯春酒棚卸御勘定一紙 酒店兵吉（天保一四年）正月一〇日改	横長美	一冊	あ三三六	巳春棚卸指曳帳（棚卸明細調帳） 酒店（弘化二年）春改（辰春）巳春	酒店（弘化二年）春改（辰春）巳春	横長美	一冊	あ三三七
從寅十月卯閏九月造酒造方棚卸明細調帳（袋添） 酒店 卯（天保一四年）閏九月改	横長美	一冊	あ三三三	巳春酒店棚卸御勘定御書上帳 酒店兵吉 弘化二年正月改	酒店兵吉 弘化二年正月改	横長美	一冊	あ三三六
從寅十月卯閏九月造酒造方棚卸明細調下帳 勘定掛り市兵衛 卯（天保一四年）一〇月改	横長半	一冊	あ三三六	巳春酒店棚卸勘定目録 （弘化二年正月）改（辰春）巳春	（弘化二年正月）改（辰春）巳春	横長美大	一冊	あ三〇七
（酒蔵棚卸勘定目録下書） 天保一四年一〇月改（同一三年九月）同（一四年九月）	横長半	一冊	あ三七四	辰十月巳巳九月造酒造方棚卸明細調下帳 巳（弘化二年）一〇月改	巳（弘化二年）一〇月改	横長美	一冊	あ三三六
卯秋酒造方棚卸目録 卯（天保一四年）秋改（天保一三年一〇月）同（一四年閏九月）	横長美大	一冊	あ三〇八	弘化二巳年中雑用御書上帳 酒店 弘化三年正月改	酒店 弘化三年正月改	横長美	一冊	あ三三〇
卯年中店方雑用書上帳 酒店 辰（天保一五年）正月改	横長美	一冊	あ三〇四	午春棚卸指引帳 酒店 （弘化三年正月）改	（弘化三年正月）改	横長半	一冊	あ三二三
從卯十月辰九月造酒造方棚卸明細取調帳（袋添） 酒店 辰（天保一五年）正月改	横長美	一冊	あ三三〇	午春酒棚卸御勘定一紙 酒店兵吉 弘化三年正月改	酒店兵吉 弘化三年正月改	横長美	一冊	あ三〇九
天保十四卯年中酒棚卸御勘定一紙 酒店兵吉 天保一五年正月改	横長美	一冊	あ三〇七	午春酒棚卸勘定目録 （酒店）（弘化三年正月）改（巳春）午春	（酒店）（弘化三年正月）改（巳春）午春	横長美	一冊	あ三三七
天保一四卯年中酒棚卸御勘定一紙 酒店兵吉 天保一五年正月改	横長美	一冊	あ三二六	巳十月巳午八月造酒造方棚卸明細下帳 午（弘化三年）九月改	午（弘化三年）九月改	横長半	一冊	あ三七二
天保十三年寅冬造入酒垂り方揚り直段取調書上帳・天保十四冬造入酒垂り方揚り直段取調帳 酒造方 天保一四年三月改／同一五年四月改	横長美	二冊	あ三三六	弘化三午年中雑用御書上帳 酒店多吉 弘化四年正月改	酒店多吉 弘化四年正月改	横長美	一冊	あ三三〇
從卯十月辰九月造酒造棚卸明細調下帳 辰（天保一五年）一〇月改	横長美	一冊	あ三三〇	未春酒棚卸勘定一紙下帳 酒店（弘化四年正月）改	酒店（弘化四年正月）改	横長美	一冊	あ三三四
				未春酒棚卸御勘定一紙 酒店兵吉 弘化四年正月改	酒店兵吉 弘化四年正月改	横長美	一冊	あ三〇〇

午十月より未九月迄酒造方棚卸明細調下帳 弘 化四年九月改	横長半	仮一冊 あ三六
酒造棚卸勘定帳 蔵方 天保一三年より弘化四年の 各一〇月改	横美列	一冊 あ二三四
未年中店雑用御書上帳 酒店 申(弘化五年)正 月改	横長美	一冊 あ三五二
申春改貸方御書上帳 酒店 (弘化五年)正月改	横長美	一冊 あ二七〇三
申春酒棚卸勘定一紙下調 酒店 (弘化五年正 月)改	横長半	一冊 あ三二五
申春酒棚卸勘定一紙 酒店長助 弘化五年正 月改	横長美	一冊 あ三〇一
未九月より申九月迄酒造方棚卸明細調下帳(虫 損甚だし) (酒蔵) 申(嘉永元年)九月改	横長半	仮一冊 あ三七〇
嘉永元年申年中店雑用御書上帳 酒店 嘉永二年 正月改	横長美	一冊 あ三三三
西春改貸方御書上帳 酒店 (嘉永二年)正月改	横長美	一冊 あ二七〇四
嘉永元年申年中御取替物調帳 酒店 御茶之間宛 嘉永二年正月改	横長美	一冊 あ三二四〇
西春酒棚卸勘定一紙 酒店長助 嘉永二年正 月改(嘉永元年中)	横長美	一冊 あ三〇三
西春酒棚卸勘定目録 (酒店) (嘉永二年正月) 改(嘉永元年中)	横長美	一冊 あ三〇三
酒有高改書上覧(断簡) 酒店 上宛 嘉永二年閏 四月一〇日	横長美	一丁 あ二七六
酉年中店雑用御書上帳 酒店長助 戌(嘉永三 年)正月改	横長美	一冊 あ三三三
戌春改貸方御書上帳 (酒店) (嘉永三年)正 月改	横長美	一冊 あ二九〇五
嘉永三戌春棚卸勘定一紙 酒店長助 嘉永三 年正月改(嘉永二年中)	横長美	一冊 あ二六九
戌春酒棚卸勘定目録 (酒店) (嘉永三年)春 改	横長美	一冊 あ三三六
嘉永二酉年九月改より極月酒蔵取替物之内請 取物代金差引残金調帳(酒蔵諸入用を元方に対し て立て替へ) (酒蔵) 嘉永三年正月改	横長美	一冊 あ三二〇
申九月より酉八月迄酒升数改御書上帳(付、西冬 造垂り方取調改帳) (酒蔵) 戌(嘉永三年)正月 改	横長半	一冊 あ三三七
有酒高改書上覧(断簡) 戌(嘉永三年カ)三月二 七日	横長半	一丁 あ二七七
戌年中店雑用御書上帳 酒店長助 亥(嘉永四 年)正月改	横長美	一冊 あ三五四
亥春改貸方御書上帳 (酒店) (嘉永四年)正 月	横長美	一冊 あ二九〇六
亥春酒棚卸勘定一紙 酒店長助 亥(嘉永四 年)正月改(嘉永三年中)	横長美	一冊 あ三三〇
亥春酒棚卸勘定目録 (酒店) (嘉永四年正月 改)	横長美大	一冊 あ三三九
嘉永三戌年九月より極月酒蔵惣取替物之内月々 請取酒代金并粕代等差引取替金調帳(酒蔵) 嘉永四年正月改	横長美	一冊 あ三二一
戌九月より亥四月迄店方出酒御書上帳 (酒蔵) 亥(嘉永四年)四月改	横長美	一冊 あ三六七
有酒高改書上覧(断簡) 酒店 上宛 亥(嘉永四 年カ)四月一四日	横長美	一丁 あ二七九

酒棚卸御勘定調并上納金御書上帳・子春改貸方御書上帳・亥年中店雑用御書上帳（袋添）酒子（嘉永五年カ）正月改	横長美	一綴 あ三〇三	○ 丑年御酒油書上帳（酒代金・油代金書上）	横長美	一冊 あ 四三
嘉永四亥歲中酒売捌毎月取調帳 酒店 嘉永五年閏二月改	横長美	一冊 あ三七三	丑春酒棚卸勘定目録	横長美大	一冊 あ三三九
嘉永四亥年十月改後極月迄酒蔵惣取替高之内月々請取酒并粕代金等指引取替金調御書上帳（酒蔵） 嘉永五年正月改	横長美	一冊 あ三二三	丑秋酒棚卸勘定目録	横長美大	一冊 あ三三二
（酒造入用調帳）（表紙欠）（酒蔵） 子（嘉永五年カ）三月改	横長半	仮一冊 あ二六〇	丑秋酒造方拝借寛帳 忠七・和七 寅八月改	横長半	一冊 あ三二二
酒揚濟勘定調帳（酒蔵） 嘉永五年三月一三日改（天保四年一〇月〜同五年三月）	横長半	一冊 あ三二〇	寅春酒店棚卸勘定目録 酒店	横長美大	一冊 あ三三三
子年中店雑用御書上帳 酒店（嘉永六年）正月改	横長半	一冊 あ三二五	（諸入料調帳） 酒方 寅暮改	横長半	一冊 あ二七四〇
丑春改貸方御書上帳 酒店（嘉永六年）春改	横長半	一冊 あ二九〇	卯春酒店酒油勘定帳	横長美	一冊 あ三三八
丑春酒店棚卸御勘定一紙 油店長助 丑（嘉永六年）正月改（嘉永五年中）	横長半	一冊 あ二六二	卯二月辰正月迄酒油勘定目録	横長美大	一冊 あ三三一
寅正月改惣調御書上帳（嘉永七年）正月改	横長半	婿冊 あ二七〇	卯年酒造米調帳	横長半	一冊 あ三二五
丑年諸雑用御書上調帳 酒店 寅（嘉永七年）春改	横長半	一冊 あ三二五	辰年酒店入用物帳	横長美大	一冊 あ三三七
從嘉永五子十月同六丑九月迄酒蔵造米代其外惣入料請取御勘定帳（棚卸明細調書上帳） 酒店長助 嘉永七年正月改	横長半	一冊 あ三七五	巳春諸方懸方取調帳（掛売残額取調）	横長美大	一冊 あ四〇八
寅春酒店棚卸御勘定一紙 酒店長助 寅（嘉永七年）正月改（嘉永六年中）	横長半	一冊 あ二六三	辰二月辰巳正月迄酒油勘定帳	横長美	一冊 あ三三五
從丑十月同大晦日迄酒蔵取替物代并請取粕代差引調帳（酒蔵） 寅（嘉永七年）正月改	横長半	一冊 あ三七六	午春酒店酒油勘定帳	横長美	一冊 あ三三四

未二月と申正月迄酒店酒油勘定帳（虫損甚し）
申春改

（未冬酒入酒垂り方取調書）

申年中雜用御書上下調帳 酒店 酉正月改

酉春酒造方有代呂物取調帳 酉正月改

酉春酒造方棚卸御勘定目録 酉正月改（未二月
月～申二月）

酉正月と同一二月迄油売方調書上帳 酒店

棚卸勘定目録（酒店） 戌二月（午九月～戌正月）

酉年一卷店卸勘定目録 酒店 戌春改

酉正月と戌二月迄酒店酒油勘定帳 戌春改

戌九月朔日と晦日迄酒油調帳（店卸勘定帳）

戌二月中と同八月中迄酒店酒油勘定帳

亥十月と子九月迄酒蔵造米代其外入料御勘定
帳（袋入）（棚卸明細調帳） 丑正月改

（酒油棚卸勘定目録）

（酒油棚卸勘定覚） 卯～酉

酒蔵・酒道具貸付

（酒蔵并酒道具其外土蔵等借用目録雖形）
何宿借主・親類・受人 松代城下町伝兵衛宛 文政元
年

横長美大

一冊 あ三三〇

横長半

一冊 あ 四五

横長半

一冊 あ三五六

横長美大

一冊 あ三三三

横長美大

一冊 あ三三五

横長美

一冊 あ三三四

横長美

一冊 あ七三四

横長美大

一冊 あ三三三

横長美大

一冊 あ三三六

横長美大

一冊 あ三八

横長美大

一冊 あ八九

横長美大

一冊 あ三〇四

横長美

一冊 あ五三

横長美

一冊 あ三七四

控 留

大寶恵帳（諸事書留帳） 酒造方 天明六年～天保
一四年 横長美大列

一冊 あ三五

酒造方扣帳（勘定目録・仕入調・酒造調・請書・願
書等の諸扣書） 文政一三年二月～天保八年正月 横長美列

一冊 あ二三

万控帳 酒蔵 天保五七九月～同七年七月 横長半

一冊 あ二三

時々覚 八田売場 明治二二年 半

一冊 あ三七

蔵 書

酒醬油造桶容積表（活字本） 明治一六年二月増
補再版 半半

一冊 あ二三

改正酒造心得書（活字本） 八田酒店蔵 明治三三
年八月一七日 半半

一冊 あ二九

呉 服 店

売 買

（諸品買入并売捌覚帳）（真綿・紬・糸麻等々）（前
後欠・破損甚だし） 横長美大

一冊 あ三二三

売 通 帳

呉服御通帳（内方へ売り渡し） 上見勢 内方宛
文化五年一二月 横長美折

一冊 あ二六五

角店現金（呉服 御通帳（御茶之間分） 天保一四年一
月～二月 横長美

一冊 あ 四

諸売上御通帳（茶之間への売り渡し） 角店 御茶
之間宛 弘化三年正月～二月 横長美

一冊 あ二四三

呉服太物御通帳 角店 御茶之間宛 嘉永二年正月 月一二月 横長美 一冊 あ二〇六	別口御用意呉服物御通帳 角店 御茶之間宛 嘉永二年正月 月一二月 横長美 一冊 あ二〇五	呉服太物御通帳 角店 御茶之間宛 嘉永三年正月 月一二月 横長美 一冊 あ二〇五	呉服太物御通帳 角店 御茶之間宛 嘉永三年正月 月一二月 横長美 一冊 あ二〇六	呉服太物御通帳 御茶之間宛 明治三年正月 月一二月 横長美 一冊 あ二〇七	呉服太物御通帳 御茶之間宛 明治四年正月 月一二月 横長美 一冊 あ二〇六	呉服太物御通帳 御茶之間宛 明治五年正月 月一二月 横長美 一冊 あ二〇五	呉服太物御通帳 嘉登店 御茶之間宛 明治九年 月一二月 横長美 一冊 あ二〇三	呉服太物御通帳 角店 御茶之間宛 明一四年一 月一二月 横長美大 一冊 あ二〇四	呉服太物大保恵帳 御茶之間宛 明治一六年五月 月一二月 横長美大 一冊 あ二〇三	別口絹布売上帳 角店 御茶之間宛 嘉永二年正月 月一二月 横長美 一冊 あ二〇四	（諸品売渡覚帳） （白布・白細・晒木綿・白絹等々） 横美列 一冊 あ三三七	（諸品売渡覚帳） （白布・白細・晒木綿・白絹等々） 横美列 一冊 あ三三七
---	---	---	---	--	--	--	--	---	---	---	--	--

呉服太物売上帳（後欠） 明治一一年八月一〇月 横長半 一冊 あ四二一	（呉服売上高調帳） （虫損甚だし） 角店 横美半折 一冊 あ三九一	（諸品売帳） （小間物類） 横長美大 一冊 あ四三	御会符荷物 御会符一卷扣（道中荷物往来之節御会符一件関係文書写控） 八田嘉玆 宝曆九年 美 一冊 あ二五三	道中荷物往来駄数書上帳扣（京都荷物往来仕候節御目付中より会符請取申候覚） 八田以親扣 宝曆九年（安永二年） 横長美大 一冊 あ二四五	真田伊豆守内八田孫左衛門荷物 信州從松代道 武州江戸追 中駄賃弘帳 宰領広瀬九兵衛 明治九年九月 横長美 一冊 あ二四六	棚卸 巳之春棚卸勘定目録 巳（宝曆一一年力）春改（辰春）巳春 横長美大 一冊 あ三九六	午之春両店惣勘定目録 午（宝曆一二年力）春改 横長美大 一冊 あ三六	巳春（午春） （巳春）午春 横長美大 一冊 あ三六	中之春本店 勘定目録 申（宝曆一四年力）春改 横長美大 一冊 あ三〇〇	（未春）申春 古着店 横長美大 一冊 あ三〇〇	丑之春 出見世申 申蠟 棚卸勘定目録 丑（明和六年力）春改（子春）丑春 横長美大 一冊 あ三〇一	辰之春 出店 寅上州糸 勘定目録 辰（明和九年力）春改（卯春）辰春 横長美大 一冊 あ三〇一
---	---	------------------------------------	---	---	--	---	---	------------------------------------	---	----------------------------------	--	--

申之春呉服棚卸勘定目録〈包紙入〉 二年) 春改(未春)申春)	申(寛政一 横長美	一冊 あ 六三
西之春呉服店棚卸勘定目録〈包紙入〉 元年) 春改(申春)西春)	西(享和 横長美	一冊 あ 六四
戌春呉服店棚卸勘定目録〈包紙入〉 年) 春改(西春)戌春)	戌(享和二 横長美	一冊 あ 六五
亥春呉服店棚卸勘定目録〈包紙入〉 年) 春改(戌春)亥春)	亥(享和三 横長美	一冊 あ 六六
子春呉服店棚卸勘定目録〈包紙入〉 年) 春改(亥春)子春)	子(文化元 横長美	一冊 あ 六七
丑春呉服店棚卸勘定目録〈包紙入〉 年) 春改(子春)丑春)	丑(文化二 横長美	一冊 あ 六八
寅春呉服店棚卸勘定目録〈包紙入〉 月改(文化二年春)同三年正月)	文化三年正 横長美	一冊 あ 六九
卯之春呉服方棚卸勘定目録〈包紙入〉 春改(文化三年春)同四年春)	文化四年 横長美	一冊 あ 七〇
辰春呉服棚卸勘定目録〈包紙入〉 春改(卯春)辰春)	辰(文化五 横長美	一冊 あ 七一
辰之春呉服方棚卸勘定目録〈包紙入〉 改(文化五年春)同六年春)	文化六年春 横長美	一冊 あ 七二
戌春呉服店棚卸勘定調帳・戌春呉服棚卸有 代呂物帳・酉年中呉服店諸雜用調帳〈袋添付〉 呉服店勝之助・清重 戌(天保九年)正月改	横長美	三冊 あ 七三 一綴
呉服店亥春棚卸御勘定帳・亥年中店方雜用明 細書上帳・亥春棚卸有代呂物改帳〈袋添付〉 呉服店清十(勝之助奥書証判) (天保一〇年力) 春改	横長美	三冊 あ 七四 一綴
丑春呉服店棚卸御勘定帳・丑春呉服店綿方棚 卸御勘定帳・子年中店方雜用並御手充金調 帳・丑春呉服店棚卸有代呂物並口錢取調帳〈袋 添付〉 丑(天保一二年)閏正月改	横長美	四冊 あ 一〇三 一綴
巳春呉服店棚卸御勘定御書上帳・辰年中店方 雜用并御手充金調帳〈袋添付〉 呉服店清十 化二年正月改	横長美	二冊 あ 八五 一綴
巳春呉服方棚卸勘定目録 巳春(弘化二年)改 (辰春)巳春)	横長美大	一冊 あ 一〇一
午春棚卸御勘定御書上帳・呉服店方雜用調并 金利払御書上帳〈袋添付〉 呉服店清十 弘化三年 正月改	横長美	二冊 あ 八五 一綴
午春呉服棚卸勘定目録 午(弘化三年)春改(巳 春)午春)	横長美大	一冊 あ 一〇三
未春呉服店棚卸御勘定御書上帳・午年雜用遣 払并金利払明細御書上帳〈袋添付〉 呉服店清十 弘化四年正月改	横長美	二冊 あ 八六 一綴
未春呉服方棚卸勘定目録 弘化四年春改(午春)未春)	横長美大	一冊 あ 一〇六
申春呉服店棚卸御勘定御書上帳・未年中諸雜 用遣払并金利払等御書上帳〈袋添付〉 呉服店清 十・佐助 弘化五年正月改	横長美	二冊 あ 八七 一綴
酉春呉服店棚卸御勘定御書上帳・申年中諸雜 用遣払并金利払等御書上帳〈袋添付〉 呉服店佐 助・清十 嘉永二年正月改	横長美	二冊 あ 八八 一綴
酉春呉服店棚卸勘定目録 酉春(嘉永二年)改(申 春)酉春)	横長美大	一冊 あ 一〇九
戌春呉服店棚卸御勘定御書上帳・酉年中諸雜 用遣払并金利払御書上帳〈袋添付〉 角店佐助・ 正助 嘉永三年正月改	横長美	二冊 あ 九〇 一綴

戌春呉服店棚卸勘定目録 戌(嘉永三年) 春改(酉春、戌春)	横長美大	一冊	あ100	呉服方棚卸勘定明細一紙・諸貸方調御書上帳・未年諸雜用金・利遺・調帳・未年中上納御下ケ金調帳・申春川東掛残調帳(袋添付)(辰巳・午・未四ヶ年の棚卸勘定) 角店 万延元年三月・閏三月改	横長美	一五冊	あ100
亥春呉服店棚卸勘定書上帳・御取替物覚・戌年中諸雜用金・利・上帳(袋添付) 角店 佐助・正助 嘉永四年正月改	横長美	三冊	あ100	呉服方棚卸勘定一紙・申歲諸雜用金・利遺・調帳・申年中上納御下ケ金調帳・川東・酉春改掛残調帳・諸貸方調書上帳(袋添付) 角店 万延二年正月改	横長美	一五冊	あ101
亥春呉服店棚卸勘定目録 亥(嘉永四年) 春改(戌春、亥春)	横長美大	一冊	あ100	呉服方棚卸勘定一紙・川東・戌春改掛残調帳・酉年諸雜用金・利遺・調帳・諸貸方調御書上帳(袋添付) 角店 文久二年正月改	横長美	一四冊	あ102
子春呉服店棚卸勘定書上帳・亥年中諸雜用金・利・上帳・拜借上納御取替物御差引一紙(袋添付) 嘉永五年正月改	横長美	三冊	あ102	呉服方棚卸勘定一紙・亥春改掛残調帳・戌年諸雜用金・利遺・調帳・戌年中上納御下ケ金調帳・諸貸方調御書上帳(袋添付) 角店 文久三年正月改	横長美	一五冊	あ103
子春呉服店棚卸勘定目録 子春(嘉永五年) 改(亥春、子春)	横長美大	一冊	あ103	呉服方棚卸勘定一紙・亥年中上納御下ケ金調帳・亥年諸雜用金・利遺・調帳・川東・子春改掛残調帳・諸貸方調御書上帳(袋添付) 角店 文久四年正月・二月改	横長美	一五冊	あ104
角店呉服方棚卸勘定明細一紙・子歲中諸雜用金・利・上帳・(金・錢・請・上・帳)・諸貸方調御書上帳(袋添付) 嘉永六年正月・二月改	横長美	四冊	あ103	呉服方棚卸勘定一紙・子年中上納御下ケ金調帳・子年中諸雜用金・利遺・調帳・諸貸方調御書上帳(袋添付) 角店 元治二年正月・二月改	横長美	一四冊	あ105
丑春呉服店棚卸勘定目録 丑(嘉永六年) 春改(子春、丑春)	横長美大	一冊	あ105	呉服方棚卸勘定一紙・丑年中上納御下ケ金調帳・丑年中諸雜用金・利遺・調帳・諸貸方調御書上帳(袋添付) 角店 慶應二年二月改	横長美	一四冊	あ106
角店呉服方棚卸勘定明細一紙・丑年中諸雜用御書上帳・寅春棚卸改持出・勘定調帳・諸貸方調御書上帳(袋添付) 嘉永七年正月改	横長美	四冊	あ103	呉服方棚卸勘定一紙・寅年中上納御下ケ金調帳・寅年中諸雜用金・利遺・調帳・諸貸方調御書上帳(袋添付) 角店 慶應三年二月改	横長美	一四冊	あ107
角店呉服方棚卸勘定明細一紙・從寅三月角店金・錢・請・上・帳・寅年中諸雜用御書上帳・諸貸方調御書上帳・卯春持出・勘定調帳 安政二年正月・二月改	横長美	四冊	あ106	呉服方棚卸勘定一紙・從卯二月中十日五日追金・錢・請・上・帳・辰春持出し・勘定調帳・諸貸方調御書上帳(袋添付) 角店 安政三年正月改	横長美	一四冊	あ109

呉服有品書上帳	明治二年二月改	横長美	一冊	あ二〇六	卯春棚卸改呉服有品書上帳	角店	横長美	一冊	あ二〇三
呉服方棚卸勘定一紙・巳正月貸方書抜帳・諸貸方調御書上帳・辰歳諸雜用金利遣払調帳・辰歳上納御下金調帳(袋添付)	明治二年正月・二月改	横長美	五冊 一綴	あ二〇九	亥春棚卸改呉服有品書上帳	角店	横長美	一冊	あ二〇三
呉服方棚卸勘定一紙・諸貸方調御書上帳・午正月貸方調帳・巳歳中諸雜用金利遣払帳(袋添付)	明治三年二月	横長美	四冊 一綴	あ二〇〇	辰年中上納御下ケ金調帳	角店 未二月改	横長美	一冊	あ二〇一
呉服方棚卸勘定一紙・書抜帳・御下金差引書・諸貸方取調御書上帳・午歳中諸雜用金利遣払帳(袋添付)	かど店 明治四年正月・三月改	横長美	四冊 一通 一綴	あ二〇二	正月元日〆貸売高改帳	角店 辰正月改	横長美	一冊	あ二〇〇
呉服有品書上帳	明治六年三月改	横長美	一冊	あ二〇七	辰年中御取替物覚	(呉服店)	横長美	一冊	あ二〇五
呉服有品書上帳	明治八年三月改	横長美	一冊	あ二〇八	大福万覚帳(古着買入覚・祝儀遣し・古着売払・金銭入覚・金銭出払覚)〈後欠・虫損甚し〉	寛政二年	横美大列	一冊	あ三七二
呉服有品書上帳	明治九年三月改	横長美	一冊	あ二〇九	寛政二年				
有代物書上帳 (豊田店)	明治一〇年二月改	横長美	一冊	あ二四三	油 店				
有代呂物書上帳 (豊田店)	明治一一年二月改	横長美	一冊	あ二四四					
呉服有品書上帳	明治一二年三月改	横長美	一冊	あ二四五					
有代呂物書上帳	豊田店 明治一三年二月改	横長美	一冊	あ二四五	内方〆拝借金・上納金				
有代呂物書上帳	豊田店 明治一四年二月改	横長美大	一冊	あ二四六					
有代呂物書上帳	豊田店 明治一七年二月改	横長美	一冊	あ二四七	金銭請払				
○									
子春棚卸改呉服有品書上帳	角店	横長美	一冊	あ二四四	從寅三月廿五日卯正月十八日迄油店金銭請払御書上帳 (嘉永七年〆安政二年カ)				
丑春棚卸改呉服有品書上帳	角店	横長美	一冊	あ二四〇					
寅春棚卸改呉服有品書上帳	角店	横長美	一冊	あ二四一	寛保三亥歳〆明和六丑歳迄油棚卸勘定目録				
					油棚卸勘定目録 明和九年二月改、安永四年六月改、安永五年三月改、安永九年四月改				

卯春棚卸改呉服有品書上帳	角店	横長美	一冊	あ二〇三
亥春棚卸改呉服有品書上帳	角店	横長美	一冊	あ二〇三
辰年中上納御下ケ金調帳	角店 未二月改	横長美	一冊	あ二〇一
酉年中上納御下ケ金調帳	戌正月改	横長美	一冊	あ二〇五
正月元日〆貸売高改帳	角店 辰正月改	横長美	一冊	あ二〇〇
辰年中御取替物覚	(呉服店)	横長美	一冊	あ二〇五
大福万覚帳(古着買入覚・祝儀遣し・古着売払・金銭入覚・金銭出払覚)〈後欠・虫損甚し〉	寛政二年	横美大列	一冊	あ三七二
寛政二年				
油 店				
内方〆拝借金・上納金				
金銀請取通帳(油方が元方より拝借、上納も記す)	油方 御元方宛 天保九年十一月〆一三月	横美列	一冊	あ二四五
金銭請払				
從寅三月廿五日卯正月十八日迄油店金銭請払御書上帳 (嘉永七年〆安政二年カ)		横長半	一冊	あ二四六
棚 卸				
寛保三亥歳〆明和六丑歳迄油棚卸勘定目録		横長美大	一六冊	あ二四四
油棚卸勘定目録 明和九年二月改、安永四年六月改、安永五年三月改、安永九年四月改		横長美 横長半	五冊 一綴	あ二四〇

安永九年子四月と丑五月迄油棚卸勘定目録 油店 安永一〇年五月改	横長美	一冊 あ 八五	申正月油方棚卸調下帳 (弘化五年) 正月改	横長半	一冊 あ 八六
油店亥春棚卸御勘定帳 亥(天保一〇年) 正月改 (戌九月、亥正月)	横長美	一冊 あ 八五	申春油棚卸御勘定一紙 酒店長助 弘化五年正月改(弘化四年正月、同五年正月)	横長美	一冊 あ 八五
寅正月油棚卸御勘定一紙 酒店兵吉・喜左衛門 天保一三年正月二〇日改(天保一二年五月一五日、同一年正月一九日)	横長美	一冊 あ 八五	酉春油棚卸御勘定一紙 酒店長助 嘉永二年正月改(弘化五年正月、嘉永二年正月)	横長美	一冊 あ 八七
卯春油棚卸御勘定一紙 酒店兵吉 卯(天保一四年) 正月二〇日改(寅正月、卯正月)	横長美	一冊 あ 八六	酉春油棚卸勘定目録 (嘉永二年) 正月改	横長美	一冊 あ 八三
油方卯春棚卸勘定目録 (天保一四年) 正月改	横長美	一冊 あ 八七	戌春油棚卸御勘定一紙 嘉永三年正月改(嘉永二年正月、同三年正月)	横長美	一冊 あ 八六
辰春油方棚卸下調帳 (天保一五年) 春改	横長半	一冊 あ 八七	戌春油棚卸勘定目録 (嘉永三年) 正月改	横長美	一冊 あ 八九
辰春油方棚卸御勘定一紙 酒店兵吉 天保一五年正月改(天保一四年正月、同一年正月)	横長美	一冊 あ 八六	亥春油棚卸御勘定一紙 嘉永四年正月改(嘉永三年正月、同四年正月)	横長半	一冊 あ 八六
巳春油方棚卸下調帳 (弘化二年) 春改	横長美	一冊 あ 八七	子春油棚卸御勘定一紙・油方有代呂物御書上帳(袋添付) 子(嘉永五年) 正月改(嘉永四年正月、同五年正月)	横長美	二冊 あ 八四
巳春油方棚卸御勘定一紙 酒店兵吉 弘化二年正月改(天保一五年正月、弘化二年正月)	横長美	一冊 あ 八三	油店丑春棚卸有代呂物書上并御勘定帳(袋添付) 丑(嘉永六年) 正月改(嘉永五年正月、同六年正月)	横長半	一冊 あ 八五
巳春油棚卸勘定目録 (弘化二年) 正月改	横長美	一冊 あ 八三	寅春有代呂物并貸方御書上帳・丑年中店雜用調下案并上納物明細書下調・寅春改御預り品売払代金并貸方内取立金調帳・寅春油方棚卸勘定調帳(袋添付) 寅(嘉永七年) 二月改(嘉永六年正月、同七年正月)	横長半	四冊 あ 八七
午春油方棚卸下調帳 (弘化三年) 春改	横長半	一冊 あ 八三	油店御預り金并御取替物調・油店諸方掛方残り貸方調・油店有代呂物取調帳袋添付) 佐助 嘉永七年閏七月、八月改	横長半	三冊 あ 九五
午春油棚卸勘定目録 (弘化三年) 正月改	横長美	一冊 あ 八六	亥年中油御店調控帳(袋添付)	横長美	一冊 あ 八六
未春油方棚卸下調帳 (弘化四年) 春改	横長半	一冊 あ 八七	油店亥春棚卸勘定帳	横長半	一冊 あ 八三
未春油棚御勘定一紙 酒店兵吉 弘化四年正月改(弘化三年正月、同四年正月)	横長美	一冊 あ 八四			
未春油棚卸勘定目録 (弘化四年) 正月改	横長美	一冊 あ 八三			

醤油店（松井店）

内方と拝借金・上納金

金銀拝通帳（醤油店が内方より拝借、上納も記す）
中町醤油店 御内方宛 文化二三年五月〜文政八年 横美大半折

仕入

（醤油・味噌仕入・渡覚帳）〔御膳江渡、御奥江渡、酒店江渡〕〈前後欠、虫損甚だし〉 安永 横美列
醤油仕入方調帳 中町醤油店 文政二年三月改 横長半
（文化一三年〜文政元年） 一冊 あ八四

売渡

諸色御通帳（内方へ売り渡し） 中町店 御内方宛 横美半折
文政二年三月〜二月 一冊 あ三〇五

売買差引勘定

子之春仕入味噌醤油算用帳（明和五年カ） 横長美大 一冊 あ八七五
（丑春仕入味噌醤油算用帳）〈表紙欠〉（明和六年カ） 横長美大 一冊 あ八六六
（寅春仕入味噌醤油算用帳）〈表紙欠〉（明和七年カ） 横長美大 一冊 あ八七七
申之秋味噌醤油算用帳 横長美大 一冊 あ八七九
午之春味噌醤油勘定目録 午五月改（巳四月〜午五月） 横長美大 一冊 あ八八六
醤油棚於呂志帳（売上高・仕入高） 錦町松井店 横長半 一冊 あ八四六
辰（文政三年）二月改

入用

塗物方入用覚帳 中町店 文政元年一月〜同年二月 横美半折 一冊 あ二六九
丑年と寅年迄諸雜用覚帳 中町醤油店 文政二年三月改（文化一四年七月〜文政二年三月） 横長半 一冊 あ八四四
子年と諸道具雜用覚帳 中町醤油店 文政二年三月改（文化一三年〜文政元年） 横長半 一冊 あ八四三
辰年入料書上帳 中町醤油店（文政三年）二月改 横長半 一冊 あ八四七
（諸入料払覚帳） 中町醤油店喜助 巳（文政四年）二月改（辰二日〜巳二月） 横長半 一冊 あ八五三
亥年中入用覚帳 中町店（文政一〇年） 横長美 一冊 あ七九
巳年入用書之帳 中町松井店 横長美 一冊 あ八〇三
中町店申年中入用覚 横長美 一冊 あ八〇三
卯年中諸入用帳 錦町松井店 辰（文政三年）二月改 横長半 一冊 あ八〇〇
卯年店賃入用払帳 錦町松井店 辰（文政三年）二月改 横長半 一冊 あ八三二
巳年中雜用覚帳 錦町松井店 文政四年 横長美 一冊 あ八〇三
取替（立替）
丑年と御取替物覚帳 中町醤油店 文政二年三月改（文化一四年八月〜文政二年二月） 横長半 一冊 あ四二
辰年御取替物覚帳 中町松井店（文政三年） 横長半 一冊 あ八五三
御取替物覚帳 中町店 文政二二年 横美半折 一冊 あ一五九
酉年中御立替物調帳 横長半 一冊 あ二八四

亥年御取替物覚 松井店

横長半

一冊 あ 七六

棚 卸

寅春残り代呂物改 松井店 (文政元年カ)

横長美

一冊 あ 七六

寅春醬油方棚卸勘定目録(寅春残り有代呂物+寅春上納金+寅春有金+普請手充上納+寅春かけ方)
(丑残り代呂物+丑春かけ方) (文政元年カ)

横長美

一冊 あ 八三

卯春醬油方棚卸勘定目録 (文政二年カ)

横長美

一冊 あ 八三

辰春醬油方棚卸勘定目録 松井店 (文政三年カ)

横長美

一冊 あ 八四

巳之春残り代呂物改帳 (文政四年カ)

横長美大

一冊 あ 三四

巳春醬油方棚卸勘定目録 (文政四年カ)

横長美

一冊 あ 八四

午春醬油方有代呂物調帳 (文政五年カ)

横長美

一冊 あ 八三

午春醬油方棚卸勘定目録 (文政五年カ)

横長美

一冊 あ 八七

申春醬油方有代呂物調帳 (文政七年カ)

横長半

一冊 あ 八五

申春醬油方棚卸勘定目録 (文政七年カ)

横長美

一冊 あ 八三

子之春棚卸改元帳(残り代呂物改) 中町松井店
(文政二年)

横長美

一冊 あ 八〇

子春掛方書拔帳 (文政二年)

横長半

一冊 あ 七〇

子春棚卸勘定目録 中町松井店 (文政二年)

横長美

一冊 あ 七六

丑春残り代呂物改帳(袋添付) 中町松井店 文政二年二月改

横長美

一冊 あ 七七

丑春残り掛書拔帳 中町松井店 (文政一三年)

横長美

一冊 あ 七三

丑春醬油方棚卸勘定目録 (文政二年)

横長美

一冊 あ 八三

卯之春残り代呂物改帳 (天保二年カ)

横長美大

一冊 あ 三二五

卯春掛方書拔帳 松井店 (天保二年カ)

横長美

一冊 あ 七四

卯春醬油方棚卸勘定目録 (天保二年カ)

横長美

一冊 あ 八三

中町醬油方指引元帳(有品、売掛等の諸取調記録)
天保四年、同七年

横長美

一冊 あ 八四

辰春塗物勘定書上覚(棚卸勘定) 中町松井店

横長美

一冊 あ 二二〇

巳春諸方掛方書拔帳 中町醬油店

横長美

一冊 あ 八五

巳十月醬油方有代呂物調帳

横長美

一冊 あ 八三

巳年懸方取調帳

横長美

一冊 あ 八四

午春棚卸帳 錦町松井店

横長美

一冊 あ 八四

酉之春棚卸改帳(残り代呂物改) 中町松井店

横長美

一冊 あ 八二

酉之春棚卸勘定目録 中町松井店

横長美

一冊 あ 七五

戌春醬油方有代呂物調帳

横長美

一冊 あ 八七

亥春醬油方有代呂物調帳

横長美

一冊 あ 八六

中町松井店酉春懸方調帳

横長美

一冊 あ 八六

道具 調

中町道具調下帳(桶、大豆、塩、小豆、諸味、屏風、帳箱、錢箱等)

横長半折

一冊 あ 二六

越後赤倉松井店

赤倉出店拝借金差引帳 文化一五年二月、文政二
七二月

横長大半折

一冊 あ 八三

赤倉入用書拔帳 文政二年二月〜同三年正月 横美大半 折 あ二八五

文政三辰年入用覚・文政三辰年諸普請入料書
上帳・文政四巳春改店御勘定帳・文政四巳春
残掛金書拔帳・文政四巳之春棚卸勘定目録
（袋・関連書付添） 越州赤倉穀店 横長半 六冊 通あ二七〇
一綴

長左衛門答書（文政二年赤倉表江引越穀商売相始
仕入金拝借返済方無之始末等々ニ付） 御上様宛 西 横長美 一冊 あ三七七
（文政八年）八月

赤倉引越諸入用覚帳（湯小屋普請入用） 文政九 横長美 一冊 あ二七六

越州赤倉出帳ニ付控日記 文政二年九月二〇 半 一冊 あ二六六
日〜二〇月四日

諸方取替置候品々調帳 未（天保六年）閏七月 横長半 一冊 あ二〇七

（諸道具借用覚帳）・貸店家質人別調帳・諸道
具調立帳（袋添） 松井長左衛門 松井清兵衛宛
松井清兵衛・和七・寿平代三蔵 松井和七宛 未（天 横長半 三冊 綴あ二七五
保六年）閏七月、天保七年四月

越赤倉松井店調中并お八重下参道中遣払帳 横長半 一冊 あ二二二
八田嘉右衛門内高井良右衛門 天保七年四月、九 月

赤倉松井店清兵衛一件諸雜入用帳 八田嘉右 横長半 一冊 あ二一九
衛門内笠井和七・有賀平兵衛・高井良右衛門 天保七 年六月八日〜二九日

越州赤倉温泉松井本店引渡之節諸雜入用帳 横長半 一冊 あ二八〇
良右衛門 天保八年五月

一本木赤倉松井本店置付諸道具調立覚帳 松 横長半 一冊 あ七三
井和七代良右衛門 喜左衛門宛 天保八年五月晦日

松井店諸道具置付物調立覚帳 良右衛門 喜左 横長半 一冊 あ七二
衛門宛 天保八年五月

赤倉飯山出向之節諸払方帳 良右衛門 天保八 横長半 一冊 あ二八七
年二月二四日〜晦日

越州一本木赤倉松井店久右衛門〆諸道具請取
之節雜入用帳 良右衛門 天保九年閏四月二五日 横長半 一冊 あ二八
（五月二日）

北越一本木赤倉懸合日記（皆神山祠堂金貸付返金
懸合） 松代皆神山役人高井善右衛門控 天保九年七 横長美 二冊 綴あ二九一
月 横美大半

土口村口上書写（赤倉質物出入一件ニ付） 伊勢町 横長美 一冊 綴あ二六九
宛 二月六日

赤倉諸向付込帳 天保一一年四月〜五月 半 一冊 綴あ二七

赤倉上段取崩物取調申上帳 出向源吾 天保一 横長半 一冊 綴あ二六三
一年九月二二日

赤倉出張日記 菊屋市兵衛 天保一三年四月三日 堅美半 一冊 綴あ二六四
（二二日）

赤倉長屋式棟普請入料覚帳 弘化二年五月 横長半 一冊 綴あ二八八

（諸道具預り覚帳） 栄八 和七宛 弘化三年四 横長半 一冊 綴あ二九三
月

温泉場取立物積書（宿屋式拾軒作事金と湯銭・屋賃
収入の見積もり） 横長美 一冊 綴あ二九四

開湯金主共願書下書（入湯人減少ニ而難渋ニ付取
統御仕法被成下度願書） 役所宛 横長美 一冊 綴あ二七九

御内話認取（赤倉温泉衰微難渋ニ付取統方嘉右衛門
内話） 横長美 一冊 綴あ二七九

愚意申上書下案（温泉場下之方江引候儀ニ付） 横長美 一冊 綴あ二七九

（赤倉温泉場略図） 98.5 x 95.5 一舗 綴あ二二二

(肴并鴨代金請取仕切帳) 上田端町肴屋六三
郎 松井和七宛 三月二三日 横長美 一冊 あ二九一

西之春棚卸勘定目録 赤倉本店 横長美大 一冊 あ三〇九

質 店

内方と拝借金・上納金

金銭請取通帳(内方よりの拝借金高から上納高を差引) 質見世 内方宛 寛政九年(文化)一年 横美大平 一冊 あ三五六

入 用

寅年入用覚 質店 (文政元年) 横長美 一冊 あ八八

卯年入用帳 質店 (文政二年) 横長美 一冊 あ八九〇

辰年入用帳 質店 (文政三年) 横長半 一冊 あ八九三

戌年中雜用御書上帳 質方勝之助 亥(天保一〇年)正月 横長美 一冊 あ八九六

寅年雜用覚 質方 横長半 一冊 あ九〇三

卯年雜用帳 質方 横長美 一冊 あ九〇四

辰年雜用帳 質方 横長美 一冊 あ九〇五

巳年中雜用帳 質方 横長半 一冊 あ九〇六

巳年入用帳 質店 横長半 一冊 あ八九六

未年雜用帳 質方 横長半 一冊 あ九〇六

酉年中雜用取調帳 質方 戌正月 横長美 一冊 あ九〇三

丑年中雜用覚帳 質方 横長半 一冊 あ九〇七

取 替 (立替)

寅年御取替物覚 質店 (文政元年) 横長美 一冊 あ八七

和七取替物覚 質店 文政元年 横長美 一冊 あ八八六

和七取替物覚 質店 文政二年 横長半 一冊 あ八九九

御取替物書拔覚 質店 文政二年 横長美 一冊 あ八九一

諸色御通帳(諸色代金を質店が立替払) 質店 御茶之間宛 文政二年二月九日(同三年正月二六日) 横美半折 一冊 あ七五

御取替通帳 文政二年二月二三日(二月晦日) 横美半折 一冊 あ七六

御取替物覚 質店 御内方宛 文政九年 横長美 一冊 あ八九三

御取替物覚 質方 御茶之間宛 文政九年 横長美 一冊 あ八九四

巳歲御取替帳 質店 天保五年正月 横長美 一冊 あ八九五

丑年中御当用御取換物覚帳 質方 横長美 一冊 あ九〇

卯年御取替物帳 質方 横長半 一冊 あ八九九

戌年御取替物 質店 横長半 一冊 あ八九九

○ 卯年中御大小拵并御細工物仕訳帳 質方勝之助 天保三年正月 横長美 一冊 あ一六三

御大小仕立一卷(大小刀仕立代金) 松代菊伝質方勝之助 寅正月二八日 横長美 一冊 あ二九一

金銭指引帳

金銀指引帳(内方と拝借金上納差引、内方取替差引、下館取替差引、諸方貸金返済差引、買物代金払差引、棚卸差引) 菊屋質舗 天保五年(同六年) 横美大列 一冊 あ三六五

金銀指曳帳	菊屋質舖	天保七年〜同八年	横美大列	一冊	あ三三六	辰之春質方棚卸勘定目録〈包紙入〉	文化五年春改〔文化四年春〜同五年春〕	横長美	一冊	あ四四〇
金銀差引帳	菊屋質店	天保九年	横美大列	一冊	あ三三七	巳之春棚卸勘定目録〈包紙入〉	文化六年春改〔文化五年春〜同六年春〕	横長美	一冊	あ四四二
金銀指曳帳	質店勝兵衛	天保一〇年	横美半	一冊	あ七九	午之春棚卸勘定目録〈包紙入〉	文化七年春改〔文化六年春〜同七年春〕	横長美	一冊	あ四四三
金銀差引帳	角喜質店	弘化二年〜同三年	横美大列	一冊	あ三六六	申之春質方棚卸勘定目録	(未春〜申春)	横長美	一冊	あ八三
棚卸						西之春質方棚卸勘定目録	(申春〜西春)	横長美	一冊	あ八四
午之春しち方棚卸勘定目録〈包紙入〉		午(寛政一〇年) 春改〔巳四月〜午春〕	横長美	一冊	あ九三	戌春棚卸御勘定一紙	質方勝之助 戌正月改〔西春〜戌正月〕	横長美	一冊	あ八三
未之春質方棚卸勘定目録〈包紙入〉		未(寛政一年) 春改〔午春〜未春〕	横長美	一冊	あ九三	亥春質方棚卸御勘定一紙	質方勝之助 亥正月改〔戌春〜亥正月〕	横長美	一冊	あ八一
申春質方棚卸勘定目録・残り代呂物取調・利上取調覚〈包紙入〉	申(寛政二年) 春改〔未春〜申春〕		横長美	一通	あ九三	子之春質方棚卸勘定目録	(亥春〜子春)	横長美	一冊	あ八〇
西之春質方棚卸勘定目録〈包紙入〉		西(享和元年) 春改〔申春〜西春〕	横長美	一冊	あ九三	丑之春質方棚卸勘定目録	(子春〜丑春)	横長美	一冊	あ九二
戌之春質方棚卸勘定目録〈包紙入〉		戌(享和二年) 春改〔西春〜戌春〕	横長美	一冊	あ九四	質方棚卸勘定目録	(寅春〜未春)	横長美	六冊 一綴	あ八五
亥之春質方棚卸勘定目録〈包紙入〉		亥(享和三年) 春改〔戌春〜亥春〕	横長美	一冊	あ九三	控 留				
子之春質方棚卸勘定目録〈包紙入〉		享和四年春改〔享和三年春〜同四年春〕	横長美	一冊	あ九三	覚帳(諸入用願書、棚卸勘定等の諸記録)	質店 寛政九年〜天保九年	横美大列	一冊	あ九三
丑之春質方棚卸勘定目録〈包紙入〉		文化二年春改〔享和四年春〜文化二年春〕	横長美	一冊	あ九七	金銀録(貸付金請取、取替、諸入用払、預り金、拝借金等の諸記録)	質店 文政一二年	横美大列	一冊	あ九七
寅之春質方棚卸勘定目録〈包紙入〉		文化三年春改〔文化二年春〜同三年春〕	横長美	一冊	あ九六	その他(店不明分)				
卯之春質方棚卸勘定目録〈包紙入〉		文化四年春改〔文化三年春〜同四年春〕	横長美	一冊	あ九六	子春棚卸勘定目録		横長美大	一冊	あ三二〇

丑春棚卸勘定目録	横長美	一冊 あ三二一
寅春棚卸勘定目録	横長美大	一冊 あ三三二
卯春棚卸勘定目録	横長美大	一冊 あ三三三
卯春棚卸勘定目録	横長美大	一冊 あ三三六
辰春棚卸勘定目録	横長美大	一冊 あ三三五
巳春棚卸勘定目録	横長美大	一冊 あ三三六
午春棚卸勘定目録	横長美大	一冊 あ三三七

町方

控留

高札・条目写控

切支丹御僉議之節写置申候書付	貞享四年七月	美大	一冊 あ七〇
御高札掟書写	天和二年五月	美	一冊 あ五八
御条目之写	町年寄八田嘉右衛門 正徳三年正月	美大	一冊 あ五八
御条目之写	町年寄八田孫左衛門 享保七年九月	美大	一冊 あ五五
御条目之写	町年寄八田孫左衛門 享保七年九月	美大	一冊 あ五五
御条目之写并御町方指上申候証文	辰八月、 丑三月、享保九年七月	美	一冊 あ五七

町年寄用留

月番之節御用趣覚日記(町年寄御用留)	八田長左衛門 貞享三年三月〜元禄一三年一〇月	横長美大	一冊 あ三九
御用覚日記(御用留)	正徳六年閏二月〜享保九年二月	美	一冊 あ五三
月番之節御用趣覚日記(御用留)	八田孫左衛門 享保七年九月〜延享元年九月	横長美大	一冊 あ四三
町年寄御用番覚帳	八田孫左衛門 辰(享保九年)四月〜酉(享保一四年)正月	横長美大 半折	一冊 あ三七五
願書并御用控帳	享保一四年〜元文四年	横長美	一冊 あ三六
(町年寄御用日記) <前後欠>	延享元年〜同四年	横長美大 半折	一冊 あ三六三
(町年寄御用番覚帳) <前後欠>	八田嘉助 寛延三年二月〜宝暦元年二月	横長美大 半折	一冊 あ三七六
月番之節御用之趣覚	八田孫左衛門 宝暦一一年四月〜明和二年二月	美大	一冊 あ五四
町年寄御用帳	八田孫左衛門 明和二年五月〜同三年十二月	美大	一冊 あ三九六
町年寄御用帳	八田孫左衛門 明和四年正月〜明和七年七月	美大	一冊 あ五四
御用之日記(御用留)	八田孫左衛門 明和七年八月〜安永二年六月	美大	一冊 あ五八
御用之日記(御用留)	八田孫左衛門 安永二年六月〜同五年十二月	美大	一冊 あ五七
御用之控帳	八田孫左衛門 安永六年三月〜同九年十二月	美	一冊 あ五九

町年寄御用帳〈前欠〉 八田孫左衛門 安永一〇年正月〜天明五年四月 横美大列

町年寄御用帳〈後欠〉 天明五年五月〜寛政元年九月 横美大列

町年寄御用帳 八田孫左衛門 寛政元年一〇月〜同七年正月 横美大列

町年寄御用帳 寛政七年六月〜同一年十二月 横美大列

町年寄御用帳〈前後欠〉 寛政一二年正月〜享和二 横美大列

町年寄御用帳 享保二年五月〜文化七年八月 横美大列

町年寄御用留帳〈前後欠〉 文化七年九月〜同二年五月 横美大列

○

八町中時の鐘鑄料御尋ニ付書上控 八田孫左衛門・伴伊右衛門 明和七年二月 横長半

諸留書 一冊 あ一六三 一綴 あ四四

①公儀評定所裁許状写(信州水内郡荒安村飯繩明神社務仁科甚十郎と同郡戸隠山衆徒并百姓と飯繩山麓原平山境出入一件裁許) 土井丹波以下九名 信州水内郡荒安村飯繩明神社務仁科甚十郎・同所同郡戸隠山衆徒・上野村百姓宛 天保一三年正月二日 一通

②東木町山崎屋敷地坪間数麓絵図面 25.5×31 一舗

③伊勢町惣代源左衛門・同惣藏他介添ノ名主連署差出一札并金子請取証文(町内無尽役代伝兵衛取分町内江被下候ニ付請取一札并証文) 八田嘉右衛門内 天保一三年七月 三通

紙屋町久兵衛申上書写(松木束様よりの内借金勘定連に付、諸書類取調の段申し上げる) 組合茂右衛門・新類龍右衛門連署(名主三野要助奥書・印形) 奉行所宛 弘化四年 奉 美 飯一冊 あ四三

諸役・貢税

家数・町役書上

(松代城下八町各町家数・間数并先前仕候御役改書上帳控) 検断小嶋作右衛門、町年寄高村孫三郎・小川仁左衛門・守口庄八・嶋屋忠三郎 寛文一一年四月朔日 美 一冊 あ七〇

(御町役書上帳控)

文政八四年中御町役入用書上帳 菊屋伝兵衛主 横長半 一冊 あ二六四 横美半折 一冊 あ一六二

伝馬役

道中奉行触書写(宿限り宿場の絵図を作成、提出すべきを命ず) 隠岐・駿河 中山道板橋より赤坂迄宿々問屋・年寄宛 西三月二十五日 横長半 飯一冊 あ八五

巳之正月より御役馬代金勘定帳控 先役太郎右衛門未九月迄 御役馬代金勘定帳控 先役太郎右衛門(宇佐美清十郎・八田孫左衛門・八田喜右衛門奥書印形) 名主円右衛門宛 宝曆一三年九月 横長美 一冊 あ一四六

五町一統御伝馬御助成永世為御手充被下金貸付取計書上帳控 伴三郎右衛門・小林甚兵衛・八田長左衛門・八田嘉右衛門・杭金平左衛門 奉行所宛 寛政一二年一二月 美 一冊 あ一五三

五町一統伝馬御助成永世為御手充被下金一卷控 八田嘉右衛門控 寛政一二年六月二八日 美 一冊 あ一五四

御伝馬御助成利潤有余之分頂戴人別印形帳雛形
名主・長町人

横長半 一冊 あ一四六七

御伝馬御助成御手充利潤割合頂戴印判帳雛形
名主・長町人 寛政二年二月

横長美 一冊 あ一四七〇

五町名主願書下書并御抱馬士差出一札下書
(宿馬・馬士共抱切之儀ニ付) 町奉行所宛/問屋船
会所・五町名主宛

半 一冊 あ四三

巡見本陣役

御巡見ニ付三御本陣役割人別帳 伝兵衛控
天保九年閏四月

横長半 一冊 あ七

御巡見ニ付三御本陣役割人別帳 北村茂兵衛
控 天保九年閏四月

横長半 一冊 あ七

御巡見様御入料道具一卷 伝兵衛手控 天保九年

横長美 一冊 あ七

明治期貢税取調

伊勢町貢税取調帳写 明治七年三月写

横長美 一冊 あ五

殿様御用

殿様帰城出仰

麻上下着用御迎道嶋迄罷出候人数書上帳控
八田孫左衛門・伴伊右衛門 明和五年七月

横長半 一冊 あ二八三五

殿様御参府御帰城之節麻上下着用ニ而道嶋迄
罷出候人数書上写 巳

横長半 一冊 あ二七三

殿様御入接待

湧泉亭殿様御入之節諸色控 文政二年四月八日 半

一冊 あ五八

湧泉亭江殿様御入之節諸色控帳 八田知義
文政三年九月一日 美

一冊 あ五九

(諸道具并諸入用品目録) 辰(文政三年)九月

横長半 一冊 あ五九

殿様御入之節諸色控帳 八田知義 文政四年三
月二五日 半

一冊 あ五〇

御入之節手控(御門前立番、酒番、宰領等々の人数
割) 巳(文政四年)三月

横長半 一冊 あ六二九

御次向道具調控帳(殿様御入之遣節、入用諸道具)
大木 巳(文政四年)三月

横長半 一冊 あ二八五

辰冬巳春両度賄方御勘定帳・辰冬巳春両度献
立帳 柏屋藤吉 巳(文政四年)一二月改

横長半 二冊 あ三三

(両殿様田町窓水園為入候ニ付諸事書留帳)
文政九年八月一日

横長半 一冊 あ九〇

御入之節手控(請懸り人員配置)

横長半 一冊 あ二八六

辰三郎御答書下案(殿様御野掛ニ而被為入候節献
上物并拜領物ニ付) 岡嶋平治宛

横長美 一冊 あ三三

(部屋割備道具目録)

(御次向献立寛帳) (表紙なし)

横長半 一冊 あ九七

見世道具預り目録 荒神町宗三郎・太七 伊勢屋
与兵衛宛 三月三日

横長半 一冊 あ二八七

横長半 一冊 あ二七三

救 災

飢 饉

為御救御払米鑑札書留帳(藩よりの御救米を伝兵衛店が預かって払米、代金を藩に上納) 伊勢町伝兵衛 天保四年九月

横長美 一冊 あ二七七

御町中米穀取斗規定帳写 御町穀屋行事三名(八町各名主奥書連署) 伊勢町伝兵衛宛 天保七年一〇月

半 一冊 あ二七三

御町中米穀取斗規定帳 御町穀屋行司五名(八町各名主奥書印形) 伊勢町伝兵衛宛 天保七年一〇月

横長美 一冊 あ二七四

米穀之儀ニ付御内意取計日記(当事違作にて米穀不融通に付、勘定所より米穀融通取り計らいを仰せ付けらる) 八田嘉右衛門 天保七年一〇月

半 一冊 あ二八

御町方用米入穀割合帳 菊屋伝兵衛 天保七年一〇月

横長半 一冊 あ二七五

御町方用米入穀相場直段帳 菊屋伝兵衛 天保七年一〇月

横長半 一冊 あ二七六

糶請取日記 御町方用米会所 天保七年一〇月二十九日(同八年七月三日)

横長半 一冊 あ二〇二

町穀屋行司・名主・長町人連署願書(飯山御物成糶買入代金拝借願) 町穀屋行司三名、名主七名、長町人一人、申(天保七年)一一月

横長美 一冊 あ二七七

御救粥焼燗買入元帳 天保七年一一月二九日(同八年七月)

横長半 一冊 あ二八〇

御物成三千五百俵買入之内飯山糶千俵勘定帳 懸り合穀屋戸作以下三名、御町穀屋行司弥左衛門以下三名、菊屋伝兵衛以下一〇名 天保七年一一月

半 一冊 あ二七一

入穀帳 八町 天保七年

横長半 一冊 あ二〇〇

米穀買入指引品々請払書類(御借屋并町内難渋之者江為御救被下人別取斗帳)「米穀取斗当座帳」他関係書付(袋入) 米方懸り勝之助 天保七年

横長半 一綴 あ二二八

應寶恵帳(飯山表よりの救荒米買入の控記録) 菊屋伝兵衛 天保七年

横美列 一冊 あ三三七

飯山買入糶式千五俵調元帳 小川屋三平 菊屋伝兵衛宛 天保八年正月二〇日

横長半 一冊 あ三七三

御救粥被下人別覚帳 天保七年一一月晦日(一一月二八日)

横長半 一冊 あ二八

御救粥被下取計帳表紙 八田嘉右衛門 天保七年

横長半 一枚 あ四〇

御救米被下取計帳 八田嘉右衛門 天保七年一一月晦日(一一月二八日)

横長美 一冊 あ二七九

御救粥取計方取調申上帳 八田嘉右衛門 天保八年一月(天保七年一一月晦日(一一月二八日))

横長半 一冊 あ二八三

御救粥被下人別覚帳 天保八年正月四日(二九日)

横長半 一冊 あ二九三

御救粥被下人別帳 天保八年二月初日(二九日)

横長半 一冊 あ二九二

御救粥被下人別帳 天保八年三月初日(晦日)

横長半 一冊 あ二九〇

御救粥被下人別帳 天保八年四月初日(二九日)

横長半 一冊 あ二八九

御救粥被下人別帳 天保八年五月初日(晦日)

横長半 一冊 あ二八四

御救粥被下人別帳 天保八年六月朔日〜一五日 横長半 一冊 あ二九三	極窮人御粥被下人別御鑑札引合元帳 (天保八年) 六月二〇日〜七月晦日 横長美 一冊 あ二七六	御救粥被下人別調申上帳 天保八年正月四日〜六月一五日 横長半 一冊 あ二六七	御救粥頂戴人別書留帳 天保八年六月一五日 横長半 一冊 あ二六三	御救粥施与関係帳簿 七冊 綴 あ二五	①職方ヨリ御鑑札被下置人別覚帳 天保七年二月一〇日〜同八年五月二四日 横長半 一冊	②御救粥被下人別調帳申上 (天保七年一月晦日〜二月二八日) 横長半 一冊	③御救粥被下候ニ付取計方申上 八田嘉右衛門 天保八年八月 横長半 一冊	④御救粥被下人別申上帳 (天保八年六月二〇日〜七月晦) 横長半 一冊	⑤(町々極難渋人夫食拝借願書写) (天保七年) 横長半 一冊	⑥御救粥被下候ニ付取計方勘定帳 八田嘉右衛門(入久佐衛門他七名奥書署名) 天保八年八月 横長美 一冊	⑦御救粥被下候ニ付取計方御勘定帳 八田嘉右衛門(堀内太一郎他七名奥書署名) 天保八年七月 横長美 一冊	融通穀一件ニ付飯山出向諸用記 有賀長左衛門・倉橋又左衛門・和七・三平 天保八年三月五日〜一七日 横長半 一冊 あ二七三
-----------------------------------	--	--	----------------------------------	--------------------	---	--------------------------------------	-------------------------------------	------------------------------------	--------------------------------	--	---	---

御粥焼出シ横調元帳(真木代金之内御下金差引) 喜左衛門 (天保八年) 三月三〇日 横長半 一冊 あ二八三	融通穀渡帳 菊屋伝兵衛 天保八年 横長美 一冊 あ二七六	御救粥被下候ニ付取計方申上帳 八田嘉右衛門 天保八年七月(天保七年一月晦日〜同八年六月一五日) 横長半 一冊 あ二八四	御救粥被下候ニ付取計方申上帳 八田嘉右衛門 天保八年八月(天保八年六月二十日〜七月晦日) 横長半 一冊 あ二八五	御救粥取計ニ付御尋答申立等留 八田嘉右衛門 天保八年九月 横長半 一冊 あ二八六	用穀一件ニ付雜用調帳・八町米穀一件入料覚 天保八年九月/天保八年七月 横長半 三冊 綴 あ二七七	飯山買入粳後口式千五百俵惣勘定差引帳 天保八年一〇月 横長半 一冊 あ二八三	御救粥横焼払日記帳 天保七年十一月二九日〜同八年七月 横長半 一冊 あ二八一	御町方助成ニ付無尽加入并預り金年々請払辻調帳 天保八年一二月 横長半 一冊 あ二八三	災後課業申諭大意写 (天保八年九) 横長半 一冊 あ二七三	火災・水害			伊勢町類焼大屋人別書上帳 名主助右衛門 町年寄衆中・検断宛 寛政一二年一二月 横長美大 一冊 あ二八八	(類焼大屋人別御書上帳)〈表紙欠〉 名主甚左衛門・長町人仮役惣右衛門 申(寛政一二)年一二月 横長美 一冊 あ二六七	中町焼失大屋御書上帳 名主新之丞 町年寄衆中・検断宛 寛政一二年二月 横長美大 一冊 あ二六六
--	------------------------------	---	--	--	--	--	--	--	-------------------------------	-------	--	--	---	--	---

荒神町類焼ニ付大屋御書上帳 名主権九郎・長町人喜左衛 町年寄衆中・検断伴三郎右衛門宛 寛政一二年二月 横長美大 一冊 あ二五

御町方御案内之者覚書(当四月満水に付、町内水入并損家・流橋・用水堰破損場所御尋ねの節、返答のための覚書) 八月 横長半 一冊 あ 六

講

町内無尽講

町内無尽関係帳簿

①町内無尽余金勘定帳 名主太左衛門 (文化一四年〜文政七年) 横長美 一冊 綴 二通 あ 四 六

②伊勢町役給無尽一条ニ付最初名主元控書写 八田嘉右衛門取調写 天保一二年一〇月二日調 横長美 一冊

③(町内無尽勘定帳写) (文化一四〜文政七年) 横長半 一冊 綴 二通 あ 四 六

④町内無尽取調 (文化一四〜文政二年) 横長半 一冊

⑤(町内無尽懸金覚) 文政四、五年 二通

(伊勢町役給無尽一条ニ付諸書類取調写)(名主元帳と齟齬に付) 八田嘉右衛門調 文化一四年 横長美 一冊 あ 四 五

町内無尽取入金取計方帳 八田知義 文政二年 五月七日 横長美大 一冊 あ二六三

御町方助成無尽割合帳(町方米穀融通無尽) 伊勢町佐兵衛 天保八年二月 横長半 一冊 あ二五

恵比須講

御恵比須講覚帳(御買上物、御備物、御酒頂戴人別) 慶応三年一〇月二日 横長半 一冊 あ二五

松代藩御用

年貢諸役取立請負・御用米金調達

(拝借金返納并年貢・郡役・国役金上納取延取調覚) 卯・辰 横長美 一冊 あ 六 〇

未納御用米村々滞高書貫覚帳 八田孫左衛門 享保一三年一二月 横長美 一冊 あ 七 〇

上村何右衛門様御支配西之納御用米請取御通帳 八田嘉助 (宝暦三年) 横長半 一冊 あ二五

近藤嘉左衛門様御支配西之納御用米請取御通帳 八田嘉助 (宝暦三年) 横長半 一冊 あ二五

井上伝右衛門様御支配西之納御用米請取御通帳 八田嘉助 (宝暦三年) 横長半 一冊 あ二五

師田庄五郎様御支配西之納御用米請取御通帳 八田嘉助 (宝暦三年) 横長半 一冊 あ二五

小林茂助様御支配西之納御用米請取御通帳 八田嘉助 (宝暦三年) 横長半 一冊 あ二五

申納御用穀蔵付帳 八田孫左衛門

横美大 半折 一冊 あ一五二

（初請取覚帳）〈前後欠〉

横長美大 一冊 あ三三三

御買米運賃受払帳

横美半折 一冊 あ三六八

○

（御用金元利見積表）

享保一〇年〜延享元年

横長美大 一冊 あ六八

御預金才覚金控之元帳

八田知義 文政二年

横美大 半折 一冊 あ一五五

才覚金并預り金元帳

横長美 一冊 あ五二

申十月より十二月迄江府御用金大豫取調帳（江戸藩邸諸入用見積もり）

留役 万延元年九月九日

横長半 一冊 あ四二五

御用達金差引元帳（袋入）

八田以親

横長半 一袋 あ五二六

御勝手御用役

月番表

（御勝手用勤月番表）

文化三年〜文政一〇年

美 一冊 あ二〇二

用留・日記

（御勝手御用当座帳）〈前後欠〉 文化一二年六月〜文政二年閏四月

横美大列 一冊 あ三七四

（御勝手御用当座帳）〈前欠〉 八田嘉右衛門 文化一五年正月〜文政三年一二月

横美列 一冊 あ三七三

（御勝手御用当座帳） 文政四年正月〜同六年二月

横美列 一冊 あ三四五

御勝手御用当座帳〈前後欠〉 文政六年正月〜同七年二月

横美列 一冊 あ三七九

御勝手御用当座扣帳（八田嘉右衛門）

文政七年二月〜同八年一二月 横美大列 一冊 あ三七三

御勝手御用当座控帳 八田嘉右衛門 文政一〇年正月〜天保三年一二月

横美列 一冊 あ三八五

（御勝手御用当座帳）〈断簡〉

御用日記（御用留） 八田知則（嘉助） 天保六年九月〜同九年一二月

横美大列 一冊 あ五〇

御用日記（御用留） 八田知則 天保一〇年正月〜同十二年一〇月

美 一冊 あ五三

御用日記（御用留） 天保一四年正月〜一二月

美 一冊 あ五四

御用日記（御用留） 天保一五年正月〜弘化二年五月

美 一冊 あ五三

御用日記 八田知衛 安政四年正月元旦〜文久四年正月一日

横美大列 一冊 あ五九

御用日記 八田知道（慎蔵） 文久四年正月元旦〜元治元年一二月二九日

横美大列 一冊 あ五九

日記 八田子静 慶応二年正月元旦〜一二月二四日

美 一冊 あ五九

日記 八田子静 慶応三年正月元旦〜一二月晦日

美 一冊 あ五〇

日記 八田子静 慶応四年正月五日〜一二月二三日

美 一冊 あ五二

日記 八田子静 明治二年正月五日〜一二月二三日

美 一冊 あ五三

日誌 八田子静 明治三年正月元旦〜一二月一六日

美 一冊 あ五四

日記留（御用留） 明治四年正月

半 一冊 あ五六

○

被仰出之御趣意申上右ニ付品々取斗之次第書
留帳(松代藩御勝手向御取直手段ニ付) 文政七年九
月(文政一三年一月)

美

一冊 あ二六七

八田嘉右衛門口上書下案(御勝手向御取直手段御
尋ニ付申上) 六月四日

横長半

一冊 あ二六四

融 通 金

融通金請払書上帳 天保一〇年一〇月

横長半

一冊 あ二六三

産物御用掛

用 留

産物御用掛控帳 八田嘉右衛門 文化一三年五月
一三日(文政七年一月)

横美列

一冊 あ二四八

産物取立無尽

御国産取立金無尽帳 産物掛八田嘉右衛門 文
政元年二月

美大

一冊 あ二五三

産物無尽御操廻差引覚帳 文政元年一二八

横長半

一冊 あ二五九

産物取立無尽寄金年々預元帳 文政二年一月

美大

一冊 あ一四三

産物無尽関係文書

六通 あ二〇一

①産物御手段金預り証文 八田嘉右衛門 産
物方掛野村重四郎・堀内与一右衛門宛 文政元
年二月

産

一通

②御町方産物掛金借用証文 中嶋三右衛門
八田嘉右衛門宛 文政元年二月

八田嘉右衛門宛

一通

③御勘定吟味方産物御用金預り証文 八田
嘉右衛門 産物御用懸り野村重四郎・堀内与一
右衛門宛 文政二年一月

一通

④産物取立無尽掛金受取証文 八田嘉右衛
門 金井左源太宛 文政二年四月

一通

⑤御勘定吟味方産物御用金預り証文 八田
嘉右衛門 産物御用懸り野村重四郎・堀内与一
右衛門宛 文政三年一月

一通

⑥御勘定吟味方産物御用金預り証文 八田
嘉右衛門 産物御用掛野村重四郎・堀内与一右
衛門 文政四年二月

一通

已暮産物無尽会合之節手元差引覚帳 八田嘉
右衛門 文政四年

横美半折

一冊 あ一五四

産物無尽卯暮預金辰暮利足請取元帳・已暮預
金午暮利足請取元帳 文政三年、同五年

横長美

二冊 あ一六六

国産無尽掛金差引元帳 御勘定吟味方産物掛
寅(文政元)ノ午(同五年)

横長半

一冊 あ一五六

産物無尽掛金之内取立元帳 申(文政七年)ノ酉
(同八年)

横長半

一冊 あ一五七

産物無尽割合覚帳(御町方産物掛分) 酉(文政八
年)

横美半折

一冊 あ一五八

産物無尽掛戻受取方割合覚帳(書狀四通、請取証
文二通共袋入) 文政一〇、一一年、天保三、五年

横長美

四冊 あ一六〇

(産物無尽差引覚帳) 辰年

横長半

一冊 あ一三五

(産物無尽金高覧)

横長半

一冊 あ一四三

無尽帳入袋

横長半

一袋 あ一五三

国産方入用

文化十四丑年差引入用帳面(辰三郎国産方諸入用差引) 横美半 一冊 あ 兎一

手 控

信濃国 小縣郡 更科郡 安曇郡 埴科郡 埴内郡 横長美 一冊 あ 七二

信濃国 高井郡 佐久郡 諏訪郡 伊那郡 筑摩郡 横長美 一冊 あ 七〇

(松代藩役人名前書)

御家中御改易人別帳 小横半 一冊 あ 三二

諸侯有司班列(筆写) 天明 小横切 一冊 あ 五元

拾万石役制(筆写) 半 一冊 あ 五三

裁許目録(公事方御定書の写) 池邸氏写(松濤館蔵) 文化二年写 横長半 一冊 あ 五三

御軍役御定・操練之次第(筆写) 文政九年正月一日 半 一冊 あ 五〇

小検見品々留帳(小検見掟書・小検見触案文等) 横美半折 一冊 あ 二五〇

(品々写控帳)(御領分寺院并朱印高、御領分高礼場、松代寺院并御預所、御支配所御朱印文言之写、殿様御頂戴御黒印御文言之写) 横長美 一冊 あ 一六二

(手控)(駄運賃、信州諸大名、代官、柏崎用達等) 小横美 半折 一冊 あ 一四四

会所・商社

糸 会 所

藩方拝借金

御礼金上納之分中借帳 糸会所 文政一〇年一二月 横長美 一冊 あ 三六

会所差支之節別段御下金元帳 文政一三年(天保二年) 横長半 一冊 あ 四八四

(拝借金覚) 横長半 一冊 あ 四八五

諸方預り金・借入金

糸会所之方江時借通帳 文政一一年六月(天保二年七月) 横美大半折 一冊 あ 三五三

糸会所預ケ金請取差引帳(袋添) 文政一二年、同一三年 横長半 一綴 あ 二五〇

糸会所江預ケ金元帳 文政一三年正月(一〇月) 横美半折 一冊 あ 二五五

(預り金覚) 横長美 一冊 あ 二四八

会所貸下金

※拝借金通帳（八田が拝借） 八田鉄之助（糸会所） 宛 文政一三年二月一二月	横美半折	一冊	あ三五四
※拝借金通帳 八田嘉助（糸会所）宛 天保三年二月	横美半折	一冊	あ三五七
※糸会所拝借金控帳 八田喜助 文政一三年一二月 天保二年七月	横美半折	二冊	あ三五六
※糸方借用之分調覚（八田家拝借）	横長美	一綴 一通	あ三四七
○			
糸会所御貸下金御勘定帳并総勘定帳 八田喜兵衛・八田辰三郎 文政一〇年一二月、同一一年正月、二月、三月、六月、七月、八月、一二月	横長半	八綴	あ三九四
糸方御貸下金御出方調元帳 八田喜兵衛・八田辰三郎 文政一一年一二月	横長美	一冊	あ三六三
糸会所御貸下金御勘定帳并総勘定帳 八田喜兵衛・八田辰三郎 文政一一年一二月、同一二年正月、同一二年三月、同一二年六月、同一二年七月、同一二年一〇月、同一二年一二月、同一二年一二月	横長半	九綴	あ三六三
糸会所御貸下金御勘定帳并総勘定帳 八田喜兵衛・八田辰三郎 八田喜右衛門宛 天保二年正月、六月、七月、九月、一〇月、一二月、一二月	横長半	一綴	あ三六五
糸方御貸下金有所調帳 八田嘉右衛門他三名 天保四年二月	横長半	一冊	あ三六三
御貸下金并引当物取計元帳（糸・繭・斜子・操綿等を引当に貸金・引当物の實目と貸下金額および返済額の改） 八田喜兵衛・八田辰三郎・立合佐竹周蔵 天保四年二月改（文政一一年一二月、天保三年）	横長美	一冊	あ三六四

糸方貸下金取計取調帳下帳 会所懸 一二月 横長半

繭中買人仲間・糸元師仲間

糸商売人別請印帳（被仰渡候趣請書） 繭差出人別帳 文政一〇年七月	横長美	一冊	あ一九〇六
町町外糸元師名面帳 糸会所 文政一三年五月改	横長半	一冊	あ二六三
糸元師繭仲買冥加銀上納人別帳 糸会所世話方年番吉左衛門・唯七（糸会所吟味方五名奥書印形） 天保元年一二月	横長美大	一冊	あ二四七九
糸元師繭中買冥加銀上納人別帳 糸会所世話方年番武左衛門・伝兵衛 天保二年一二月	横長美大	一冊	あ二四七六
（繭中買・糸師共不参人別帳）	横長半	一冊	あ四八八
糸元師鑑札引上帳 産物方 已（天保四年）二月	横長半	一冊	あ二七六
○			
糸中買鑑札渡人別帳 天保二年一四年	横長半	一冊	あ二四七三
糸 売 買			
北沢源吾兵衛殿江差出候申上書下案（糸之儀末手弘之捌方融通相立不申二付愚意内々申上） 右衛門 文政一〇年五月	横長美大	一冊	あ二四八一
市場糸金高御書上帳 伊勢町・中町・荒神町各年番・発端人 会所宛 文政一三年六月一十一月	横長美	一冊	あ二六五
（糸相場書上書）（上州・上田・松本・塩尻・松代等各地の糸相場書上） 世話人 糸会所宛	三九通 一綴	あ四二六	

買物帳

諸買物帳(薪・焚炭・紙等を買入) 糸会所 文政
一三年 横長半 一冊 あ 三四六

取替(立替)

御下屋敷江御取替物覚帳 糸会所 天保二、三
年 横長半 飯一冊 あ 六六九

寅年御取替物覚帳 糸方 横長美 一冊 あ 四七七

金銀請払

金銀請払日記 糸会所惣元方 文政九年十一月
〜同一年閏一〇月 横長半折 一冊 あ 三二一

金銀請払日記 糸会所 文政一〇年閏六月〜同
一年正月 横長半 一冊 あ 三三三

金銀請払帳 糸会所 天保三年二月〜二月 横長美 一冊 あ 三三〇

用留

糸会所日記 文政九年十一月〜同一年二月(文
政二年欠) 横長半 四冊 あ 三五六

塩方留記 糸会所 文政一三年一〇月 美 一冊 あ 三四五

(諸控帳) (諸払判取、中借覚等) 文政一三年〜天
保二年 横美列 一冊 あ 三三六

紬一条書留(糸方会所・産物会所宛願書・申上書書
留) 天保二年九月〜同四年四月 美 一冊 あ 三四七

御内用荷

御郡方御内用荷差出通帳 八田喜兵衛 御荷物
会所宛 天保三年七月〜一二月 横半半折 一冊 あ 三三七

産物会所

触順

御領内八通触出元帳・村触継順帳 産物方会所
安政五年一二月 横長半 二冊 あ 一六三〇

町々外順次(触廻達の八町順および町外順) 産物
会所 安政六年正月 横長半 一冊 あ 七〇六

御郡中八通触通訳控(各通ことの触廻達の村順)
産物方 天保九年四月 横長半 一冊 あ 七〇五

藩に拝借金・上納金(↓「金銭請払諸取調勘定」)

御礼金付御中借元帳 天保四年 横長美 一冊 あ 三六九

才覚金利足請取元帳下帳 八田辰三郎・八田喜
兵衛(八田嘉右衛門奥書) 小林三左衛門他四名 天
保四年一二月 横長美 一冊 あ 三七四

午年正月御中借証文引替調元帳(会所懸八田辰
三郎・八田喜兵衛産物方御貸下金御中借請取証文)
天保五年正月〜二月 横長半 一冊 あ 三五三

午年正月御中借証文引替調元帳 (天保五年) 横長半 一冊 あ 一五六

(糸代金并諸掛り之内御下ケ金差引覚)(断
簡) 午(天保五年) 横長半 一丁 あ 四三〇

御中借金并才覚金利分渡方留 午年(天保五)一
二月 横長半 飯一冊 あ 四三九

御貸下金御中借并有所月々突合一紙 天保五
年八月〜同六年一二月 横長半 一冊 あ 三三七

未年分産物代金御中借并上納方申上控帳 産
物会所掛 申(天保七年)四月 横長美 一冊 あ 三三八

産物方御用紙御中借通帳 八田嘉助・八田辰三郎・八田喜兵衛・提右兵衛・三輪徳左衛門宛 申（天保七年）八月（酉）（同八年）正月	横半半折	一冊 あ三五七
御貸下金御中借金返上方突合一紙（元利返済差引勘定） 天保九年十二月	横長半	一冊 あ三五六
産物会所御貸下金御中借返上方突合一紙 天保一〇年十二月	横長半	一冊 あ三五九
卯九月辰五月迄紬方江御下金之分調帳	横長美	一冊 あ三四四
（紬代金中借高取調覧） 当番喜兵衛 辰三郎宛 一三月二八日	横長半	一通 あ四〇九
（御中借金上納覧）	横長半	一通 あ四〇六
（御中借金礼金・利足覧）〈断簡〉	横長半	一通 あ四〇〇
紬御中借帳并請払帳入袋（但、辰年ヨリ午年迄五帳） 産物方	横長半	一袋 あ四三四
産物会所書類入紙袋	横長半	一袋 あ四三七
会所江献上金	横長半	一冊 あ三六四
丑寅卯三ヶ年分産物会所御用途之内江内献上金請取元帳 産物会所 慶応元年十一月（同三年五月）	横長半	一冊 あ三六四
会所貸下金（↓金銭請払諸取調勘定）	横長半	一冊 あ三六二
天保四巳年紬方別御買上代金渡元帳・天保四巳年絹紬代金拝借人別帳・午御貸下金覧・紬方御貸下取計帳	横長半	一冊 あ三六二
紬代金御中借通帳（紬買付資金中借） 産物会所宛 天保五年三月（二月）	横長大 半折	一綴 あ三六五
松代増田店	横長大 半折	一綴 あ三六五
御貸下金引当物元帳 天保元年（同六年）	横長美	一冊 あ三六五
御貸下金并引当物元帳 産物会所 天保元年一月（同六年三月）	横長美	一綴 あ三六六
御貸下金并引当物元帳 産物会所 天保四年五月（同五年二月）	横長美	一冊 あ三六七
御貸下金引当物元帳 産物方会所 天保四年（同一〇年）	横長美	一冊 あ三六六
御貸下金引当物元帳 天保五年（同一二年）	横長美	一冊 あ三六七
下横田村治郎兵衛差引帳（拝借金から上納分を差引勘定） 天保五（同七年）	横長半	一冊 あ三九〇
（下横田村次郎兵衛分拝借金上納差引覧） 天保五年（同七年）	横長半	一冊 あ三九〇
（下横田村次郎兵衛分拝借金上納差引覧） 天保五年（同七年）	横長半	一冊 あ三九〇
御貸金御礼金取立元帳 天保六年二月	横長半	一冊 あ四一五
御貸下金御礼金取集帳 天保六年二月	横長半	一冊 あ四一四
御貸下金御礼金取集帳 天保九年二月	横長半	一冊 あ四一五
慶応元年丑年中産物助成金御貸出元帳 産物助成金掛小野唯之進・酒井市治・水野清右衛門・関田莊助・高橋清蔵・野中直之助 慶応元年十二月	横長半	一冊 あ三九五
慶応二年寅年中産物助成金御貸出御元利取立帳 産物助成金掛小野唯之進・酒井市治・関田莊助・高橋清蔵・野中直之助 慶応二年十二月取調	横長半	一冊 あ四〇六
産物方助成金御貸出帳 慶応三年	横長半	一冊 あ三七六
御借入金を以御貸出元帳 産物助成金掛 慶応三年	横長半	一冊 あ三七五

御拝借金証文 伊勢町直治 産物方役所宛 慶応四年正月	美	一冊 あ三二四
産物方助成金之内御貸出御元金調帳 産物会所 所富岡良右衛門・小野唯之進・八田慎蔵・八田五十司・幡揚潤蔵 明治二年二月	横長半	一冊 あ三七六
明治二巳年中産物助成金御元利取立帳 産物会所 明治二年二月	横長半	一冊 あ三八二
産物方助成金之内御貸出御元金御礼金滞調帳 産物方会所 明治三年三月	横長半	一冊 あ三七九
産物方助成金之内御貸出御元金御礼金取立帳 産物会所 明治三年十二月	横長半	一冊 あ三八〇
産物方助成金御貸出元帳 産物会所 明治四年	横長美	一冊 あ三八三
産物方助成金之内御貸出金調帳 産物会所 明治四年	横長半	一冊 あ三八二
(御貸下金返納・役金上納受取并新規貸下付込帳) 七月	横長半	一冊 あ四六六
午十二月御礼金取立覚(拝借金の礼金上納・残高の差引勘定)	横長半	一冊 あ四〇〇
御礼金取集上納覚 当番 辰三月、巳二月	横長半	一綴 あ四四五
(御中借御貸出金之内上納受取分差引勘定帳) (前欠)	横長半	一冊 あ五二
(御貸下金上納受取覚) (断簡)	横長半	一丁 あ五六
(御貸渡金元利返済請取覚) (断簡)	横長半	一枚 あ五七
産物品改判元帳(絹細類) 産物方会所 弘化五年四月~十二月	横長半	一冊 あ一九六
産物品改判元帳(絹細類) 産物方会所 嘉永二年四月~十二月	横長半	一冊 あ一九〇
産物改判元帳(絹細類) 産物方会所 嘉永三年四月~十二月	横長半	一冊 あ一九一
産物絹細改判元帳 産物会所 嘉永四年四月~十二月	横長半	一冊 あ一九三
産物品改判元帳(絹細類) 産物方会所 嘉永五年四月~十二月	横長半	一冊 あ一九三
龍紋斜子白紬絹絹細御改帳 産物方改所世話役 慶応元年八月~同一年一月	横長半	一冊 あ一九五
地引 蚕種改帳 内川産物改所世話役 慶応元年八月~一〇月	横長半	一冊 あ二二三
諸産物差出改帳(芳礼、篠巻、操綿の数量・目方改) 三輪産物方取締役 慶応元年八月~十二月	横長半	一冊 あ二九五
諸産物差出改帳 若宮産物方取締役 慶応元年一月	横長半	一冊 あ三六五
諸産物差出改帳 吉田産物方取締役 慶応元年八月~同一年正月	横長半	一冊 あ二九六
荏種御改帳(中味白紙) 産物改役所 明治二年正月	横長半	一冊 あ二九三
操綿 篠巻御改帳 原産物改所 明治二年一〇月二五日 芳礼	横長半	一冊 あ三〇七
産物諸品改元帳(蚕種、巢柄、生糸) 力石会所 明治二年七月~一〇月	横長半	一冊 あ二二四
蚕種紙御改帳 原村産物方改所 明治二年八月~九月	横長半	一冊 あ三五六

(蚕種紙改竄) 〈断簡〉			
生糸御改帳	明治二年九月	横長半	一通 あ四六九
生糸御改帳	明治二年十一月	横長半	一冊 あ一八九四
生糸太利糸 改帳	明治二年八月〜十一月	横長半	一冊 あ一八九三
真綿巢穀	改帳	横長半	一冊 あ二〇五九
産物桑皮目方人別控 (更級郡大豆嶋村で人別ごとに桑皮實目を改めたもの)	世話方幸藏・小三郎・寛左衛門 明治三年五月	横長半折	一冊 あ三三
御産物御役所被仰付桑皮控帳	日名村名主・組合・長百姓・行司 明治三年五月	横長半折	一冊 あ三七
(諸品改帳) (生糸・木綿・篠巻・芳札等)		横長半	一冊 あ四七三
(繰綿駄数・本数改算加銀高覧)		横長半	一冊 あ四七二
(篠巻抱数改算加銀高覧) 〈断簡〉	一一、一二		一丁 あ四九
(力石村一郎分品物實目改算加金高覧) 〈断簡〉			一丁 あ四七
(繰綿・芳札實目改算加金高覧) 〈断簡〉	二月		一丁 あ四六
(縞布・白布・織色反数改算加銀高覧) 〈断簡〉			一丁 あ四〇
出 役			
産物方御出役御賄覧帳	新町宿産物会所 慶応元年九月	横長半	一冊 あ一九六五
産物方御出役御賄覧帳	内川産物方改所 慶応元年八月〜九月	横長半	一冊 あ三六三
産物方御出役御賄覧帳	後町産物会所 慶応元年九月〜一〇月	横長半	一冊 あ三六三
産物方御出役御賄覧帳			
産物方御出役御賄覧帳	産物会所 慶応元年一〇月〜同三年七月	横長半	一冊 あ三九一
当卯盆以来御出役様御書上帳	内川村産物改所中村伊平次 産物方役所宛 慶応二年二月(慶応三年七月〜十二月)	横長半	一冊 あ三八八
御産物方御掛り様御賄調書上帳	慶応三年六月〜一〇月	横長半	一冊 あ三九三
出役賄付立帳	内川産物改所 慶応三年六月〜一二月	横長半	一冊 あ三八六
御賄柳帳	矢代村松崎谷代治 慶応三年八月〜一二月	横長半	一冊 あ三八七
出役中賄控帳	上山田村産物改所 卯(慶応三年)八月〜九月	横長半	一冊 あ二八五
出役中賄控帳	網懸産物会所 慶応三年六月八日〜十二月二十四日	横長半	一冊 あ三七
出役中賄控帳	力石村産物改所 卯(慶応三年)七月〜一二月	横長半	一冊 あ二八四
出張中賄控帳	鼠宿産物会所 慶応三年六月〜八月	横長半	一冊 あ二八三
(出役賄取調書上帳) (慶応三年) 七月二日	町同心玉井吉十郎 卯	横長半	一冊 あ二九六
矢代村御賄調帳・内川産物改所御出役様方御賄付立調御書上帳	近藤権右衛門宛 慶応三年八月(慶応三年六月〜七月)	横長半	二冊 あ二八九
出役御賄御書上帳	桑原村産物会所 慶応三年一〇月(慶応三年六月〜八月)	横長美	一冊 あ二九四
出役賄代相渡帳	産物会所 慶応三年	横長半	一冊 あ二九七

(賄代下与願書) 南長池村取締役宮沢弥惣八
(産物会所宛 慶応四年二月) 横長半 仮一冊 あ三〇五

出役賄代渡元帳 (産物会所) 明治元年 横長半 一冊 あ二九六

村々改所出役賄代調帳 明治元年二月 横長半 一冊 あ二九三

出役賄代渡帳 (産物会所) 明治二年二月 横長半 一冊 あ二九

産物方在出日記 八田子静 明治三年二月一日
(二二日) 横半半折 一冊 あ二四四

(出張日数書上帳) 横長半 仮一冊 あ二五九

(出役賄取調書上書) 二一通 一綴 あ三〇六

鑑札渡

諸願書文 (産物方会所宛鑑札下付願いの雛形) 産
物方会所 弘化三年七月 半 一冊 あ二五

〇鑑札下与希望者書上

繭仲間人別書上帳 行司新町長兵衛 役所宛 天
保七年四月 横長美 一冊 あ二三

唐糸師繭仲間人別書上帳 年番行司西之町甚兵
衛 天保七年四月 横長美 一冊 あ二三

繭中買種繭買蚕種師杏千仁商売人別有之候村
名取調帳 天保一〇年三月 横長半 一冊 あ三九

糸繭買蚕種師書拔帳 弘化二年二月 横長半 一冊 あ二七

絹紬中買人別帳 万延元年一〇月 横長半 一冊 あ二六

松代藩水内郡河辺組繭御鑑札連名帳 明治三
年 横長美大 一冊 あ三九

杏千仁売買人別書上帳 杏千仁商売行司東町磯
五郎 (庄屋三名奥書印形) 嘉永五年八月 横長美大 一冊 あ三

杏千仁売買人別書上帳 杏千仁売買行司大門町
多七 (庄屋・庄屋代奥書印形) 役所宛 安政六年五
月 横長美大 一冊 あ三五

杏千仁売買人別書上帳 杏仁千売買行司東町磯
五郎 (庄屋・庄屋代奥書印形) 役所宛 万延元年四
月 横長美大 一冊 あ三四

御鑑札人別書上帳 木綿師惣代半兵衛・木綿師肝
煎二名・木綿師取締二名 (庄屋二名奥書印形) 役所
宛 安政二年八月 横長美大 一冊 あ二三

御鑑札人別書上帳 木綿師惣代利助以下四名 役
所宛 安政六年八月 横長美大 一冊 あ三六

御鑑札人別書上帳 木綿師惣代利助以下四名(西
町庄屋役・大門町庄屋代奥書印形) 役所宛 万延
元年八月 横長美 一冊 あ三九

(三輪村御鑑札人別書上帳) 行司 横長美 仮一冊 あ四九

〇鑑札人別増減書上

御鑑札人別増減書上帳 (鑑札返納人・新願人書上)
木綿師惣代半兵衛・同肝煎二名・同取締二名 (庄屋
二名奥書印形) 安政二年八月 横長美大 一冊 あ三三

御鑑札人別増減書上帳 木綿師惣代利助以下四
名 (庄屋代二名奥書印形) 役所宛 安政六年八月 横長美大 一冊 あ三七

(御鑑札人別増減書上帳写) (断簡) 木綿師惣
代利助以下四名 (庄屋代二名奥書印形) 役所宛 安
政六年八月 横長美大 一丁 あ四六

御鑑札人別増減書上帳 木綿師惣代利助以下四
名(西町庄屋役・大門町庄屋代奥書印形) 役所宛
万延元年八月 横長美 一冊 あ三六

○世話役・行司

願書写(世話人・行司の任命願并冥加金上納に関する願) 午(天保五年)二月一三日

横長半 一冊 あ 五三

御領産商方之者 行司 名面帳 蚕種師世話役

横長美 一冊 あ 三八

産物方会所宛 天保七年六月

御郡中蚕種師世話役村沢帳(名面書上) 産物会所宛 天保七年

横長美 一冊 あ 三三五

川北木綿行司名面帳 千田村他八カ村行司惣代 産物会所宛 天保二年八月

横長美 一冊 あ 三三四

木綿師行司名面帳・木綿方掛り之者名面留帳 産物方会所 天保二四年三月

横長美 二冊 あ 二七七
一綴

木綿師行司名面帳 産物方会所 嘉永四年

横長半 一冊 あ 二七六

杏干仁大行司御請印村分帳 万延元年四月

横長半 一冊 あ 三六九

○鑑札一件出張入用

(御鑑札一件ニ付出張入用覚)

横長半 一冊 あ 四

○鑑札渡請印帳

絹紬中買鑑札渡元帳 産物方会所 天保七年二二月、同八年四月、同九年四月、同一〇年四、九月

横長美 五冊 あ 二二九
一綴

絹紬中買鑑札渡請印帳 産物方会所 天保一二年四月

横長美 一冊 あ 三三

絹紬中買鑑札渡請印帳 産物方会所 嘉永二年五月

横長美 一冊 あ 三三〇

絹紬中買鑑札渡印判帳 慶応二年一〇月

横長美大 一冊 あ 三三五

絹紬中買鑑札相渡印判帳 小野唯之進・宮沢源之丞・幡場潤蔵 慶応二年 横長美 一冊 あ 二二六

絹紬中買鑑札相渡印判帳 小野唯之進他二名 慶応三年八月 横長美 一冊 あ 二二七

絹紬中買鑑札相渡印判帳 明治二年正月 横長美 一冊 あ 二二八

絹紬中買鑑札相渡印判帳 明治三年正月 横長美 一冊 あ 二二九

絹紬中買鑑札相渡印判帳 明治四年正月 横長美 一冊 あ 二三〇

○

御領分蚕種師鑑札渡請印帳 産物方会所 御他領蚕種商売人別鑑札渡請印帳 天保八年四月 横長美 一冊 あ 二三六

御領分蚕種師鑑札渡請印帳 産物方会所 御他領蚕種商売人別鑑札渡請印帳 九年四月 横長美 一冊 あ 二三七

御領分蚕種商売人別鑑札渡請印帳 産物方会所 御他領蚕種商売人別鑑札渡請印帳 天保一〇年四月 横長美 一冊 あ 二三六

御領分蚕種商売人別鑑札渡請印帳 産物方会所 御他領蚕種商売人別鑑札渡請印帳 天保一一年四月 横長美 一冊 あ 二三九

御領分蚕種商売人別鑑札渡請印帳 産物方会所 御他領蚕種商売人別鑑札渡請印帳 天保一二年五月 横長美 一冊 あ 三三〇

御領分蚕種商売人別鑑札渡請印帳 産物方会所 御他領分蚕種商売人別鑑札渡請印帳 天保一三年四月 横長美 一冊 あ 三三一

御領分 蚕種商壳鑑札渡請印帳 保一四年四月	産物方会所 天	横長美	一冊 あ二三	御領分 蚕種商壳鑑札渡請印帳（虫損甚だし） 御他領 政六年	安	横長美	一冊 あ三三
御領分 蚕種商壳鑑札渡請印帳 弘化三年四月、同四年五月、嘉永元年四月、同二年四月	産物方会所 弘	横長美	四冊 綴 あ二三	○			
御領分 蚕種商壳鑑札渡請印帳 永三年四月	産物方会所 嘉	横長美	一冊 あ三四	唐糸師鑑札渡請印帳 天保一四年一三月、同一五年二月、弘化二年三月、同二年一二月、同三年二三月	横長半	五冊 綴 あ二八	
御領分 蚕種商壳鑑札渡請印帳 永四年四月	産物方会所 嘉	横長美	一冊 あ三四	蘭中買 御他領鑑札渡請印帳 産物方会所 天保七年五月、同八年四月、同九年四月、同一〇年四月	横長美	五冊 綴 あ二四	
御領分 蚕種商壳鑑札渡請印帳 御他領 物方会所 嘉永五年四月	産 横長美	一冊 あ三四	糸蘭買 御他領鑑札渡請印帳 産物方会所 天保一一年四月、同一二年四月、同一三年四月、同一四年四月	横長美	四冊 綴 あ二五		
御領分 蚕種商壳鑑札渡請印帳 永六年四月	産物方会所 嘉	横長美	一冊 あ三四	糸蘭買 御他領共鑑札渡印判帳 産物方会所 弘化二年四月	横長美	一冊 あ二六	
御領分 蚕種商壳鑑札渡受印帳 永七年四月	産物方会所 嘉	横長美	一冊 あ三四	糸蘭買 御他領共鑑札渡印判帳 産物方会所 弘化三年四月	横長美	一冊 あ二七	
御領分 蚕種商壳鑑札渡請印帳 政二年四月	産物方会所 安	横長美	一冊 あ三九	糸蘭買 御他領共鑑札渡請帳帳 産物方会所 弘化四年四月	横長美	一冊 あ二八	
御領分 蚕種商壳鑑札渡請印帳 政四年四月	産物方会所 安	横長美	一冊 あ三九	糸蘭買 御他領共鑑札渡請印帳 産物方会所 嘉永元年四月	横長美	一冊 あ二九	
御領分 蚕種商壳鑑札渡請印帳 政四年五月	産物方会所 安	横長美	一冊 あ三九	糸蘭買 御他領共鑑札渡請印帳 産物方会所 嘉永二年四月	横長美	一冊 あ三〇	

御他領 繭中買・布中買 種繭買・木綿師 蚕種師・木綿中買 絹紬中買・木綿小買 応元年	鑑札相渡印判帳 慶	横長美	一冊 あ三七五
糸師・繭中買 種繭買・種繭買 夏蚕種師・蚕種師	鑑札渡人別元帳 慶応元年七月	横長半	二冊 あ一八三 一綴
糸繭買・繭中買 町外種繭買・蚕種師 近藤権右衛門・太田藤右衛門・大塚谷平 慶応二年	鑑札相渡印判帳 三番 水 野清右衛門・酒井市治・八田五十司・野中直助 慶応二年	横長美	一冊 あ三七六
里分老番 種繭買・繭中買 蚕種師 唯之進・宮沢源之丞・幡場潤蔵 慶応二年正月	鑑札相渡印判帳 小野	横長美	一冊 あ三七四
里分老番 種繭買・繭中買 蚕種師 二年正月	鑑札相渡印判帳 慶応	横長美	一冊 あ三七七
里分式番 種繭買・繭中買 絹紬中買 岡良右衛門・酒井市治・八田五十司・野中直助 二年正月	鑑札相渡印判帳 富	横長美	一冊 あ三七五
里分三番 種繭買・繭中買 絹紬中買 唐糸師 野清右衛門・近藤権右衛門・太田藤右衛門・大塚谷平 慶応二年正月	鑑札相渡印判帳 水 横長美	一冊 あ三七六	
里分四番 種繭買・繭中買 唐糸師 慎蔵・関田莊助・高橋清蔵・駒村佐十郎 慶応二年正月	鑑札相渡印判帳 八田	横長美	一冊 あ三七七

山中分老番 種繭買・繭中買 蚕種師 進・宮沢源之丞・幡場潤蔵 慶応二年正月	鑑札相渡印判帳 小野唯之	横長美	一冊 あ三七六
山中分式番 種繭買・繭中買 蚕種師 門・酒井市治・八田五十司・野中直助 慶応二年正月	鑑札相渡印判帳 富岡良右衛	横長美	一冊 あ三七五
山中分三番 種繭買・繭中買 蚕種師 衛門・近藤権右衛門・太田藤右衛門・大塚谷平 慶応二年正月	鑑札相渡印判帳 水野清右	横長美	婿冊 あ三七〇
山中分四番 種繭買・繭中買 蚕種師 田慎蔵・関田莊助・高橋清蔵・駒村佐十郎 慶応二年正月	鑑札相渡印判帳 八	横長美	一冊 あ三七六
御他領 種繭買・繭中買 蚕種師 之進・宮沢源之丞・帳場潤蔵 慶応二年正月	鑑札相渡印判帳 小野唯	横長美	一冊 あ三七三
町々外 種繭買・繭中買 蚕種師 水野清右衛門・近藤権右衛門・大塚谷平 慶応三年	鑑札相渡印判帳 三番	横長美	一冊 あ三七四
里分老番 種繭買・繭中買 蚕種師 唯之進・宮沢源之丞・幡場潤蔵 慶応三年正月	鑑札相渡印判帳 小野	横長美	一冊 あ三七四
里分式番 種繭買・繭中買 絹紬中買 唐糸師 岡良右衛門・酒井市治・八田五十司・野中直助 三年正月	鑑札相渡印判帳 富	横長美	一冊 あ三七〇
里分三番 種繭買・繭中買 唐糸師 清右衛門・近藤権右衛門・大塚谷平 慶応三年正月	鑑札相渡印判帳 水野	横長美	一冊 あ三七二

里分四番 唐糸師 糸繭買・繭中買 種繭買・蚕種師 鑑札相渡印判帳 八田 横長美 一冊 あ三七六	慎蔵・関田莊助・高橋清蔵・駒村佐十郎 慶応三年正月	山中分三番 糸繭買・繭中買 種繭買・蚕種師 鑑札相渡印判帳 小 横長美 一冊 あ三七三	野唯之進・宮沢源之丞・幡場潤蔵 慶応三年正月	山中分式番 糸繭買・繭中買 種繭買・蚕種師 鑑札相渡印判帳 富岡良右衛門・酒井市治・八田五十司・野中直助 慶応三年正月 横長美 一冊 あ三七三	山中分三番 糸繭買・繭中買 種繭買・蚕種師 鑑札相渡印判帳 水 横長美 一冊 あ三七六	野清右衛門・近藤権右衛門・大塚谷平 慶応三年正月	山中分 糸繭買・繭中買 種繭買・蚕種師 鑑札相渡印判帳 慶応三年正月 横長半 一冊 あ一八七五	御他領 糸繭買・繭中買 種繭買・蚕種師 鑑札相渡印判帳 慶応三年正月 横長美 一冊 あ三七五	町々外 糸繭買・繭中買 種繭買・蚕種師 鑑札相渡印判帳 明治二年正月 横長美 一冊 あ三七九	山里貳番 唐糸師 糸繭買・繭中買 種繭買・蚕種師 鑑札相渡印判帳 明治二年正月 横長美 一冊 あ三七六	山里三番 唐糸師 糸繭買・繭中買 種繭買・蚕種師 鑑札相渡印判帳 明治二年正月 横長美 一冊 あ三七五	山里四番 唐糸師 糸繭買・繭中買 種繭買・蚕種師 鑑札相渡印判帳 明治二年正月 横長美 一冊 あ三七七
御他領 糸繭買・繭中買 種繭買・蚕種師 鑑札相渡印判帳 明治二年正月 横長美 一冊 あ三七六	町々外 糸繭買・繭中買 種繭買・蚕種師 鑑札相渡印判帳 明治三年正月 横長美 一冊 あ三七四	山里貳番 糸繭買・繭中買 種繭買・蚕種師 鑑札相渡印判帳 明治三年正月 横長美 一冊 あ三七三	山里貳番 唐糸師 糸繭買・繭中買 種繭買・蚕種師 鑑札相渡印判帳 明治三年正月 横長美 一冊 あ三七六	山里三番 唐糸師 糸繭買・繭中買 種繭買・蚕種師 鑑札相渡印判帳 明治三年正月 横長美 一冊 あ三七六	山里四番 唐糸師 糸繭買・繭中買 種繭買・蚕種師 鑑札相渡印判帳 明治三年正月 横長美 一冊 あ三七六	他支配 糸繭買・繭中買 種繭買・蚕種師 鑑札相渡印判帳 明治三年正月 横長美 一冊 あ三七三	町々外 糸繭買・繭中買 種繭買・蚕種師 鑑札相渡印判帳 明治四年五月 横長美 一冊 あ三七六	山里貳番 唐糸師 糸繭買・繭中買 種繭買・蚕種師 鑑札相渡印判帳 明治四年五月 横長美 一冊 あ三七六	山里三番 唐糸師 糸繭買・繭中買 種繭買・蚕種師 鑑札相渡印判帳 明治四年五月 横長美 一冊 あ三七六	山里四番 唐糸師 糸繭買・繭中買 種繭買・蚕種師 鑑札相渡印判帳 明治四年五月 横長美 一冊 あ三七六	他支配 糸繭買・繭中買 種繭買・蚕種師 鑑札相渡印判帳 明治四年五月 横長美 一冊 あ三七七	

村々町々外木綿商売人別鑑札相渡印判帳 天保四年七月 横長美	一冊 あ二七九	村々町々外木綿商売人別鑑札渡請印帳 嘉永六年八月 横長美	一冊 あ二七三
村々町々外木綿商売人別鑑札渡請印帳 天保五年七月 横長美	一冊 あ二七〇	村々町々外木綿商売人別鑑札渡請印帳 嘉永七年閏七月 横長美	一冊 あ二七三
村々町々外木綿商売人別鑑札渡元帳 産物方会所 天保六年七月 横長美	一冊 あ二七三	村々町々外木綿商売人別鑑札渡請印帳 安政二年八月 横長美	一冊 あ二七四
他所木綿商売人別鑑札相渡元帳 産物方会所 天保六年七月 横長美	一冊 あ二七一	村々町々外木綿商売人別鑑札渡請印帳 安政三年八月、同四年八月 横長美	二冊 綴 あ二七五
村々町々外木綿商売人別鑑札渡元帳 産物方会所 天保七年七月 横長美	一冊 あ二七三	村々町々外木綿商売人別鑑札渡請印帳 安政五年八月 横長美	一冊 あ二七六
村々町々外木綿商売人別鑑札渡請印帳 産物方会所 天保一二年七月、同一二年七月 横長美	三冊 綴 あ二七四	○	
村々町々外木綿商売人別鑑札渡請印帳 産物方会所 天保一四年七月 横長美	一冊 あ二七五	木綿布中買鑑札渡請印帳 天保一二年七月 横長美	一冊 あ二七五
村々町々外木綿商売人別鑑札渡請印帳 産物方会所 弘化二年七月 横長美	一冊 あ二七六	木綿布中買鑑札渡請印帳 産物方会所 天保一二年八月 横長美	一冊 あ二七六
村々町々外木綿商売人別鑑札渡請印帳 産物方会所 弘化三年七月 横長美	一冊 あ二七七	木綿布中買鑑札渡請印帳 産物方会所 天保一五年七月、弘化二年七月 横長美	二冊 綴 あ二七六
村々町々外木綿商売人別鑑札渡請印帳 産物方会所 弘化四年八月 横長美	一冊 あ二七八	木綿布中買鑑札渡請印帳 産物方会所 弘化三年 横長美	六冊 綴 あ二七九
村々町々外木綿商売人別鑑札渡請印帳 産物方会所 嘉永二年八月 横長美	一冊 あ二七九	布中買鑑札渡請印帳 産物方会所 嘉永五年八月 横長美	一冊 あ二八〇
村々町々外木綿商売人別鑑札渡請印帳 産物方会所 嘉永三年八月 横長美	一冊 あ二八〇	布中買鑑札渡請印帳 産物方会所 嘉永六年八月 横長美	一冊 あ二八一
村々町々外木綿商売人別鑑札渡請印帳 産物方会所 嘉永四年八月 横長美	一冊 あ二八二	布中買鑑札渡請印帳 産物方会所 嘉永七年八月 横長美	一冊 あ二八二

布中買鑑札渡請印帳	産物方会所	安政二年八月	横長美	一冊	あ七四三
布中買鑑札渡請印帳	産物方会所	安政三年八月	横長美	一冊	あ七四四
布中買鑑札渡請印帳	産物方会所	安政四年八月	横長美	一冊	あ七四五
布中買鑑札渡請印帳	産物方会所	安政五年八月	横長美	一冊	あ七四六
町方町外木綿師 木綿中買鑑札渡印判帳	三番	慶応元年	横長美	一冊	あ七三四
町々外木綿師 木綿中買鑑札渡印判帳	慶応三年		横長美	一冊	あ三〇八四
里分壹番木綿師 木綿中買鑑札相渡印判帳	慶応元年		横長美	一冊	あ二七九
里分貳番木綿師 木綿中買鑑札相渡印判帳	(慶応元年)		横長美	一冊	あ二七三〇
里分三番木綿師 木綿中買鑑札相渡印判帳	慶応元年		横長美	一冊	あ二七三
里分四番木綿師 木綿中買鑑札相渡印判帳	慶応元年		横長美	一冊	あ二七三
山中分木綿師 木綿中買鑑札相渡印判帳	慶応元年		横長美	一冊	あ二七三
山里并町々外木綿師・布買繼 木綿中買・布中買鑑札相渡印判帳			横長美	一冊	あ二七六
慶応元年					
里分壹番木綿師 布買繼鑑札相渡印判帳	慶応三年		横長美	一冊	あ二七九

里分貳番木綿師 布買繼鑑札相渡印判帳	慶応三年		横長美	一冊	あ三〇八〇
里分三番木綿師 木綿中買鑑札相渡印判帳	慶応三年		横長美	一冊	あ三〇八二
里分四番木綿師 木綿中買鑑札相渡印判帳	慶応三年		横長美	一冊	あ三〇九四
御他領木綿師 木綿中買鑑札相渡印判帳	慶応三年		横長美	一冊	あ三〇八三
里分町々外木綿師 木綿中買鑑札相渡印判帳	明治二年		横長美	一冊	あ三〇八五
山中分木綿師 布買繼鑑札相渡印判帳	明治二年		横長美	一冊	あ三〇八六
町々外木綿師 布買繼鑑札相渡印判帳	明治三年		横長美	一冊	あ三〇八九
里分壹番木綿師 布買繼鑑札相渡印判帳	明治三年		横長美	一冊	あ三〇八七
里分貳番木綿師 布買繼鑑札相渡印判帳	明治三年		横長美	一冊	あ三〇八六
里分三番木綿師 布買繼鑑札相渡印判帳	明治三年		横長美	一冊	あ三〇八一

[illegible]

杏干仁買鑑札渡印判帳	明治三年正月	横長美	一冊 あ 三三	山里 楮皮師 鑑札相渡印判帳	慶応元年	横長美	一冊 あ 一六七
杏干仁買鑑札渡印判帳	明治四年五月	横長美	一冊 あ 三八	山里 楮棒師 鑑札相渡印判帳	慶応二年正月	横長美	一冊 あ 一六三
○				○			
村々町々外甘草商売人鑑札相渡受印帳	産物	横長美	一冊 あ 一七五	山里 藍元師 鑑札相渡印判帳	慶応元年八月	横長美	一冊 あ 一六四
方会所 嘉永三年二月				山里 藍中買 鑑札相渡印判帳	慶応二年七月	横長美	一冊 あ 一六八
○				山里 藍元師 鑑札相渡印判帳	富岡良右衛門・酒井市治・八田五十司・野中直之助 慶応三年	横長美	一冊 あ 一七四
山里 楮買繼 鑑札相渡印判帳	慶応三年正月	横長美	一冊 あ 一七六	山里 藍鑑札相渡印判帳	明治二年	横長美	一冊 あ 一七五
山里 楮中買 鑑札相渡印判帳	明治二年正月	横長美	一冊 あ 一六七	山里 藍鑑札相渡印判帳	明治三年正月	横長美	一冊 あ 一六六
山里 楮買繼 鑑札相渡印判帳	明治三年正月	横長美	一冊 あ 一六九	○			
山里 楮中買 鑑札相渡印判帳	明治四年正月	横長美	一冊 あ 一七一	山里 藍元師 鑑札相渡印判帳	明治四年正月	横長美	一冊 あ 一六七
○				○			
山里 紙買繼 鑑札相渡印判帳	慶応元年	横長美	一冊 あ 一六九	山里 町々外紺屋職渡世人鑑札相渡印判帳	明治二年二月	横長美	一冊 あ 一六七
山里 紙中買 鑑札相渡印判帳	慶応二年正月	横長美	一冊 あ 一七〇	山里 紺屋職鑑札相渡印判帳	明治三年	横長美	一冊 あ 一七六
山里 紙買繼 鑑札相渡印判帳	三番 慶応三年正月	横長美	一冊 あ 一七五	○			
山里 紙中買 鑑札相渡印判帳	明治二年正月	横長美	一冊 あ 一七六	○			
山里 紙買繼 鑑札相渡印判帳	明治三年正月	横長美	一冊 あ 一七四	山里 麻中買 鑑札相渡印判帳	慶応元年	横長美	一冊 あ 一六四
山里 紙中買 鑑札相渡印判帳	明治四年正月	横長美	一冊 あ 一六〇	山里 麻買繼 鑑札相渡印判帳	慶応二年正月	横長美	一冊 あ 一六六

[illegible]

糸御役銀取調御書上帳 森村糸世話役民左衛門 産物会所宛 天保五年十二月	横長半	一冊	あ一九七
糸冥加御上納御書上帳 新町村世話役源之丞・音吉 産物会所宛 天保五年十二月	横長美	一冊	あ三六
糸売上調御書上帳(糸売上高と役銀) 笹平村世話人勇吉・孝蔵・富蔵 産物会所宛 天保五年十二月	横長美	一冊	あ一九五
天保五年市場冥加金上納請取元帳 産物会所八田喜兵衛・八田辰三郎・八田嘉助・松本嘉十郎・立合佐竹周蔵 天保六年正月改	横長美	一冊	あ三六七
市場御役金上納御通帳 伊勢町惣蔵 天保六年七月〜同七年六月	横半半折	一冊	あ一九
糸売買御役銀取調御書上帳 倉科村世話役吉左衛門 産物会所宛 天保六年十一月	横長半	一冊	あ九三〇
糸売買御役銀取調御書上帳 森林糸世話役民左衛門 産物会所宛 天保六年十一月	横長半	一冊	あ一九六
糸冥加銀御上納御書上帳 新町村世話役源之丞・音吉 産物会所宛 天保六年十一月	横長美	一冊	あ三六九
繭糸御金役御上納帳 笹平村調人勇吉・孝蔵(産物会所)宛 天保六年	横長半	一冊	あ一九三
天保六末年市場冥加金上納請取元帳 八田嘉右衛門他五名・立合佐竹周蔵(関田慶左衛門奥書印形) 天保七年二月改	横長美	一冊	あ三六
天保六末年中糸売買冥加金上納帳控 八田嘉右衛門他四名・立合佐竹周蔵(春日儀左衛門他三名奥書印形) 岡野弥右衛門・寺内多宮・金児丈助宛 天保七年三月	横長半	一冊	あ二四七四
(糸売買役銀上納帳) 笹平村世話役孝蔵・勇吉(産物会所)宛 天保七年十一月	横長半	一冊	あ三三七

糸買人冥加銀取調書上帳 倉科村世話役吉左衛門 産物会所宛 天保七年十一月	横長半	一冊	あ一九三
為登糸売買冥加銀取調上納御書上帳 森村糸世話役民左衛門 産物会所宛 天保七年十二月	横長半	一冊	あ一九九
天保七申年糸売買金高并冥加金書上元帳 (数冊の書上帳を一綴) 上田商人・宿・世話役	横長半	一綴	あ二四七五
天保七申年市場冥加金上納請取元帳 八田嘉右衛門・八田喜兵衛・八田辰三郎・八田嘉助・松本嘉十郎・立合佐竹周蔵(関田慶左衛門奥書印形) 天保八年三月改	横長半	一冊	あ二六九
糸市冥加金書上元帳(一通の書上をまとめたもの) 上田奈良屋治左衛門他宿・世話人 天保八年二月〜十一月	横長半	一冊	あ二七〇
糸売買冥加銀取調御書上帳 笹平村・森村・新町村各糸世話役 産物会所宛 天保八年十二月	横長半	三冊	あ一九四
糸売買金高并冥加金上納請取元帳 産物方会所 八田嘉右衛門・八田喜兵衛・八田辰三郎・八田嘉助・松本嘉十郎・立合佐竹周蔵(関田慶左衛門奥書印形) 天保九年三月改(天保八年二月〜十一月)	横長半	一冊	あ三〇一
天保九戌年中糸冥加銀請取元帳 産物方会所八田嘉右衛門他四名・立合佐竹周蔵(春日儀左衛門奥書印形) 天保一〇年三月改	横長半	一冊	あ二九六
糸冥加御上納御書帳 笹平村・新町村他 産物会所宛 天保九年	横長半	三冊	あ二七七
糸売買金高并冥加金上納帳・倉科村糸買役銀取調書上帳 笹平村御産物糸御役銀取調帳 天保一〇年	横長半	三冊	あ二七三
(市場御役金上納届書) 商人・宿・世話役(産物会所)宛 子(天保一一年)正月一七日	四通	一綴	あ五四

糸売買金高并冥加金上納帳・新町村糸御冥加金調書上帳 産物会所宛 天保一一年	横長半	二冊	あ三七三	御領分御他領共蘭仲買鑑札冥加銀上納請取元帳 天保一三年七月	横長半	一冊	あ三三
(糸売買金高并冥加金上納帳) 〆前欠・糸冥加銀取調御書上帳 新町村、倉科村、森村 産物会所宛 天保一二年	横長半	四冊	あ三七六	蘭仲買鑑札冥加銀上納請取元帳 産物方会所 天保一四年七月	横長半	一冊	あ三三
糸売買金高并冥加金上納元帳・新町村糸御冥加銀調書上帳 産物会所宛 天保一二年	横長半	二冊	あ三七二	蘭仲買鑑札冥加銀請取元帳 産物方会所 弘化三年七月	横長半	一冊	あ三三
糸売買金高并冥加金上納元帳・森村糸売買人別役銀書上帳・新町村糸御冥加銀調御書上帳 産物会所宛 弘化元年	横長半	三冊	あ三七四	蘭仲買鑑札冥加銀請取元帳 産物方会所 嘉永元年七月	横長半	一冊	あ三四
糸売買金高并冥加金上納帳・笹平村御冥加御上納帳 産物会所宛 弘化三年	横長半	二冊	あ三七五	糸蘭仲買 蘭仲買 御他領冥加銀請取元帳 産物方会所 嘉永二年七月	横長半	一冊	あ三五
(御役金上納届書) 市場世話役武左衛門 (産物会所) 宛 極月三日	横長半	一通	あ三三	蘭中買鑑札冥加銀請取元帳 産物方会所 嘉永四年七月 〆同五年三月	横長半	一冊	あ三六七
(七月分御役金寛)	横長半	一冊	あ三三	蘭中買鑑札冥加銀請取元帳 産物方会所 嘉永五年七月 〆同六年二月	横長半	一冊	あ三六八
(糸冥加御上納取集指出目録) 新町村市世話役源之丞・音吉 御産物御役所宛	横長美	一冊	あ三三	蘭中買鑑札冥加銀受取元帳 産物方会所 嘉永六年七月 〆同七年正月	横長半	一冊	あ三六九
〇				蘭中買鑑札冥加銀請取元帳 産物方会所 嘉永七年七月 〆安政二年正月	横長半	一冊	あ三九〇
蘭中買冥加銀上納請取元帳・蘭中買年中冥加銀上納人別調帳 産物方会所 天保四年 〆同一〇年	横長半	八冊	あ三八〇	蘭中買鑑札冥加銀請取元帳 産物方会所 安政二年七月 〆同三年二月	横長半	一冊	あ三九一
蘭仲買冥加銀上納請取元帳 産物方 天保一一年四月	横長半	一冊	あ三九	蘭中買鑑札冥加銀請取元帳 産物方会所 安政二年七月 〆同三年二月	横長半	一冊	あ三九一
糸売買冥加銀上納 〆出帳 天保元年 〆同一一年	横長半	一冊	あ三九三	蘭中買鑑札冥加銀受取元帳 産物方会所 安政三年七月 〆同四年二月	横長半	一冊	あ三九三
蘭中買冥加銀上納請取元帳 産物方会所 天保一二年七月	横長半	一冊	あ三〇				

<p>中買 鑑札冥加銀請取元帳 産物方会所 安政 種繭買 四年七月 横長半 一冊 あ 三六</p>	<p>中買 鑑札冥加銀請取元帳 産物方会所 安政 種繭買 五年七月〜同六年正月 横長半 一冊 あ 三九三</p>	<p>中買 鑑札冥加銀請取元帳 産物方会所 安政 種繭買 六年七月〜万延元年五月 横長半 一冊 あ 三九四</p>	<p>中買 鑑札冥加銀請取元帳 産物方会所 万延 種繭買 元年 横長半 一冊 あ 二五二</p>	<p>○</p>	<p>杏千仁中買冥加銀上納請取元帳・杏仁類商売 冥加銀上納請取元帳 杏千仁売買 唐糸師 横長美 三冊 納請取元帳 産物方会所 天保五年二月、同六年 横長半 一綴 あ 二〇五 一月、同八年二月</p>	<p>中買 鑑札冥加金・杏仁冥加金上納請取元帳 未(天保六年)七月、閏七月、十二月 横長美 一冊 あ 四六〇</p>	<p>杏千仁買御他領共 唐糸師御他領蠶種師 鑑札冥加銀請取元帳 産物 横長半 一冊 あ 二〇三 方会所 天保一年二月</p>	<p>杏千仁買御他領共 唐糸師御他領蠶種師 鑑札冥加銀請取元帳 産物 横長半 一冊 あ 二〇三 方会所 天保二年二月</p>	<p>杏千仁買御他領共 唐糸師御他領蠶種師 鑑札冥加銀請取元帳 産物 横長半 一冊 あ 二〇四 方会所 天保一四年二月</p>	<p>杏千仁御他領共 唐糸師御他領 鑑札冥加銀請取元帳 産物方会 横長美 一冊 あ 二二 所 唐糸師 嘉永三年二月</p>	<p>杏千仁御他領共 唐糸師御他領 鑑札冥加銀請取元帳 産物方会 横長美 一冊 あ 二七 所 唐糸師 嘉永四年二月</p>	<p>杏千仁御他領共 唐糸師御他領 鑑札冥加銀請取元帳 産物方会 横長半 一冊 あ 二六 所 唐糸師 嘉永五年二月</p>	<p>杏千仁御他領共 唐糸師御他領 鑑札冥加銀請取元帳 産物方会 横長半 一冊 あ 二七 所 唐糸師 嘉永六年二月</p>	<p>杏千仁御他領共 唐糸師御他領 鑑札冥加銀請取元帳 産物方会 横長半 一冊 あ 二八 所 唐糸師 嘉永六年二月</p>
---	--	---	--	----------	---	--	--	--	---	---	---	---	---	---

<p>杏千仁御他領共 御他領蚕種師 鑑札冥加銀請取元帳 産物方会 唐糸師 所 嘉永七年一二月</p>	<p>杏千仁買御他領共 御他領蚕種師 鑑札冥加銀請取元帳 産物方 唐糸師 会所 安政二年一二月</p>	<p>杏千仁買御他領共 御他領蚕種師 鑑札冥加銀受取元帳 産物方 唐糸師 会所 安政三年一二月</p>	<p>杏千仁 他領種引鑑札冥加銀請取元帳 産物方会所 安 政四年一二月</p>	<p>杏千仁唐糸師 鑑札冥加銀請取元帳 産物方会所 御他領蚕種師 安政五年一二月</p>	<p>杏千仁唐糸師 鑑札冥加銀請取元帳 産物方会所 御他領蚕種師 安政六年一二月</p>	<p>杏千仁唐糸師 鑑札冥加銀請取元帳 産物方会所 御他領蚕種師 萬延元年</p>	<p>○</p>	<p>去已年藏中買并唐糸師冥加銀上納取調帳 産 物方掛り町同心松本元右衛門他二名、産物方会所番人 相沢藤吉他三名（八田嘉右衛門他三名奥書印形） 天 保五年正月改</p>	<p>天保五年午年藏中買唐糸師他所種引杏千仁冥加 上納取調帳扣 八田嘉右衛門他四名、立合佐竹周 藏 天保六年正月改</p>
横長半	横長半	横長半	横長半	横長半	横長半	横長半		横長半	横長半
一冊 あ一八九	一冊 あ一八〇	一冊 あ一八三	一冊 あ一八三	一冊 あ一八三	一冊 あ一八四	一冊 あ一八四		一冊 あ三五六	一冊 あ三五六
天保六未年七月中迄藏中買冥加上納人別帳・ 未年中藏中買杏千仁唐糸師他所種引冥加上納人 別帳 八田嘉右衛門他四名、立合佐竹周藏（関田慶左 衛門奥書印形） 天保六年八月改、同七年三月改	天保七申年 藏中買并唐糸師 鑑札冥加銀上納 人別帳 八田嘉右衛門他四名、立合佐竹周藏（関田 慶左衛門奥書印形） 天保八年三月改	天保八酉年中糸売買并藏中買杏千仁唐糸師他 所種引冥加上納帳扣 八田嘉右衛門他四名、立 合佐竹周藏（関田慶左衛門奥書印形） 天保九年三月 改	天保九戌年 藏中買并唐糸師 鑑札冥加銀上納 人別帳 八田嘉右衛門他五名（春日儀左衛門奥書印 形） 天保一〇年三月改	天保九戌年糸買并藏中買杏千仁唐糸師他所種 引冥加上納帳扣 八田嘉右衛門他五名 寺内多 宮・金兒丈助宛 天保一〇年八月改	天保十亥年糸売買并藏中買杏千仁唐糸師他所 種引冥加上納帳扣 八田嘉右衛門他五名（春日 儀左衛門奥書印形） 寺内多宮・金兒丈助宛 天保一 一年三月改	天保十一子年 藏中買并杏千仁 鑑札冥加銀上納人 別帳 八田嘉右衛門他五名（春日儀左衛門奥書印形） 天保一二年三月改	天保十三寅年 藏中買杏千仁 鑑札冥加銀人別帳 八田嘉右衛門他五名（春日儀左衛門奥書印形） 天 保一四年二月改	天保十四卯年糸売買并藏中買杏千仁唐糸師他 所種引冥加上納帳扣 八田嘉右衛門他六名（春 日儀左衛門他六名奥書印形） 天保一五年三月改	
横長半	横長半	横長美	横長美	横長半	横長美	横長半	横長半	横長美	
二冊 綴 あ三五七	一冊 あ三五九	一冊 あ三六六	一冊 あ三五〇	一冊 あ三九七	一冊 あ三九八	一冊 あ三四一	一冊 あ三四三	一冊 あ三四〇九	

弘化元辰年 繭中買并杏干仁商売 他所種引唐糸師 鑑札冥加銀上納 人別帳 八日嘉右衛門他六名(春日儀左衛門奥書印 形) 弘化三年三月改	横長半	一冊 あ二五四三
弘化二巳年糸売買并繭中買杏干仁唐糸師他所種 引陶器冥加金上納帳 八田嘉右衛門他五名(春日 儀左衛門他六名奥書印形) 弘化三年二月改	横長美	一冊 あ二四〇八
嘉永三戌年 繭中買并杏干仁商売 他所種引唐糸師陶器 鑑札冥加銀上納 人別帳 嘉永四年三月改	横長半	一冊 あ三七
安政四巳年并他所種引唐糸師 鑑札冥加銀上納人 別帳 水井忠藏・春日儀左衛門他五名(高野寛之進奥 書印形) 安政五年三月改	横長半	一冊 あ二五四四
安政五午年 繭中買并杏干仁商売 御地領蚕種師唐糸師冥加銀上納人別 帳 水井忠藏・春日儀左衛門他五名(渡辺丞之助奥書 印形) 安政六年三月改	横長半	一冊 あ二五四五
安政六未年 繭中買并杏干仁 他所種引唐糸師 鑑札冥加銀上納人別 帳 水井忠藏・春日儀左衛門他四名(関田莊助奥書印 形) 安政七年三月改	横長半	一冊 あ二五四六
万延元申年 繭中買并杏干仁商売 御他領蚕種引唐糸師陶器 鑑札冥加銀 上納人別帳 春日儀左衛門他三名(関田莊助奥書印 形) 文久三年三月改	横長半	一冊 あ二五四七
六箇村紙渡役人別御書上帳(人別と上納冥加銀 額) 嘉永二年閏四月	横長美	一冊 あ二七〇六
○		
町々外繭中買・布中買 鑑札冥加金上納取立帳 種繭買・布買繼 産物会所 慶応元年	横長半	一冊 あ一八三六
町々外繭中買・絹紬中買 鑑札冥加金取立帳 三 番 慶応元年八月	横長半	一冊 あ一八三七
里分繭中買・絹紬中買 鑑札冥加金上納取立帳 種繭買・布中買 唐糸師・布小買 産物会所 慶応元年	横長半	一冊 あ一八三一
山中分繭中買冥加金上納取立帳 産物会所 慶 応元年	横長半	一冊 あ一八三五
御他領繭中買・蚕種師 種繭買・絹紬中買 鑑札冥加金上納取立帳 産物会所 慶応元年	横長半	一冊 あ一八三〇
町方町外繭中買 鑑札冥加金取立帳 慶応二年 蚕種師	横長半	一冊 あ一八三八
町々外御家中長屋繭中買・絹紬中買 鑑札冥加金 取立元帳 三番 慶応二年	横長半	一冊 あ一八三八
里分繭中買・繭中買 種繭買・蚕種師 鑑札冥加金取立帳 慶応二 年 唐糸師	横長半	一冊 あ一八四一

[illegible]

御他領 種繭買・繭中買 種繭買・蚕種師 四年正月	鑑札冥加金上納帳	慶応	横長半	一冊 あ一八五
町々外 種繭買・繭中買 蚕種師・種繭買 二年正月	鑑札冥加金取立帳	明治	横長半	一冊 あ一八六
山里老番 種繭買・繭中買 蚕種師・種繭買 治二年正月	鑑札冥加金取立帳	明	横長半	一冊 あ一八五
山里式番 種繭買・繭中買 蚕種師・種繭買 立帳 明治二年正月	鑑札冥加金取	横長半	一冊 あ一八七	
山里三番 種繭買・繭中買 蚕種師・種繭買 立帳 明治二年正月	鑑札冥加金取	横長半	一冊 あ一八六	
山里四番 種繭買・繭中買 蚕種師・種繭買 治二年正月	鑑札冥加金取立帳	明	横長半	一冊 あ一八五
御他領 種繭買・繭中買 種繭買・蚕種師 二年正月	鑑札冥加金取立帳	明治	横長半	一冊 あ一八六
町々外 種繭買・繭中買 蚕種師・種繭買 治三年正月	鑑札冥加金取立元帳	明	横長半	一冊 あ一八七
山里参番 種繭買・繭中買 蚕種師・種繭買 明治三年正月	鑑札冥加金取立元帳	横長半	一冊 あ一八三	
山里式番 種繭買・繭中買 蚕種師・種繭買 立帳 明治三年正月	鑑札冥加金取	横長半	一冊 あ一八三	
山里三番 種繭買・繭中買 蚕種師・種繭買 立元帳 明治三年正月	鑑札冥加金取	横長半	一冊 あ一八四	

山里四番 種繭買・繭中買 種繭買・蚕種師 治三年正月	鑑札冥加金取立帳	明	横長半	一冊 あ一八五
御支配 種繭買・繭中買 蚕種師・種繭買 三年正月	鑑札冥加金取立帳	明治	横長半	一冊 あ一八六
山里老番 種繭買・繭中買 蚕種師・種繭買 治四年五月	鑑札税金取立帳	明治四年五月	横長半	一冊 あ一八六
山里四番 種繭買・繭中買 蚕種師・種繭買 月	鑑札税金取立元帳	明治四年五	横長半	一冊 あ一八六
他支配 種繭買・繭中買 蚕種師・種繭買 月	鑑札冥加金取立元帳	明治四年五	横長半	一冊 あ一八七
里分老番 種繭買・繭中買 蚕種師・種繭買 月	鑑札冥加金取立帳	横長半	一冊 あ一八七	
里分式番 種繭買・繭中買 蚕種師・種繭買 帳	鑑札冥加取立	横長半	一冊 あ一八七	
里分三番 種繭買・繭中買 蚕種師・種繭買 立帳	鑑札冥加金取	横長半	一冊 あ一八三	
山中分式番 種繭買・繭中買 蚕種師・種繭買 立帳	鑑札冥加金取立帳	横長半	一冊 あ一八四	
慶応元 物会所 慶応二年正月	鑑札人別冥加金取立帳	産	横長半	一冊 あ一八三

杏千仁買鑑札冥加金取立帳 慶応二年	横長半	一冊 あ三三	山里町々外 藍元師 藍中買鑑札冥加金取立元帳 産物 会所 慶応元年	横長半	一冊 あ二六二
山里町外地所杏千仁買鑑札冥加金取立帳	横長半	一冊 あ三二	山里并町外御他領 藍元師 藍中買鑑札冥加金取立帳 慶応二年	横長半	一冊 あ二六〇
杏千仁買鑑札冥加金取立帳 慶応三年五月	横長半	一冊 あ三三	山里藍鑑札冥加金取立帳 慶応三年二月	横長半	一冊 あ二六三
山里杏千仁買鑑札冥加金取立帳 慶応四年閏四月	横長半	一冊 あ三六	山里町々外御他領 藍元師 藍中買鑑札冥加金取立帳 慶応三年正月	横長半	一冊 あ二六九
山里杏千仁買鑑札冥加金取立帳 明治二年正月	横長半	一冊 あ三一	山里町々外藍鑑札冥加金取立帳 慶応四年正月	横長半	一冊 あ二〇三
杏千仁買鑑札冥加金取立元帳 明治三年正月	横長半	一冊 あ三七	山里藍鑑札冥加金取立帳 明治二年正月	横長半	一冊 あ二〇三
杏千仁買鑑札税金取立元帳 明治四年五月	横長半	一冊 あ三九	山里藍鑑札冥加金取立元帳 明治三年正月	横長半	一冊 あ二六三
○			山里藍元師 藍中買鑑札税金取立元帳 明治四年一〇月	横長半	一冊 あ二〇四
慶応二寅年中絹紬中買鑑札冥加金取立帳 小野唯之進他二名 慶応三年	横長半	一冊 あ一九四	山里町々外紺屋職世人税金取立帳 明治二年一二月	横長半	一冊 あ二〇五
絹紬中買鑑札冥加金取立元帳 慶応三年八月	横長半	一冊 あ一九六	山里町々外紺屋職税金取立帳 明治三年四月	横長半	一冊 あ二〇七
慶応三卯年中絹紬中買御他領共鑑札冥加金取立帳 小野唯之進他二名 慶応四年正月	横長半	一冊 あ一九五	山里紺屋職鑑札税金取立元帳 明治九年九月	横長半	一冊 あ二〇六
絹紬中買鑑札冥加金取立帳 慶応四年九月	横長半	一冊 あ一九七	○		
絹紬中買鑑札冥加金取立元帳 明治二年四月	横長半	一冊 あ一九八	山里并御他領 油絞 種中買鑑札冥加金取立帳 慶応三年	横長半	一冊 あ二〇〇
絹紬中買鑑札冥加金取立元帳 明治三年二月	横長半	一冊 あ一九九			
絹紬中買鑑札税金取立元帳(村名のみで取立記載なし) 明治四年正月	横長半	一冊 あ二〇〇			

山里種中買 油振売	鑑札冥加金取立帳	慶応三年正月	横長半	一冊	あ二七二
山里種中買 油振売	鑑札冥加金取立帳	明治二年正月	横長半	一冊	あ二七三
山里種中買 油振売	鑑札冥加金取立帳	明治三年正月	横長半	一冊	あ二七三
山里種中買 油振売	鑑札税金取立元帳	明治四年正月	横長半	一冊	あ二七四
町々外木綿師 木綿中買	鑑札冥加金取立元帳	三番	横長半	一冊	あ二九九
里分木綿師 木綿中買	鑑札冥加金取立帳	慶応元年	横長半	一冊	あ三〇八
里分式番木綿師 木綿中買	鑑札冥加金取立帳	(慶応元年)	横長半	一冊	あ三九七
里分三番木綿師 木綿中買	鑑札冥加金取立帳	(慶応元年)	横長半	一冊	あ三九六
山中分木綿師 木綿中買	鑑札冥加金上納取立帳	産物会	横長半	一冊	あ三〇一
御他領木綿師 木綿中買 木綿小買	鑑札冥加金取立帳	産物会所	横長半	一冊	あ三〇〇
慶応元年					
山里并町々外御他領 木綿中買・布買繼 木綿小買・布小買	鑑札冥加金取立帳	慶応二年	横長半	一冊	あ八四〇
町々外木綿師 木綿中買 布小買	鑑札冥加金取立帳	慶応三年	横長半	一冊	あ三〇五
町々外三番木綿師 布買繼・布中買	鑑札冥加金取立帳	慶応三年八月〜十一月	横長半	一冊	あ三〇六
里分老番木綿師 布買繼・布中買	鑑札冥加金取立帳	慶応三年八月〜十二月	横長半	一冊	あ三〇九
里分式番木綿師 布買繼・布中買	鑑札冥加金取立帳	慶応三年八月〜一〇月	横長半	一冊	あ三〇〇
里分布買繼・布中買	鑑札冥加金取立帳	慶応三年八月〜十二月	横長半	一冊	あ三〇二
里分木綿師・布買繼 木綿中買・布中買	鑑札冥加金取立帳	慶応三年	横長半	一冊	あ三〇三
山中分木綿師 布中買	鑑札冥加金取立帳	慶応三年	横長半	一冊	あ三〇四
御他領木綿師 木綿中買 木綿小買	鑑札冥加金取立帳	慶応三年	横長半	一冊	あ三〇三
山里木綿師・布買繼 木綿中買・布中買 木綿小買・布小買	鑑札冥加金取立帳	慶応四年九月〜明治二年二月	横長半	一冊	あ三〇六
御他領木綿師 布買繼・布中買	鑑札冥加金取立帳	慶応四年九月〜一〇月	横長半	一冊	あ三〇七

山里楮買繼 楮中買 鑑札冥加金取立帳 明治元年十一月 横長半 一冊 あ二六五	山里楮買繼 楮中買 鑑札冥加金取立帳 明治二年正月 横長半 一冊 あ二六六	山里楮買繼 楮中買 鑑札冥加金取立元帳 明治三年正月 横長半 一冊 あ二六八	山里楮買繼 楮中買 鑑札税金取立帳 明治四年正月 横長半 一冊 あ二九〇	○	山里楮皮師 楮棒師 鑑札冥加金取立帳 産物会所 慶応 横長半 一冊 あ三四	山里楮皮師 楮棒師 鑑札冥加金取立帳 慶応二年 横長半 一冊 あ二六一	○	山里御他領 紙中買 紙買紙 鑑札冥加金取立帳 慶応二年 横長半 一冊 あ二七三	山里紙買繼 紙中買 鑑札冥加金取立帳 慶応三年正月 横長半 一冊 あ二七一	山里并御他領 紙中買 紙買繼 鑑札冥加金取立帳 慶応三年正月 横長半 一冊 あ二七三	山里紙買繼 紙中買 鑑札冥加金取立帳 慶応四年正月 横長半 一冊 あ二七五	山里紙買繼 紙中買 鑑札冥加金取立帳 明治二年正月 横長半 一冊 あ二七六	山里紙買繼 紙中買 鑑札税金取立元帳 明治四年正月 横長半 一冊 あ二七六	
山里紙買繼 紙中買 鑑札冥加金取立帳 明治四年正月 横長半 一冊 あ二七五	○	山里鍛冶職 金具師 冥加金取立帳 明治二年二月 横長半 一冊 あ二四九	鍛冶職 銅職 金具師 冥加金取立帳 明治二年二月、同三年七月 横半半折 一冊 あ二二〇	○	山里銅冶職 金具師 冥加金取立帳 明治三年 横長半 一冊 あ二四八	山里銅冶職 金具師 鑑札税金取立元帳 明治四年正月 横長半 一冊 あ二五一	○	山里町々外材木渡世人鑑札税金取立帳 明治二年二月 横長半 一冊 あ二六三	山里町々外材木渡世人鑑札税金取立帳 明治三年正月 横長半 一冊 あ二六五	山里材木職 本役 半役 鑑札税金取立帳 明治四年正月 横長半 一冊 あ二六六	○	御鑑札冥加金請取元帳（何の鑑札か不明） 弘化四年七月、同五年二月 弘化 横長半 一冊 あ二九五	御鑑札冥加銀預り控帳 弘化四年七月、嘉永元年二月 横長半 一冊 あ二九六	鑑札冥加金日延願請印帳 大岡宮平組取締役丸山与右衛門 慶応三年九月 横長半 一冊 あ二九四

品々鑑札冥加取立仮元帳	明治元年二月	横長半	一冊 あ一九七	蚕種紙改冥加金取立元帳	網懸物改所	慶応二年九月	横長半	一冊 あ二〇七七
○				蚕種紙改冥加金受取賃(断簡) 丑二月〜寅六月(慶応元年〜同二年)				
蚕種紙改冥加金取立元帳(出役改)	(松代) 産物会所	横長半	一冊 あ二〇五	蚕種紙改冥加金取立元帳	(松代) 産物会所	慶応三年正月〜二月	横長半	一冊 あ二〇七八
蚕種紙改冥加金取立元帳	(松代) 産物会所	横長半	一冊 あ二〇六	蚕種紙改冥加金取立元帳	(松代) 産物会所	慶応三年七月	横長半	一冊 あ二〇四〇
蚕種紙改冥加金取立元帳	(松代) 産物会所	横長半	一冊 あ二〇六	蚕種紙改冥加金取立元帳	原産物改所	慶応三年六月〜七月	横長半	一冊 あ二〇四六
蚕種師改冥加金取立元帳	慶応元年七月〜同二年二月	横長半	一冊 あ二〇六七	蚕種師冥加金取立元帳	内川産物改所	慶応三年六月〜九月	横長半	一冊 あ二〇四五
蚕種紙改冥加金取立元帳	福島産物会所	横長半	一冊 あ二〇六	蚕種紙改冥加金取立元帳	上山田産物改所	慶応三年七月	横長半	一冊 あ二〇四四
蚕種紙改冥加金取立元帳	内川産物方改所	横長半	一冊 あ二〇六	蚕種紙改冥加金取立元帳	力石産物改所	慶応三年五月〜九月	横長半	一冊 あ二〇四三
蚕種紙改冥加金取立帳	力石産物改所	横長半	一冊 あ二〇七〇	蚕種紙改冥加金取立元帳	網掛物改所	慶応三年八月	横長半	一冊 あ二〇四三
蚕種師改冥加金取立元帳	矢代産物会所	横長半	一冊 あ二〇七一	蚕種紙改冥加金取立元帳	桑原産物改所	慶応三年六月〜八月	横長半	一冊 あ二〇四一
蚕種紙改冥加金取立元帳	南長池産物改所	横長半	一冊 あ二〇七三	蚕種紙改冥加金取立元帳	鼠宿産物会所	慶応三年六月〜八月	横長半	一冊 あ二〇三八
蚕種師改冥加金取立元帳	内川産物方改所	横長半	一冊 あ二〇七四	蚕種紙改冥加金取立元帳	南長池産物改所	慶応三年六月〜十二月	横長半	一冊 あ二〇四七
蚕種紙改冥加金請取帳(出役改)	松代産物会所	横長半	一冊 あ二〇七六	蚕種師改冥加金取立元帳	福島産物会所	慶応三年六月	横長半	一冊 あ二〇四八

蚕種紙改冥加金取立元帳 （松代）産物会所 慶応四年三月〜二月	横長半	一冊	あ三〇五〇
蚕種紙改出役冥加金取立元帳 慶応四年	横長半	一冊	あ三〇五一
蚕種紙改出役冥加金取立帳 慶応四年	横長半	一冊	あ三〇五二
蚕種紙改冥加金取立元帳 内川産物改所 慶応四年正月〜八月	横長半	一冊	あ三〇五三
蚕種紙改冥加金取立元帳 （表紙のみ） 若宮産物改所 慶応四年正月	横長半	一冊	あ三〇五九
蚕種紙改冥加金取立改帳 （松代）産物会所 明治二年正月〜二月	横長半	一冊	あ三〇五四
蚕種紙改冥加金上納取立元帳 明治二年六月〜七月	横長半	一冊	あ三〇五九
蚕種紙改出役冥加金取立帳 明治二年六月〜七月	横長半	一冊	あ三〇六三
蚕種紙改出役冥加金取立帳 明治二年七月	横長半	一冊	あ三〇六二
蚕種紙改出役冥加金取立帳 明治二年七月〜八月	横長半	一冊	あ三〇六一
蚕種紙改冥加金取立元帳 内川産物改所 明治二年六月〜八月	横長半	一冊	あ三〇五六
蚕種紙改冥加金取立帳 大塚産物改所 明治二年六月〜九月	横長半	一冊	あ三〇六〇
蚕種御冥加銀差出請印帳 原村産物改所 明治二年八月〜一〇月	横長半	一冊	あ三〇六七
蚕種紙改冥加金取立元帳 原産物改所 明治二年九月〜一〇月	横長半	一冊	あ三〇五五

蚕種紙改冥加金取立元帳 （松代）産物会所 明治三年六月〜一〇月	横長半	一冊	あ三〇六六
生糸上郷村々出役改冥加金取立帳 明治三年正月〜二月	横長半	一冊	あ三〇六五
蚕種紙上郷村々出役改冥加金取立帳 明治三年六月〜八月	横長半	一冊	あ三〇六四
蚕種紙川東北村々出役改冥加金取立帳 明治三年六月〜八月	横長半	一冊	あ三〇七〇
蚕種紙改御冥加金御書上帳 福島村産物会所 明治三年七月	横長半	一冊	あ三〇七二
蚕種紙改冥加金取立帳 大塚産物改所 明治三年六月	横長半	一冊	あ三〇七二
蚕種紙改冥加金取立元帳 内川産物改所 明治三年六月	横長半	一冊	あ三〇六九
蚕種紙改冥加金取立元帳 南長池村産物改所 明治三年七月〜九月	横長半	一冊	あ三〇六七
○			
生糸貫目改冥加金取立元帳 （出役之上改） （松代）産物会所 慶応元年六月〜七月	横長半	一冊	あ三〇六八
生糸貫改冥加金取立元帳 （松代）産物会所 慶応元年閏五月〜同年四月	横長半	一冊	あ三〇六七
生糸貫目改冥加金取立元帳 三輪産物会所 慶応元年九月〜一〇月	横長半	一冊	あ三〇六八
生糸貫目改冥加金取立元帳 原産物所 慶応元年九月〜同年三月	横長半	一冊	あ三〇六九

生糸實目改冥加金取立元帳 応元年八月〜一〇月 内川産物改所 慶	横長半	一冊	あ二四〇
生糸實目改冥加金取立元帳 慶元年七月〜十一月 鼠宿産物会所 慶	横長半	一冊	あ二四二
生糸實目改冥加金取立元帳 応元年八月〜十二月 力石産物改所 慶	横長半	一冊	あ二四三
生糸實目改冥加金取立元帳(中味白紙) 物改所 慶元年十一月 若宮産 物改所	横長半	一冊	あ二四三
生糸實目改冥加金取立元帳 慶元年十一月 上山田産物改所	横長半	一冊	あ二四四
真綿改冥加金取立元帳 鼠宿産物会所 慶元年七月 慶	横長半	一冊	あ二八六
真綿改冥加金取立元帳 内川産物方改所 慶元年八月 慶	横長半	一冊	あ二八三
玉藍改冥加金取立元帳 福島産物改所 慶元年一〇月 慶	横長半	一冊	あ二八六
生糸出張改冥加金取立元帳 慶元年正月 横長半	横長半	一冊	あ二八八
生糸實目改冥加金取立元帳(出役改之分) 産物会所 慶元年六月〜七月 (松代)	横長半	一冊	あ二四三
生糸改冥加金取立元帳 慶元年八月 横長半	横長半	一冊	あ二九〇
寅十二月分生糸出張改冥加金取立元帳 慶元年 横長半	横長半	一冊	あ二八九
生糸太利糸 真綿巢穀 改冥加金取立元帳 所 慶元年二月〜十一月 (松代) 産物会	横長半	一冊	あ二四〇
生糸太利糸 真綿巢穀 改冥加金取立元帳(中味白紙) 所 慶元年三月 佐野改	横長半	一冊	あ二四九
真綿 巢穀 改冥加金取立元帳 正月 力石産物会所 慶元年	横長半	一冊	あ二八一
玉蘭 巢穀 改冥加金取立元帳 上五明産物改所 慶元年六月 慶	横長半	一冊	あ二八四
真綿 巢穀 改冥加金取立元帳 矢代産物会所 慶元年正月 慶	横長半	一冊	あ二八五
真綿 巢穀 改冥加金取立元帳 網掛産物改所 慶元年正月 慶	横長半	一冊	あ二八七
巢穀改冥加金取立元帳 原産物改所 慶元年正月 慶	横長半	一冊	あ二八三
生糸改冥加金取立元帳 矢代産物会所 慶元年正月〜二月 慶	横長半	一冊	あ二八五
生糸改冥加金取立元帳 原産物改所 慶元年二月〜九月 慶	横長半	一冊	あ二八三
生糸實目改冥加金取立元帳 羽尾産物改所 慶元年三月八月〜十一月 慶	横長半	一冊	あ二四三
生糸改冥加金取立元帳 桑原産物改所 慶元年六月二日 慶	横長半	一冊	あ二四〇
生糸改冥加金取立元帳 内川産物改所 慶元年二月〜十二月 慶	横長半	一冊	あ二四九
生糸改冥加金取立元帳 鼠宿産物会所 慶元年六月八月 慶	横長半	一冊	あ二四八
生糸實目改冥加金取立元帳 上五明産物改所 慶元年七月〜十二月 慶	横長半	一冊	あ二四六

生糸太利系 真綿単殻 年正月〜二月	改冥加金取立元帳	産物会所	慶応三	横長半	一冊	あ二〇五二
生糸太利系 真綿単殻 応三年一〇月〜十二月	改冥加金取立元帳	網懸産物改所	慶	横長半	一冊	あ二〇六五
生糸太利系 真綿単殻 三年七月〜十二月	改冥加金取立帳	力石産物改所	慶応	横長半	一冊	あ二〇五三
生糸太利系 真綿単殻 慶応三年七月〜九月	改冥加金取立元帳	上山田産物改所		横長半	一冊	あ二〇五三
生糸太利系 真綿単殻 応三年八月〜十二月	改冥加金取立元帳	三輪産物改所	慶	横長半	一冊	あ二〇五四
巢殻改冥加金取立元帳	矢代産物会所	慶応三	年正月	横長半	一冊	あ二八六
巢殻改冥加金取立元帳	南長池産物改所	慶応	三年正月	横長半	一冊	あ二八九
生糸改冥加金取立元帳	慶応四年六月〜八月	横長半	一冊	あ二〇三三		
生糸改冥加金取立元帳	力石産物改所	慶応四	年二月〜十一月	横長半	一冊	あ二〇二六
生糸改冥加金取立帳	矢代村産物会所	慶応四	年正月〜四月	横長半	一冊	あ二〇三八
生糸改冥加金取立元帳	矢代産物会所	慶応四	年七月	横長半	一冊	あ二〇三七
生糸改冥加金取立元帳	内川産物改所	慶応四	年三月〜八月	横長半	一冊	あ二〇三六
生糸改冥加金取立帳	網掛産物改所	慶応四年	三月	横長半	一冊	あ二〇三五
生糸改冥加金取立帳	内川産物改所	慶応四年	三月〜四月	横長半	一冊	あ二〇四
生糸太利系 真綿巢殻 慶応四年十一月	改冥加金取立元帳	(松代) 産物会所		横長半	一冊	あ二〇五五
生糸太利系 巢殻 慶応四年八月	實目改冥加金取立帳	大塚産物改所		横長半	一冊	あ二〇五六
生糸 巢殻 真綿	改冥加金取立元帳	矢代産物会所	慶応四年	横長半	一冊	あ二八七
生糸 真綿	改冥加金取立元帳	羽尾産物改所	慶応四年	横長半	一冊	あ二八九
生糸 巢柄	改冥加金取立帳(表紙に「不用」と記されている)	三輪産物改所	慶応四年正月	横長半	一冊	あ二八〇
真綿 巢殻	改冥加金取立帳	内川産物改所	慶応四年正月	横長半	一冊	あ二八六
生糸出役改冥加金取立帳	明治二年七月	横長半	一冊	あ二八三		
生糸出役改冥加金取立帳	明治二年七月	横長半	一冊	あ二八一		
上郷村々出役品々改冥加金取立帳(生糸、蚕種、巢殻等)	明治二年七月〜九月	横長半	一冊	あ二〇七三		
生糸改冥加金取立元帳	後町産物会所	明治二	年六月〜十二月	横長半	一冊	あ二〇三三
生糸改冥加金取立帳	上山田村産物改所	明治	二年九月〜一〇月	横長半	一冊	あ二〇三三
生糸改冥加金取立帳	羽尾村産物改所	明治二	年一〇月〜十一月	横長半	一冊	あ二〇三三

生糸改冥加金取立帳 年一〇月	若宮村産物改所	明治二	横長半	一冊 あ二三〇	生糸改冥加金取立帳 年正月	力石村産物改所	明治三	横長半	一冊 あ二一七
生糸改冥加金取立帳 二年九月〜一〇月	上五明村産物改所	明治	横長半	一冊 あ二〇元	生糸太利糸 真綿巢殻 改冥加金取立元帳 三年七月〜十二月	原産物改所	明治	横長半	一冊 あ二六四
生糸改冥加金取立帳 年正月	上山田産物改所	明治二	横長半	一冊 あ一八五	生糸改冥加金取立帳 巢殻 改冥加金取立帳 月	大塚産物改所	明治三年六	横長半	一冊 あ一八七
生糸改冥加金取立帳 年一二月二日	網掛村産物改所	明治二	横長半	一冊 あ二四七	蚕種巢殻改冥加金取立帳 治三年	福島村産物改所	明	横長半	一冊 あ二〇〇
生糸太利糸 真綿巢殻 改冥加金取立帳 二年十一月	内川産物改所	明治	横長半	一冊 あ二〇三	去年年生糸改冥加金御書上帳 代産物会所宛 明治四年四月一〇日	力石改所	（松	横長半	一冊 あ二〇四
生糸太利糸 真綿巢殻 改冥加金取立元帳 二年正月〜十一月	原産物改所	明治	横長半	一冊 あ二〇七	生糸太利糸 真綿巢殻 改税金取立元帳 月〜十二月	商法役	明治四年六	横長半	一冊 あ二六三
生糸太利糸 真綿巢殻 御冥加銀差出請印帳 明治二年八月〜十一月	原産物改所		横長半	一冊 あ二〇六	巢殻出役改冥加金上納取立帳 （生糸・蚕種出役改冥加金取立帳）	明治四年八月	横長半	一冊 あ一九一	
生糸太利糸 真綿巢殻 改冥加金取立元帳 明治二年正月〜十一月	（松代）産物会所		横長半	一冊 あ二〇六	○		横美半折	一冊 あ三〇〇	
生糸巢殻 改冥加金取立帳 巢殻 改冥加金取立帳 明治二年正月	力石村産物改所	明治二年	横長半	一冊 あ一八六	縮緬絹縞 斜子縞 改冥加金取立元帳 物会所 慶応元年七月〜一〇月	（松代）産	横長半	一冊 あ二九〇	
生糸太利糸 真綿巢殻 改冥加金取立元帳 明治三年正月〜十一月	（松代）産物会所		横長半	一冊 あ二〇六	縮緬絹縞 斜子縞 改冥加金取立元帳 応元年七月〜十二月	（松代）産物会所	慶	横長半	一冊 あ二八四
生糸上郷村々出役改冥加金取立帳 七月〜十一月	明治三年		横長半	一冊 あ二〇五	縮緬絹縞 斜子縞 改冥加金取立元帳 元年七月〜十二月	鼠宿産物会所	慶応	横長半	一冊 あ二八三
生糸川東北村々出役改冥加金取立帳 年七月〜八月	明治三		横長半	一冊 あ二〇六					

縮緬絹縞 龍紋白紬 斜子白紬 年八月～十一月	改冥加金取立元帳	力石産物所	慶応元	横長半	一冊	あ三六二
縮緬絹縞 斜子白紬 絹紬縞 応元年八月～十二月	改冥加金取立元帳	内川産物方改所	慶	横長半	一冊	あ三六〇
縮緬絹縞 龍紋白紬 斜子縞紬 所 慶応元年一〇月	改冥加金取立帳(中味白紙)	福島産物会		横長半	一冊	あ三六九
縮緬絹縞 龍紋白紬 斜子縞紬 元年一月～二月	改冥加金取立元帳	若宮産物改所	慶応	横長半	一冊	あ三八一
冥加金受取通帳(白斜子・白紬改冥加銀受取)		若宮村与惣治	慶応元年～同二年	横長半	一冊	あ三三二
縮緬絹縞 龍紋白紬 斜子縞紬 二年正月～二月	改冥加金取立帳	(松代)産物会所	慶応	横長半	一冊	あ三九五
縮緬絹縞 龍紋白紬 斜子縞紬 慶応二年三月	改冥加金取立元帳(中味白紙)	佐野改所		横長半	一冊	あ三六五
縮緬絹縞 龍紋白紬 斜子縞紬 二年二月～十一月	改冥加金取立元帳	網掛産物改所	慶応	横長半	一冊	あ三二五
縮緬絹縞 龍紋白紬 斜子縞紬 年四月	改冥加金取立帳	沓野産物改所	慶応二	横長半	一冊	あ三九四
縮緬絹縞 龍紋白紬 斜子縞紬 二年正月～二月	改冥加金取立帳	羽尾産物改所	慶応三	横長半	一冊	あ三〇三
縮緬絹縞 龍紋白紬 斜子縞紬 応三年二月～二月	改冥加金取立元帳	(松代)産物会所	慶	横長半	一冊	あ三〇六
縮緬絹縞 龍紋白紬 斜子縞紬 年二月～二月	改冥加金取立帳	若宮産物改所	慶応二	横長半	一冊	あ三〇六
縮緬絹縞 龍紋白紬 斜子縞紬 応二年正月～二月	改冥加金取立元帳	内川産物方改所	慶	横長半	一冊	あ三〇七
縮緬絹縞 龍紋白紬 斜子縞紬 二年三月～二月	改冥加金取立元帳	羽尾産物改所	慶応	横長半	一冊	あ三〇八
縮緬絹縞 龍紋白紬 斜子縞紬 二年三月～一〇月	改冥加金取立元帳	力石産物会所	慶応	横長半	一冊	あ三〇九
縮緬絹縞 龍紋白紬 斜子縞紬 年正月～八月	改冥加金取立帳	鼠宿産物会所	慶応二	横長半	一冊	あ三〇九
縮緬絹縞 龍紋白紬 斜子縞紬 三月十一月	改冥加金取立帳	網掛物改所	慶応三年	横長半	一冊	あ三〇三

[illegible]

操綿 篠巻改算加金取立元帳 芳礼 年正月	南長池産物改所 慶応三年	横長半	一冊 あ二七九
操綿 篠巻改算加金取立元帳 芳礼 年正月	吉田産物会所 慶応三年	横長半	一冊 あ二七八
操綿 篠巻改算加金取立元帳 芳礼 年正月	三輪産物会所 慶応三年	横長半	一冊 あ二七七
操綿 篠巻改算加金取立元帳 芳礼 年正月	原産物会所 慶応三年正	横長半	一冊 あ二七六
操綿 篠巻改算取立元帳 芳礼	網掛産物改所 慶応三年正月	横長半	一冊 あ二七五
操綿 篠巻改算加金取立元帳 芳礼 年正月	上山田産物改所 慶応三年	横長半	一冊 あ二七四
操綿 篠巻改算加金取立元帳 芳礼 年正月	後町産物会所 慶応三年	横長半	一冊 あ二七三
操綿 篠巻改算加金取立元帳 芳礼 年正月	三輪産物会所 慶応四年正月	横長半	一冊 あ二七二
生糸 操綿改算加金取立元帳 芳礼 年正月	後町産物会所 慶応四年	横長半	一冊 あ二八三
操綿 篠巻改算加金取立元帳 芳礼 年正月	福島産物会所 慶応四年	横長半	一冊 あ二八四
操綿 篠巻改算加金取立元帳 芳礼 年正月	原産物会所 慶応四年正	横長半	一冊 あ二八五
操綿 篠巻改算加金取立元帳 芳礼 年正月	南長池産物改所 慶応四年	横長半	一冊 あ二八六
操綿 篠巻改算加金取立元帳 芳礼 年正月	後町産物会所 明治二年	横長半	一冊 あ二八九
操綿 篠巻改算加金取立元帳 芳礼 年正月	原産物改帳 明治二年一	横長半	一冊 あ二九六
操綿 篠巻改算加金取立元帳 芳礼 年正月	三輪村産物改所 明治二年	横長半	一冊 あ二九七
当已改算加金日々取立元帳（篠巻） 改所 明治二年正月、二月	三輪村産物 改所	横長半	一冊 あ二九八
木綿改算加金取立元帳 年八月	三輪産物改所 慶応元年	横長半	一冊 あ二七七
木綿改算加金取立元帳 年正月	吉田産物会所 慶応二年	横長半	一冊 あ二七六

綿太縞 白布 改算加金取立元帳 （松代）産物会所 慶 横長半 一冊 あ二七六三	綿太縞 白布 改算加金取立元帳 吉田産物会所 慶応元 横長半 一冊 あ二七四九	綿太縞 白布 改算加金取立元帳（中味白紙） 原産物改役 慶 横長半 一冊 あ二七四八	綿太縞 白布 改算加金取立元帳 三輪産物会所 慶 横長半 一冊 あ二七五〇	綿太縞 白布 改算加金取立元帳 内川産物方改所 慶 横長半 一冊 あ二七五一	綿太縞 白布 改算加金取立元帳 新町宿産物会所 慶 横長半 一冊 あ二七五三	綿太縞 白布 改算加金取立元帳 南長池産物方改所 慶 横長半 一冊 あ二七五五	綿太縞 白布 改算加金取立元帳 鼠宿産物改所 慶 横長半 一冊 あ二七五四	綿太縞 白布 改算加金取立元帳 （松代）産物会所 慶 横長半 一冊 あ二七六三	綿太縞 白布 改算加金取立元帳（中味白紙） 若宮産物改 所 慶 横長半 一冊 あ二七四七	綿太縞 白布 改算加金取立元帳 （松代）産物会所 慶 横長半 一冊 あ二七四六	綿太縞 白布 改算加金取立元帳 三輪産物会所 慶 横長半 一冊 あ二七五五	綿太縞 白布 改算加金取立元帳 原産物改所 慶 横長半 一冊 あ二七五八	綿太縞 白布 改算加金取立元帳 網掛産物改所 慶 横長半 一冊 あ二七五七	綿太縞 白布 改算加金取立元帳 羽尾産物改所 慶 横長半 一冊 あ二七五八	綿太縞 白布 改算加金取立元帳 吉田産物会所 慶 横長半 一冊 あ二七五九	綿太縞 白布 改算加金取立元帳 矢代産物会所 慶 横長半 一冊 あ二七六〇
--	--	---	--	---	---	--	--	--	--	--	--	---	--	--	--	--

綿太縞 白布 改算加金取立元帳 佐野改所 慶応二年三 横長半 一冊 あ一七六	綿太縞 白布 改算加金取立元帳(中味白紙) (松代)産 横長半 一冊 あ一七五	綿太縞 白布 改算加金取立元帳 吉田産物会所 慶応三 横長半 一冊 あ一七六	綿太縞 白布 改算加金取立元帳 原産物改所 慶応三年 横長半 一冊 あ一七七	綿太縞 白布 改算加金取立元帳 三輪産物会所 慶応三 横長半 一冊 あ一七八	綿太縞 白布 改算加金取立元帳 新町産物会所 慶応三 横長半 一冊 あ一七九	綿太縞 白布 改算加金取立元帳 三輪村産物改所 慶応四 横長半 一冊 あ一七〇	綿太縞 白布 改算加金取立元帳 原産物改所 慶応四年 横長半 一冊 あ一七一	綿太縞 白布 改算加金取立元帳 原産物改所 明治二年 横長半 一冊 あ一七二
--	--	--	--	--	--	---	--	--

蚊帳地・細美 芋・畳糸 産物会所 慶応元年一〇月 福島 横長半 一冊 あ一九五	○ 産物冥加上納受取覚帳 安政六年 横長半 一冊 あ四九三	○ 諸冥加金請取通帳 万延元年七月〜文久元年四月 横半半折 一冊 あ二〇三	○ (天秤冥加金上納差引覚) (中買冥加金受取覚) 横長半 一通 あ四六六	○ 楮荷冥加取立帳 (松代)産物会所 慶応二年 横長半 一冊 あ一六三	○ 両京出荷物冥加金取立元帳(生糸、麻、蚕種、巢殻、杏干仁) 明治三年正月〜一月 横長半 一冊 あ二五五	○ 冥加金日々取立帳(品々鑑札冥加金、品々改算加金) (松代)産物会所 慶応元年閏五月〜十二月 横長半 一冊 あ一九五	○ 冥加金日々取立帳 (松代)産物会所 慶応元年六月 横長半 一冊 あ一九六	○ 冥加金日々取立帳(中味白紙) 産物会所 慶応元年七月 横長半 一冊 あ一九五	○ 冥加金日々取立元帳 (松代)産物会所 慶応元年七月 横長半 一冊 あ一九五	○ (冥加金日々取立元帳) 慶応元年八月〜十二月 横半半折 一冊 あ二〇四
---	---	---	---	--	--	--	---	---	--	---

冥加金取立帳 三輪産物会所 慶応元年八月〜二月	横長半	一冊 あ一九三	冥加金日々取立帳 (松代)産物会所 慶応四年正月〜二月	横長半	一冊 あ一九三
冥加金取立元帳 後町産物会所 慶応元年九月	横長半	一冊 あ一九四	冥加金日々取立帳 (松代)産物会所 明治二年	横長半	一冊 あ一九三
冥加金日々取立帳 福島産物会所 慶応元年一〇月〜十二月	横長半	一冊 あ一九六	冥加金日々取立帳 内川産物改所 明治二年正月	横長半	一冊 あ一九六
冥加金日々取立帳 吉田産物会所 慶応元年八月	横長半	一冊 あ一九七	冥加金日々取立帳 原産物改所 明治二年正月	横長半	一冊 あ一九七
冥加金日々取立元帳 内川産物方改所 慶応元年八月〜同年正月	横長半	一冊 あ一九六	冥加金日々取立帳 大塚産物改所 明治二年六月	横長半	一冊 あ一九六
冥加金日々取立元帳 南長池産物改所 慶応元年九月〜十二月	横長半	一冊 あ一九六	冥加金日々取立帳 明治三年正月〜一月	横長半	一冊 あ一九七〇
冥加金日々取立帳 原産物会所 慶応元年九月	横長半	一冊 あ一九六	冥加金日々取立帳 南長池村産物改所 明治三年六月	横長半	一冊 あ一九八〇
冥加金日々取立帳 上山田産物改所 慶応元年一月〜同年二月	横長半	一冊 あ一九三	冥加金日々取立帳 内川産物改所 明治三年二月	横長半	一冊 あ一九九
冥加金日々取立帳 (中味白紙) 佐野改所 慶応二年三月	横長半	一冊 あ一九六	冥加金日々取立帳 原産物改所 明治三年七月	横長半	一冊 あ一九一
冥加金日々取立帳 (松代)産物会所 慶応二年正月〜二月	横長半	一冊 あ一九四	税金日々取立元帳 商法役所 明治四年六月〜二月	横長半	一冊 あ一九一
冥加金日々取立帳 (松代)産物会所 慶応三年正月〜二月	横長半	一冊 あ九五	○		
冥加金日々取立帳 矢代産物会所 慶応四年七月	横長半	一冊 あ一九五	冥加金取立控帳 八田知衛 慶応二年正月〜二月	横長半折	一冊 あ三九三
冥加金日々取立帳 力石産物改所 慶応四年七月	横長半	一冊 あ一九四	冥加金取立控帳 八田子静(慎蔵) 慶応三年八月	横長半折	一冊 あ三九五
冥加金日々取立帳 南長池産物改所 慶応四年正月〜三月	横長半	一冊 あ一九三	冥加金取立控帳 八田子静 慶応三年	横長半折	一冊 あ三九四
			冥加金取立控帳 八田子静 慶応四年正月〜九月	横長半折	一冊 あ三九六

冥加金取立控帳	明治元年一〇月一二月	横半半折	一冊	あ三九七	絹類買入(下「棚卸」)
冥加金取立控帳	八田子静 明治二年正月一二月	横半半折	一冊	あ三九六	(絹・縮緬・斜子・紬等買入覚) 午(天保五年)二月一申(同七年)一二月
冥加金取立控帳	八田子静 明治三年正月一七月	横半半折	一冊	あ三〇〇	(紬・斜子・絹・太織・帯地・真綿等買入覚) 申(天保七年)一二月(同八年)
冥加金取立控帳	八田子静 明治三年八月一九月	横半半折	一冊	あ三九六	(紬・斜子・絹・白布・縮緬等買入覚)
税金取立控帳(蚕種紙改冥加金、繭中買・糸繭買鑑札冥加金)	八田子静 明治四年四月	横半半折	一冊	あ三〇五	(紬買入覚) 三月一二月
税金取立控帳	八田子静 明治四年七月一二月	横半半折	一冊	あ三〇一	
慶応元年中品々鑑札冥加并産物品改冥加金上納調帳	(松代)産物会所 慶応二年一二月改	美	一冊	あ三〇七	
慶応二寅年中品々鑑札冥加并産物品改冥加金上納調帳	(松代)産物会所 慶応三年改	美	一冊	あ三〇八	
慶応三卯年中品々鑑札冥加并産物品改冥加金上納調帳	(松代)産物会所 慶応四年改	美	一冊	あ三〇九	
明治三年年中品々鑑札冥加并産物品改冥加金上納調帳	青柳理三郎・小野善四郎・富岡善衛門・八田慎蔵・八田五十司 明治四年	半	一冊	あ一三四	
					御産物代金上納御通帳(紬代金上納、下村喜七分) 菊屋孫兵衛 産物会所宛 天保五年九月一十一月
					御産物代金上納御通帳(白紬代金上納、岩城久七分) 菊屋孫兵衛 産物会所宛 天保五年九月一十一月
					御産物代金上納御通帳 平井五兵衛 産物会所宛 天保五年一〇月
					紬方請取金通帳(紬代金請取) 天保五年五月
					紬売捌方留帳 天保五年一〇月
					卯十一月江戸出金高調 (天保二年一同五年) 午十二月迄江戸出金高調 (天保二年一同五年)
					絹絹江戸出張 巳(天保四年)五月一午(同五年)四月
					午十月七日江戸送り返相成候生絹染上ケ調帳 産物会所 (天保五年)
					御産物代金上納御通帳(紬代金上納、下村喜七分) 菊屋孫兵衛 産物会所宛 天保五年九月一十一月
					御産物代金上納御通帳(白紬代金上納、岩城久七分) 菊屋孫兵衛 産物会所宛 天保五年九月一十一月
					御産物代金上納御通帳 天保五年五月
					紬方請取金通帳(紬代金請取) 天保五年五月
					紬売捌方留帳 天保五年一〇月
					御産物代金上納御通帳 天保五年五月
					紬方請取金通帳(紬代金請取) 天保五年五月
					紬売捌方留帳 天保五年一〇月

産物御品御払代金請取并上納元帳 正月〜閏七月 天保五年	横長美 一冊 あ三三八
鼠仁左衛門見撰細足数代金御書上帳 年一〇月〜十一月 天保五年	横長美 一冊 あ三三七
御産物代金取集帳 産物会所 天保五年正月〜二月 横長美	一冊 あ三三〇
御産物品々御払書拔帳(払数量・代金) 太 午(天保五年)〜末(同六年) 三月 青柳忠 横長半	一冊 あ三三六
午年大店買入足数金高調帳 (天保五年) 横長美	一冊 あ三三〇
天保五年午年六月より為替金申来候時之留帳(細類売捌代金) 横長半	一冊 あ三八三
絹紬等送返シ関係文書	一綴 あ四七六
①(絹紬繰送返シ届書并勘定書) 未(天保六年) 正月八日出、同年四月勘定 横長半	一冊 仮一冊
②御在所江送返シ荷造帳(生絹・縮緬等) 午(天保五年) 一〇月八日出 横長半	一冊 一冊
③(午十月八日出送返シ生絹・縮緬等足数・代金勘定書) 天保六年四月 横長半	一冊 仮一冊
④(未三月七日出送返シ生絹足数・代金勘定書) 八田喜兵衛他三名、立合佐竹周蔵(関田慶左衛門奥書印形) 天保六年四月 一通	一通
⑤(生絹送返シ届書) 江府懸り 御在所懸り 中宛 天保六年) 三月七日 一通	一通
江府為替金上納調帳 天保三年五月〜同六年四月 横長半	一冊 あ四四三
辰五月より未四月迄為替金調帳并正金上納調帳 (天保三年〜同六年) 横長半	一冊 あ三三三

(三井店江送候細足数・代金寛)

横長美 仮二冊 あ四一

(江戸三井店江送候白細足数・代金寛) 孫兵衛 三月八日

横長美 仮一冊 あ三九五

店之仕訳帳(大丸屋・三井等商人ごとの売払金額)

横長半 一冊 あ二四二

善光寺信濃屋佐兵衛 荷物代金指引其外品々差引帳 久右衛門 孝三郎宛

横長半 一冊 あ三三三

小泉栄助殿江売はたし候御書上(白細売渡)

横長半 仮一冊 あ三〇

(絹細類代金寛帳)

横長半 仮一冊 あ四七

(絹細類売上金寛帳)

横長半 仮一冊 あ四三

(絹細代金寄)〈断簡〉

一丁 あ四八

(白細売捌代金書上) (三井・布袋屋・岩城・大丸等買入)

横長半 仮一冊 あ四七

(市ニ而売払絹細類代金会所江上納寛)

横長美 仮一冊 あ四七

(売掛金・為替金請取寛)

横長美 仮一冊 あ四〇

(絹細類掛売買) 孫兵衛 六月一三日

横長美 仮一冊 あ四六

(御納戸江中形縮緬掛売買)

横長美 仮一冊 あ四六

(白縮緬掛売買) 孫兵衛

横長美 仮一冊 あ三九

売掛金上納差引寛

横長美 仮一冊 あ四四

○

監物と頼母宛書状写并御尋ニ付菅沼弥惣右衛門申上書写(細直段下落一条二付)

横長美 仮一冊 あ五〇

絹細類貸下(↓「棚卸」)

菊屋孫兵衛屈書(京都江染ニ為差登度存候ニ付御拝借仕候縮緬書上) 産物会所宛 午(天保五年)六月

横長美 仮一冊 あ四三

午年中御貸下足数調帳 丸山平左衛門 (天保五年)

横長半 一冊 あ三六

買次共未春拝借之品々調帳 未(天保六年)四月改

横長美 一冊 あ三六

売買所拝借代金取立元帳 天保六年

横長半 一冊 あ三二

売買所産物拝借代金取立元帳

横長半 一冊 あ三三

(拝借品物代金上納差引寛) 午(天保六年)

横長半 仮一冊 あ四三

古細目入時拝借寛帳 天保七年一〇月

横長半 一冊 あ四三

天保八西正月と同七月迄品物拝借友吉分調帳

横長半 一冊 あ四九

(白細・絹縞等の拝借足数と代金)

細御貸下差引寛 酉(天保八年)戌(同九年)二月

横長半 仮一冊 あ四八

拝借品御買上願候御書上

横長美 仮一冊 あ四六

御産物拝借品指引御書上帳(産物代金上納差引)

横長美 一冊 あ四三

甘草・杏仁大坂取引

伊勢町菊屋伝兵衛代栄八口上書下書(御領産甘草・杏仁大坂へ差上セ之儀ニ付) 掛役所宛 嘉永元年二月

横長半 仮一冊 あ三〇

甘草・杏仁買上代金申上帳 栄八 嘉永元年九月

横長美 一冊 あ四八

申十月より 西ノ十月まで惣差引書(塩、砂糖、晒蠟、奉書等々) 大坂炭屋孫七 松代御産物付菊屋伝兵衛宛 (嘉永元年一〇月ノ同二年一〇月)	横長美 大一冊 あ三六〇
(白砂糖等仕切状) 炭屋孫七 菊屋伝兵衛・栄八宛 西(嘉永二年) 三月一六日	横長半 仮一冊 あ三六〇
大坂表江御贈答物買上調帳 嘉永二年正月ノ五月	横長半 一冊 あ三六〇
(甘草・杏仁仕入荷数取調申上帳控) 菊屋伝兵衛 産物役所宛 西(嘉永二年) 五月	横長美 仮一冊 あ三六七
甘草・杏仁仕入荷数取調申上帳 菊屋伝兵衛 産物会所宛 西(嘉永二年) 五月	横長美 一冊 あ三六九
惣差引勘定帳(代金等貸分から運賃等借分を差引) 松代紙屋町戸藤屋 嘉永二年閏四月ノ同五年三月	横長半 一冊 あ三三五
喜様積入払帳(讃州白砂糖・泉州白下地・晒蠟を船積入) 大坂炭孫 産物掛り菊屋伝兵衛宛 西(嘉永二年) 六月一二日	横長半 一冊 あ三六三
喜砂糖買目覚帳 炭屋孫七 松代様御産物付菊屋伝兵衛・藤屋戸佐久宛 西(嘉永二年) 六月一四日	横長美大 一冊 あ三六三
喜諸品仕切覚帳(晒蠟、ちり紙、生が漬、白梅、梅花油等々) 西(嘉永二年) 六月二八日	横長美大 一冊 あ三六三
甘草積登り船々送状之写(廻船問屋石塚六三郎より大坂炭屋孫七宛送状の写) 越後直江津石塚六三郎 産物付菊屋伝兵衛他二名宛 嘉永二年九月	横長美 一冊 あ三六三
大坂炭屋孫七殿積透塩勘定帳(竹原塩、赤穂塩) 嘉永二年一二月	横長美 一冊 あ三六二
甘草買請損金差引調帳(大阪江送り荷) 西(嘉永二年)	横長半 一冊 あ三六九

(大坂取引諸事覚帳) (表紙欠、虫損甚だし) 嘉永二年	横長美大 一冊 あ三三三
喜諸品仕切之覚(砂糖、金平糖等々) 炭屋孫七宛 嘉永三年三月	横長美大 一冊 あ三六三
炭屋彦五郎・炭屋孫七連署願書(大坂交易ニ付御城下菊屋伝兵衛方江元ノ役被仰付可被成下候様) 御掛り宛 嘉永三年四月	横長美 一冊 あ三六五
(甘草荷送り状) 越後直江津船問屋石塚六三郎 炭屋孫七宛 嘉永三年六月	五通 一綴 あ三六七
(甘草仕切覚帳) 友七 菊屋栄八宛 亥(嘉永三年) 六月二七日	横長半 一冊 あ三六七
甘草・杏仁大坂売上利・戻預荷物調帳 申ノ戌(嘉永元年ノ嘉永三年)	横長半 一冊 あ三五四
隠岐行諸造用覚帳(甘草荷送入用) 嘉永三年八月	横長半折 一冊 あ三六四
(大坂積出甘草荷隠岐国海上ニ而難船相成候分売払覚) (嘉永三年)	横長半 仮一冊 あ三六六
戌正月より 惣差引之覚(塩、生蠟、琉球表、奉書等々) 同十月迄 炭屋孫七 菊屋伝兵衛宛 戌(嘉永三年) 一〇月改	横長美 一冊 あ三六六
戌正月より 惣差引写(嘉永三年) 同十月迄	横長美 一冊 あ三六四
(金子備用覚帳) (甘草・砂糖・蠟等を引当に八田が借用) (断簡)	横長美半列 三帖 あ三六三
忠兵衛引請甘草代金調帳 戌(嘉永三年)	横長半 仮一冊 あ三六五
大坂表有品調帳(甘草荷等) (表紙欠) 申ノ戌(嘉永元年ノ同二年)	横長半 仮一冊 あ三六九

（甘草荷大坂表ニ而引請分實目改覧帳）〈表紙
欠〉酉（嘉永二年）同三年
横長半 一冊 あ三六五

嘉永三戌年大坂一件ニ付御入料取調覧帳
横長半 一冊 あ三七二

（大坂取引諸事覧帳）（当店の大坂表江積登荷物
寛上方仕入荷物海上積下シ書留、通船積登リ荷物
西寺尾の当店込入荷受取覧、当店の諸方江売極并ニ送
リ荷物私方付覧、当店仕入分諸方と送り入荷物付込
覧） 嘉永三年
横長美大 一冊 あ三四〇

大坂掛合書簡留（菊屋伝兵衛の大坂炭屋孫七・松兵
衛宛、菊屋伝兵衛の大坂竹屋喜六宛、角伝兵衛の菊屋
栄八宛、甘草値段下落ニ付） 菊屋伝兵衛 嘉永四年
五月
横長美 一冊 あ三七六

③印買請甘草目欠直段凡積調帳写 東店 嘉
永四年一〇月
横長半 一冊 あ三五六

諸色仕入覧帳（石灰、塩、白砂糖等々）〈虫損甚だし〉
嘉永四年
横長美 一冊 あ三一九

大坂預荷有品貸方調帳 申（亥）（嘉永元年）同四
年
横長半 一冊 あ三六六

為登荷物差引調帳（積送荷物から売残り荷物を差
引） 申（亥）（嘉永元年）同四年
横長半 一冊 あ三五五

大坂炭屋ヨリ借用金調帳 酉（亥）（嘉永二年
）同四年
横長半 一冊 あ三六六

万宝寺浦甘草畑堀取實目調帳 東店 嘉永五年
三月
横長半 一冊 あ三六三

甘草・杏仁仕切書写 亥（子）（嘉永四年）同五年
横長半 一冊 あ三六三

（甘草・杏仁代金差引覧）（大坂炭屋孫七に売り）
〈表紙欠〉
横長美 一冊 あ三六四

甘草方拝借金嘉永四亥八月調当子二月調共惣
調帳・質入荷書拔帳
横長美 二冊 あ二六〇

貸方・借方利足調勘定帳（虫損甚だし） 松代紙
屋町戸藤屋 嘉永二年閏四月）同五年三月
横長半 一冊 あ四二〇

惣勘定一紙下案 （嘉永）
横長半 一冊 あ二六五

（大坂取引諸事覧帳）〈表紙欠、虫損甚だし〉
（嘉永五年）
横長美大 一冊 あ三四一

（越州・信州産物交易ニ付取極下案）（両国産物
を越州赤倉にて交易） 加藤市郎右衛門他六名 子
（嘉永五年カ）一二月
横長美 一冊 あ二九三

（嘉永三戌年大坂表甘草出荷取調書写） 嘉
永六年五月
横長半 一冊 あ三三六

嘉永六年丑五月大坂炭屋孫七殿出向之節下シ
荷物代金差引勘定書写并高井藤戸店方右荷物
割代銀差引算用調書其外三家差引調書 幾久
屋伝兵衛代金兵衛
横長美 一冊 あ二七七

日記（甘草一件ニ付） 八田知道 嘉永六年四月一日
）二月二七日
横長半折 一冊 あ二八三

銀算日記（甘草一件ニ付） 八田知道扣 嘉永七年三
月一二月
横長半折 一冊 あ二八四

嘉永七寅正月水井様を調帳三冊御下候分写
（産物引当借入金差引）
横長半 三冊 あ二六四

菊屋伝兵衛書伏扣（預置候甘草荷之内不正之荷有
之ニ付、塩荷御送り之儀ニ付） 大坂瓦町一丁目炭屋
孫七宛 （嘉永）八月六日
横長半 一冊 あ二六八

杏仁漬人別請払帳 産物方会所 安政二年七月
横長半 一冊 あ三四三

杏仁干取調人別御書上帳 久保寺村名主惣太他
三名 産物会所宛 安政三年七月
横長半 一冊 あ三四三

杏仁調人別御書上帳〔中買へ売り渡した分の数量と売人の名前書上〕 小柴村名主治郎右衛門・組頭松藏・長百姓徳右衛門 産物会所宛 安政三年七月	横長半	一冊	あ三四
安政四丁巳年八月大坂御立入白山彦五郎殿幸兵衛罷越滞留中旅宿被仰付入用書類〔袋添〕	四冊	綴	あ三七二
①大坂増田様御取替覚帳 仁兵衛 巳〔安政四年〕八月	横半半折	一冊	
②買物帳 きく屋伝兵衛 巳〔安政四年〕八月	横半半折	一冊	
③大坂増田孝兵衛様御逗留中御上下賄其外品々御入料御勘定調帳 菊屋伝兵衛 安政四年九月	横長半	一冊	
④献立覚帳 巳〔安政四年〕九月	横長半	一冊	
杏仁之儀被 仰渡御請連印帳〔御国産杏仁大坂表において売り捌の儀二付、中買仲間等が時の利潤のみにかわることなく、国益を図るべきことを申し渡す〕 肴町勘左衛門・文五郎・名主儀左衛門、他各村願人・名主・組頭・長百姓 安政四年五月	横長美	一冊	あ三四〇
潰杏仁納元帳 万延元年十一月一七日	横長半	一冊	あ二六九二
甘草取入植付諸色調帳	横長半	一冊	あ二六五
甘草杏仁御買上代申上帳	横長美	一冊	あ二六五
〔大坂表甘草相場覚〕	横長半	一通	あ二六七
大坂江差送り品物調引合覚〔杏仁・白縮緬・真綿・蕎麦・栗等々、八田嘉助・松本嘉十郎等より送り〕	横長半	一冊	あ二六九
有品書拔帳〔塩、砂糖、その他諸品の数量と代価〕	横長半	一冊	あ二六九
〔入船荷役銭取立元帳〕〔塩、蠟、破糖、米等々〕〔前後欠〕	横長美	一冊	あ三〇元

〔大阪炭屋彦五郎・炭屋孫七方借用金高覚〕	横長半	仮一冊	あ四八五
〔甘草・杏仁荷代銀并荷造入用・駄賃・口銭覚帳〕	横長美	一冊	あ二七五
大坂入用取調帳	横長美	一冊	あ二七六
〔紙屋町藤屋戸作江白米・酒樽出荷覚〕〔断簡〕		一丁	あ四二
駄 送			
巳十月十六日上方出荷造帳〔京都出〕〔虫損甚だし〕〔天保四年〕	横長美	一冊	あ三六〇
巳十一月五日出荷造帳・巳十二月十八日出縮細荷造帳 関田慶左衛門 〔天保四年〕	横長美	二冊	あ三六五
巳十一月中百疋岩城荷造帳 関田慶左衛門 〔天保四年〕	横長美	一冊	あ三六五
御内用荷立合帳写書拔 天保五年二月〜二月 〔荷駄数・駄賃并上包莖枚数覚〕〔細荷〕 午〜未 〔天保五年〕同六年力	横長半	一冊	あ二四三六
会所出駄賃錢并御入料調帳 天保六年閏七月改 〔天保五年二月〜二月〕	横意半	一冊	あ二四三
会所出駄賃錢并御入料調帳写 天保六年閏七月改 〔荷駄数・駄賃并上包莖枚数覚〕 未〔天保六年力〕	横長半	一冊	あ三〇一
〔荷駄数・駄賃并上包莖枚数覚〕 〔断簡〕 未〔天保六年力〕	横長半	一冊	あ二四三
〔荷駄数・駄賃并上包莖枚数覚〕〔麻荷〕 午〜未 〔天保五年〕同六年力	横長美	仮一冊	あ二四三

御産物荷出口銭諸入料調帳 天保六年三月〜同七年五月 横長半 一冊 あ三三六

御産物荷出御荷物会所御入料駄賃調帳 松本嘉十郎・八田嘉助・八田辰三郎・八田喜兵衛・八田嘉右衛門 水井忠藏・山崎久右衛門・堀内与一右衛門宛 天保八年三月改(天保六年四月〜同七年五月) 横長半 一冊 あ三三九

御産物荷出口銭諸入料調帳 天保七年八月〜二月 横長半 一冊 あ三三五

御産物荷出御荷物会所御入料駄賃調帳 八田嘉助・八田辰三郎・八田喜兵衛・八田嘉右衛門 水井忠藏・山崎久右衛門・堀内与一右衛門宛 天保八年四月改(天保七年九月〜一〇月) 横長半 一冊 あ三三〇

(荷箇数并上包莛枚数覚)(金・銭荷) 荷物方産物方宛 天保七年〜同九年 横長半 一冊 あ四三〇

御内用荷駄賃并上包莛数覚(金・銭荷) 卯・辰(天保一四年〜弘化元年カ) 横長半 一冊 あ四三七

(荷箇数并駄賃覚) 巳(弘化二年カ) 横長半 一冊 あ四四六

信州松代方江州大津宿迄宿々駄賃帳 真田信濃守内八田嘉助家来松井栄八 嘉永三年九月一日〜同四年七月一三日 横長美 一冊 あ四六九

武州板橋宿方信州松代宿迄宿々駄賃帳 松代飛脚内山久助 嘉永七年六月 横長美 一冊 あ四六九

宿々駄賃品々御入料取調帳 産物方付梯兵衛酒井市治・水野清右衛門宛 慶応三年三月八日 横長半 一冊 あ三七六

(荷物駄賃・冥加金・才領手取規定) 横長美 一冊 あ三五六

(宿方金銭借用覚) 横長半 一冊 あ三九六

(荷造入用覚)(越後行、江戸行荷の荷造入用) 横長半 一冊 あ三九六

麻・木綿売買

御産物方麻木綿布御取締方仕様書 産物方世話役関新右衛門・中村市三郎 未一二月 横長美 一冊 あ三五九

産物会所木綿一件日記(町奉行・産物会所宛願書・申上書等書留) 松本源八 天保三年二月〜同一〇年十一月 美 一冊 あ四七〇

荒神町松三郎・新平・栄左衛門答書写(鍛冶町儀兵衛に実綿を売り渡したところ、同人が實目不足の旨訴え 会所より尋問されたのに答う) 弘化三年八月 美 一冊 あ四三

御領産木綿他所他国方仕入二罷越候名面帳 妻科村不堂組治兵衛 嘉永四年七月 横長美 一冊 あ三五〇

木綿一件ニ付善光寺江出役品々払帳 関田雅明 慶応元年七月 横長半折 一冊 あ二〇三

嘉十郎・周藏願書(松代産物之麻荷宿之儀二付)(水井)忠藏・春日(儀左衛門・八田)喜兵衛・八田辰三郎・八田嘉助宛 九月一四日 横長美 一冊 あ五九

蚕種・生糸売買

(蚕種商売出入一件文書書留)(蚕種商売をめぐる仲間商人と仲間外商人との出入、産物会所宛願書・返答書の書留) 安政六年七月 美 一冊 あ二六

(生糸一条書留帳)(御国内産生糸之儀、近來外国輸出不少追々及高価御締も不宜二付取締方一件) 慶応元年五月〜同二年八月 横長半 一冊 あ五七三

入 用(↓「出役」「駄送」「金銭請払取調勘定」)

天保四巳年出府一件入用帳 天保四年正月一二日〜七月二三日 横長半 一冊 あ三七四

諸入料払方留帳 天保四年正月〜二月 横長半 一冊 あ三九五

御内用中御入料并銘々内入用共差引一紙帳扣 (去々辰年閏十一月上京中御内用筋品々御入用并銘々内入用共差引) 松本嘉十郎 天保五年九月	横長美 一冊 あ一六四
諸入料払代金留帳 天保五年正月〜九月	横長半 一冊 あ三九四
染地縮緬寛 (菊屋) 孫兵衛 (天保五年カ) 七月朔日	横長美 一冊 あ四五
染仕切寛 菊屋孫兵衛 産物方会所宛 午(天保五年)	横長美 一冊 あ三九四
(染仕切寛) 菊屋孫兵衛 産物会所宛 午(天保五年) 一二月	二通 あ三九八 一綴
染縮緬仕切寛 (天保五年カ)	三通 あ四三 一綴
染縮緬仕切帳 菊屋孫兵衛 産物会所宛 午(天保五年) 一二月	横長美 一冊 あ三三
午年中産物会所諸入料元帳 (天保五年)	横長美 一冊 あ三〇三
諸色御通帳 (文庫紙・目長尺板・荷延等諸色代金請取通帳) 大黒屋徳兵衛 産物会所宛 天保六年正月〜二月	横長半折 一冊 あ四〇
産物会所諸入料御払帳 天保六年正月〜二月	横長半 一冊 あ四四
諸色御通帳 松代大黒屋徳兵衛 産物会所宛 天保七年	横長半折 一冊 あ三九
向々御払代金残調帳 産物会所 天保八年一月改(天保六年正月〜同七年十一月)	横長半 一冊 あ三〇四
※産物方江拘り候者江被下物渡元帳他 天保四年〜同一〇年	横長半 一綴 あ三六
産物方江拘候者江被下物渡元帳 天保八年一月二日	横長半 一冊 あ三三

向々買上帳	産物方会所	安政五年正月〜二月	横長半	一冊	あ三三七
向々買上帳	産物方会所	安政六年正月〜二月	横長半	一冊	あ三三八
向々買上帳	産物方会所	安政七年正月〜二月	横長半	一冊	あ三三九
品々御入料買上元帳	産物方取締役	慶応三年正月〜二月	横長半	一冊	あ三四一
盆後御払方書抜并判取帳	産物方御改所	慶応三年六月〜二月	横長半	一冊	あ三六六
去々丑年産物諸入用請取御書上帳	鼠宿村仮会所赤池七右衛門	慶応三年十一月	横長半	一冊	あ二九〇
慶応三卯年中産物掛其外御手充渡帳			横長半	一冊	あ三〇五
品々御入料買上元帳	産物方取締役	慶応四年	横長半	一冊	あ三四三
諸払勘定帳(諸買物代金決済)	慶応四年七月改(慶応四年正月〜七月)		横長半	一冊	あ三四四
明治元辰年中産物掛其外御手充渡帳		明治二年正月	横長半	一冊	あ三〇六
産物掛御手充被下渡帳		明治二年二月	横長半	一冊	あ三〇七
御買物帳	産物会所	明治二年正月〜一月	横長半	一冊	あ三四〇
暮御払方取調帳	産物方役所南沢善右衛門	明治元年二月改(明治元年七月〜二月)	横長半	一冊	あ三四五
(各村改所書役賄代并入料覚)	巳〜午(明治二年〜同三年)		横長半	仮一冊	あ四七三
盆御払方取調帳	産物役所	明治三年	横長半	一冊	あ三〇六
暮御払方取調帳	産物方役所	明治三年	横長半	一冊	あ三〇九

品々御入料御買上元帳	産物方取締役	明治三年	横長半	一冊	あ三四三
品々御入料御書上帳	産物方取締役	明治四年	横長半	一冊	あ三四四
(籾代金請取手形)	番人片桐庫之助・政吉・虎治	産物方会所宛 申二月		一通	あ四〇一
(籾代金請取手形)		申二二月		一通	あ四〇七
(諸入料払帳)			横長半	仮一冊	あ五〇〇
(諸入料払帳)			横長半	一冊	あ五四四
(諸入料払帳)			横長半	一冊	あ五三六
未年分御払方判取帳(会所諸払判取)		申正月	横長半	一冊	あ三五三
(賄諸入料帳)〈表紙欠〉			横長半	仮一冊	あ三五五
(酒買入代金覚)〈表紙欠〉			横長半	仮一冊	あ三五三
午年殘金取集書抜(品々代金)	産物会所		横長美	一冊	あ四八〇
(賄諸入料帳)			横長半	一冊	あ三三三
(品々御入料御買上帳)〈表紙欠〉			横長半	仮一冊	あ三五〇
(品々御入料御買上帳)			横長半	仮一冊	あ三三九
(品々御入料御買上帳)			横長半	仮一冊	あ三四六
(品々御入料御買上帳)〈表紙欠〉			横長半	仮一冊	あ三四七
(品々御入料御買上帳)			横長半	仮一冊	あ三四八
丑寅卯三ヶ年分産物方御雇足輕并世話役御仲間籾被下代金上納覚帳	産物会所		横長半	一冊	あ三三九
当暮被下並御定式被下物共調帳(米・金下与)			横長半	一冊	あ三三七

○普請入用

産物会所玄関一棟新規并土蔵一棟二重屋ね瓦葺ニ仕直其外所々補理役所屋ね葺仕直御普請御入料御勘定帳 天保四年六月改

横長半

一冊 あ三六五

所々普請方入用取調帳 八田氏 申(嘉永元年)七月改

横長半

一冊 あ三七六

産物方会所普請入料関係帳簿

三冊 あ二四八

①御産物方瀬戸御繕入料調帳

横長半

一冊

②大工和吉と差出候諸々調方御書上覚 荒神町大工和吉 産物方会所宛 午七月

横長半

一冊

③荒神町伝兵衛と差出候瀬戸御入料品々調方御書上帳 午七月

横長半

一冊

金銭請払

紬代金割増其外切代等元帳と引取并臨時払方留帳 卯巳(天保二年〜同四年)

横長美

一冊 あ三三〇

臨時別上納請取元帳 産物会所 天保五年一月〜同六年七月

横長美

一冊 あ三四七

金銭請払寛帳 巳午(天保四年〜同五年九)

横長半

一冊 あ三五一

金銀請払私用扣帳 八田宗洪 天保五年正月〜同六年二月

横長半

一冊 あ三三四

金銀請払帳 八田喜兵衛 天保七年二月〜同八年正月

横長半

一冊 あ三三五

金銀請払帳 八田宗洪 天保八年正月〜同一〇年五月

横長半

一冊 あ一四一

産物方金銭出納記 八田子静 明治三年三月〜八月

横長半折

一冊 あ二〇二

産物方貨幣出納記 八田子静 明治三年一月

横長半折

一冊 あ二四五

産物方貨幣出納記 八田子静 明治三年

横長半折

一冊 あ一三〇

金銭出入覚帳 会所藤五郎 亥二二月

横長半折

一冊 あ二八

金銀請払帳

横長美

一冊 あ三五四

(金銭請払帳)

横長美

一冊 あ四一八

御金請払立合帳 当番八田喜兵衛・八田辰三郎、立合佐竹周藏

横長美

一冊 あ四一六

金銭取斗控帳

横長半

一冊 あ三四三

金銭請払取調勘定

会所御入料調出元帳 天保四年二月改

横長半

あ三〇三

天保四巳年分紬方御払代金請取并上納取調申上帳 八田嘉右衛門・八田喜兵衛・八田辰三郎・八田嘉助・松本嘉十郎、立合佐竹周藏(春日儀左衛門奥書印形) 天保五年一〇月改

横長半

一冊 あ三三三

辰六月と午十二月迄御中借金差引之節午十二月中有所調帳 午(天保五年)二月改

横長半

一冊 あ三六六

(天保五)午年割合取調帳・(天保六)末年割合取調帳・(天保七)申年割合取立之分調帳(産物払の口銭の割合)

横長美

三冊 あ三三九

白紬・縮緬・斜子等惣足数口訳請払帳・(天保五)午年中生絹請払調元帳 未(天保六年)五月改

横長半

二冊 あ二七八

<p>(天保五) 午年向々御払御割合上納残請取元帳(御払御割合之内口銭引訳残金出方取調) 八田嘉右衛門他四名、立合佐竹周藏</p>	横長美	一冊 あ三三三
<p>向々御払相成出品寄出調帳 町田權之助 未(天保六年) 四月改</p>	横長半	一冊 あ三三七
<p>真綿請払調帳(真綿買入・売捌差引勘定) 未(天保六年) 五月改</p>	横長半	一冊 あ三二六
<p>真綿請払調帳 未(天保六年) 五月改</p>	横長半	一冊 あ三二六
<p>染絹請払覚帳 未(天保六年) 五月改</p>	横長半	一冊 あ三二五
<p>(天保五) 午年分真綿取調帳</p>	横長美	一冊 あ三六四
<p>江府出之品寄出覚帳 未(天保六年) 四月改</p>	横長半	一冊 あ三六六
<p>産物江戸出并向々御払御出方金調帳(白綿、斜子、紬綿等々) 天保六年改</p>	横長半	一冊 あ三〇四
<p>(天保五) 午年分御産物絹紬類御払御出方取調申上書扣 産物会所懸 未(天保六年) 六月改</p>	横長美	一冊 あ二四二
<p>未春産物江戸出之分并向々荷出之分共足数金高寄出帳 未(天保六年) 五月改</p>	横長半	一冊 あ三三三
<p>御産物代金御中借請払一紙扣 産物会所懸八田嘉右衛門他四名、立合佐竹周藏(春日儀左衛門・丸山平左衛門奥書) 天保六年五月改</p>	横長美	一冊 あ二四八
<p>(天保五) 午年中産物会所諸入料帳 産物会所懸 未(天保六年) 五月改</p>	横長半	一冊 あ三〇七
<p>(天保五) 午年諸入料一紙</p>	横長美	一冊 あ四八
<p>増田手差引調帳 未(天保六年) 四月改</p>	横長半	一冊 あ四三三
<p>(天保五) 午年分御出方金并会所諸入料差引一紙扣 産物会所懸 未(天保六年) 六月改</p>	横長美	一冊 あ二四八
<p>(天保六) 未年江戸出足数金高調帳 関田慶左衛門</p>	横長半	一冊 あ三六六
<p>(天保六) 未年中向々江御払足数金高調帳 関田慶左衛門</p>	横長半	一冊 あ三四六
<p>(天保六) 未年中産向々江御払三相成候口銭調帳 関田慶左衛門</p>	横長半	一冊 あ三四〇
<p>天保六未年産物御払割合出方調帳(向々江御払御割合之内を以口銭引訳残金御出方取調) 八田嘉右衛門他四名、立合佐竹周藏(関田慶左衛門奥書印形) 天保七年三月改</p>	横長半	一冊 あ三三八
<p>(天保六) 未年紬代金請払下調帳</p>	横長半	一冊 あ二四三
<p>(天保六) 未年中上納金調帳</p>	横長半	一冊 あ二四〇〇
<p>天保六未年中御中借金御貸利問御出方金調帳 八田嘉右衛門他四名、立合佐竹周藏(関田慶左衛門奥書印形) 天保七年三月改</p>	横長半	一冊 あ三六四
<p>天保六未年産物会所御出方金調帳(請払差引出方金勘定) 八田嘉右衛門他四名、立合佐竹周藏 天保七年三月改</p>	横長半	一冊 あ三二三
<p>(天保六) 未年産物御出方金御勘定帳扣 申(天保七年) 三月改</p>	横長美	一冊 あ二四二三
<p>御国産品物代金調一紙(京都并江州其外へ在所より差出候荷物代金から御納戸江上納高を差引勘定) 産物会所懸 申(天保七年) 九月改</p>	横長半	一冊 あ三九一
<p>(天保七) 申暮中御勘定調元帳(産物払数量・代金の取調)</p>	横長半	一冊 あ三四四
<p>天保七申年中江戸出之分寄出帳 天保八年三月改</p>	横長半	一冊 あ三六七

天保七申年中割合金取調帳(払品物割合金取調) 産物方会所 天保八年三月改	横長美	二冊 あ三七三
(天保七)申年産物御勘定帳下帳 八田嘉右衛門他四名、立合佐竹周藏(春日儀左衛門・関田慶左衛門他三名奥書) 酉(天保八年)三月改	横長半	一冊 あ三四四
天保八酉六月廿六日市同十月三日市追納代金受払差引帳(紬買上代金中借より市払分差引) 天保八年二月改	横長半	一冊 あ三四〇
天保八酉年中江戸出之分寄出帳(白紬、白斜子等の足数・代金) 関田慶左衛門 天保九年三月改	横長半	一冊 あ三七二
天保八酉年中向々江御払ニ相成候金高式分割合調帳(産物払金額と口銭の取調) 関田慶左衛門 天保九年三月改	横長半	一冊 あ三四九
天保八酉年式分御割合可相除金高調帳	横長半	一冊 あ三三二
(天保八)酉年中諸払帳 関田慶左衛門 (天保九年)三月改	横長半	一冊 あ四四五
天保八酉年中御中借御貸出利間御出方金取調帳 八田嘉右衛門他四名、立合佐竹周藏(関田慶左衛門奥書印形) 天保九年三月改	横長半	一冊 あ三六五
(天保八)酉年合銭御出方帳 関田慶左衛門 戌(天保九年)三月	横長半	一冊 あ三三三
(天保九)戌年中江戸出相成候分寄出帳(白紬・紬縞等の足数・代金) 春日儀左衛門	横長半	一冊 あ三六五
(天保九)戌年中向々御払之分寄出帳 春日儀左衛門	横長半	一冊 あ三三八
(天保九)戌年式分割合金高調帳 春日儀左衛門	横長半	一冊 あ三三七
(天保九)戌年中産物会所諸入料帳下帳	横長半	一冊 あ三〇一

(天保九)戌年産物会所諸入料帳 春日儀左衛門	横長半	一冊 あ三〇〇
天保九戌年御中借御貸出利間御出方金調帳 八田嘉右衛門他五名(春日儀左衛門奥書印形) 天保一〇年四月改	横長半	一冊 あ三八六
天保九戌年産物御出方御勘定帳扣 八田嘉右衛門他五名 天保一〇年八月改	横長美	一冊 あ三二四
水井忠藏殿方相図り為替引訳之扣 天保一一年二月改	横長半	一冊 あ四〇六
天保十亥産物会所御入料帳 春日儀左衛門子(天保一一年)三月改	横長半	一冊 あ三〇三
天保十亥年御中借御貸出利間御出方金調帳 八田嘉右衛門他五名(春日儀左衛門奥書印形) 天保一一年三月改	横長半	一冊 あ三八七
天保十亥年産物御出方金御勘定帳 八田嘉右衛門他五名 天保一一年九月改	横長半	一冊 あ三〇八
天保十亥年産物御出方金御勘定帳 八田嘉右衛門他五名(春日儀左衛門奥書印形) 天保一二年三月改	横長美	一冊 あ四一〇
(天保三)辰五月(同十)亥年迄産物品代金請取并上納仕払調帳	横長美	一冊 あ三六一
天保十一子年御中借金御貸出利間御出方金調帳 八田嘉右衛門他五名(春日儀左衛門奥書印形) 天保一二年三月改	横長半	一冊 あ三八八
天保十一子年産物御出方金御勘定帳 八田嘉右衛門他五名(春日儀左衛門他四名奥書印形) 天保一二年三月改	横長美	一冊 あ四二一

天保十二丑年御中借金御貸出利間御出方帳 八田嘉右衛門他五名（春日儀左衛門奥書印形） 天保一三年三月改	横長美	一冊 あ三六九	弘化元辰年産物御出方金御勘定帳扣 弘化二年三月改	横長美	一冊 あ三一九
天保十二丑年御産物御出方金御勘定帳 八田嘉右衛門他五名（春日儀左衛門他四名奥書印形） 天保一三年三月改	横長美	一冊 あ三四三	弘化三年年産物会所諸入料帳	横長美	一冊 あ三九八
天保十三寅年産物会所御入料帳 春日儀左衛門	横長半	一冊 あ三〇九	弘化四年年産物会所諸御入料帳 春日儀左衛門	横長半	一冊 あ三〇三
天保十三寅年御中借金御貸出利間御勘定帳 八田嘉右衛門他五名（春日儀左衛門奥書印形）	横長半	一冊 あ三六〇	産物方上納金之内相渡物差引調帳 嘉永二年正月改	横長半	一冊 あ三九三
天保十三寅年産物御出方金御勘定帳 水井忠藏・八田嘉右衛門・八田嘉兵衛・八田辰三郎・八田嘉助・堀内与一右衛門・松本嘉十郎（春日儀左衛門他奥書印形） 天保一五年二月改	横長美	一冊 あ三二五	嘉永元申六月晦日辻御払方調帳	横長半	一冊 あ三八〇
天保十四卯年産物会所諸入料帳	横長美	一冊 あ三二〇	安政三辰年産物会所諸入料帳 八田慎藏・八田嘉兵衛（高野寛之進奥書印形） 安政四年三月改	横長美	一冊 あ三一
天保十四卯年御中借金御貸出利間御出方帳 水井忠藏・八田嘉右衛門他五名（春日儀左衛門奥書印形） 天保一五年三月改	横長美	一冊 あ三二九	安政三辰年産物会所御出方金御勘定帳扣 水井忠藏・春日儀左衛門・佐竹周藏・八田慎藏・八田喜兵衛	横長美	二冊 あ三三〇
天保十四卯年産物御出方金御勘定帳下帳 天保一五年二月改	横長美	一冊 あ三七七	安政四巳年産物会所御出方金御勘定帳 安政五年三月改	横長美	一冊 あ三三三
天保十四卯年産物御出方金御勘定帳 水井忠藏・八田嘉右衛門他四名（春日儀左衛門奥書印形） 天保一五年二月改	横長美	一冊 あ三六六	安政四巳年産物会所御出方金御勘定帳 水井忠藏・春日儀左衛門・佐竹周藏・松本嘉十郎・八田慎藏・八田喜兵衛・八田本之進（高野寛之進他奥書印形） 安政五年三月改	横長美	一冊 あ三三三
弘化元辰年産物会所御入料帳	横長美	一冊 あ三三二	安政五年年産物会所御方金御勘定帳扣 水井忠藏他六名 安政六年三月改	横長美	二冊 あ三三四
弘化元辰年中御貸下金利間御出方帳 水井忠藏・八田嘉右衛門他五名（春日儀左衛門奥書印形） 弘化二年三月改	横長半	一冊 あ三六三	安政五年年産物会所御出方金御勘定帳扣 万延元年四月改	横長美	二冊 あ三三五
弘化元辰年産物御出方金御勘定帳 弘化二年三月改	横長美	一冊 あ三三八	安政六未年産物会所御入料帳 八田慎藏・八田喜兵衛・八田本之進 安政七年三月改	横長半	一冊 あ三〇四
			安政六未年産物会所御出方金御勘定帳控 水井忠藏・春日儀左衛門・佐竹周藏・八田慎藏・八田喜兵衛・八田本之進 万延元年四月改	横長美	二冊 あ三三六

産物会所御勘定帳〈袋添〉

①安政四巳年産物会所御入料帳 八田慎蔵・八田喜兵衛・八田本之進 安政五年三月改	横長半	一冊	九綴 あ 四
②安政五午年産物会所御入料帳 八田慎蔵・八田喜兵衛・八田本之進 安政六年三月改	横長半	一冊	
③安政六未年産物会所諸入料帳 八田慎蔵・八田喜兵衛・八田本之進 安政七年三月改	横長半	一冊	
④(文久元酉年産物会所諸入料帳)	横長半	一冊	仮一冊
⑤万延元申年産物会所御出方金御勘定帳 水井忠蔵・春日儀左衛門・八田慎蔵・八田喜兵衛 (関田莊助他六名奥書印形) 文久三年三月改	横長美	一冊	
⑥安政四巳年産物会所御出方金御勘定帳 水井忠蔵他五名(高野寛之進他八名奥書印形) 万延元年四月改	横長美	一冊	
⑦安政五午年産物会所御出方金御勘定帳 水井忠蔵他五名(渡辺承之助他八名奥書印形) 万延元年四月改	横長美	一冊	
⑧安政六未年産物会所御出方金御勘定帳 水井忠蔵他五名(関田莊助他八名奥書印形) 万延元年四月改	横長美	一冊	
⑨万延元申年産物会所御出方金御勘定帳 水井忠蔵他四名(関田莊助他八名奥書印形)	横長美	一冊	
万延元申年と翌酉年迄産物会所諸入料帳 八田慎蔵・八田喜兵衛 文久三年二月改	横長美	一冊	あ三三
万延元申年産物会所御出方金御勘定帳 春日儀左衛門・佐竹周蔵・八田慎蔵・八田喜兵衛 (関田莊助他奥書印形) 文久三年二月改	横長美	一冊	あ三三七

慶応元丑年中産物方上納金并御入料御勘定帳 産物会所	半	一冊	あ二〇一
慶応二寅年中産物方上納金并御入料御勘定帳 産物会所	半		あ二〇三
慶応三卯年中産物方上納金并御入料御勘定帳 産物会所 明治元年改	半	一冊	あ二〇三
明治元辰年中産物方上納金并御入料御勘定帳 産物会所 明治二年二月改	半	一冊	あ二〇四
明治二巳年中産物方上納金并御入料御勘定帳 産物会所 明治三年三月改	半	一冊	あ二〇五
明治三午年中産物方上納金并御入料御勘定帳 産物会所 明治四年改	半	一冊	あ二〇六
(産物方江戸出并向々御足数金高調帳)	横長半	一冊	あ二〇五
(絹紬類買上売払代金差引覚)	横長半	一冊	あ二〇六
両替合銭 関口慶左衛門	横長半	一冊	あ二〇四
(御中借金上納差引覚)	横長半	一通	あ四八二
(御中借・被下金上納払切差引覚)	横長美	一冊	あ四四〇
(御趣意拝借金・借入金返済差引勘定帳)	横長半	一冊	あ五二
(御中借金之内市払高差引覚)	横長美	一冊	あ四九五
(御中借金之内市払高差引覚)	横長美	一冊	あ五〇八
御中借金之内諸払差引覚	横長美	一冊	あ四七四
(冥加金請払覚)	横長美	一通	あ五三
寅年と去年迄冥加金御出方并入料凡積取調 申上書控 産物会所懸 未四月改	横長美	一冊	あ四八三

産物会所諸入料帳	横長半	一冊 あ三六九	伊左衛門分土蔵有代呂物付立帳 未(天保六年)四月改	横長半	一冊 あ三七五
辰八月 ^〆 午四月迄色々差引書 (八田) 嘉助	横長半	一冊 あ四二一	高井分土蔵有代呂物付立帳 渡辺与三 未(天保六年)四月改	横長半	一冊 あ三七〇
(金錢請払差引寛)		一通 あ四一	祖兵衛分土蔵有代呂物付立帳 渡辺与三 未(天保六年)四月改	横長半	一冊 あ三七三
産物金銀差引控帳 八田嘉助	横長美	一冊 あ四三三	有代呂物調帳 未(天保六年)五月改	横長半	一冊 あ三七二
午御出方金請払未御中借調元帳	横長美	一冊 あ三九五	藤吉分土蔵有代呂物付立帳 渡辺与三 未(天保六年)改	横長半	一冊 あ三七三
別口差引控帳	横長美	一冊 あ三六七	土蔵有代呂物付立 ^〆 出帳 相原浅之助 天保六年四月改	横長半	一冊 あ三六八
棚 卸			残有代呂物可建調帳 未(天保六年)五月改	横長半	一冊 あ三〇三
土蔵有代呂物改帳 巳(天保四年)正月二七日改	横長半	一冊 あ三六八	買次者拝借調帳 未(天保六年)四月改	横長半	一冊 あ三九四
天保二卯九月 ^〆 絹細足数金高請払残之分有所同三辰年十二月迄	横長半	一冊 あ三四〇	有代可建分売買所未春拝借之 ^〆 出帳 町田権之助 未(天保六年)四月改	横長半	一冊 あ四〇三
改帳控(会所納仕+買入仕) (江戸并京都出+向々払) 残之分有仕 天保四年二月改	横長半	一冊 あ三四七	有所可建分買次人増拝借調帳 未(天保六年)五月改	横長半	一冊 あ三九三
(天保四) 巳十二月中御貸下金有所并御礼金取立調帳	横長半	一冊 あ三四七	(未春絹細類棚卸取調下帳) (土蔵有代呂物、売買所未春拝借分、未春江戸出并向々荷出分等取調) 未(天保六年)春改	横長半	一冊 あ四七九
改 (天保三) 辰年残足数 ^〆 出帳 午(天保五年)四月 (天保四) 巳買入足数 ^〆 出帳	横長美	一冊 あ四三二	有代呂物寄出帳 天保七年二月改	横長半	一冊 あ三六九
天保四巳正月 ^〆 十二月迄絹細買入足数金高 ^〆 出調帳・御国産有代呂物足数金高 ^〆 出一紙帳 産物会所懸 天保五年四月改、同年三月改	横長半	二冊 あ三八二	天保八年産物月々御買入足数 ^〆 出寛帳	横長半	一冊 あ三三四
御貸下金有所調帳控 天保五年五月改	横長美	一冊 あ四四九	産物御払代金上納残調帳控 産物方 天保八年二月	横長半	一冊 あ三五四
天保五年正月ヨリ十二月迄絹細買入足数金高 ^〆 出調帳 天保六年三月改	横長美	一冊 あ三八〇	(口々拝借残り分・紬方残之分・江府 ^〆 為替金請取不納分調帳) 弘化二年一〇月二七日改	横長半	一冊 あ三五五
重治分土蔵有代呂物付立帳 渡辺与三 未(天保六年)四月改	横長半	一冊 あ三七四			

日記・用留

産物方会所	天保四年正月〜二月	横長半	一冊	あ二五七
産物方諸用日記	天保五年正月〜二月	横長半	一冊	あ二五八
産物方御用日記	天保六年正月〜二月	横長半	一冊	あ二五九
産物方御用日記	八田辰三郎・八田嘉助 天保五年六月〜同七年七月	横半列	一冊	あ二四九
日記	八田嘉助 天保六年正月〜六月	横長半	一冊	あ五二
(善光寺領大門町并東町桜小路之者公辺御役人江越訴一件書留)(善光寺町市場衰微入穀并諸商ひ差支難洪二付) 天保六年十一月				
産物方御用控帳(割合金取立請払控、古細御払代金上納請取)	八田嘉助 天保七年〜同八年	横美半	一冊	あ二四三
産物方会所御用日記	天保七年正月〜二月	横長半	一冊	あ二五〇
産物方会所日記	天保八年正月〜二月	横長半	一冊	あ二五一
産物方会所日記	天保九年正月〜二月	横長半	一冊	あ二五二
産物方会所御用日記	天保一〇年正月〜二月	横長半	一冊	あ二五三
産物方会所御用日記	天保一一年正月〜二月	横長半	一冊	あ二五四
産物方会所日記	天保一二年正月〜七月	横長半	一冊	あ二五五
産物方会所日記	天保一三年正月〜一〇月	横長半	一冊	あ二五六
産物方会所御用日記	天保一四年正月〜閏九月	横長半	一冊	あ二五七
産物方会所御用日記	弘化四年正月〜五月	横長半	一冊	あ二五八
産物方会所御用日記	弘化五年正月〜一〇月	横長半	一冊	あ二五九

産物方会所日記	嘉永三年正月〜四月	横長半	一冊	あ二五〇
産物方会所日記	嘉永五年正月〜八月	横長半	一冊	あ二五二
産物方会所日記	嘉永七年正月〜二月	横長半	一冊	あ二五三
産物方会所日記	安政二年正月〜二月	横長半	一冊	あ二五三
産物方会所日記	安政三年正月〜二月	横長半	一冊	あ二五三
産物方会所日記	安政四年正月〜一〇月	横長半	一冊	あ二五五
産物方会所所日記	明治二年正月〜二月	横長半	一冊	あ二五四

褒 賞

*産物方江拘り候者江被下物渡元帳・産物方江掛り候向江御褒賞伺下案	産物方江懸	横長美	一二冊	あ三九六
年〜同二〇年	天保四年	横長半	綴	

(当暮御褒賞筋奉伺候市場世話役等江被下方糸売買冥加金江取極候二付割合差積取調書上下書)	新町村市場世話役	已二二月	一通	あ四三
---	----------	------	----	-----

産物方出精二付初金頂戴之者名面帳		横長半	仮一冊	あ五三
------------------	--	-----	-----	-----

過 料

過料銭受取元帳	産物方会所	慶応元年八月	横長半	一冊	あ三八七
過料銭請取元帳	産物方会所小野唯之進・八田慎蔵・幡場潤蔵	慶応二年	横長半	一冊	あ三八八
過料銭請取元帳	産物方会所富岡良右衛門・小野唯之進・八田慎蔵・近藤権左衛門	慶応三年	横長半	一冊	あ三八九

産物助成講

産物助成講掛金請取通帳	矢代村新左衛門	慶應三年六月〜明治四年五月	横半半折	一二冊	あ三五六
-------------	---------	---------------	------	-----	------

道具帳

道具帳 産物方会所 万延元年二月晦日 横長半 一冊 あ三四四

蔵書

養蚕輯要 全(版本) 信州川中島中沢邑玉井市郎治述(松代産物会所所蔵) 文化八年正月 美 一冊 あ三四二

松代商法社

商法社貸出金

官札御借入請取通帳 水野清左衛門・酒井市治 大谷孝蔵宛 明治三年五月 横半半折 一冊 あ三四三

引換商社手形時内預請取通帳 徳嵩廣馬他四名 岡野敬一郎・岸善八宛 明治三年五月 横半半折 一綴 あ三四五

金札引替代手形時内預請取通帳 徳嵩廣馬他四名 岡野敬一郎・岸善八宛 明治三年五月 横半半折 一冊 あ三四六

金札時預請取通帳 徳嵩廣馬他四名 岡野敬一郎・岸善八宛 明治三年五月 横半半折 一冊 あ三四九

金札請取通帳 高岡良右衛門・坂本齊助 水野清右衛門他二名宛 明治三年二月 横半半折 一冊 あ三四六

(商法社御貸出金取立帳)〈表紙欠〉 明治三年 横長半 一冊 あ三五七

官札代幣御落札出納掛江御貸出元帳 (明治三年)二月 横長半 一冊 あ三七六

金札引換手形時内預請取通帳 中島渡浪他三名 岡野敬一郎宛 明治四年正月 横半半折 一冊 あ三四四

金札時預請取通帳 上村何右衛門他三名 岡野敬一郎宛 明治四年正月 横半半折 一冊 あ三四七

(商法社御貸出金受取通帳)〈表紙欠〉 (明治) 横長半 一冊 あ三五二

商法社御貸出取立帳 (明治) 横長半 一冊 あ三五五

(商法社御貸出金取立帳) (明治) 横長半 一冊 あ三五三

商法社御貸出金取立帳 横長半 一冊 あ五六一

蚕種・生糸売買

(蚕種代金仕切帳)〈表紙欠〉 (明治) 横長半 一冊 あ五八〇

壹番蚕種仕入元仕切帳 (明治) 横長半 一冊 あ五八七

二番蚕種仕入元仕切帳 (明治) 横長半 一冊 あ五八八

(生糸買入買出并代金取調帳)〈表紙欠〉 横長半 一冊 あ五七一

金錢差引書拔帳 原善三郎 大谷(幸蔵宛) 明治三年 横長半 一冊 あ五三一

金錢差挽帳 横浜弁天通のさわや惣兵衛 大黒屋(大谷)幸蔵宛 明治三年七月 横長半 一冊 あ五三〇

金銀渡シ控帳 横浜弁天通亀屋善太郎 大黒屋幸蔵宛 明治三年三月 横長半 一冊 あ五三三

金銀請取帳 大黒屋幸蔵 野沢屋惣兵衛宛 明治三年七月 横長半 一冊 あ三八二

商社手形・太政官札引換

金手形引換員数申上帳・商社為替手札引換員数申上帳・手形引換元帳 引換掛 明治三年五月 横長半 一綴 あ五七四

商社手形引換元帳 壹番 引換掛 明治三年五月一四日 横長半 一冊 あ五三三

商社手形引換元帳 貳番 引換掛 明治三年一
〇月一九日〜二月三日 横長半 一冊 あ二四〇四

金札午引渡元帳 引換掛 明治三年二月 横半半折 一冊 あ二四五六

官札引換元帳 引換掛 明治三年二月五日〜一
二月十五日 横長半 一冊 あ二四〇五

官札引換元帳 引換懸 明治三年二月一六日
〜二月二十五日 横長半 一冊 あ二四〇六

入 用

商法懸り御賄差出取調帳(夜喰(粥)賄被下人数
の取調) 午(明治三年) 閏一〇月・十一月 横長半 一二冊 綴 あ三七〇

御殿ニ而商社御寄合御入用覚 番人中 (明治三年)
閏一〇月一四日〜十一月二十五日 横長半 一冊 綴 あ四七

棚 卸

(棚卸諸取調下帳) (明治) 横長半 一冊 綴 あ二六四

(棚卸諸取調下帳) (明治) 横長半 一冊 綴 あ二六五

(棚卸諸取調下帳) (明治) 横長半 一冊 綴 あ二六六

商社引払

羽尾村商社御引払ニ付取調残金時預ケ通帳
中島渡浪他三名 吉川岩之助宛 明治三年一〇月
二三日〜十一月二三日 横半半折 綴 あ二四七

信濃国

埴科郡
松代

伊勢町八田家文書目録（その一） 解題

目次

- 一 八田家文書の伝来と目録刊行計画、関連文書
- 二 八田家の来歴と組織
- 三 糸会所・産物会所・商法社の概略
- 四 八田家文書の構造と分類配列
 - (一) 文書の構造把握と分類配列の方法論
 - (二) 文書の分類配列と概要
- 五 冊子型史料の形態表記法

一 八田家文書の伝来と目録刊行計画、関連文書

本目録に収めた文書は、信濃国埴科郡松代伊勢町（現、長野県長野市松代町松代）に宝永六年（一七〇九）に居を構えて以来今日に至っている八田家（屋号「菊屋」、松代藩御用達商人、町年寄、松代藩御勝手御用役、給人格、糸会所・産物会所・松代商法社役人）に伝来し、昭和二八年、九代御当主恭平氏より当館に譲渡されたものである。総点数は書付類を含めると数万点にのぼり、一度に目録化することは不可能であるため、逐次分冊で刊行していくことにした。今回は「その一」として、冊子型史料の大半と、伝存形態の上で冊子と密接に関連している書付型史料若干を収めた。収録点数は三、五〇〇点余である。

なお、現地の八田家には、「真田家家中系図書」八冊、佐久間象山よりの書状を卷子仕立てにしたもの数巻、八代当主彦次郎の「日記」数冊が伝存されている。また、藩主真田家の文書については、『史料館所蔵史料目録』第二八、三七、四〇集に収められ、今後も目録の刊行が継続されてゆく予定である。八田家八代当主彦次郎の先妻・後妻とともに長野県下高井郡江部の山田荘左衛門の娘であるが、この山田家文書も当館に所蔵されている。

二 八田家の来歴と組織

八田家の所在地松代は真田領（表高一〇万石）の城下町であり、町人町としては馬喰町・紙屋町・紺屋町の「上三町」、伊勢町・中町・荒神町の「本町三町」、肴町・鍛冶町の「脇二町」が存在し、「町八町」と総称された。このうち伊勢町には、枝町として木町と鏡屋町が属していた。本目録所収文書を原蔵していた八田家は伊勢町居住であるが、この家は、宝永四年（一七〇七）、木町居住の八田家より分家して創設されている。史料では本家を木町八田、分家を伊勢町八田と称しているので、ここでもそれを用いて区別することにした。

まず本家の方の来歴について簡単に述べておこう。

木町八田家の来歴

本家の祖、喜兵衛・宗重は「甲州産浪人」にして、近世初頭に松代に移住したと伝えられる。移住後、呉服商いと酒造業を営んで財を成し、藩権力に結びついて発展を遂げた。二代平三郎・綱重は「真田隼人正様御知行元々役」を（「真田家家中系図書」、八田勇氏所蔵）、三代長左衛門・庸重は町年寄役を勤め（「月番之節御用趣覚日記」、あ三五九）、四代嘉右衛門・芳重は、享保五年（一七二〇）三月二十七日、御用金才覚を仰せ付けられ、一〇人扶持を下されている（「旧書留」、あ二七三二、以下これによる）。そして同九年七月十一日には、嘉右衛門が御用筋を勤めた功により、忤長左衛門・昭重が召し出されて「刀御免、御物成勤」を仰せ付けられ、七人扶持を下されている。長左衛門は、同一年十二月二十六日に給人格に遇され、翌二年一〇月六日、郡奉行支配となり、翌々一三年八月十八日には種貸役に任ぜられた。享保一八年（一七三三）三月十一日、長左衛は亡父嘉右衛の跡式を継いで五代目当主となり、一〇人扶持を下された。さらに同月二十八日には五人扶持を増加されている。

だが、この時をピークにして、家運は以後急速に下り坂に向かった。長左衛門は家督相続後一年足らずして死去し、養子吉十郎・重薫が同一年二月二八日に跡を継ぎ、一五人扶持を下されたものの、同年七月二二日、亡父長左衛門が村々より訳なく過分の金子を取っていたことが発覚し、吉十郎は五人扶持を召し上げられ、御目見遠慮を申し付けられた。翌二〇年五月一日に彼は小幡長右衛門組へ御番入りを仰せ付けられたが、江戸出府中に出奔、ここに本家は断絶するに至った（『真田家系図書』）。その後、分家の伊勢町八田家二代嘉助が宝暦六年（一七五六）七月に資産を養子嘉右衛門に分与して本家を再興させたが、営業は順調ではなく、経済力も社会的地位も分家の方が凌いだ。

伊勢町八田家の来歴

伊勢町八田家初代孫左衛門・重以は木町八田家三代長左衛門・庸重の次男であり、宝永四年（一七〇七）六月に分家、同六年六月に伊勢町に屋敷を構えて営業を開始した。そして、この年、町年寄に就任している（以下、「御書付写」、あ二七四九他による）。松代城下では、先述の町人町八町ごとに肝煎が置かれ、これらの統轄機関として町年寄四名と検断一名が設けられていた。そして、各町よりの願書・訴状は町年寄・検断を介して町奉行に達せられ、逆に藩よりの触・達は町年寄・検断を通じて各町の肝煎に廻達された。伊勢町八田家の当主は代々町年寄役を勤めている。

分家も本家と同様、藩権力に結びつくことによって発展を遂げ、松代城下随一の御用商人にのし上がっていった。享保十一年（一七二六）四月六日、孫左衛門は御用金才覚の功績により御目見を仰せ付けられ、翌年十二月二三日には「年々御用金才覚相働候付」三〇人扶持を下されている。彼は寛保三年（一七四三）七月に病身のため町年寄役を退き、代わって弟の嘉助が同役に就任した。そして、延享四年（一七四七）五月二三日、孫左衛門が死去した後、彼の遺言により嘉助・芳茲が家督を相続し、同年七月一二日に三〇人扶持を下された。さらに寛延三年（一七五〇）十二月一日には二〇人扶持を増加されている。この加増はこれまでの御用金切捨の代わりである。嘉助は宝暦六年（一七五六）七月九日、「病身二付、年寄役遠慮願」を町奉行に出し、同年七月一五日、末期に及んで、悴鉄治郎へ家督を仰せ付けられ、五〇人扶持を下し置かれんことを藩に願い出るとともに、所持家屋敷のうち六カ所は養子嘉右衛門へ譲って本家を再興させ、残り六カ所を鉄治郎に譲ることを遺言している。

その内訳は次の通りである。

嘉右衛門へ譲り分

一、一四間三尺五寸（間口）	（軒） 一間前	紺屋町南
一、二二間一尺一寸五分	二間前	木町居
一、九間六寸	一間前	木町北
一、六間三尺二寸	一間前	東木町南
一、六間二尺五分	一間前	伊勢町西
一、一六間四尺一寸	一間前	中町西

鉄治郎へ譲り分

一、一七間一尺九寸	一間前	伊勢町居
一、六間六寸	一間前	伊勢町東
一、六間二尺五寸	一間前	東木町南
一、一四三尺四寸	一間前	鏡屋町角
一、一八間	二間前	鏡屋町西
一、七間五尺二寸	一間前	荒神町角

これによると、当時、数町にわたって家屋敷を所持していたことが知られるが、この後も利貸機能の拡大に伴って家屋敷・田畑山林の集積が進んでいる。家屋敷は店組織の拡大に充てるほか、他人に貸して家賃を取り、田畑は一部を手作りし、他は小作に出している。

ところで、伊勢町八田家三代目当主となった鉄治郎は、宝暦六年九月二〇日、三〇人扶持を下されているが、父喜助の代に加増された二〇人扶持は召し上げとなった。さらに、同家が初代孫左衛門の時から御用金上納の利足と引き換えに与えられていた田畑年貢納二九五俵免除の特権も廃された。これは宝暦期の恩田木工による藩政改革の一環としての緊縮政策の反映である。同八年（一七五八）十一月二八日、鉄治郎

は一七歳となり、元服して孫左衛門と改名した。初代の名の襲名である。実名は以親を名乗っている。同一一年三月一九日には町年寄役に就任し、寛政四年（一七九二）二月二五日に病気で退役するまで三〇年余にわたって同役を勤めた。寛政一〇年七月、「金三百兩才覚御用達」を仰せ付けられ、享和二年（二八〇二）三月二五日にも、松代藩主が公儀より本庄川の川凌御手伝普請を仰せ付けられたため、金三〇〇兩を献上している。そして同年十二月二五日には、「祖父孫左衛門節と数十年来打続心懸宜出精数度御用達候付」、給人格御勝手御用役を仰せ付けられ、郡奉行支配となった。

孫左衛門は翌享和三年正月一日歿し、同年二月九日、忤嘉右衛門・知義が家督を相続、三〇人扶持を下され、亡父同様、給人格御勝手御用役を仰せ付けられた。給人格となったため、嘉右衛門は「御町人別御除帳」となり、以後、役代伝兵衛が所持屋敷の町役を勤めることになった（「願書向日記」、あ一三三）。

嘉右衛門はすでに寛政三年（二七九一）三月二二日より町年寄役を勤めていたが、家督相続後は献金の功によりさらに多様な役職に就いている。文化三（一八〇六）、四年と御用金を申し渡され、大金を調達。同一〇年（一八一三）五月一〇日、白鳥宮普請のため一〇〇兩献金。同年一〇月七日、「年来御用向出精心懸宜相勤候付」、五人扶持加増。同一三年五月一日、産物御用掛に任命されて領内産業の奨励に当たり、同一四年三月二八日には領分川々の川船運送方御用を仰せ付けられた。そして文政七年（二八二四）八月一日、「数代御用相勤候二付」、給人永格を仰せ付けられるに至っている。この後も同年一月七日、社倉調役、同九年九月二〇日、新設の糸会所取締役、天保四年（一八三三）、糸会所を改組した産物会所の取締役と、種々の役職を歴任している。

さらに嘉右衛門は、身内の者を藩に出仕させることによって八田一族の勢力拡大を積極的に図っている。まず文化一〇年一月六日、この年一〇月七日に加増された五人扶持を養弟喜兵衛に与えて別家させ、「御奉公筋為相勤度」旨、藩に願い出て許され、喜兵衛は御勝手御用役を仰せ付けられた。さらに文政元年（一八一八）十二月一六日には、智養子辰三郎が養父嘉右衛門の功績によって召し出され、別家独立して一〇人扶持を下され、御勝手御用役に任命された。嫡子鉄之助（のち嘉助・知則と改名）も、天保五年（一八三四）三月に召し出され、御勝手御用役見習を仰せ付けられている。喜兵衛と辰三郎はもとと厄介として嘉右衛門に抱えられていた人物であり、彼らを養弟・智養子として

親族に組み込んだうえで別家させ、藩に出仕させているところに、八田一族の勢力拡大の意図が端的に示されているよう。そして嘉右衛門は、一族によって糸会所・産物会所の要職を占めることによって藩の産業統制の実権を握ったのである。

嘉右衛門はまた、松代藩家中の家との姻戚関係の形成にもきわめて積極的であった。すなわち、実の女子二人をそれぞれ小山田六郎兵衛・藤四郎、師岡七郎右衛門・伴治助の室とさせているだけでなく、増田徳左衛門次女と八田辰三郎次女を形式上養女にしたうえですぐさま大瀬登、岡野弥右衛門・伴錫之助に嫁がせている。これら嫁ぎ先の家はいずれも家禄二〇〇石である。

嘉右衛門は嘉永元年（一八四八）一二月九日に歿し、同二年二月、伴嘉助・知則が家督を相続して三〇人扶持を下されるとともに、御勝手御用本役を仰せ付けられた。彼もまた天保期より産物会所の役人を勤めている。嘉助は同四年一月二三日、四五歳の若さで死去してしまい、同五年正月一六日、伴慎蔵・知道が跡を継いだ。彼も三〇人扶持を下されて御勝手御用役に任ぜられ、産物会所の役人を勤めた。維新後、明治二年（一八六九）一二月一三日に商法掌となり、同三年閏一〇月一日、士族に列せられた。廃藩置県後は少属補助商法方に任ぜられ、同十二年（一八七九）七月より同十三年三月まで第六三国立銀行頭取を勤めている。八田家の営業の中心であった酒造業・呉服商いは大正頃まで続けられ、その後、営業内容は変化しているものの、現在に至るもこの地方の商業界に重きをなしている。

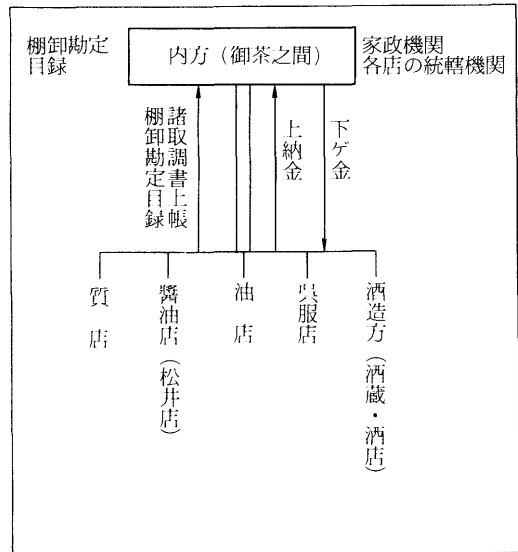
伊勢町八田家の組織と機能

次に伊勢町八田家の組織について、その概略を説明しておこう。

一般的に近世の商業は、原初形態においてはまず、生活共同の組織である「家」において家族労働を中心に若干の奉公人を雇って営まれ、営業規模の拡大に伴って「家」―生活組織と「店」―営業組織とが分化し、奉公人制度がシステム化されるという発展方向をたどっている。八田家も組織の分化がかなり進んでおり、「内方」（家）と「店方」に分化し、後者はさらに営業の種類に応じて専門分化し、いくつかの店に分かれていつている。八田家の組織は時期的にかなり変化がみられるのであるが、今回整理した史料の範囲内では未だそれを系統的に明らかにするまでに至っていないので、ここでは概略にとどめざるをえない。

時期的変化を捨象して八田家の組織の大枠を示すと、図のようになる。店によってはさらに本店と出店に分化している。営業の中心は酒造業と呉服商いであり、酒造方・呉服店は早くから設けられていたようである。酒造方は酒造部門の酒蔵と販売部門の酒店に分かれ、酒店はさ

伊勢町八田家の組織



らに本店と出店（紺屋町店）に分化していた。営業成績の上では酒造方が八田家の営業の中心であった。なお酒店は、時期によって油・味噌・醤油も扱っている。呉服店は、京都・伊勢・大坂より呉服太物類を購入して松代およびその周辺に売り捌き、逆に信州の特産物である紬・生糸・繰綿等を上方や江戸に出荷しており、本店と出店（鏡屋町店と中町店）に分かれていた。しかし、営業成績は不振であった。呉服店の「棚卸勘定目録」は文化六年（一八〇九）春改めのもの（同五年分）から天保九年（一八三三）正月改めのもの（同八年分）まで空白があるが、これは目録が残らなかったというより、他の史料もこの間見られず、内方の記録にも現れないことからして、閉店していたためと推測される。

油店の確かな開設時期は不明であるが、寛保三年（一七四三）～安永一〇年（一七八一）の間の棚卸勘定帳が残っているもので、一八世紀中期にはすでに設けられ営業を続けていたことが知られる。しかし、経営規模は酒造店や呉服店に比べるとはるかに小さく、特に安永期には極端に規模が縮小され、全く存在意義を失うに至っている。史料の残存のありようからみて、天明初年には閉

店され、天保期に再開されたようである。

一八世紀中期には味噌・醤油の醸造も行っていたが、未だ独立の店を開設するに至っておらず、鏡屋町店・紺屋町店・伊勢店などで酒や呉服類と一緒に販売されていた。しかし、一八世紀後期には中止されたようである。その後、文政初年に醤油店が中町と錦町に開設されていた。この両店は松井店とも称しているが、おそらく松井姓の者に経営を請け負わせていたためと考えられる。松井店では陶器・塗物・紙なども扱っていた。なお、文政初年に同じく松井店の名で越後赤倉にも出店しており、ここでは穀店と温泉宿を営んでいた。

質店は寛政期に開設されている。八田家は早くから利貸を行っており、この機能が拡大して独立の店を設けるに至ったものである。文化元

年(一八〇四)一月には八田家の役代伝兵衛が町年寄・検断に「私儀質商売仕罷在候処、手狭ニ而商売方迷或仕候、依之鏡屋町大治郎借屋之内江出見世仕質商売仕度」と願い出ており(「願書向日記」、あ二三三)、利貸機能の発展をうかがうことができる。ただ、質店開設後も内方でも貸付を行っており、八田家の貸付機能のすべてが質店に集中されたわけではない。しかしながら、質店と内方の貸付機能の関係については明らかではない。

以上の各店には責任者として支配役が配置され、一応独立した経営を行っていた。そして内方(家)が各店を統轄した。内方は各店に資金を援助し、逆に各店は利益の一部を内方に上納しており、この上納金および家賃・小作料収入等をもって八田の家計が賄われていた。営業を統轄するということは、とりもおさず営業にかかわる記録を管理することにはかならない。各店は別個に営業帳簿を作成していたが、一定期間ごとに営業の諸事項についての取調帳と、それに基づく「棚卸勘定目録」を作成して内方に提出し、内方ではこれを点検したうえで店方と内方とを合わせた「棚卸勘定目録」を作成して、八田家全体の資産の増減を確認した。つまり、八田家では「家」と「店」の分化が進んでいたのであるが、最終的には「店」は「家」に統轄されたのである。これは、営業が「家業」として行われていた近世においては一般的な営業システムのあり方であり、近代的な企業経営への前段階に位置する。

内方は家政機関であると同時に各店の統轄機関でもあったのであるが、そのほか未だ「店」として分離独立するに至っていない営業機能をも内包していた。そして内方の内部でも機能分化が進んでおり、それに応じて種々の掛りが設けられていた。八田家の家政・店政を統轄していたのは元方役であり、内方と各店の金銭請払を管理し、また各店からの意見は必ず元方に報告させ、元方が指図する仕組みになっていた。ただ、元方が設けられた時期は明らかではない。おそらく、元方を中心とする管理システムが確立されたのは、天保期の家政・店政改革においてではなかろうか。八田家の当主は藩に出仕していたため、名代役として役代が置かれていた。この役代は一八世紀中期にはすでに設けられていたことが確認でき、役代に就いた者は代々「伝兵衛」を名乗っている。対外的な文書のやりとりは「伝兵衛」の名でなされている例が多い。元方役が設けられる以前は、役代が家政・店政の統轄機能も果たしていたと思われる。八田家においてもおそらく当初は当主が直接統轄していたであろうが、藩の御用に従事するに伴い、その機能を重役に委任していったものと思料される。

家事担当の掛りとしては買物方・賄方等が置かれていた。また八田家は土地経営と材木売買も行っており、家屋敷を貸して家賃を取り、田畑は一部を手作りし、他は小作に出していた。土地経営は作方や小作家賃方が、材木売買は材木方が担当していた。さらに文化一四年（一八一七）に先述のごとく領分川々の川船運送方御用を仰せ付けられたために、通船方を設けて担当させている。この他にも種々の掛りが存在し、かつ時期的に変化しているのであるが、今のところその過程を具体的に明らかにするまでに至っていない。今後、史料の整理を進めていくなかで検討したい。

なお、八田家では家政・店政を営む上でかなりの奉公人を雇っていた。天明から文化期まではほぼ毎年四〇人以上、多い年には六〇人以上の奉公人を抱えていたが、文政以降減少し、天保期には一〇数人になっている。これは営業不振を示すもので、八田家は奉公人を減じ、一人に複数の役を兼帯させるなど、徹底した緊縮策でもって経営危機を乗り切っている。その一方で、糸会所・産物会所の役人として領内産業統制の実権を握り、支配的地位の確保を図ったのである。奉公人は安永・天明期までは伊勢出身者が多かったが、その後は領内村々の出身者で占められている。

八田家の屋号は「菊屋」であるが、「角喜」という通称も用いられており、史料では喜と標示されている例もある。符牒は表示の通りである。

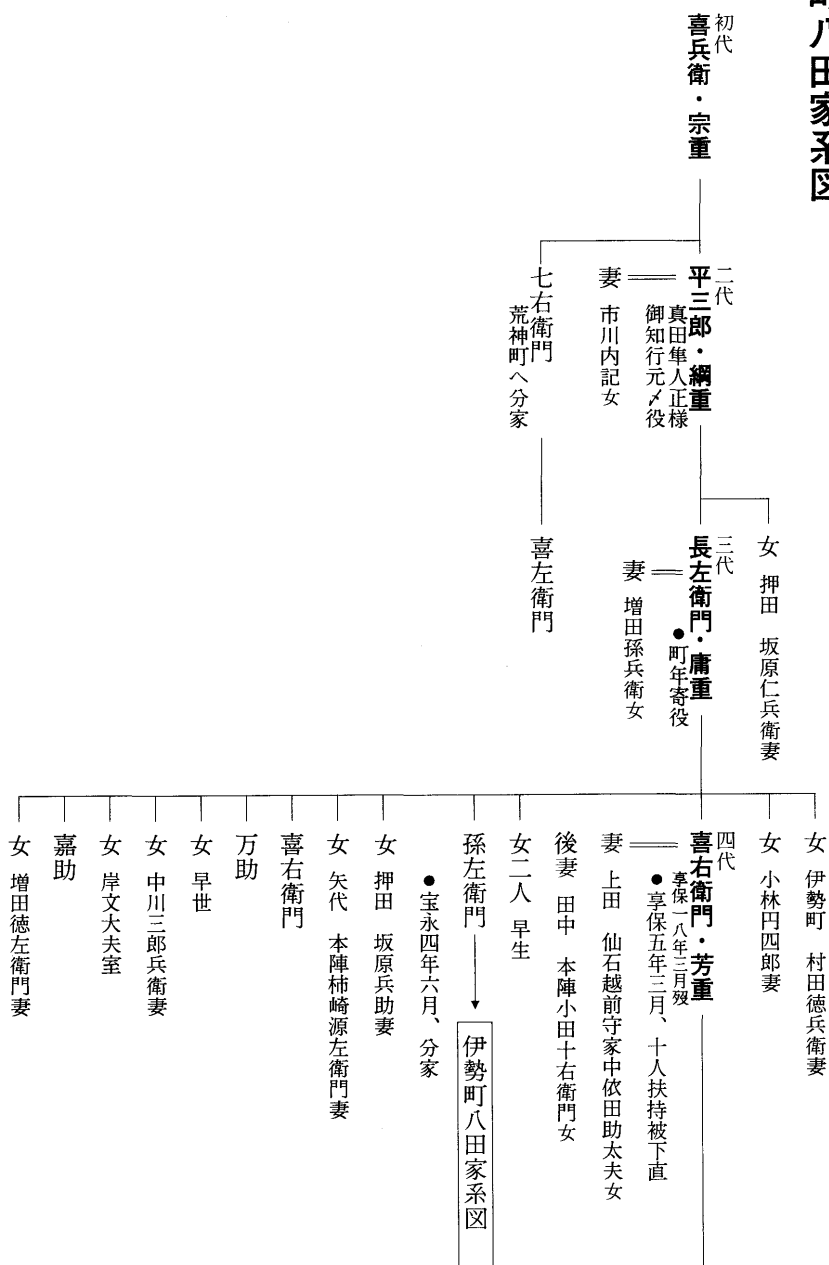
八田家の符牒

符牒	解説
信州朱城富所守尼順意春秋代此今	両分朱百拾九八七六五四三二一

〈参考文献〉

『歴史と文化のまちまつしろ』（松代信友会刊）。吉永 昭氏「城下町御用商人の経営構造」（『史学研究』一〇〇号、一九六七年）。同氏「城下町御用商人の性格について」（『近世社会経済史論集』、吉川弘文館、一九七二年）。同氏「商家奉公人の研究」（『信濃』二四卷二号、一九七二年）。

木町八田家系図



養女 伊勢町八田孫左衛門女、岡野甚十郎
室（享保十四年）

五代
長左衛門・昭重

- 享保一九年二月歿
- 享保九年七月、被召出七人扶持被下置、刀御免御物成御用勤被仰付
- 享保十一年十二月、給人格被仰付
- 享保十二年十月、御郡奉行支配二被仰付
- 享保十三年八月、種貸役被仰付
- 享保十八年三月、家督相統、十五人扶持被下置

妻 伊勢町 八田孫左衛門女

惣三郎 後三競ト改ム

- 十人扶持被召出御番入
- 後信安公御近習被仰付
- 名競ト被下置御加恩百
- 石被下置馬場屋敷被下置

室 岡野甚十郎女

女 樋口一角室

女 高田幾田室

競

室 木町 八田嘉右衛女

六代
吉十郎・重薫 押田 坂原兵助次男

- 享保十九年二月、家督相統、十五人扶持被下置
- 享保十九年七月、五人扶持被召上、御目見遠慮被仰付
- 享保二十年五月、小幡長右衛門組江御番入被仰付、後三江戸にて出奔、断絶

七代
嘉右衛門・英重 増田徳左衛門三男

- 宝暦六年、再興

妻 伊勢町 八田嘉助女

八代
喜右衛門・嘉重 伊勢町

女 八田嘉助四男

女 八田競室

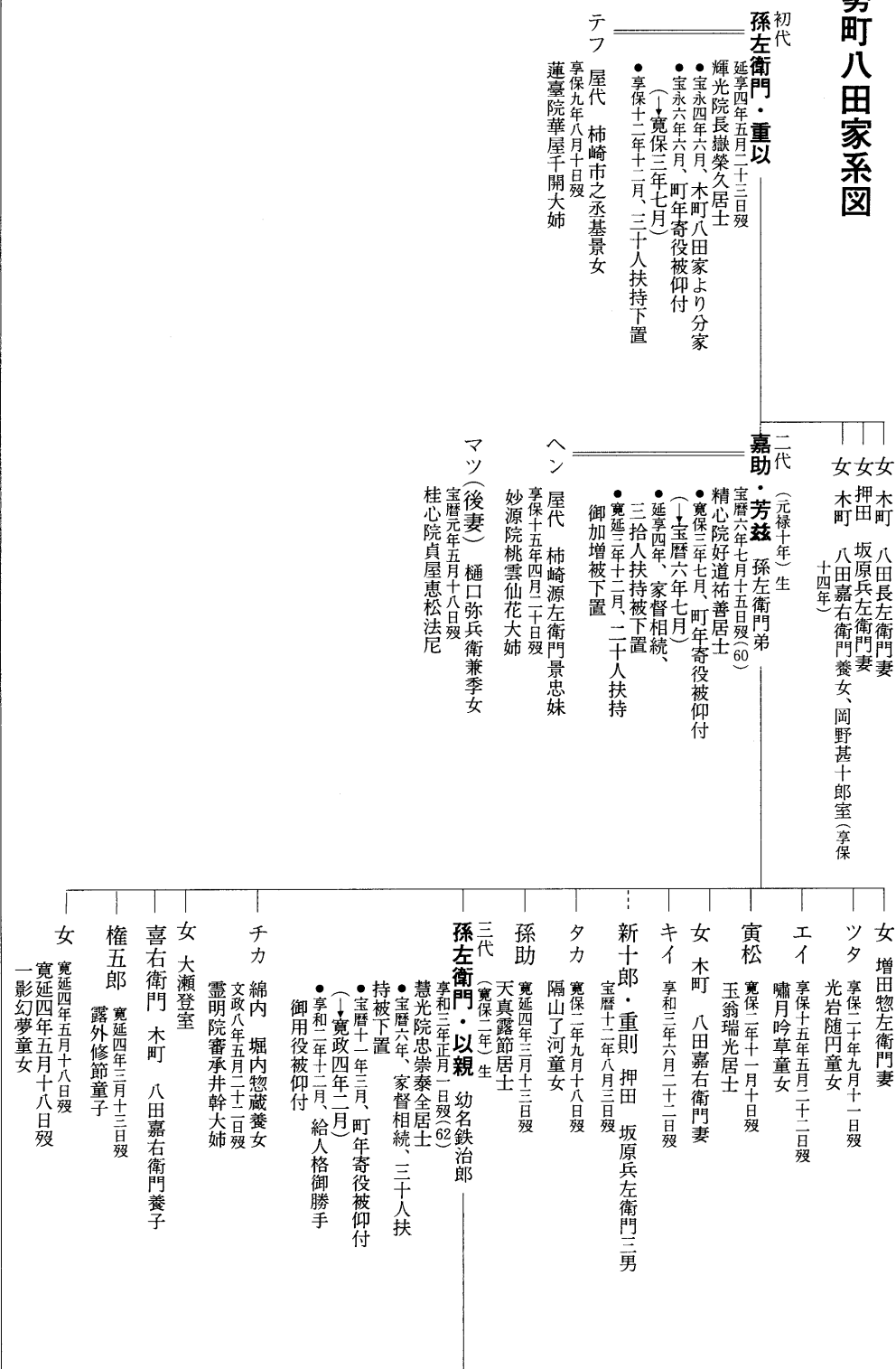
女 大瀬登養女

九代
長左衛門・實親

十代
喜兵衛

○「真田家家中系図書」（八田勇氏所蔵）、「八田家系譜調書」（国立史料館所蔵八田家文書No.二七一一）、「旧書留帳」（同前No.二七三二）により作成。史料的に判明する範囲内で記した。
○……は養子・養女を示す。

伊勢町八田家系図



常一郎 明和五年十一月二十一日歿
貞觀顯常童子

ヒサ 明和八年六月二十二日歿
智海淨展童女

武治郎 安永三年十月二十一日歿
絶紅素印童子

甚五郎 享和元年九月八日歿
忠節義孝居士

米吉 寛政六年十一月八日歿
真相宝珠童子

嘉右衛門・知義
四代（明和八年）生
嘉永元年十二月九日歿（78）
悟達院大道無關居士

寛政三年二月、町年寄役被仰付

享和三年二月、家督相続、三十人扶

持被下置、給人格御勝手御用役被仰付

文化十年十月、五人扶持御加増被下置

文化十三年五月、産物御用掛被仰付

文政七年閏八月、給人永格被仰付

文政七年十一月、社倉調役兼被仰付

文政九年九月、糸会所締懸り兼被仰付

天保四年、産物会所取締役仰付

天保八年十二月、切米納穀三十俵御加増被仰付

木町 八田喜右衛門女
天保十四年四月一日歿

獻光院宝珠貞盛大姉

喜兵衛 母方再従弟堀三右衛門家来安達

与左衛門弟ヲ文化十年七月二引取厄介

仕置、同年十一月二養弟トス

文化十年十一月、別家、五人扶持被下置、

御勝手御用役被仰付

文政七年十一月、社倉調役兼被仰付

文政九年九月、糸会所惣元方兼被仰付

天保四年、産物会所元方被仰付

女 三人

女

寛政五年十一月十七日歿
霹雲清麗童女

女

辰三郎・知嘉 厄介致置候落合辰三郎
ヲ文化七年二月二聲養子トス

文政元年十二月、被召出別家、十人扶持

被下置、御勝手御用役被仰付

文政七年十一月、社倉調役兼被仰付

文政九年九月、糸会所惣元方兼被仰付

天保四年、産物会所元方被仰付

女 小山田六郎兵衛藤四郎室（文化十二年）

女 師岡七郎右衛門梓治助室（文化十二年）

女 文化元年九月八日歿、幻明觀夢童女

養女 増田徳左衛門次女、大瀬登室（文政六年）

養女 八田辰三郎次女、岡野弥右衛門梓錫之助室（文政九年）

五代（文化四年）生

嘉助・知則 幼名鉄之助

嘉永四年十一月二十三日歿（45）

玄曠院浩然至靜居士

天保五年三月、被召出御勝手御用役見習被仰付

嘉永二年二月、家督相続、三十人扶持被下置、

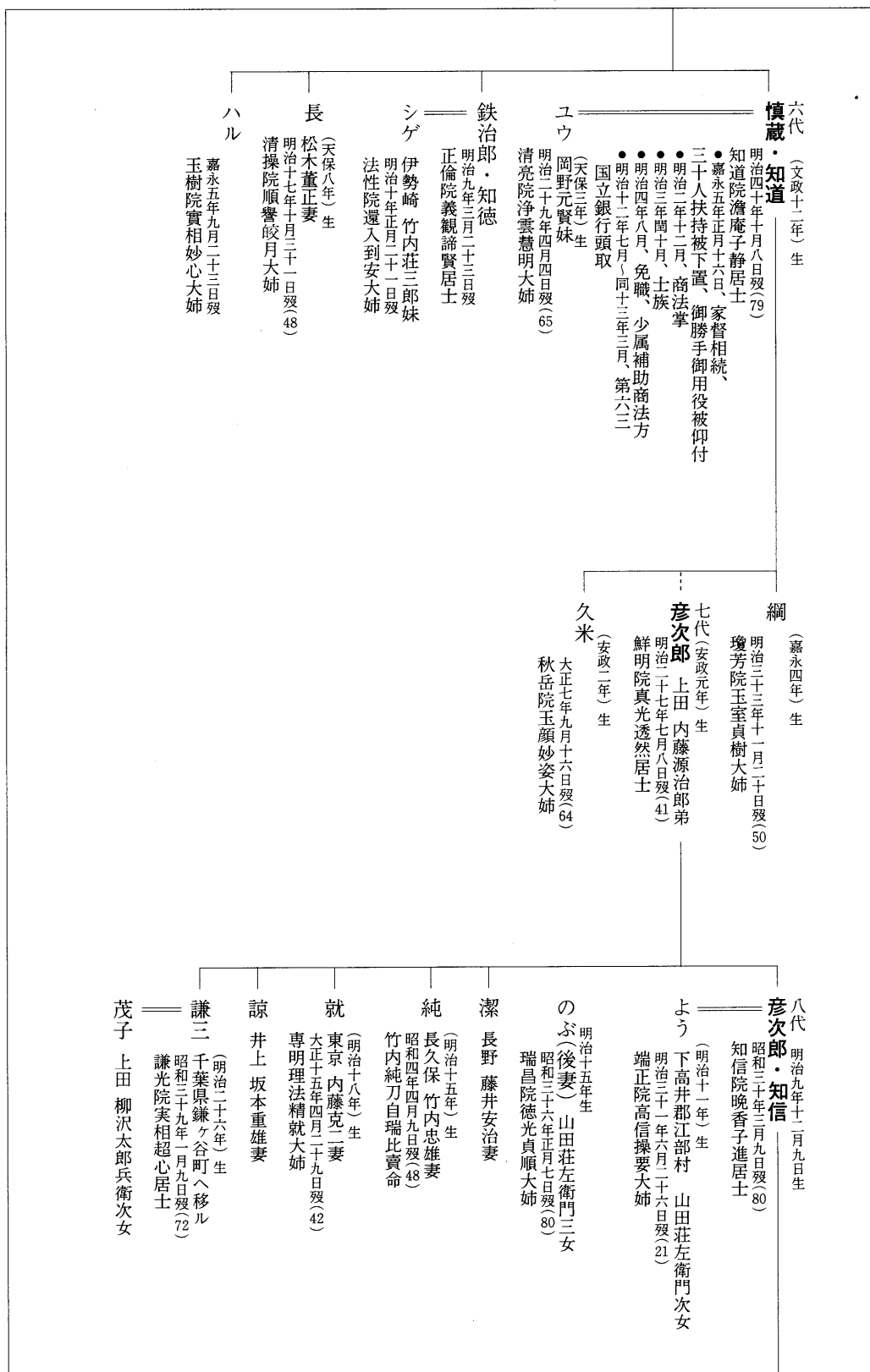
本役被仰付

ムメ 岡野弥右衛門元礼次女

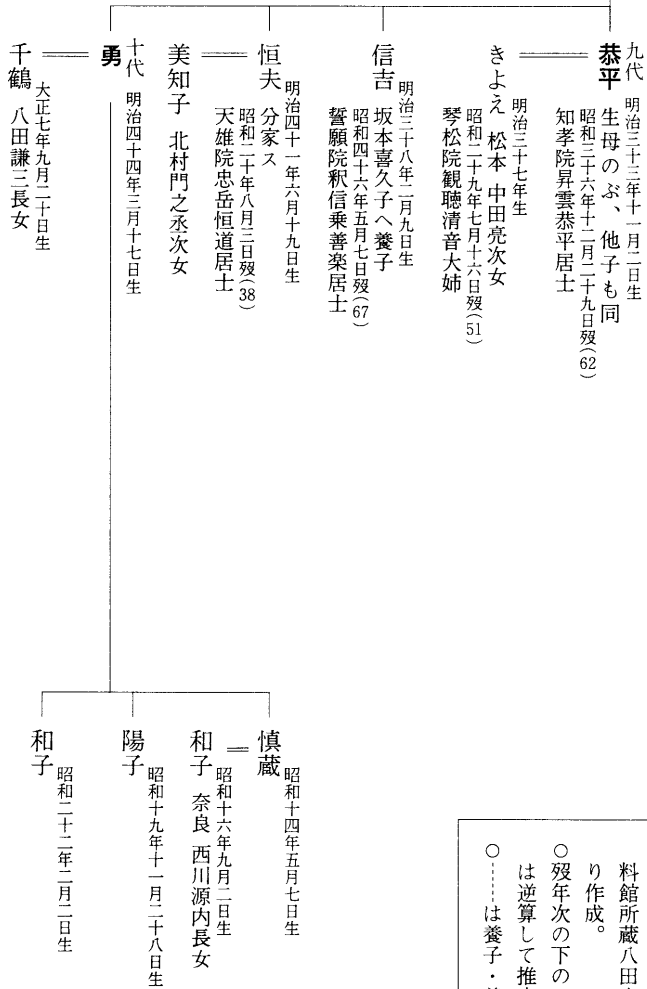
明治十四年十二月十日歿

宝勝院玉堂妙珠大姉

八田家文書目録（その一） 解題



○八田家過去帳、「真田家家中系図書」（八田勇氏所蔵）、「真田家家
 中明細書」（国立史料館所蔵真田家文書）、「御書付写帳」（国立史
 料館所蔵八田家文書No.二七四八）、および八田勇氏の御教示によ
 り作成。
 ○歿年次の下の（ ）内の数字は数えの享年。（ ）を付した生年
 は逆算して推定したもの。
 ○……は養子・養女・養弟を示す。



三 糸会所・産物会所・商法社の概略

糸会所

松代藩領では文化期以降、養蚕製糸業が発展し、この時期、松代城下には糸市が開かれ、市場世話人が任命されて市の運営に当たっていた。そして文政九年（一八二六）には、領内製糸業の育成と統制のために糸会所が設立された。取締役には文化一三年（一八一六）年より産物御用掛を勤めていた伊勢町の八田嘉右衛門（四代当主）が任命され、さらに惣元方にも一族（別家）の八田喜兵衛・同辰三郎が就任している。

糸会所は藩よりの拝借金と商人たちからの借入金・預り金を資金として運営された。会所の建物は惣元方八田喜兵衛役代惣兵衛の屋敷の一

部を家賃八両で借り受けたものであり、後の産物会所も

この建物を使用している。当時、製糸は糸元師の支配下で挽子が行っており、文政二年には糸元師仲間が結成され、翌三年から一人六匁ずつの冥加金を上納していた。

会所は、挽子の生産意欲を高めて品質を向上させるために、挽子を糸元師から独立させる方針をとり、挽子に対し糸挽道具や原料繭・資金などを貸与した。しかし、現実には糸元師に所属したままの挽子が多く、そのため会

糸会所の構成

		氏 名
取締元 元 吟 世	役方	八田喜兵衛 門衛郎 衛門
	締助	八田辰孫 五右衛門
	方	増間 喜左衛門
	人	中町 伊勢町 伊勢町 中町
	話	伊勢町 ×弥兵衛 七郎 衛門
	〃	〃 ×唯十兵衛
	〃	〃 ×仁左衛門
	〃	〃 ×吉右衛門
	〃	荒神町 ×武右衛門
	〃	馬喰町 治 助
		×印発端世話人

- 文政13年に宿年寄酒井七郎太、横谷惣右衛門の二人が糸会所吟味方兼帯を命ぜられている。中町喜代八も町名主で同じく兼帯を命ぜられている。

糸会所成立以前にも糸市が立ち、世話人が任命されているが、これについては「信濃蚕糸業史」下巻100頁参照。

- 吉永昭氏「製糸業の発展と糸会所の機能」第4表所引。

所は、文政九年にいったん廃止した糸元師冥加金を同一三年に復活し、しかも挽子人数に応じて賦課した。この措置は、糸元師が挽子を多く持つだけ冥加金負担を重くすることにより、彼らを圧迫せんとしたものである。糸元師仲間は天保四年（一八三三）には解散させられている。一方、文政一〇年、繭中買人仲間が結成され、中買人の買い取った繭は必ず繭市に出されることになり、養蚕農家↓繭中買人↓繭市という原料集荷システムの確立をみている。また同年、繭市での取引の円滑化を図るために、糸会所役人の発案で松代の伊勢町・中町・荒神町に繭

産物会所役人表（天保4）

	氏 名
産物會所取締役	八田嘉右衛門
産物會所元方	八田喜兵衛、八田辰三郎
産物會所掛り役人*	松本嘉十郎、山崎久右衛門、松本源八、奥津権右衛門、石倉源右衛門、佐竹周藏、堀内與右衛門、春日儀左衛門
紬方掛り	高井善右衛門
御用達	専助、治助、彦兵衛
會所詰	周兵衛、保平、善左衛門、源左衛門、彌十郎
松代市場世話役	吉左衛門、武左衛門、仁兵衛、保平
新町村糸締掛	音吉、源之丞
森村糸締掛	民左衛門
倉科村糸締掛	吉左衛門
笹平村糸締掛**	勇吉、孝藏
買次人	重郎治、友吉、祖兵衛、亀吉、伊左衛門、藤吉、清十
會所番人	相澤藤吾、庫之助、武左衛門、惣七

* 武士団の内から会所掛りとして任命されたものを一応書き加えた。
本来は武士身分なので別に取扱うべきかも知れないが、会所に関係の深いものとしてここにあげた。

** 糸締掛は、例えば新町村の場合は、天保9年の記録では市場世話役と改称されている。

なお、天保9年より糸買宿として惣蔵・惣八郎・覚左衛門が任命され、天保12年には町年寄増田徳左衛門・検断伴栄作が産物会所調掛に任命されている。

●吉永昭氏「紬市の構造と産物會所の機能」第3表所引。

売買所が設立されている。売買所は糸元師や挽子に買入資金を援助しているが、この資金は糸会所を通じて藩が貸し下げている。繭は糸元師・挽子のもので糸に挽かれて松代の糸市で売り捌かれた。糸市での取引に際し、糸世話人は一〇〇両につき二分ずつ冥加金を糸買人より取り立てている。天保四年には、新町村・笹平村・倉科村・森村にも新たに糸市が開設された。

産物会所

産物会所は、天保四年、糸会所の機構が拡充されて設立されたものである。取締役に八田嘉右衛門が、元方に別家の八田喜兵衛・同辰三郎が任命されているのは、糸会所の時と同じである。その後、

嘉右衛門の忤嘉助（五代当主）、さらに嘉助の忤慎蔵（六代当主）も産物会所掛りになっている。産物会所の機能は大別して領内産業の育成と統制であり、産物助成金を貸し下げる一方、鑑札制度を広く実施して冥加金を取り立てていた。また、取引をめぐる出入の調停機能も果たしていた。ただ、統制の主たる対象となった産物、統制の内実には時期によって変化がある。

初期においては、会所を通じての絹紬類の藩営専売仕法が実施されている。専売仕法実施の前提として、天保二年（一八三一）には、松代に紬市を開設し、それとともに糸師を絹紬中買人として公認して、彼らを通して紬商品を城下松代に集荷する体制を確立していた。すなわち、織元↓

絹紬中買人↓城下買次問屋という集荷システムである。会所は買次問屋に資金を支給して、紬市に集まる商品を買ひ占めさせた。買次問屋は一定の口銭をとって買占に当たっていた。この買占資金は藩が会所に貸し下げており、会所は礼金（利金）を付けて上納する仕組みになっていた。

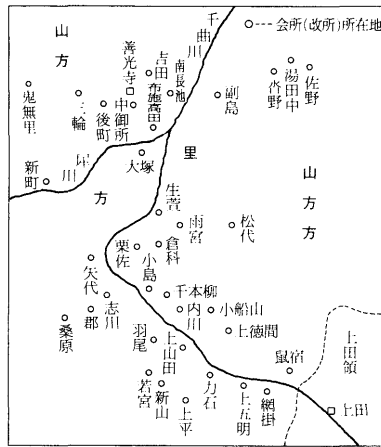
買ひ占めた商品は、松代の紬市にやって来る領内外の商人たちに売り払うほか、江戸や京都に出荷して売り捌いた。また、商人に産物を貸し下げて売り捌かせ、後で代金を上納させるという方法も採用していた。しかし、売捌成績は不振で、天保八年（一八三七）には仕法替えとなり、藩よりの資金貸下は廃止された。生産者・中買人に対する会所の統制機能は従来通り維持されたが、絹紬類の売買の実権は菊屋伝兵衛・菊屋孫兵衛・菊屋惣兵衛・柏屋藤吉・鍵屋伴之介の五人に譲渡された。彼らはいずれも松代城下の有力商人であり、菊屋伝兵衛は会所取締役八田嘉右衛門の役代、菊屋孫兵衛も八田の親戚でかる。彼らは絹紬売買所を設置して取引に当たったが、取り扱い商品は会所改印のあるものに限り、売買にあたって一〇〇両につき一兩の口銭を徴収した。藩よりの資金貸下が廃止されたため、売買所商人たちは産物の買占資金の融通先を三都の大商人に求め、彼らの買宿となっていた。天保八年に柏屋藤吉が江戸の大丸屋の買宿となり、同九年には菊屋伝兵衛も上州高崎の布袋屋善右衛門の買宿となっている。同一四年には菊屋孫兵衛が三井店の買宿となったが、弘化元年（一八四四）に自殺したため、親戚の八田が代わって三井の買宿となっている。菊屋惣兵衛は岩城升屋の買宿であった。

嘉永二年（一八四九）、同三年には松代領内の特産物であった甘草・杏仁の専売制が実施されている。これは、甘草・杏仁を藩が会所を通して統制し、それを北廻り航路で大坂商人炭屋彦五郎に送り、その代わりに炭屋は西国の塩・砂糖等を松代領内に運んで売り捌く、というものであったが、その第一義的な目的は甘草・杏仁を引当とした炭屋からの御用金の借入にあった。この政策の発案者は佐久間修理象山である。大坂取引に当たったのは、八田嘉右衛門の役代菊屋伝兵衛と紙屋町の藤屋戸佐久、御預所小布施村の塩屋太三郎であった。甘草・杏仁は越後今町に駄送され、そこから船で日本海を通って大坂の炭屋に送られ、炭屋の紹介で道修町の薬種問屋小西彦七と鍵屋彦右衛門がその売り捌きに当たっていた。だが、大坂での相場の下落により短期間で中止のやむなきに至っている。これは抜荷が他領商人のルートで相当量大坂に送られ、安く売り捌かれたためである。その後、杏仁の方は安政二年（一八五五）に薬種問屋小西彦七の要望で再び専売制が実施されたが、こ

れも結局失敗に終わっている。

幕末期には、会所組織が領内村々にまで拡大され、鑑札制度も拡大再編されて領内産業に対する統制が強化されている。慶応元年（一八六五）、領内の二三カ村に産物会所（産物改所とも称す）が設置され、それぞれ取締役・世話役各数名が任命された。これら会所役人はいずれも村落支配者層に属していた。慶応三年、明治二年（一八六九）にはさらに増設されている。他方、鑑札制度も安政期・慶応期に大幅に拡大され、松代藩領内のみならず領外にもわたって種々の職人・商人たちが網羅的に鑑札制度の網の中に組み込まれている。村々に置かれた産物会所（産物改所）は、その周辺地域での生産物を改め、改算加金を徴収した。会所の改めを受けることなく売り捌くことは厳禁されており、会所の未設置の地方には松代の産物会所の役人が出張して改めていた。統制の主たる対象となったのは、横浜開港によって輸出品として需要が飛躍的に増大していた生糸・蚕種であった。産物会所は明治四年まで存続して産物統制機能を果たしており、この機能の上に立って明治二年に松代商法社が設立されている。

産物会所（産物改所）所在地略図



産物会所（産物改所）設置村々

慶応元年設置	慶応3年設置	明治2年設置
後町 内川 三輪 南長池 新町 吉田 大塚 若宮 桑原 御所 福島 上山田 鼠宿 原 網掛 羽尾 上五明 矢代 力石 上平 湯田中 佐野 沓野	新山 郡 倉科 雨宮 布施高田 上徳間 向八幡 上船山 千本柳 生萱 栗佐 志川	中牧 小島 鬼無里

松代商法社

商法社は、巨大な外国資本に伍して交易を進めるために、領内商人資本の結集を図って設立されたものである。商法社取締役には横浜交易で財を成した羽尾村の大谷幸蔵（屋号「大黒屋」）が任命された。その下に商法掌九名、商法方二二名、商

法方補二五名によつて商法社の役人が構成されていた。吉永 昭氏の後掲論文では八田家は商法社の役人には加わっていないとされているが、「真田家家中明細書」（真田家文書）では伊勢町八田家六代当主慎蔵は明治二年二月一日に「商法掌」に任命されており、かつ商法社関係の文書も八田家に伝来しているので、八田家も商法社の運営に参加していたとみて間違いないと思われる。ただ、主体は、吉永氏の指摘されるように、松代城下の商人よりも在村の横浜交易商人たちであつたようである。松代商法社は羽尾村と松代の伊勢町に設置されていたが、後者は規模が小さく、羽尾商社が中心であつた。

商法社は領内有力者の資本を結集して横浜交易商人への資金援助を行うことを主目的としていたが、早急に商社基金を準備することは困難であつたため、巨額の商法社札を発行した。そして、商法社札を商人たちに貸し下げて領内で生産される蚕種と生糸を買い占めさせ、それを横浜に持参して売り捌き、洋銀・太政官札を獲得せんとした。だが、明治三年、横浜交易の未曾有の大暴落によつて商社運営は失敗し、商法社札の信用が失墜して生産者農民を窮地に追い込むことになった。そして、太政官札と商法社札の引換相場が二割五分引と布告されたのが引き金となつて、同年一月末、大規模な商法社反対一揆が起こり、産物会所・商法社は機能を喪失し、翌年四月に廃止されるに至つた。

〈参考文献〉

- 吉永 昭氏「製糸業の発展と糸会所の機能」『史学雑誌』六編二号、一九五九年）。
- 同氏「細市の構造と産物会所の機能」『歴史学研究』二〇四号、一九五七年）。
- 同氏「藩営専売制の基盤と構造」『日本経済史大系』4、東大出版会、一九六五年）。
- 同氏「専売制度についての一考察」『史学研究』六五号、一九五七）。
- 同氏「幕末期における専売制度の性格と機能」『歴史学研究』二二八号、一九五八年）。
- 同氏「松代商法会社の研究」『社会経済史学』二三卷三号、一九五七年）。

四 八田家文書の構造と分類配列

(一) 文書の構造把握と分類配列の方法論

いうまでもなく、一つのまとまりをもって伝来した文書群（ここでは伊勢町八田家に伝来した文書群）内部の類別は文書群の構造を史料学的に把握したうえでなされなければならない、あらかじめ分類枠組を設定して機械的にそれに押し込める方法は絶対に許されない。なお、ここでいう「分類」はあくまで目録の上での作業であり、文書の本体を分類して配架することを意味するものではない。そこで問題になるのは、どのような基準に則って文書群の構造を把握したらよいかということである。純然たる個人的文書を別にすれば、文書は大抵、何らかの組織の運営ないし職務の遂行にかかわって作成され、あるいは授受されて伝来したものであることを考えるとき、まず組織・役職別に文書群の大枠を把握することが妥当であると思われる。文書の機能は基本的には組織の運営や職務の遂行にかかわっているからである。そして、組織・役職別に大枠を把握したうえで、個々の文書のより直接的な、限定された作成ないし授受の契機、その果たした機能を考察し、さらに文書相互の関係を有機的に把握する、という方法をとるべきではなからうか。

八田家の組織は、先述したごとく、「家」と「店」が分離し、さらに「店」は営業の種類に応じて専門分化している。これはとりもなおさず、八田家の諸機能の分化・拡大に伴い、独自の組織が設けられていったことを意味する。さらに、八田家の当主は町年寄や会所の役人を勤めたほか、種々の松代藩の御用を果たしていたため、その関係の文書も大量に八田家に伝来している。したがって、八田家伝来の文書群の構造を把握するに際しては、とりわけ組織・役職に基準をおくことが要請されるのである。しかしながら、すべての文書に組織・役職が明記されているわけではなく、むしろ記されていない方が多い。しかも組織・役職自体、最初から判っているわけでもない。八田家文書の目録を作成するにあたって、最も苦労したのは、組織・役職を明らかにし、個々の文書がそのうちのどれにかかわっているかを確定することであった。組織・役職を基準に八田家文書の構成の大別を示すと、次のようになる。

- (A) 八田家の「内方」の文書。「内方」はいわゆる「家」に当たる組織であり、家政機関であるが、同時に各店を統轄する機関でもあった。

また、未だ「店」として分離独立するに至っていない営業機能をも内包していた。こうした諸機能にかかわって作成ないし授受された文書である。

(B) 八田家の「店方」の文書。一般的にいつて、「家」と「店」が未分離の段階では、帳簿においても家計に関する事柄と営業に関する事柄が混交して記されているが、「家」と「店」が分化してくると、それぞれ別個に帳簿が作成されるようになる。八田家の「店方」は営業の種類に応じて専門分化し、酒蔵方（酒蔵・酒店）・呉服店・油店・醬油店（松井店）・質店が設けられ、各名ごとに営業帳簿が作成されている。酒店は時期によって油・味噌・醬油も扱っているが、帳簿上は酒と一緒に記され、別帳仕立てにはなっていない。独自の店として分立することによって、はじめて帳簿も別個に作成されることになる。つまり、組織と帳簿はあくまで一体化しているのである。なお、各店の帳簿は、いわゆる当座帳の類いはあまり残存しておらず、一定期間ごとに営業の諸事項を取り調べた帳簿と「棚卸勘定目録」が大半を占めている。両者とも内方に提出され、永久保管された帳簿である。八田家の帳簿は紙背を使用したものが多いので、当座帳は勘定が済んで現用機能を喪失した段階で解体され、紙背を用いて新たな帳簿に仕立て直されたものと推測される。

(C) 松代町関係の文書。これは八田家の当主が代々松代町の町年寄を勤めていた関係で八田家に伝来した文書である。ただ、町年寄は四人置かれ、当番制をとっていたためか、系統的には残存していない。

(D) 年貢諸役取立の請負、御用米金の調達、御勝手御用役、産物御用掛などの松代藩の御用を八田家の当主が勤めていた関係で作成ないし授受され、八田家に伝来した文書。

(E) 糸会所・産物会所・商法社の文書。八田家の当主が糸会所・産物会所の役人を勤めていた関係で、会所の運営のために作成ないし授受された文書が大量かつ系統的に八田家に伝来している。また、八田家六代当主慎蔵が明治二年二月より同四年八月まで商法社の商法掌の役職にあつたため、商法社関係の文書も少なからず伝来している。会所・商社の職務の遂行も松代藩御用の一種ではあるが、一応独立した組織であり、かつこれらは同一系列を成しているため、その文書も同系列の文書群として独自に把握しておいた。

八田家に伝来した文書群は、組織・役職を基準に内部構造を把握すると、以上の文書群に大別できる。当館では大項目・中項目・小項目を

立てて文書の分類を行っているが、大項目は当然右の文書群に依じて立てられるべきであろう。もし組織の枠を考慮せずに類別したりすると、例えば内方・各店・会所という別個の組織で作成ないし授受された営業関係の文書を「営業」という項目で一括する、というような過ち犯すことになる。表題は同じ「金銭出入帳」・「金銭請払帳」・「入用帳」・「棚卸勘定目録」であっても、それがどの組織で作成されたものであるかが、決定的に重要な意味を持つのである。また書籍にも、八田家の家族が知的関心から購入したり筆写したりしたものだけでなく、酒蔵方や産物会所の機能にかかわって購入され、所蔵が明記されているものもある。したがって、「書籍」ないし「蔵書」といった項目を立ててすべての書籍を一括することはできないのであり、それぞれの書籍がもとと所蔵されていた組織の文書群に含めたうえで、組織内部の分類項目として「蔵書」を立てるのが妥当である。日記についても然りである。

本目録では、大項目として(A)『内方』、(B)『店方』、(C)『町方』、(D)『松代藩御用』、(E)『会所・商社』を立てた。(A)から(B)という配列順序は、近世商家の組織の発生系統、すなわち「家」↓「店」の分化独立という系統に応じたものである。そして(B)は、『酒造方(酒蔵・酒店)』、『呉服店』、『油店』、『醬油店(松井店)』、『質店』と店ごとに中項目で類別し、だいたい店の成立順に配列した。(C)を三番目に持ってきたのは、伊勢町八田家の当主は分家創立の当初から代々町年寄を勤めていたからである。(D)、(E)の配列順も年次順による。(D)は中項目で御用の内容や役職の種類に応じて類別したが、手控類は直接どれにかかわっているかを確定しえないため、「手控」という項目を独自に立てて一括した。ただ、同じ手控類でも八田家の家政にかかわるものと松代藩御用にかかわるものとを識別して、それぞれ該当箇所に入れている点に留意された。い。(E)は中項目で『糸会所』・『産物会所』・『松代商法社』に分け、設立順に配列した。

同一の組織・役職にかかわる文書であっても、個々の文書が作成ないし授受された目的、果たした機能は特定のである。したがって、同一の組織・役職の文書群内部の分類は、この特定の機能機軸として行い、そのうえで組織・役職の諸機能の体系を表現しうるように配列すべきであろう。本目録でもその点に意を用いたが、実際に作成ないし授受された文書がすべて残存しているわけではなく、また残存文書についても目録化が完了していないので、実際に立てた項目は必ずしも体系立ったものとはなっていない。小項目および小項目を立てていない中項目の内では、ほぼ年次順に文書を配列し、同種ないし一件の関連文書をまとめる必要がある場合は○印を付して小々項目を立てている。ま

た、適宜（↓）で関連文書の入っている項目を指示し、内容・機能が多岐にわたる文書については※印を付して重出した。

（二）文書の分類配列と概要

次に、各大項目ごとに分類配列の実際と所収文書の概要について簡単に述べておこう（『ゴチック』は大項目、『』は中項目、『』は小項目を示す）。

『内方（御茶之間）』

ここでは、先述した内方の諸機能・諸側面を表現しよう分類配列することを心がけた。項目名称のみをみると主題別分類のように思われるかもしれないが、決してそうではない。主題別分類だと例えば『日記・控留』の項目には内方で作成されたすべての日記・控留帳が入れられてしまうのであるが、ここではこの中項目には内方の運営全般に関するもののみを入れ、内方の諸機能の中で特定の機能を分担した掛りの作成したものは、それぞれその機能にかかわる該当項目に入れている。また、「金銭出入帳」・「金銭差引帳」と題された帳簿にも、内方の全体的な金銭出入に関するものもあれば、貸付とその返済を記したものもある。両者は表題は同じでも果たした機能は異なっているので、当然、区別すべきである。このほか、『金銭・穀物請払』の「金銭・穀物請払取調勘定」や『棚卸』の項目には、「請払勘定目録」や「棚卸勘定目録」だけでなく、勘定のために諸事項を取り調べた諸帳簿も入れている。主題別分類だと例えば「入用帳」は「入用」の項目に一括されてしまうのであるが、当座に記した「入用帳」と、勘定のために後で取り調べて作成した「入用帳」とでは作成契機・機能が異なるので、後者に重点をおいて区別したわけである。これは他の組織の同項目についても同じである。実際、「請払勘定目録」や「棚卸勘定目録」は諸取調帳と年度ごとに一括されて同じ袋に入れられたり、綴じられていたりしている場合が少なくなく、このことはすでに当時において勘定関係の帳簿は意識的に一括して管理されていたことを示している。したがって、一括されていない年度についてもできるかぎり勘定の帳簿システムを復原するよう努めた。

内方は「家」であるので、最初に『系図・親類書』と『相続』という項目を置いた。前者には、木町八田と伊勢町八田の系譜を調べて認めた略系図、親類書、大瀬家系譜書を収めている。大瀬家は真田家中であるが、伊勢町八田家と姻戚関係にあったためその系譜書が八田に伝来したのであろう。後者には、文政年間に、八田嘉右衛門が競・喜兵衛・辰三郎に居宅・抱屋敷・諸道具を譲り家名を相続させた際の調帳や

心得方申渡書、伊勢町八田家三代当主孫左衛門が本家木町八田家の名跡相続について信濃屋儀左衛門に相談した書状を収めた。

次に八田家の家政・店政の方針を示す文書および諸々の規定書を『家訓・規定』という項目を立てて一括し、a「条目・遺言」、b「勝手向取締へ家政立て直し」、c「役代調印規定」、d「帳簿口立規定」、e「店人別規定（奉公人規定）」という小項目に分類した。aには家族や主従の心得を述べた「御条目」と、伊勢町八田家四代当主嘉右衛門が文政三、六年に作成した遺言書の下書が入っている。bに入れたのは家政・店政改革に関する文書で、伊勢町八田家では明和・文政・天保に改革を行っている。c所収の「調印規定帳」は、役代印形の調印についての規定を示し、実際に調印した書付を書き留めたものである。これは規定書と書留帳という二つの機能を持っているので、『日記・控留』の「被仰付書・願書控留」の項にも重出した。dには帳簿記入の項目立てを示した「口立覚」を、eには奉公人の年季・仕着・給金等を規定した弘化四年「店人別規定帳」を入れてある。後者は内容的には「奉公人」の項目に入るが、規定帳としての機能に重きをおいて『家訓・規定』の項に一括したうえで、独自の小項目を立てて表示した次第である。

三、四番目に『人別改』、『奉公人・別家日傭』を配列した。前者に入れたのは、八田家の家族・奉公人、役代の家族の人別を改めて町奉行に書き上げたものの控帳である。宝暦六年には伊勢町八田家でなく本家の木町八田家の人別も書き上げているが、これはこの時期、前者が後者の資産・家族・奉公人を預って管理していたからである。『奉公人・別家・日傭』は小々項目でa「奉公人」、b「別家」、c「日傭」に分けた。aには「奉公人控帳」・「奉公人給金渡元帳」・「励商録」等が収めてある。「励商録」は奉公人ごとに売上金額と褒賞金を記したものである。bに入っているのは、別家が八田家に宛てた家政取続についての口上願書、別家と主家との金銭にかかわる訴訟関係の文書等である。cには日傭の月日と賃金、仕事内容を記した覚帳を入れてある。

次に『土地経営』、『材木方』、『通船方』、『金融』、『出張』、『金銭・穀物請払』、『賄』、『棚卸』、『日記・控留』という項目を立てて、内方の営業機能や家計・家事にかかわる文書を分類配列した。『土地経営』はa「持地」、b「持地・抱屋敷絵図」、c「抱屋敷肝煎用留」、d「買取・質取」、e「売渡」、f「田畑見廻」、g「家賃・小作年貢買取立」、h「小作年貢米滞納出入」、i「作方日記」、j「年貢・諸役上納」、k「米・桑売渡」に分けた。

①には八田家所持の田畑・屋敷を管理するために役代が作成した帳簿を最初に収めているが、これには屋敷の所在地・間口・借家人・家賃、田畑の所在地・石高・小作入・小作入上籾等が記されており、所持屋敷・田畑の把握・管理と同時に家賃・小作料取り立ての台帳として機能していたことが知られる。このほか、各村々の水帳から八田名請分を書き抜いた帳簿、古川新田が御用地に引き上げられた際に作成された帳簿、屋敷の運用に関する奉公人の願書や日記などをそれぞれ小々項目で区分し、まとめて入れている。八田家では抱屋敷に肝煎を置いており、その肝煎が作成した「御用向書留」と「御触写」を③にまとめた。④には「田畑山買入覚帳」のほか、買取・質取に伴って八田家に伝来した他村の土地帳簿が入れている。⑤は一点を除いて他はすべて岩村田領の農民と八田家との出入に関するもので、この一件にかかわる出帳日記は『出張』の項目に入れず、一件の関連文書としてこの項に収めた。⑥所収は八田家所持地の年貢諸役の調帳および上納覚帳である。

『材木方』・『通船方』は材木方・通船方という掛りにかかわるものをまとめている。『金融』は①「借入金・預り金」、②「貸付金」、③「他家借財片付」、④「無尽」に分けた。⑤所収は八田家が他家の借財整理にかかわったために作成ないし授受された文書である。『出張』所収は八田家の用向で奉公人らが出帳した際の「道中日記」・「道中入用帳」等で、寺社参詣の際のそれとは性格を異にしているので独自の項目を立ててまとめた。なお、出帳の際の日記でも、出入一件にかかわる日記は他の関連文書とともに一件文書としてまとめていること、先述した通りである。

『金銭・穀物請払』は①「店方江下ケ金・上納金」、②「金銭請取」、③「暮方見積」、④「入用」、⑤「買物方日記」、⑥「金銭出入帳(金銭請払帳)」、⑦「金銭差引帳」、⑧「穀物・諸品請払」、⑨「金銭穀物請払取調勘定」に分け、家計運営のメカニズムを表示できるよう考慮した。内方の収入には各店よりの上納金のほか家賃・小作料・貸付利金等があるが、これらの請取は一括して管理され(元方役が設けられて以後は元方役が担当)、しかるのちに当主への上納金(御手元金)、家族の小遣い、各店への下ケ金、買物入用、諸儀礼の入用、奉公人給金などが支出された。日用品の購入は買物方が一括して行い、そのうえで賄方や各店、家族・奉公人に支給された。穀物は買い入れのほか手作り米・扶持米があり、これも一括して管理され、賄方や各店に支給されている。そして、内方では毎年、正月か二月に前年の金銭や穀物の請払を取り調べ、収支決算帳である「金銭請払勘定目録」を作成している。

『賄』は食膳に関するものをまとめるために独自に立てた項目である。内部は①「賄穀物請払」、②「入用」、③「勝手方日記・控帳」、④「御膳日記」に分けている。①は賄用の穀物の請払帳を入れている。④は日々の献立を記した日記である。『棚卸』では、今回収録分では「棚卸勘定目録」は一点のみであるが、寛政四く文化十一年の各年次の棚卸勘定を書き留めた帳簿が存する。年次ごとに目録を作成したうえで、通年で資産の増減を確認しようという一帳に書き留めたものであろう。初丁には三代当主孫左衛門が遺言した金銭取り扱いについての条々が記されており、帳簿形態も厚手の紙を用いた堅牢な列帳で、重要帳簿であったことが知られる。そのほか棚卸勘定のための下調帳も入れている。内方では、各店より提出された「棚卸勘定目録」と内方の取調帳を基にして内方・店方全体の棚卸勘定を行い、八田家の全資産を算出していた。『日記・控留』は①「被仰付書・願書控留」、②「状留」、③「茶之間日記・元方日記・役代日記他」、④「万書留帳」、⑤「手控」の小項目を立てて分類配列した。①には八田家が役儀・格式を仰せ付けられたり、扶持を下された際の書付、八田が差し出した願書・口上書等を書き留めた帳簿を収めている。これらは八田家と藩との関係、八田家の格式や来歴を示す重要帳簿として大切に保管されたようである。②所収は八田家がやりとりした書状や為替・証文等の書留帳である。③には八田家の家政・店政全般にかかわる日記を収め、個別の機能を分担した掛りの日記は、先述の通りその機能にかかわる該当項目に入れている。④所収は文字通り種々の事柄を記録した帳簿である。以上の諸帳簿は八田家の諸活動を記録して残すことを目的としたものであり、八田家の格式・歴史、および営業や財産所有上の証拠を示すものとして機能していた。⑤には備忘のための雑記帳、武家家族に関する服忌令の写、真田家親族の法名書等を収めた。後者は、八田家当主が武士身分を獲得していた関係で、その儀礼の遂行のために写し取ったものと思われる。そのほか武家に対する儉約令を筆写したものも見られる。

次に冠婚葬祭や贈答関係の文書を『儀礼』という項目でまとめ、しかるうえで①「為知帳」、②「赤飯配」、③「献上・進物」、④「来訪人名面帳」、⑤「到来物」、⑥「贈答覚帳」、⑦「婚姻・離縁」、⑧「葬儀・法事」、⑨「大福帳（諸儀礼覚帳）」、⑩「年中行事帳」、⑪「宴会」という小項目を立てて分類配列した。①の「為知帳」には、吉凶の際の諸方への為知状の案詞を認めた帳簿と、実際に通知した先の名前を記したものがある。為知状の書式は武士・町人など通知先の身分・格式によって異なっていた。②所収は祝儀の際に内祝として赤飯を配った覚帳である。③には二点収めているが、うち一点は宝暦く明治初年の長期間にわたって書き継がれた婚礼・法事・贈答などの諸儀礼の記録であり、

大型の横長帳でかなり厚い帳簿である。「大福帳」と名づけていることからしても重要帳簿であったことが知られる。

以下、『旅』、『寺社奉加』、『家財』、『蔵書』、『見聞・風説書』、『諸芸』、『学校』、『証書』、『その他』を配例した。『旅』には八田家の家族が寺社参詣や入湯に出かけた際の「紀行」・「入用帳」等を収めている。『家財』所収は武器・衣類・諸道具・書画等の八田家の所蔵品を管理するために作成した目録が中心で、刀の注文書の下案もここに含めた。質店が刀の仕立代を立て替えている場合もあるが、その関係の文書は『質店』の「取替（立替）」の項に入れ、『家財』の「武器」の項に（↓「質店」「取替」と指示した。『学校』所収は明治以降のもので、教育会議章程や学校の教則、試験問題等である。『証書』には、明治八年の生糸改会社の証記簿、同一三年の「横浜正金銀行創立証書」各一点を収めている。『その他』は性格を確定しえなかった文書若干をまとめるためにやむなく立てた項目である。

『店方』

中項目は先述したように各店の名称を採って立て、店別に類別した。各店の内では、既述のごとく店の帳簿には当座帳があまり残っていないので、各店の帳簿体系を表示できるように分類配列することは不可能であり、残存文書のあり方に応じて小項目を立てざるをえなかった。

『酒蔵方（酒蔵・酒店）』では①「酒株・酒造高書上」、②「酒造鑑札」、③「内方と拝借米金・上納金」、④「酒造入用」、⑤「酒蔵と酒店出酒」、⑥「売渡」、⑦「金銀出入帳」、⑧「取替（立替）」、⑨「棚卸」、⑩「酒蔵・酒道具貸付」、⑪「諸控留」、⑫「蔵書」という小項目を立てて分類配列した。

①には松代町と郡中の酒造人の酒株数と酒造米高の書上帳控を収めている。八田が城下町酒造人惣代を務めていた関係で伝来したものと思われる。②には明治初年の酒造鑑札に関する規則や願書の写を収めてある。③所収は「棚卸勘定目録」とそのための種々の取調帳である。元文より嘉永まで連続して残っている。天保一二年までは酒蔵と酒店を合わせて棚卸をしていたが、翌一三年、両者を混じたのでは「調方不行届」になるとして別個に棚卸することに改められ、以後、取調帳も勘定目録も別帳仕立てとなっている。

『呉服店』は①「売買」、②「御会符荷物」、③「棚卸」、④「控留」に分けた。八田家は藩の公用荷物を扱っていたため、商品輸送に御会符荷物の指定を受け、公定料金で輸送できる特権を有していた。③は御会符荷物の輸送に関する文書をまとめるために立てた項目である。『油店』

の文書はほとんど「棚卸下調帳」と「棚卸勘定目録」で、他に油店が元方から金銭を拝借したり、元方へ上納したりした際に用いられた「金銭請取通帳」、油店の収支を記録した「金銭請払御書上帳」が各一点存するのみである。したがって、「内方」は拝借金・上納金、「金銭請払」、「棚卸」の三項目を立てて収めた。『醬油店（松井店）』はa「内方」は拝借金・上納金、b「仕入」、c「売渡」、d「売買差引勘定」、e「入用」、f「取替（立替）」、g「棚卸」、h「道具調」、i「越後赤倉松井店」に分けた。一八世紀中期にすでに醬油・味噌の醸造を行っていたが、既述のようにその時期にはまだ独立の店を開設するに至っておらず、他の販売店で売り捌いていた。したがってこの期には「棚卸勘定目録」は作られておらず、売買差引勘定のみを行っていた。dにその「味噌醬油算用帳」を入れている。文政初年に独自の店が開設されて以後、「棚卸勘定目録」が作成されるようになっていく。iには越後赤倉の穀店・温泉宿に関する文書をまとめて収めている。『質店』では「内方」は拝借金・上納金、「入用」、「取替（立替）」、「金銭差引帳」、「棚卸」、「控留」の小項目を立てて分類配列した。なお、どの店の「棚卸勘定目録」が確定しえないものが八点残ってしまったので、やむなく『その他（店不明分）』という中項目を立ててまとめた。

『町方』

町方関係の文書は点数が少なく系統的に残っていないので、残存文書の内容に応じて『控留』・『諸役・貢税』・『殿様御用』・『救災』・『講』の中項目を立てて分類配列した。

『控留』には、高札や条目の写、町年寄の御用留帳、種々の控留を「高札・条目写控」・「町年寄用留」の小項目を立てて収めている。なかでは町年寄の御用留帳が貞享三年から文化一二年までほぼ連続して残っている。初期のものは本家の木町八田家の三代当主長左衛門が町年寄を勤めていた時のものである。

『諸役・貢税』は種々の役儀や貢税に関する文書をまとめるために立てた項目である。種類に応じて「家族・町役書上」・「伝馬役」・「巡見本陣役」・「明治期貢税取調」の小項目を立てて分類した。『殿様御用』では、殿様の帰城の際の出迎え、殿様が湧泉亭・恣水園での野掛に御入りの節の接待に関する文書を、それぞれ「殿様帰城出迎」・「殿様御入接待」の小項目を立てて収めている。

『救災』はa「飢饉」、b「火災・水害」に分けた。aは天保飢饉時の救済策に関する文書で、比較的点数も多い。八田家が救米調達で中心的役割を果たしていた。『講』はa「町内無尽講」とb「恵比須講」とに分かれる。aは名主給や町方助成費の調達を目的とした講である。b

は親睦のための講らしい。

『松代藩御用』

御用の種類に応じ『年貢諸役取立・御用米金調達』・『御勝手御用役』・『産物御用掛』の中項目を立てて分類配列し、これら御用を勤めるための参考資料として筆写したと思われるものを『手控』の項にまとめた。『御勝手御用役』は①「月番表」、②「用留・日記」、③「融通金」に分けた。御勝手御用役の「御用当座帳」・「御用日記」が文化一二年より明治四年までそろっている。④所収は天保一〇年「融通金請払帳」一点であるが、これは御勝手御用役が管轄していた藩の融通金方の融通である。『産物御用掛』も①「用留」、②「産物取立無尽」、③「国産方入用」に分けたが、①所収は文化一三年～文政七年の「産物御用扣帳」一点、③所収も文化一四年「差引入用帳面」一点のみである。②所収は比較的点数が多い。

『会所・商社』

『糸会所』・『産物会所』・『松代商法社』と組織別に類別した。

『糸会所』では①「藩より拝借金品」、②「諸方より預り金・借入金」、③「会所貸下金」、④「蔵中買入仲間・糸元師仲間」、⑤「絀中買入仲間」、⑥「糸売買」、⑦「買物帳」、⑧「取替（立替）」、⑨「金銀請払」、⑩「日記・用留」、⑪「御内用荷」に分けたが、どの小項目も所収点数は少ない。糸会所は藩よりの拝借金と商人たちからの預り金・借入金を資金として運営されているが、藩よりの拝借は文書では「中借」と表現されている。これは次の産物会所の場合も同じである。八田家も糸会所に金を預けているが、逆に会所から借りてもある。八田が会所から借りた際の通帳や控帳は④と『内方』の『金融』―「借入金・預り金」に重出した。糸会所では毎年貸下金の勘定帳を作成しているが、これがそろって残っている。

『産物会所』の文書は期間が長かったこともあって大量に残っており、かつかなり系統立っている。したがって産物会所の諸機能を系統的に示せるよう分類配列することを心がけた。最初に①「触順」を立てたが、ここには会所が領内に触を出す時の廻達順を記した帳面を収めた。次に②「藩より拝借金・上納金」、③「会所江献上金」、④「会所貸下金」という項目を立てて貸借・献金に関する文書を配列した。ただ④所収は慶応期の「献金請取元帳」一点のみである。なお、藩よりの拝借（中借）、会所よりの貸下に関する文書であっても、それが金銭請払勘定のために作成されたものは、作成契機を重視して「金銭請払諸取調勘定」の項に入れ、⑤・⑥の項には（↓）を付して関連項目を示した。

次に⑤「産物改」、⑥「出役」、⑧「鑑札渡」、⑨「冥加金取立」を配列したが、これらの項目は関連している。⑤所収は諸産物の改帳である。これは産物改算加金取立の台帳となった。⑥には産物改めのために松代の産物会所の役人が出張した際の賄いに関する文書を収めている。⑧所収は鑑札交付希望者の名前を行司が会所に書き上げた「御鑑札人別書上帳」、鑑札返納人・新願人を書き上げた「御鑑札人別増減書上帳」、「行司名面帳」、会所が作成した「鑑札渡請印帳」等であり、小々項目を立ててそれぞれをまとめた。「鑑札渡請印帳」は鑑札を交付された者の居住町村名、名前を記し、請印させたもので、鑑札の種類別に作成されている。この帳簿によつて会所は営業を許可した職人・商人の名前を把握し、鑑札冥加金を取り立てたのである。重要帳簿で大切に管理されていたためか、大量に残っており、同種類ごとにまとめて配列した。⑨では産物改算加金の取立帳が大量に存する。

次に産物売買に関する文書を①「絹紬類買入」、②「絹紬類売捌」、③「絹紬類貸下」、④「甘草・杏仁大坂取引」、⑤「駄送」、⑥「麻・木綿売買」、⑦「蚕種・生糸売買」という項目を立てて分類配列し、その次に⑧「入用」、⑨「金銭請払」、⑩「金銭請払諸取調勘定」と会所の会計運営にかかわるものを配列した。以下、⑪「棚卸」、⑫「日記・用留」、⑬「褒賞」、⑭「過料」、⑮「産物助成講」、⑯「道具帳」、⑰「蔵書」と配列した。⑱・⑲・⑳は絹紬類の専売制に関するものである。㉑には嘉永・安政期の大坂交易にかかわる文書をまとめて収めている。㉒・㉓・㉔所収は麻・木綿や蚕種・生糸売買に対する会所の取り締まり、および出入に関する文書である。㉕には会所の収支決算簿である「産物御出方金御勘定帳」と、その下調帳を収めている。

『松代商法社』

商法社関係の文書は産物会所の文書のように系統的に残存してはいない。ここでは、㉖「商法社貸出金」、㉗「蚕種・生糸売買」、㉘「商社手形・太政官札引換」、㉙「入用」、㉚「棚卸」、㉛「商社引払」の項目を立てて分類配列した。㉜の貸出には商人たちへの貸下のほか、藩への貸出も含まれる。㉝所収は商社発行の手形（商社札）と太政官札の引換元帳である。

五 冊子型史料の形態表記法

当館の史料目録では、冊子型史料すなわち帳簿の形態については、その判形を表記してきた。しかし、従来の表記用語は料紙の使用法まで

含めて概念化したものではなかった。今回、八田家文書の冊子型史料の目録を作成するにあたり、その料紙の使用法に留意してみたところ、従来の表記用語でははなはだ不十分であることに気づいた。そこで、表に示したように、料紙の使用法をも含めて判形表記の用語を概念化してみた次第である。特に従来「横半半」あるいは「横美半」と表記していたものは、料紙の使用法の差異に着目すると数種類に細分化される。表に示した諸形態は、帳簿の工程を考えると図のように系統化できる。

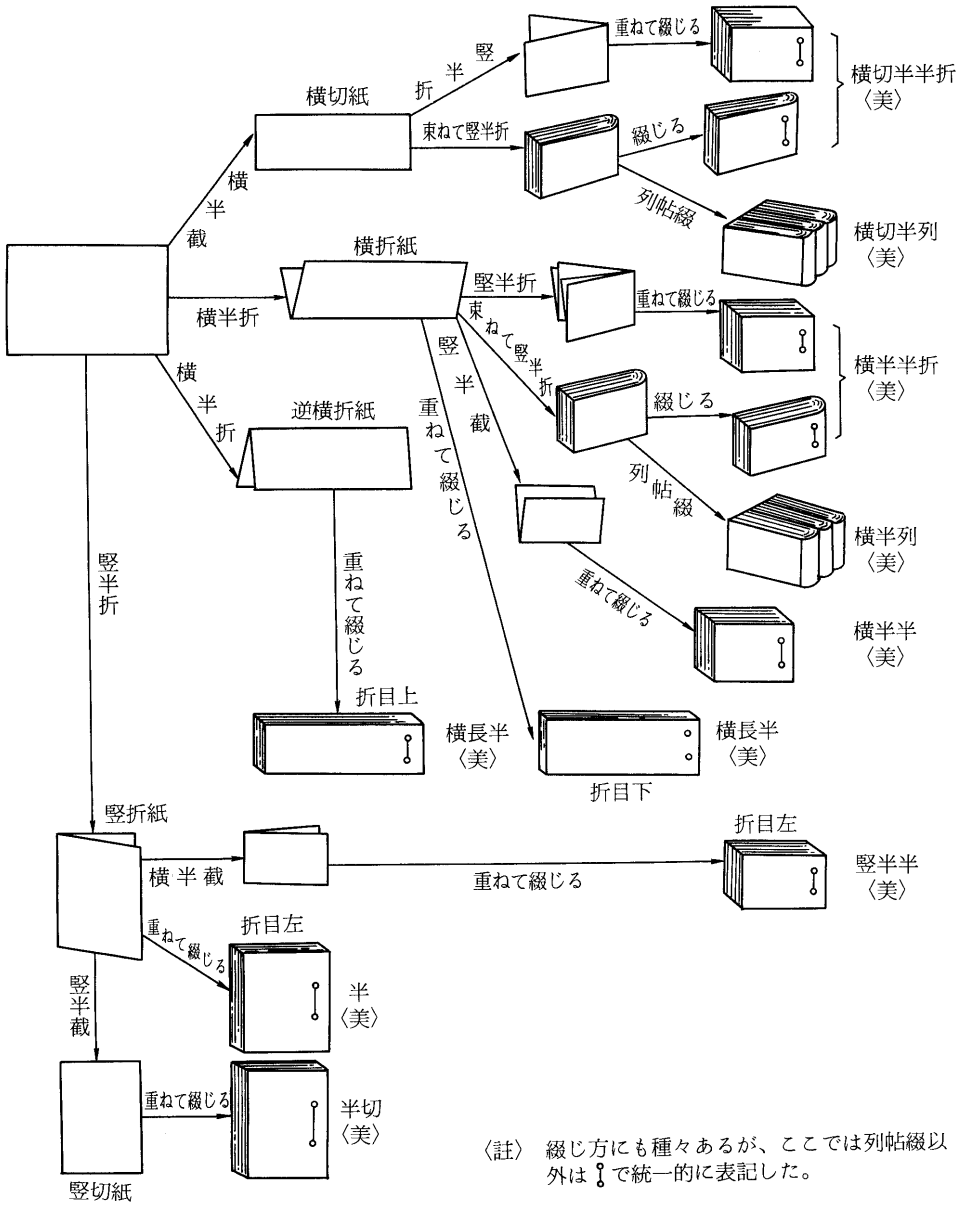
縦帳の場合、左小口が袋状になっているものがほとんどであるが、稀には縦切紙を用いた帳簿もみられる。また、横帳は下小口を袋状にするのが通例であるが、葬儀の列席者の名面帳（「野帳」と表紙に記してあるが、これは野外で使った帳簿であつたからだろう）は三冊とも上小口を袋状にしてある。屋外で使用する帳簿の場合、上小口が開いていると風をはらむので、これを防止するという機能上の配慮もあつたであろうが、凶の時の使用帳簿なので通常と逆にしたという観念上の問題も含んでいるように思われる。綴紐も通常の帳簿はほとんど裏側で結んであるのに対し、前記の野帳はすべて表側で結んであるのも、そうした観念と関連しているようである。列帖は数帖を綴じ合わせた帳簿で、「金銭出入帳」のように大きな記載容量を要するものに用いられている。しかも背が弾力性を持つているため、いくら帖数を増やしても開きやすいという、きわめて機能的に使われた帳簿で、商家帳簿ではよく見られる形態である。横帳類でも切紙を使用している例も、わずかではあるが存する。

なお、「半」「美」は半紙判・美濃判に代表させて料紙の大きさを示したもので、料紙の種類を示すものではない。特に大型のものは美の下に大を加えた。また、特に小型のものについては、いちいち何分の一に截断したかを記すのは煩雑に過ぎるので、小を冠し、縦横の寸法をセンチメートル単位で示した。

『史料館所蔵史料目録』での冊子型史料の形態表記用語の改正一覧表

従来の目録での用語	本目録での用語
半(半紙判) →	<ul style="list-style-type: none"> 半(半紙縦折判) 半切(半紙縦半截判)
美(美濃判) →	<ul style="list-style-type: none"> 美(美濃縦折判) 美切(美濃縦半截判)
横長半(半紙横長判) → 〈美〉 〈美濃〉	横長半(半紙横折判) 〈美〉 〈美濃〉
横半半(半紙半截横長判) → 〈美〉 〈美濃〉	横半半(半紙横折紙半截判) 〈美〉 〈美濃〉
	横半半折(半紙横折紙半折判) 〈美〉 〈美濃〉
	横切半半折(半紙横切紙半折判) 〈美〉 〈美濃〉
	横切半列(半紙横切紙列帖装) 〈美〉 〈美濃〉
	横半列(半紙横折紙列帖装) 〈美〉 〈美濃〉
	縦半半(半紙縦折紙半截判) 〈美〉 〈美濃〉

帳簿の工程系統図



史料館所藏史料目録 第四十一集
信濃国埴科郡松代伊勢町八田家文書目録

昭和六十年三月三十一日 印刷発行

東京都品川区豊町一丁目十六番十号
国文学研究資料館内

編集者 国立史料館
発行者

東京都文京区小石川一丁目三番七号
印刷所 勝美印刷株式会社

(本文用紙は中性紙を使用)